

文化に関する県民アンケート調査報告書

平成 28 年 8 月

富 山 県

目次

1. 調査の概要.....	1
2. 調査の結果.....	2
回答者の構成.....	2
文化に関する意識	
(1) 文化活動は大切か(問9)	6
(2) 本県の文化活動は盛んであるか(問10)	15
(3) 全国的、国際的に誇れる文化等について(問11)	26
文化活動の状況	
(1) 公演や展覧会などで文化を鑑賞した状況(問1)	31
(2) 文化の鑑賞に出かけるうえで支障となること(問2)	54
(3) 美術館・博物館の観覧について(問3)	58
(4) 観覧のための情報収集(問4)	70
(5) 家庭で文化を鑑賞した状況(問5)	74
(6) 今後の文化活動の希望(問6、問7)	99
(7) 演じたり、作ったりするうえで支障となること(問8)	113
文化に関する地域活動の状況	
(1) 文化ボランティア活動について(問12)	115
(2) 地域の民俗芸能、祭礼行事について(問13)	122
(3) 地域の民俗芸能、祭礼行事の保存・継承について(問14)	126
文化振興のために必要なこと	
(1) 文化施設が地域の文化活動の拠点となるためには(問15)	128
(2) 子どもたちが文化に親しむ機会を充実するためには(問16)	130
(3) 個性的な地域文化を活かしていくためには(問17)	132
(4) 文化振興を通じて「元気とやま」を創造するためには(問18)	134
県の文化施策に関すること	
(1) 大伴家持について(問19)	136
(2) 富山県美術館について(問20)	140
3. 使用した調査票.....	147

1. 調査の概要

1. 調査の目的

富山県における文化行政を推進するため、県民の文化に関する意識や活動の状況、文化振興施策に対するニーズを調査するもの。

2. 調査項目

- (1) 文化に関する意識に関すること
- (2) 文化活動の状況に関すること
- (3) 地域の民俗芸能に関すること
- (4) 文化の振興のために力を入れること
- (5) 県の文化施策に関すること

3. 調査対象

富山県全域、満 20 歳以上 79 歳までの男女、1,200 名、無作為抽出法

4. 調査時期

平成 28 年 5 月

5. 調査方法

郵送調査

6. 有効回収数

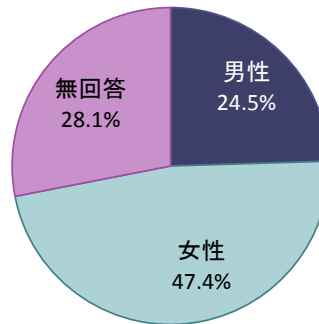
620 人 (51.7%)

2. 調査の結果

回答者の構成

●性別

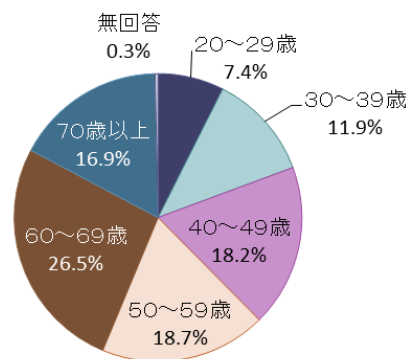
	回答者 (人)	構成比 (%)
男性	152	24.5
女性	294	47.4
無回答	174	28.1
合計	620	



N=620

●年齢別

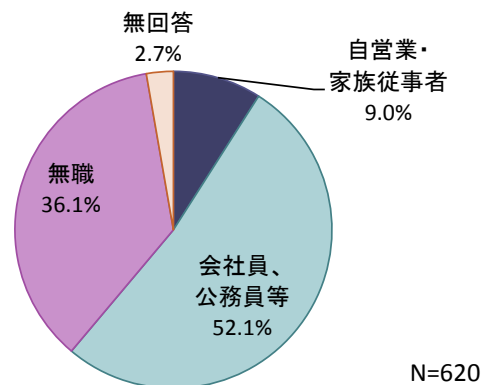
	回答者 (人)	構成比 (%)		回答者 (人)	構成比 (%)
20～29歳	46	7.4	20～24歳	17	2.7
			25～29歳	29	4.7
30～39歳	74	11.9	30～34歳	30	4.8
			35～39歳	44	7.1
40～49歳	113	18.2	40～44歳	55	8.9
			45～49歳	58	9.4
50～59歳	116	18.7	50～54歳	56	9.0
			55～59歳	60	9.7
60～69歳	164	26.5	60～64歳	70	11.3
			65～69歳	94	15.2
70歳以上	105	16.9	70歳以上	105	16.9
無回答	2	0.3	無回答	2	0.3
合計	620	100.0	合計	620	100.0



N=620

●職業別

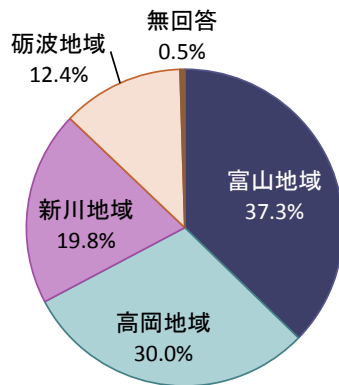
	回答者 (人)	構成比 (%)		回答者 (人)	構成比 (%)
自営業・ 家族従事者	56	9.0	農林水産業	18	2.9
			商工・サービス・ 自由業	35	5.6
			その他	3	0.5
			管理職	39	6.3
会社員、 公務員等	323	52.1	事務・技術・ 営業職など	171	27.6
			労務・技能職	83	13.4
			その他	30	4.8
			無職	224	36.1
無職	224	36.1	主婦	136	21.9
			学生	4	0.6
			その他	84	13.5
無回答	17	2.7	無回答	17	2.7
合計	620	100.0	合計	620	100.0



※選択肢に、「自営業・家族従事者」と「会社員、公務員等」のその他は無かったが、「無職」その他欄に職業名等の記入があったため、その他として集計した。

●居住地域別

	回答者 (人)	構成比 (%)		回答者 (人)	構成比 (%)
富山地域	231	37.3	富山市	231	37.3
高岡地域	186	30.0	高岡市	103	16.6
			氷見市	33	5.3
			射水市	50	8.1
新川地域	123	19.8	魚津市	18	2.9
			滑川市	20	3.2
			黒部市	24	3.9
			舟橋村	2	0.3
			上市町	14	2.3
			立山町	18	2.9
			入善町	18	2.9
			朝日町	9	1.5
			砺波地域	77	12.4
小矢部市	27	4.4			
南砺市	24	3.9			
無回答	3	0.5	無回答	3	0.5
合計	620	100.0	合計	620	100.0



N=620

この報告書の見方

文化の分野の大別・・・今回のアンケートでは、便宜的に以下の通り大別する。

(1) 美術	絵画、イラスト、版画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真など
(2) 音楽	クラシック音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、オペラ、童謡、楽器演奏、合唱、作詞、作曲など
(3) 演劇・演芸	現代演劇、人形劇、ミュージカル、落語、浪曲、漫才、講談など
(4) 舞踊	バレエ、モダンダンスなど
(5) 生活文化	生け花、茶道、ファッション、人形、料理、盆栽、園芸、囲碁、将棋など
(6) 文芸	小説、児童文学、詩、短歌、俳句、評論、川柳、現代文学、古典文学、随筆など
(7) 映画	映画、ビデオなど（アニメーション除く）
(8) メディア芸術	漫画、アニメーションなど
(9) 伝統芸能	歌舞伎、文楽、能楽、日本舞踊、民俗舞踊、邦楽、民謡、神楽、祭礼行事など

- ・ 調査結果は百分率で表示している。百分率は小数点第二位を四捨五入し算出した。従って、合計値が 100%にならない場合がある。
- ・ 一つの質問に対して、2つ以上の回答を求めているものは、百分率の母数を回答者数としている。
- ・ 図表中の「N」とは、分析する各属性の対象者数である。
- ・ 本文中、図表中の「前々回調査」、「前々回」とは、平成 17 年 8 月富山県実施の「文化に関する県民アンケート調査」の結果、「前回調査」、「前回」とは平成 22 年 10 月富山県実施の「文化に関する県民アンケート調査」の結果、「全国調査」、「全国」とは、平成 21 年 11 月内閣府実施の「文化に関する世論調査」の結果である。
- ・ 本文中の「映画」はアニメーションを除き、「メディア芸術」はアニメーションを含む。

文化に関する意識

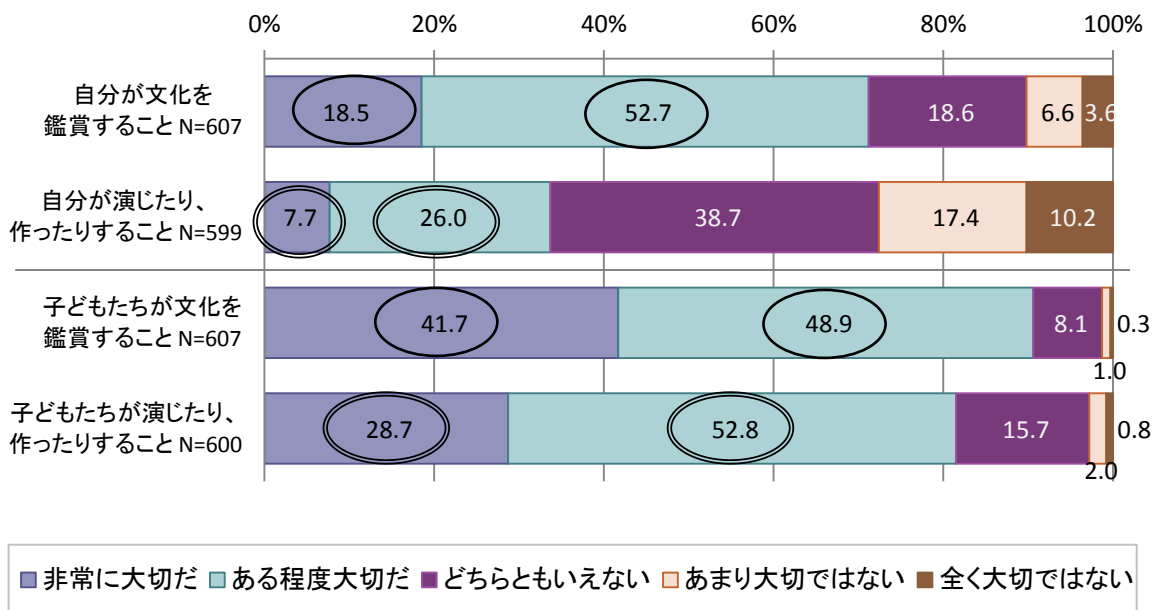
問9（1）日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、自分にとって大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

問9（2）子どもたちにとって、文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

自分にとって文化を鑑賞することが「大切だ」と回答した割合は 71.2%、自分が演じたり、作ったりすることが「大切だ」と回答した割合は 33.7%となった。

一方、子どもたちにとって文化を鑑賞することが「大切だ」と回答した割合は 90.6%、子どもたちが演じたり、作ったりすることが「大切だ」と回答した割合は、81.5%となった。

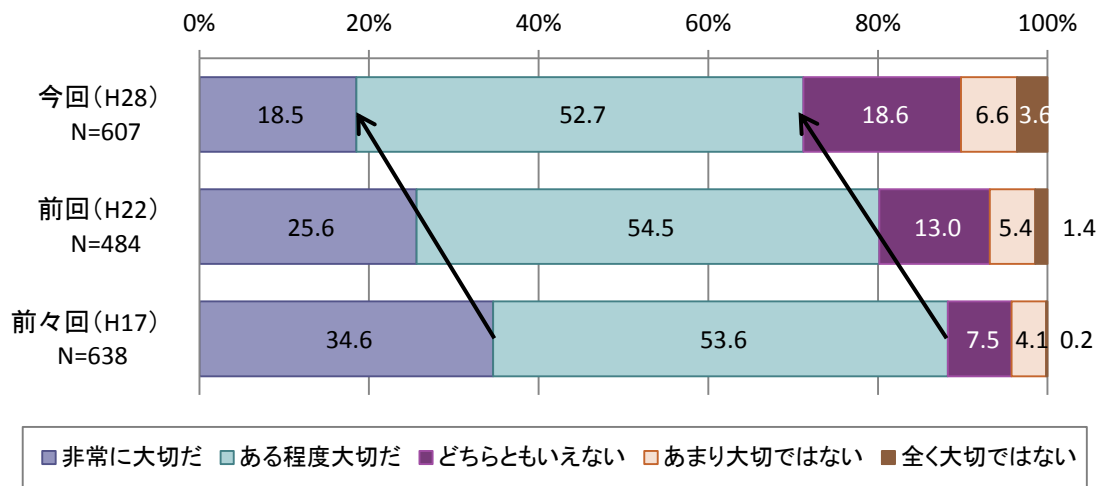
（「大切だ」は「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の合算）



問9（1）日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、自分にとって大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

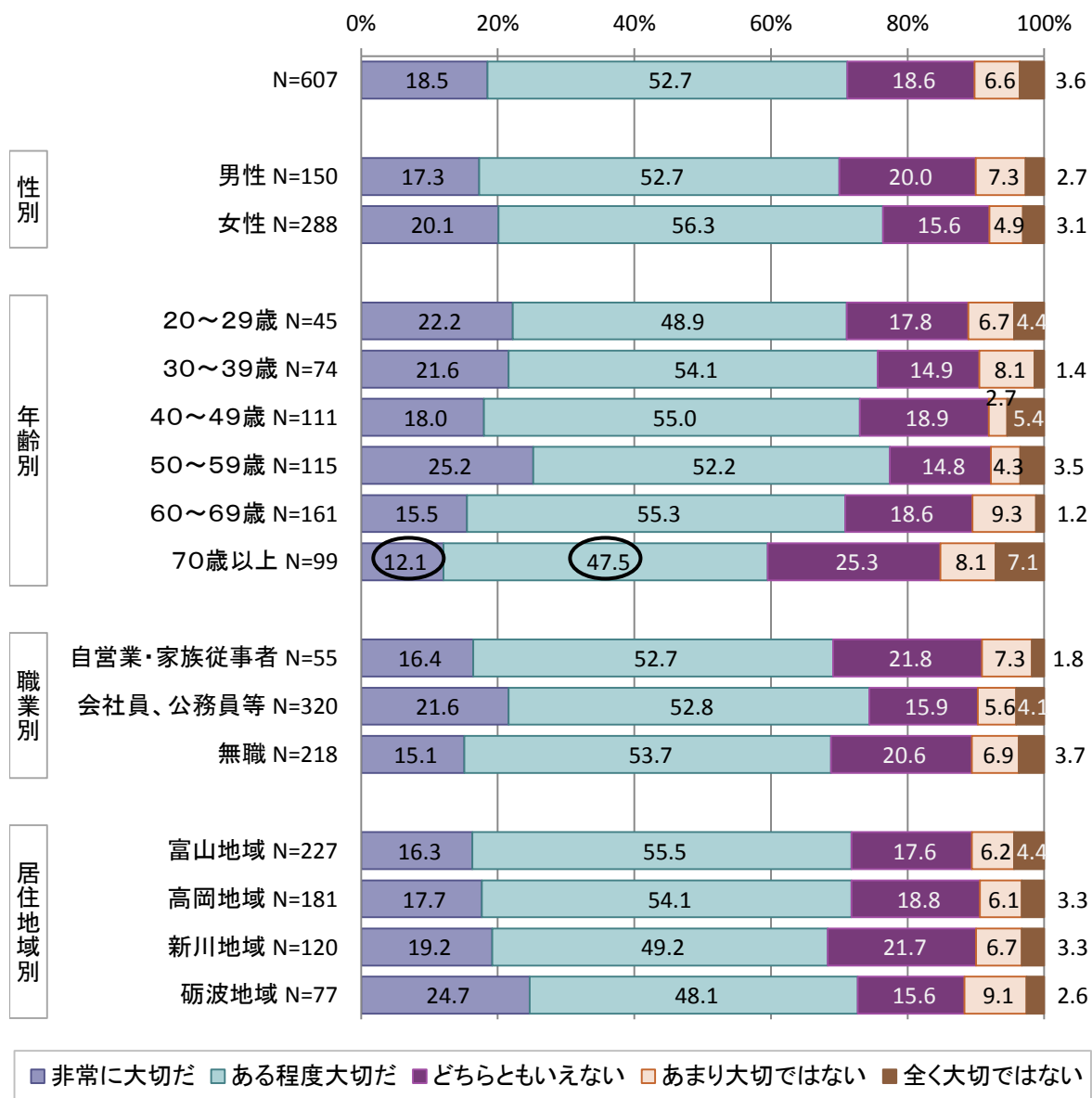
《文化を鑑賞すること》

「非常に大切だ」が18.5%、「ある程度大切だ」が52.7%、「どちらともいえない」が18.6%、「あまり大切ではない」が6.6%、「まったく大切でない」が3.6%となった。前回、前々回調査と比較すると、「非常に大切だ」に「ある程度大切だ」を加えた文化の鑑賞を「大切だ」と考える人は、低下傾向にある。



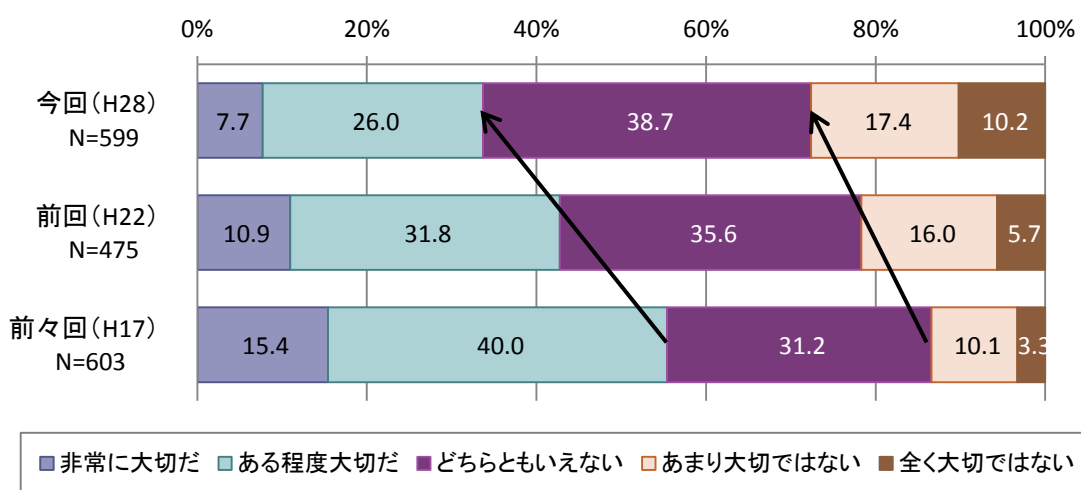
年齢別で見ると、70歳以上と70歳未満では大きな違いが見られる。70歳未満ではそれぞれの年代で「大切だ」が70%超の回答となったが、70歳以上では「大切だ」がほぼ60%と減少している。

(「大切だ」は「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の合算)



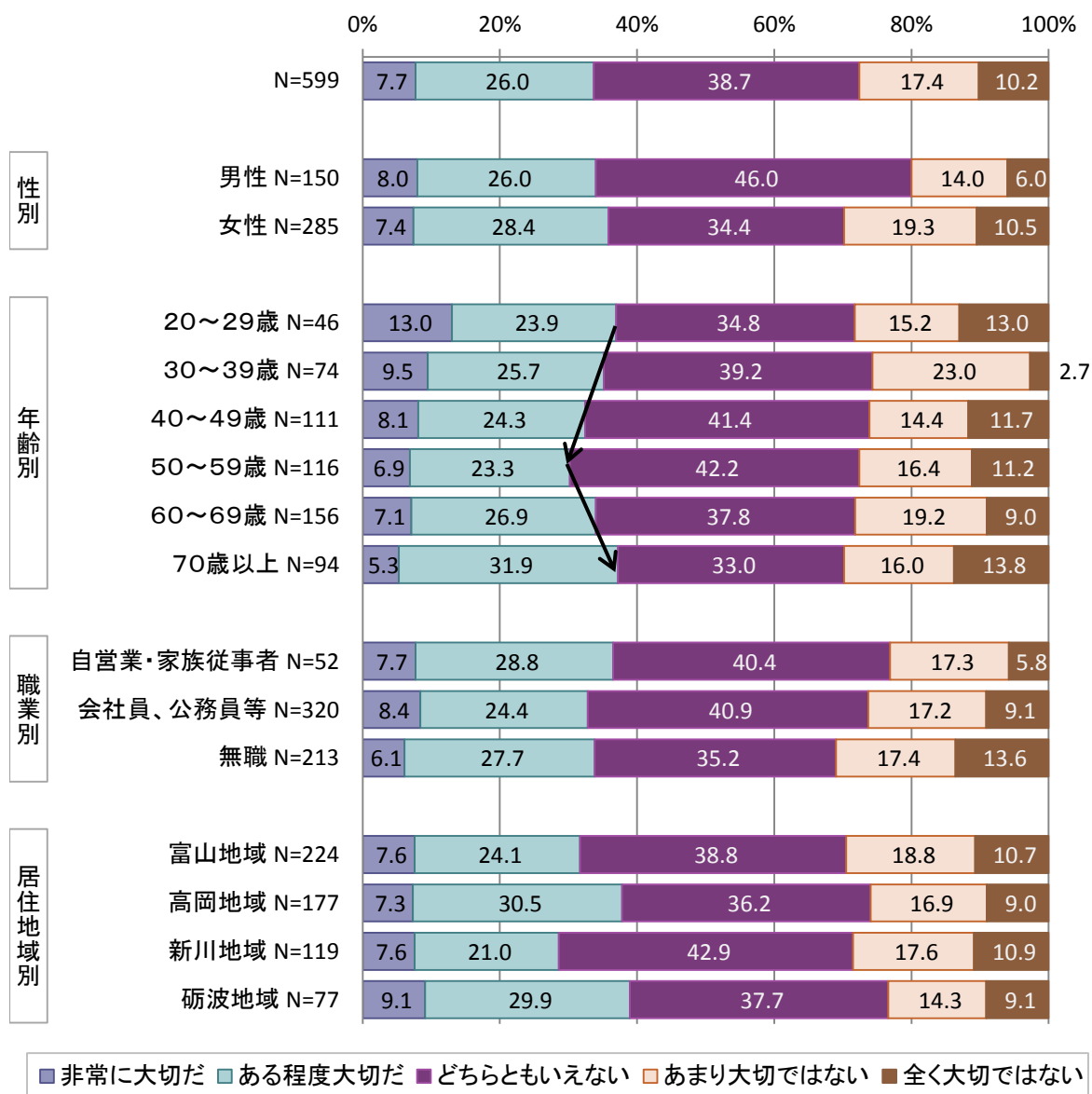
《自ら演じたり、作ったりすること》

「非常に大切だ」が7.7%、「ある程度大切だ」が26.0%、「どちらともいえない」が38.7%、「あまり大切でない」が17.4%、「まったく大切でない」が10.2%となった。前回、前々回調査と比較すると「非常に大切だ」に「ある程度大切だ」を加えた自らの文化の体験を「大切だ」と考える人は、低下傾向にある。「あまり大切ではない」に「全く大切ではない」を加えた自らの文化の体験を「大切ではない」と考える人は、増加傾向にある。



年齢別で見ると、20歳代の「大切だ」の回答率（36.9%）から50歳代にかけての回答率が低下（30.2%）し、70歳以上の回答率が37.2%と上昇している。

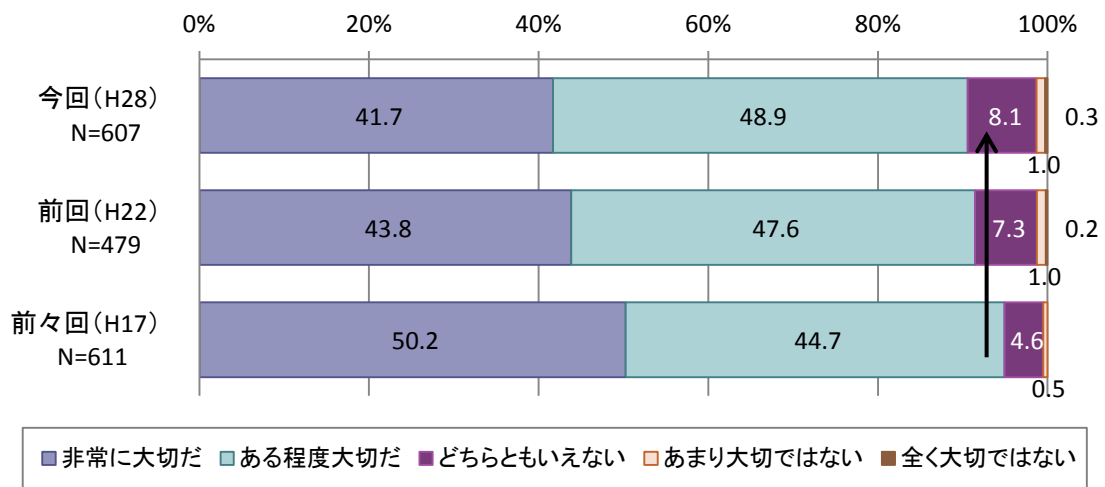
（「大切だ」は「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の合算）



問9（2）子どもたちにとって、文化を鑑賞したり、自ら演じたり、作ったりすることが、大切だと思いますか。次の中からそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

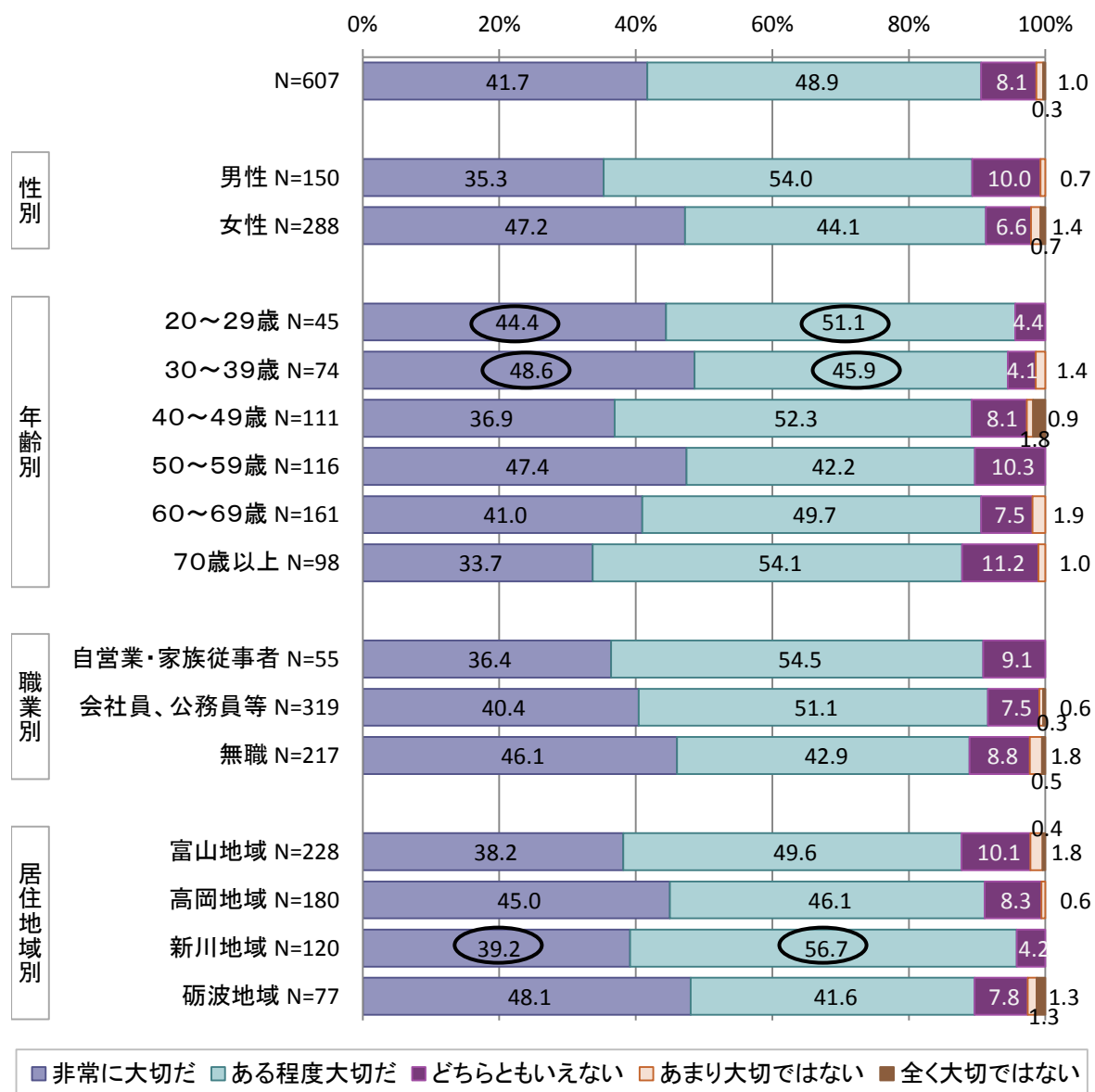
《文化を鑑賞すること》

「非常に大切だ」が41.7%、「ある程度大切だ」が48.9%、「どちらともいえない」が8.1%となった。前回、前々回調査と比較すると「非常に大切だ」に「ある程度大切だ」を加えた子どもたちにとって文化の鑑賞が「大切だ」の回答率はいずれも90%を超えており、大きな変化は見られない。



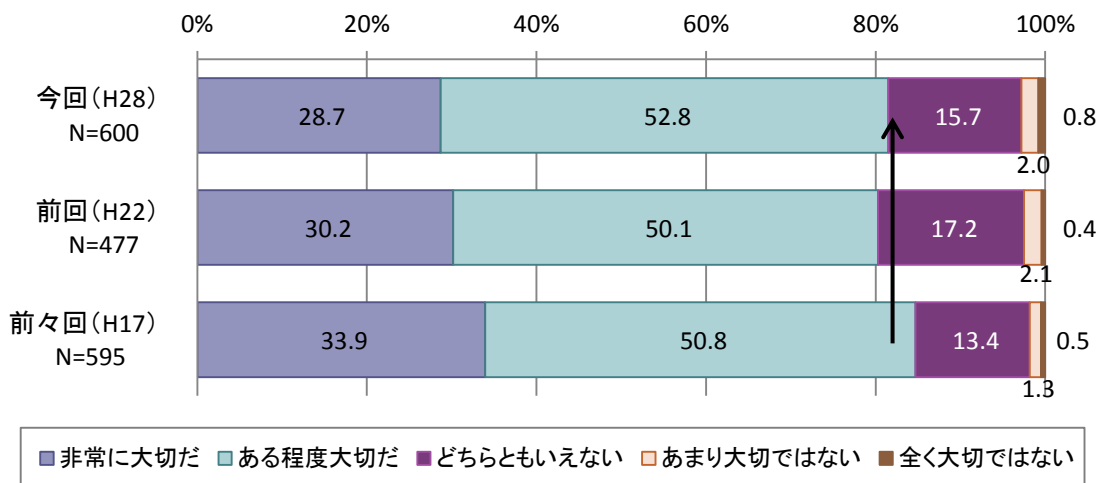
年齢別で見ると、20歳代の「大切だ」の回答率（95.5%）、30歳代の回答率（94.5%）は他の年代より高い。

居住地域別で見ると、新川地域の「大切だ」の回答率が95.9%と他の地域より高い。（「大切だ」は「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の合算）

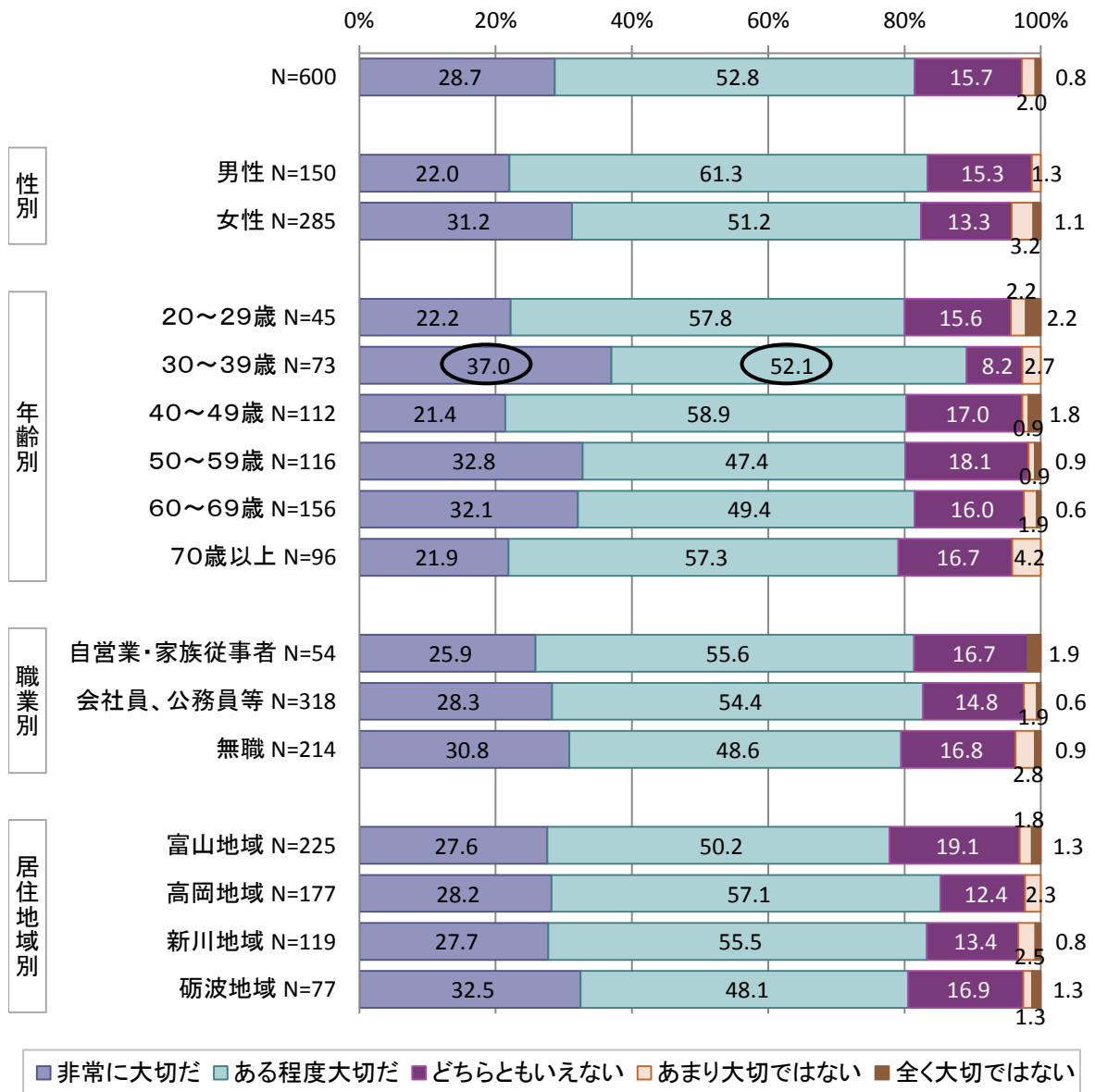


《自ら演じたり、作ったりすること》

「非常に大切だ」が 28.7%、「ある程度大切だ」が 52.8%、「どちらともいえない」が 15.7%となった。前回、前々回調査と比較すると「非常に大切だ」に「ある程度大切だ」を加えた子どもたちの文化の体験を「大切だ」と考える人に大きな変化は見られない。



年齢別で見ると、30歳代の「大切だ」の回答率（89.1%）は他の年代より高い。
 （「大切だ」は「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の合算）

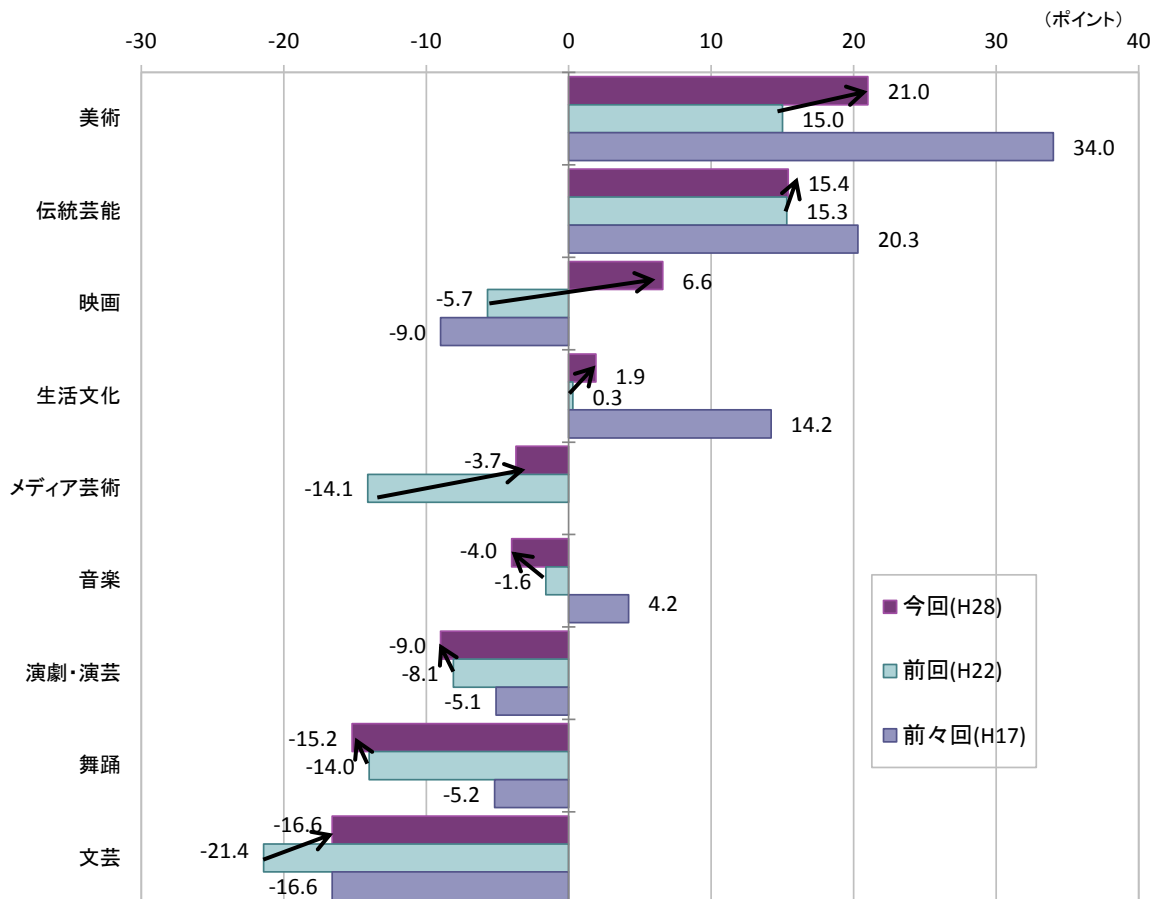


問 10 本県の文化活動は盛んであると思いますか。次にあげる分野について、それぞれ1つ選んで○をつけてください。

《各分野が盛んであるか》

「盛んである」（「盛んである」と「どちらかというとき盛んだ」の合算）の割合から、「盛んでない」（「あまり盛んでない」と「盛んでない」の合算）の割合を差し引いたポイント数でみると、ポイント数が高かった分野は、「美術」（21.0ポイント）、「伝統芸能」（15.4ポイント）となっている。

前回調査と比較すると、「美術」、「伝統芸能」、「映画」、「生活文化」、「メディア芸術」、「文芸」の6分野ではポイント数が上昇し、「音楽」、「演劇・演芸」、「舞踊」の3分野ではポイント数が低下している。



「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引いたポイント数

ポイント数がプラスとなった分野について、「盛んである」の割合をみると、「美術」が40.4%（ポイント数21.0）、「伝統芸能」が37.5%（ポイント数15.4）、「映画」が28.6%（ポイント数6.6）、「生活文化」が25.2%（ポイント数1.9）となっている。

	回答者 人	盛んである（A）	盛んである	盛んどちらかというところ	どちらでもない	盛んでない（B）	あまり盛んでない	盛んでない	A-B ポイント
		%	%	%		%	%	%	
(1)美術	552	40.4	9.2	31.2	40.2	19.4	13.6	5.8	21.0
(2)音楽	554	24.7	5.4	19.3	46.6	28.7	20.8	7.9	▲ 4.0
(3)演劇・演芸	547	21.9	3.5	18.5	47.2	30.9	21.9	9.0	▲ 9.0
(4)舞踊	542	17.3	3.3	14.0	50.2	32.5	23.1	9.4	▲ 15.2
(5)生活文化	540	25.2	3.3	21.9	51.5	23.3	17.0	6.3	1.9
(6)文芸	541	14.8	1.8	12.9	53.8	31.4	22.0	9.4	▲ 16.6
(7)映画（アニメーション除く）	542	28.6	5.2	23.4	49.4	22.0	14.6	7.4	6.6
(8)メディア芸術 （アニメーション含む）	536	22.0	4.1	17.9	52.2	25.7	17.2	8.6	▲ 3.7
(9)伝統芸能	542	37.5	10.5	26.9	40.4	22.1	14.9	7.2	15.4

《美 術》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 40.4%、「どちらでもない」は 40.2%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 19.4%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと 21.0 ポイントとなる。

年齢別では、30 歳代以降年齢層が上がるにつれ、「盛んである」と評価する回答者の割合が多くなっている。

居住地域別では、「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと、砺波地域が 39.7 ポイントと 4 地域の中では最も高い。

	回答者	盛んである (A)	盛ん		どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない		盛んでない	A-B
			盛んである	盛ん			盛んでない	盛んでない		
	人	%	%	%	%	%	%	%	ポイント	
全体	552	40.4	9.2	31.2	40.2	19.4	13.6	5.8	21.0	
性別	男性	139	40.3	7.9	32.4	38.8	20.9	14.4	6.5	19.4
	女性	264	42.8	10.2	32.6	38.3	18.9	14.8	4.2	23.9
年齢	20～29歳	45	42.2	13.3	28.9	26.7	31.1	26.7	4.4	11.1
	30～39歳	72	25.0	4.2	20.8	50.0	25.0	13.9	11.1	0.0
	40～49歳	108	37.0	6.5	30.6	43.5	19.4	12.0	7.4	17.6
	50～59歳	110	40.9	11.8	29.1	43.6	15.5	11.8	3.6	25.4
	60～69歳	140	44.3	10.7	33.6	35.7	20.0	15.7	4.3	24.3
	70歳以上	75	52.0	9.3	42.7	36.0	12.0	6.7	5.3	40.0
職業	自営業・ 家族従事者	49	38.8	6.1	32.7	46.9	14.3	8.2	6.1	24.5
	会社員、 公務員等	300	36.3	8.0	28.3	41.7	22.0	15.3	6.7	14.3
	無職	191	47.1	11.0	36.1	36.1	16.8	12.0	4.7	30.3
居住地域	富山地域	205	40.0	6.8	33.2	38.0	22.0	15.6	6.3	18.0
	高岡地域	160	36.3	10.0	26.3	50.0	13.8	8.1	5.6	22.5
	新川地域	112	39.3	10.7	28.6	33.9	26.8	21.4	5.4	12.5
	砺波地域	73	53.4	12.3	41.1	32.9	13.7	8.2	5.5	39.7

《音 楽》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 24.7%、「どちらでもない」は 46.6%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 28.7%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと▲4.0ポイントとなる。

年齢別では、40歳代までは「盛んでない」評価が「盛んである」評価を上回っているが、60歳代、70歳以上では「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っており、その値は大きくなっている。

居住地域別では、他の3地域の評価ポイントがマイナスであるのに対し、高岡地域では0となっている。

	回答者	盛んである (A)	盛んである	盛どちらかというた	どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B	
									ポイント	
	人	%	%	%	%	%	%	%		
全体	554	24.7	5.4	19.3	46.6	28.7	20.8	7.9	▲ 4.0	
性別	男性	138	26.8	4.3	22.5	47.1	26.1	17.4	8.7	0.7
	女性	267	26.6	5.2	21.3	46.8	26.6	21.3	5.2	0.0
年齢	20～29歳	45	24.4	4.4	20.0	35.6	40.0	28.9	11.1	▲ 15.6
	30～39歳	73	9.6	0.0	9.6	53.4	37.0	24.7	12.3	▲ 27.4
	40～49歳	110	24.5	1.8	22.7	44.5	30.9	20.0	10.9	▲ 6.4
	50～59歳	110	23.6	7.3	16.4	52.7	23.6	19.1	4.5	0.0
	60～69歳	138	28.3	8.0	20.3	46.4	25.4	19.6	5.8	2.9
	70歳以上	76	35.5	9.2	26.3	40.8	23.7	17.1	6.6	▼ 11.8
職業	自営業・ 家族従事者	50	26.0	6.0	20.0	42.0	32.0	22.0	10.0	▲ 6.0
	会社員、 公務員等	301	22.9	4.3	18.6	45.8	31.2	20.9	10.3	▲ 8.3
	無職	191	26.7	6.3	20.4	49.7	23.6	19.4	4.2	3.1
居住地域	富山地域	207	26.1	5.3	20.8	43.5	30.4	21.7	8.7	▲ 4.3
	高岡地域	160	23.1	6.3	16.9	53.8	23.1	16.3	6.9	0.0
	新川地域	112	26.8	5.4	21.4	38.4	34.8	25.0	9.8	▲ 8.0
	砺波地域	73	21.9	4.1	17.8	53.4	24.7	19.2	5.5	▲ 2.8

《演劇・演芸》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 21.9%、「どちらでもない」は 47.2%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 30.9%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと▲9.0ポイントとなる。

年齢別では、30歳代が「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引いたポイントが最も低く、その年代以降はマイナスであるもののその値が 0 に近づいており、70歳以上では、「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

居住地域別では、県内 4 地域のうち砺波地域だけが「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

	回答者	盛んである (A)	盛んである	盛んどちらかという	どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B	
										人
全体	547	21.9	3.5	18.5	47.2	30.9	21.9	9.0	▲ 9.0	
性別	男性	138	25.4	4.3	21.0	45.7	29.0	19.6	9.4	▲ 3.6
	女性	262	19.8	2.3	17.6	50.4	29.8	23.3	6.5	▲ 10.0
年齢	20～29歳	44	29.5	6.8	22.7	31.8	38.6	29.5	9.1	▲ 9.1
	30～39歳	72	11.1	0.0	11.1	50.0	38.9	22.2	16.7	▲ 27.8
	40～49歳	109	18.3	2.8	15.6	48.6	33.0	21.1	11.9	▲ 14.7
	50～59歳	110	19.1	6.4	12.7	54.5	26.4	19.1	7.3	▲ 7.3
	60～69歳	135	23.7	3.0	20.7	47.4	28.9	24.4	4.4	▲ 5.2
	70歳以上	75	34.7	2.7	32.0	38.7	26.7	18.7	8.0	▼ 8.0
職業	自営業・ 家族従事者	50	26.0	0.0	26.0	44.0	30.0	18.0	12.0	▲ 4.0
	会社員、 公務員等	297	21.2	4.4	16.8	44.1	34.7	23.9	10.8	▲ 13.5
	無職	189	22.2	2.1	20.1	52.4	25.4	20.1	5.3	▲ 3.2
居住地域	富山地域	206	21.4	2.4	18.9	49.5	29.1	19.9	9.2	▲ 7.7
	高岡地域	157	16.6	3.2	13.4	53.5	29.9	21.0	8.9	▲ 13.3
	新川地域	110	25.5	5.5	20.0	33.6	40.9	30.9	10.0	▲ 15.4
	砺波地域	72	30.6	4.2	26.4	45.8	23.6	16.7	6.9	○ 7.0

《舞 踊》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 17.3%、「どちらでもない」は 50.2%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 32.5%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと▲15.2ポイントとなる。

年齢別では、30歳代が「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引いたポイントが最も低く、その年代以降はマイナスであるもののその値が0に近づいており、70歳以上では、「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

居住地域別では、県内4地域のうち砺波地域だけが「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

	回答者	盛んである (A)	どちらかという		どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない		A-B	
			盛んである	盛ん			盛んでない	盛んでない		
	人	%	%	%	%	%	%	%	ポイント	
全体	542	17.3	3.3	14.0	50.2	32.5	23.1	9.4	▲ 15.2	
性別	男性	136	16.9	2.9	14.0	52.9	30.1	19.9	10.3	▲ 13.2
	女性	259	18.1	3.1	15.1	50.6	31.3	24.7	6.6	▲ 13.2
年齢	20～29歳	44	20.5	2.3	18.2	43.2	36.4	22.7	13.6	▲ 15.9
	30～39歳	71	7.0	1.4	5.6	53.5	39.4	23.9	15.5	▲ 32.4
	40～49歳	109	18.3	1.8	16.5	47.7	33.9	24.8	9.2	▲ 15.6
	50～59歳	108	14.8	6.5	8.3	57.4	27.8	21.3	6.5	▲ 13.0
	60～69歳	135	17.8	3.0	14.8	48.1	34.1	25.9	8.1	▲ 16.3
	70歳以上	73	27.4	4.1	23.3	46.6	26.0	17.8	8.2	▲ 1.4
職業	自営業・ 家族従事者	49	18.4	2.0	16.3	59.2	22.4	14.3	8.2	▲ 4.0
	会社員、 公務員等	298	14.8	2.3	12.4	49.7	35.6	25.8	9.7	▲ 20.8
	無職	184	21.2	4.3	16.8	48.4	30.4	21.2	9.2	▲ 9.2
居住地域	富山地域	200	17.0	2.5	14.5	48.5	34.5	23.0	11.5	▲ 17.5
	高岡地域	156	11.5	3.8	7.7	60.3	28.2	20.5	7.7	▲ 16.7
	新川地域	112	19.6	4.5	15.2	38.4	42.0	31.3	10.7	▲ 22.4
	砺波地域	72	27.8	2.8	25.0	50.0	22.2	16.7	5.6	▲ 5.6

《生活文化》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 25.2%、「どちらでもない」は 51.5%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 23.3%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと 1.9 ポイントとなる。

年齢別では、20 歳代では、「盛んである」評価が 30%を超えるものの、「盛んでない」評価を下回っている。一方、40 歳代以上で「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っており、特に、60 歳代、70 歳以上では「盛んである」評価が高い。

職業別では、無職の方の「盛んである」評価が高く、居住地域別では、砺波地域が他の 3 地域より評価が高い。

	回答者	盛んである (A)	盛んである	盛んどちらかという	どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B	
		人	%	%	%	%	%	%	ポイント	
全体	540	25.2	3.3	21.9	51.5	23.3	17.0	6.3	1.9	
性別	男性	135	25.2	2.2	23.0	54.1	20.7	14.1	6.7	4.5
	女性	262	26.3	3.8	22.5	50.4	23.3	19.8	3.4	3.0
年齢	20～29歳	45	31.1	2.2	28.9	31.1	37.8	31.1	6.7	▲ 6.7
	30～39歳	72	6.9	0.0	6.9	61.1	31.9	22.2	9.7	▲ 25.0
	40～49歳	109	22.0	3.7	18.3	56.9	21.1	11.9	9.2	0.9
	50～59歳	107	23.4	5.6	17.8	56.1	20.6	15.9	4.7	2.8
	60～69歳	131	29.8	3.1	26.7	49.6	20.6	16.8	3.8	9.2
	70歳以上	74	39.2	4.1	35.1	41.9	18.9	13.5	5.4	20.3
職業	自営業・ 家族従事者	48	22.9	0.0	22.9	56.3	20.8	10.4	10.4	2.1
	会社員、 公務員等	295	21.4	3.1	18.3	54.6	24.1	17.3	6.8	▲ 2.7
	無職	185	32.4	3.8	28.6	45.4	22.2	17.8	4.3	10.2
居住地域	富山地域	203	21.7	2.0	19.7	51.2	27.1	19.7	7.4	▲ 5.4
	高岡地域	157	24.2	6.4	17.8	58.6	17.2	12.1	5.1	7.0
	新川地域	108	29.6	2.8	26.9	40.7	29.6	21.3	8.3	0.0
	砺波地域	70	31.4	1.4	30.0	51.4	17.1	14.3	2.9	14.3

《文 芸》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 14.8%、「どちらでもない」は 53.8%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 31.4%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと▲16.6ポイントとなる。

年齢別では、唯一 70 歳以上で「盛んである」評価が高い。

居住地域別では、4 地域ともに「盛んでない」との評価割合が「盛んである」との評価割合を上回っているが、砺波地域では評価ポイントはマイナスであるものの、他の 3 地域と比較してやや高い。

	回答者	盛んである (A)	盛んである	どちらかというと盛んだ	どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない	盛んでない	A-B	
									ポイント	
	人	%	%	%	%	%	%	%		
全体	541	14.8	1.8	12.9	53.8	31.4	22.0	9.4	▲ 16.6	
性別	男性	136	15.4	1.5	14.0	54.4	30.1	18.4	11.8	▲ 14.7
	女性	260	13.8	1.5	12.3	54.6	31.5	25.4	6.2	▲ 17.7
年齢	20～29歳	44	22.7	4.5	18.2	43.2	34.1	25.0	9.1	▲ 11.4
	30～39歳	72	4.2	0.0	4.2	52.8	43.1	26.4	16.7	▲ 38.9
	40～49歳	108	13.0	0.9	12.0	54.6	32.4	18.5	13.9	▲ 19.4
	50～59歳	108	6.5	2.8	3.7	63.9	29.6	25.0	4.6	▲ 23.1
	60～69歳	133	17.3	1.5	15.8	53.4	29.3	22.6	6.8	▲ 12.0
	70歳以上	74	31.1	2.7	28.4	44.6	24.3	16.2	8.1	6.8
職業	自営業・ 家族従事者	49	8.2	0.0	8.2	65.3	26.5	16.3	10.2	▲ 18.3
	会社員、 公務員等	294	13.3	2.0	11.2	53.1	33.7	23.1	10.5	▲ 20.4
	無職	186	18.3	1.1	17.2	52.2	29.6	22.0	7.5	▲ 11.3
居住地域	富山地域	199	16.6	2.0	14.6	50.8	32.7	21.6	11.1	▲ 16.1
	高岡地域	159	11.3	2.5	8.8	64.8	23.9	16.4	7.5	▲ 12.6
	新川地域	110	16.4	1.8	14.5	39.1	44.5	33.6	10.9	▲ 28.1
	砺波地域	71	15.5	0.0	15.5	59.2	25.4	18.3	7.0	▲ 9.9

《映 画》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 28.6%、「どちらでもない」は 49.4%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 22.0%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと 6.6 ポイントとなる。

年齢別では、30 歳代及び 50 歳代を除いて「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

居住地域別では、高岡地域が最も評価が高い。

	回答者	盛んである (A)	どちらかという		どちらでもない	盛んでない (B)	盛んでない		A-B	
			盛んである	盛ん			あまり盛んでない	盛んでない		
	人	%	%	%	%	%	%	%	ポイント	
全体	542	28.6	5.2	23.4	49.4	22.0	14.6	7.4	6.6	
性別	男性	136	30.1	4.4	25.7	44.9	25.0	18.4	6.6	5.1
	女性	261	29.9	5.4	24.5	48.7	21.5	14.9	6.5	8.4
年齢	20～29歳	45	40.0	8.9	31.1	37.8	22.2	17.8	4.4	17.8
	30～39歳	72	26.4	0.0	26.4	47.2	26.4	12.5	13.9	0.0
	40～49歳	108	32.4	7.4	25.0	47.2	20.4	14.8	5.6	12.0
	50～59歳	109	22.0	5.5	16.5	55.0	22.9	15.6	7.3	▲0.9
	60～69歳	133	30.1	6.0	24.1	48.9	21.1	14.3	6.8	9.0
	70歳以上	73	26.0	2.7	23.3	53.4	20.5	13.7	6.8	5.5
職業	自営業・ 家族従事者	49	22.4	2.0	20.4	55.1	22.4	10.2	12.2	0.0
	会社員、 公務員等	296	28.7	5.1	23.6	47.3	24.0	16.6	7.4	4.7
	無職	186	30.1	5.4	24.7	51.1	18.8	12.4	6.5	11.3
居住地域	富山地域	202	25.7	4.5	21.3	50.0	24.3	15.3	8.9	1.4
	高岡地域	156	28.8	8.3	20.5	55.1	16.0	11.5	4.5	12.8
	新川地域	111	34.2	4.5	29.7	40.5	25.2	17.1	8.1	9.0
	砺波地域	71	28.2	1.4	26.8	47.9	23.9	15.5	8.5	4.3

《メディア芸術》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 22.0%、「どちらでもない」は 52.2%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 25.7%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと▲3.7ポイントとなる。

年齢別では、唯一 40 歳代で「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

居住地域別では、県内 4 地域のうち砺波地域だけが「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。

	回答者	盛んである (A)	どちらかという		どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない		盛んでない	A-B ポイント
			盛んである	どちらかという			あまり盛んでない	盛んでない		
	人	%	%	%	%	%	%	%		
全体	536	22.0	4.1	17.9	52.2	25.7	17.2	8.6	▲ 3.7	
性別	男性	134	22.4	4.5	17.9	48.5	29.1	19.4	9.7	▲ 6.7
	女性	258	21.3	3.9	17.4	54.3	24.4	18.6	5.8	▲ 3.1
年齢	20～29歳	45	31.1	13.3	17.8	35.6	33.3	24.4	8.9	▲ 2.2
	30～39歳	72	23.6	0.0	23.6	52.8	23.6	9.7	13.9	0.0
	40～49歳	107	26.2	4.7	21.5	49.5	24.3	16.8	7.5	1.9
	50～59歳	110	16.4	2.7	13.6	55.5	28.2	20.0	8.2	▲ 11.8
	60～69歳	130	17.7	3.8	13.8	58.5	23.8	16.9	6.9	▲ 6.1
	70歳以上	70	25.7	4.3	21.4	48.6	25.7	17.1	8.6	0.0
職業	自営業・ 家族従事者	50	16.0	2.0	14.0	54.0	30.0	24.0	6.0	▲ 14.0
	会社員、 公務員等	295	22.7	4.1	18.6	50.2	27.1	15.9	11.2	▲ 4.4
	無職	180	22.2	3.9	18.3	55.6	22.2	16.7	5.6	0.0
居住地域	富山地域	199	23.1	4.5	18.6	50.3	26.6	17.6	9.0	▲ 3.5
	高岡地域	156	17.9	5.8	12.2	59.6	22.4	16.7	5.8	▲ 4.5
	新川地域	108	23.1	3.7	19.4	46.3	30.6	20.4	10.2	▲ 7.5
	砺波地域	71	26.8	0.0	26.8	49.3	23.9	12.7	11.3	2.9

《伝統芸能》

「盛んである」、「どちらかというと盛んだ」を合計すると 37.5%、「どちらでもない」は 40.4%、「盛んでない」、「あまり盛んでない」を合計すると 22.1%。「盛んである」の割合から「盛んでない」の割合を差し引くと 15.4ポイントとなる。

性別では、男性の方が「盛んである」評価が「盛んでない」評価を大きく上回っている。

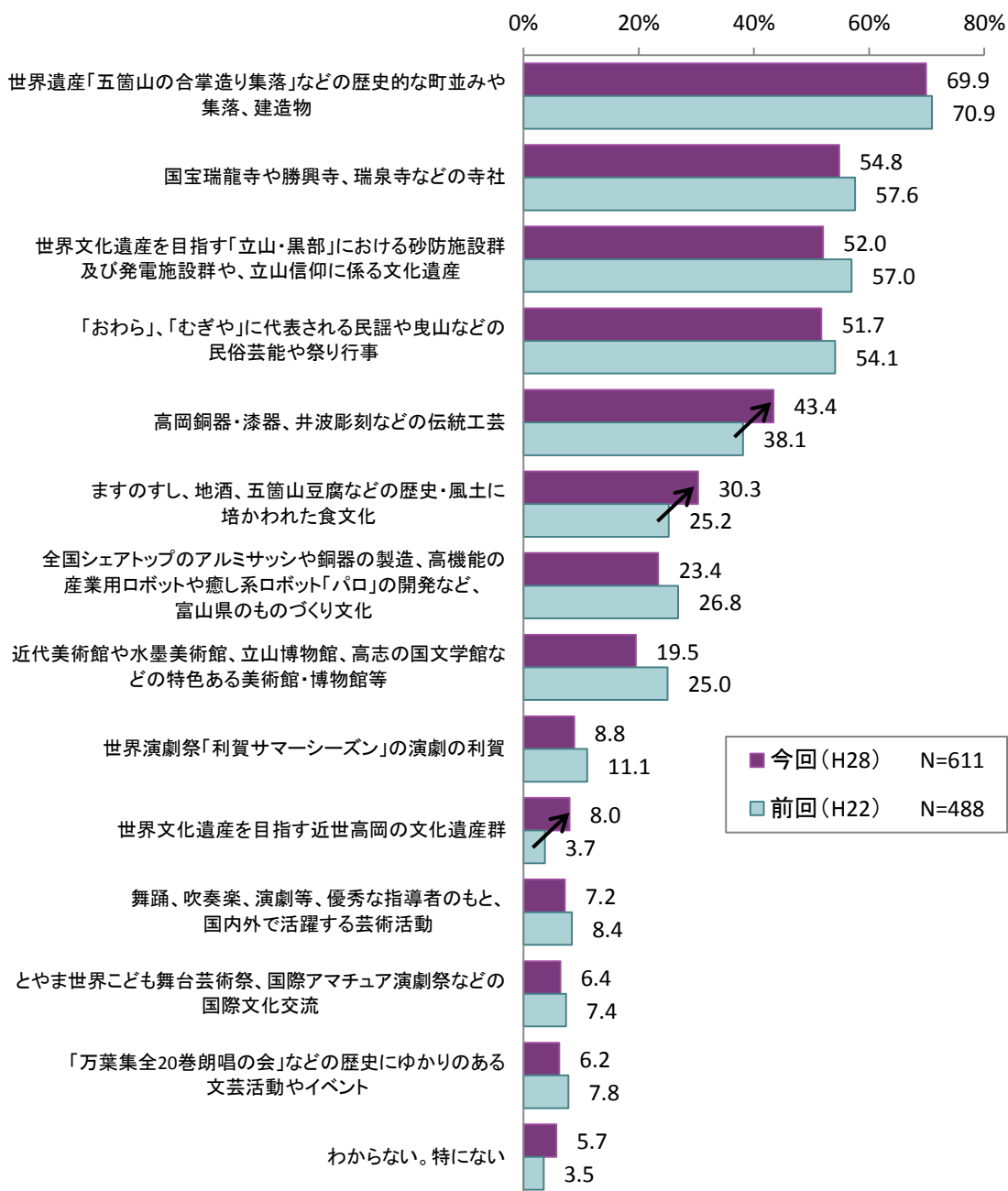
年齢別では、30歳代を除けばどの年代も「盛んである」評価が「盛んでない」評価を上回っている。職業別では、自営業・家族従事者で「盛んである」評価が「盛んでない」評価を大きく上回った。

居住地域別では、砺波地域で「盛んである」評価が「盛んでない」評価を大きく上回った。

	回答者	盛んである (A)	盛ん		どちらでもない	盛んでない (B)	あまり盛んでない		盛んでない	A-B ポイント
			盛んである	盛んどちらかという			あまり盛んでない	盛んでない		
	人	%	%	%	%	%	%	%		
全体	542	37.5	10.5	26.9	40.4	22.1	14.9	7.2	15.4	
性別	男性	133	46.6	12.8	33.8	37.6	15.8	10.5	5.3	30.8
	女性	260	34.6	9.6	25.0	40.8	24.6	18.8	5.8	10.0
年齢	20～29歳	43	41.9	11.6	30.2	30.2	27.9	20.9	7.0	14.0
	30～39歳	71	28.2	8.5	19.7	43.7	28.2	15.5	12.7	0.0
	40～49歳	108	31.5	12.0	19.4	42.6	25.9	14.8	11.1	5.6
	50～59歳	108	36.1	11.1	25.0	44.4	19.4	14.8	4.6	16.7
	60～69歳	137	44.5	10.2	34.3	38.0	17.5	13.9	3.6	27.0
	70歳以上	73	42.5	9.6	32.9	37.0	20.5	13.7	6.8	22.0
職業	自営業・ 家族従事者	48	41.7	8.3	33.3	39.6	18.8	8.3	10.4	22.9
	会社員、 公務員等	297	36.4	11.4	24.9	40.1	23.6	15.8	7.7	12.8
	無職	186	38.2	8.6	29.6	40.9	21.0	15.6	5.4	17.2
居住地域	富山地域	199	29.6	7.0	22.6	45.7	24.6	15.1	9.5	5.0
	高岡地域	158	35.4	13.9	21.5	43.0	21.5	15.2	6.3	13.9
	新川地域	112	38.4	8.9	29.5	34.8	26.8	19.6	7.1	11.6
	砺波地域	71	63.4	15.5	47.9	26.8	9.9	7.0	2.8	53.5

問 11 (1) あなたが、全国的にまたは国際的に誇れる「文化」、「文化活動」及び「文化財」とお考えのものはありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

「世界遺産「五箇山の合掌造り集落」などの歴史的な町並みや集落、建造物」が 7 割、「国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの寺社」、「世界文化遺産を目指す「立山・黒部」における砂防施設群及び発電施設群や、立山信仰に係る文化遺産」、「「おわら」、「むぎや」に代表される民謡や曳山などの民俗芸能や祭り行事」がそれぞれ 5 割、「高岡銅器・漆器、井波彫刻などの伝統工芸」が 4 割、「ますのすし、地酒、五箇山豆腐などの歴史・風土に培われ



た食文化」が3割、「全国シェアトップのアルミサッシや銅器の製造、高機能の産業用ロボットや癒し系ロボット「パロ」の開発など、富山県のものづくり文化」、「近代美術館や水墨美術館、立山博物館、高志の国文学館など特色ある美術館・博物館」がそれぞれ2割程度となった。

前回調査と比較すると「高岡銅器・漆器、井波彫刻などの伝統工芸」、「ますのすし、地酒、五箇山豆腐などの歴史・風土に培われた食文化」、「世界文化遺産を目指す近世高岡の文化遺産群」の3項目で前回調査より上昇した。年齢別でみると「国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの寺社」、「近代美術館や水墨美術館、立山博物館、高志の国文学館などの特色ある美術館、博物館等」では70歳以上が高く、「ますのすし、地酒、五箇山豆腐などの歴史・風土に培われた食文化」では20歳代が高くなった。

(%)

	回答者(人)	国宝瑞龍寺や勝興寺、瑞泉寺などの寺社	世界的な町並みや集落、建造物	砂防施設群及び発電施設群や、立山信仰に係る文化遺産	世界文化遺産を指す近世高岡の文化遺産群	山「おわら」などの民俗芸能や祭り行事	高岡銅器・漆器、井波彫刻などの伝統工芸	ますのすし、地酒、五箇山豆腐などの歴史・風土に培われた食文化	世界演劇祭「利賀サマーシーズン」の演劇の利	とやま世界こども舞台芸術祭、国際アマチュア演劇祭などの国際文化交流	国内外で活躍する芸術活動	舞踊、吹奏楽、演劇等、優秀な指導者のもと、国文学館などの特色ある美術館・博物館、高志の近代美術館や水墨美術館、立山博物館、高志の	「万葉集全20巻朗唱の会」などの歴史にゆかりのある文芸活動やイベント	「パロ」の開発など、富山県のものづくり文化	全国シェアトップのアルミサッシや銅器の製造、高機能の産業用ロボットや癒し系ロボット	わからない。特にな
全体	611	54.8	69.9	52.0	8.0	51.7	43.4	30.3	8.8	6.4	7.2	19.5	6.2	23.4	5.7	
性別	男性	151	48.3	64.2	50.3	7.3	49.7	37.7	30.5	6.6	6.6	7.9	4.0	16.6	7.9	
	女性	292	58.9	75.0	52.1	8.2	53.1	49.3	32.5	8.9	6.5	6.5	7.2	27.4	4.1	
年齢	20～29歳	46	45.7	76.1	45.7	-	41.3	37.0	47.8	-	2.2	4.3	2.2	13.0	6.5	
	30～39歳	74	50.0	74.3	43.2	6.8	54.1	52.7	37.8	5.4	4.1	4.1	2.7	14.9	2.7	
	40～49歳	113	48.7	74.3	54.0	8.8	48.7	33.6	32.7	8.0	3.5	3.5	3.5	19.5	8.0	
	50～59歳	116	58.6	78.4	57.8	7.8	55.2	54.3	37.1	12.1	9.5	6.0	19.0	7.8	26.7	1.7
	60～69歳	161	54.0	59.0	52.8	9.9	53.4	42.2	17.4	9.9	7.5	9.9	21.7	7.5	33.5	6.8
	70歳以上	99	67.7	65.7	52.5	9.1	51.5	39.4	26.3	11.1	7.1	11.1	28.3	9.1	19.2	8.1
職業	自営業・家族従事者	55	47.3	67.3	50.9	5.5	49.1	40.0	23.6	7.3	5.5	7.3	1.8	16.4	10.9	
	会社員、公務員等	322	52.5	69.9	50.9	7.8	50.3	42.5	32.3	8.4	5.6	5.9	6.5	24.8	5.6	
	無職	219	58.9	68.5	53.9	9.6	55.7	46.1	28.3	10.0	7.8	8.2	7.3	24.2	5.0	
居住地域	富山地域	229	49.3	70.7	55.0	4.4	51.1	39.3	34.5	9.2	5.2	5.2	1.7	21.8	6.1	
	高岡地域	182	65.9	66.5	44.5	13.2	46.7	46.2	22.0	6.0	5.5	7.7	12.1	22.5	8.2	
	新川地域	121	47.1	71.1	58.7	4.1	55.4	40.5	33.1	12.4	5.8	6.6	5.0	24.8	5.0	
	砺波地域	77	57.1	74.0	51.9	13.0	61.0	53.2	33.8	9.1	11.7	11.7	7.8	28.6	-	

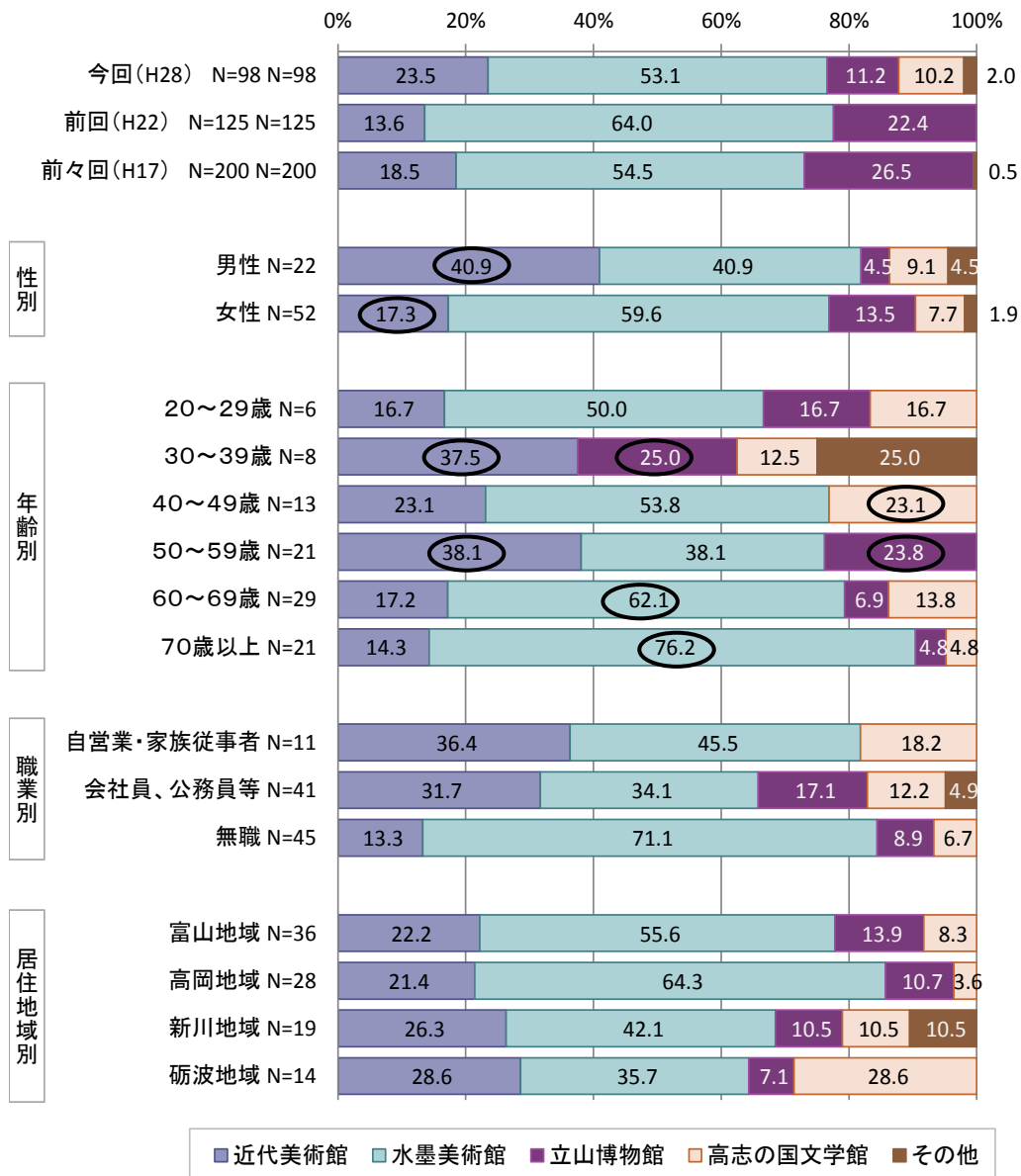
問11(2) 前問(1)で「11」を選ばれた方におたずねします。

あなたが、全国的にまたは国際的に誇れる「特色ある美術館・博物館等」とお考えのもの何ですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

水墨美術館が5割、近代美術館が2割、立山博物館、高志の国文学館がそれぞれ1割となった。

性別では、男性が「近代美術館」を40.9%の方が選んでいるのに対し、女性は17.3%に過ぎず、大きな開きがある。

年齢別では、30歳代と50歳代で「近代美術館」がもっとも多い。「水墨美術館」は60歳代、70歳以上で過半数となった。「立山博物館」は30歳代、50歳代でそれぞれ25.0%、23.8%となり、「高志の国文学館」は40歳代で23.1%と他の年代と比較すると多い。



※高志の国文学館は今回調査より選択肢に追加

問11 (3) 前問(1)の「文化」、「文化活動」及び「文化財」以外で、あなたの身近にある、あまり知られていない富山県の宝ともいふべき「文化」、「文化活動」及び「文化財」があれば、教えてください。

挙げられたものを分類してみると、祭礼や史跡に関係するものが多く挙げられている。

<祭礼等>

祭り、獅子舞、曳山、万灯等、多様な東西文化の祭りが混在しているのは富山県の誇りだと思います。観光には活かせないと思うが、人文学的視点で価値を高めて欲しいです
代表的な高岡御車山祭りなど県内各地に曳山祭りがあるが、県の広報等で各地の祭りの日時、特徴等を宣伝して見物等計画を立てられるようになればいい
新湊曳山祭。県内に曳山祭は数多くあるが、優雅さと勇壮さを兼ね備えていて、海外の人にもアプローチできる
射水市の山車
獅子舞
小矢部の獅子舞
曳山などの祭り
地域に伝わる獅子舞など
伏木の曳山
獅子舞、曳山等の祭礼行事
呉西地区で盛んな春と秋の祭り
セリ込蝶元
たてもん祭り

<史跡等>

大岩山日石寺
俱利伽羅合戦ゆかりの史跡、俱利伽羅古戦場、埴生護国八幡宮など
内山邸、五百羅漢
高岡大仏、国泰寺、瑞龍寺
寺社
弓の清水
高岡大仏
護国八幡宮
射水市新湊地区の内川と周辺の建物群
砺波散居村風景

<自然・食等>

雨晴海岸、松太枝浜海水浴場、松太枝浜キャンプ場（海魚、砂浜、松林、海岸植物、スポーツ、サーフィン、カヌー、ボート）
松川の桜 磯部～牛島まで
富山湾、自然そのものが宝です
ホタルイカ、水がおいしい（無料の水飲み場でもあればよい）
白エビ
食文化。県外の友人が来たら、ひとまずごはん、酒をすすめがち

<文化施設等>

下山芸術の森発電所美術館
埋没林博物館
県の施設ではないですが、富山市のオーバードホールはホールとして大変良いものであり、たくさんの良質の公演が行われており、県外からのお客様も多いと聞きます。文化を核にした観光資源となるなどと思います

<文化活動>

スキヤキミーツザワールド
桐朋学園大学が最先端の音楽シーンを積極的に扱っているようです。こちらともっとアピールしてみたいかがでしょうか

<産業施設等>

関西電力の黒四ダム（アーチ式）と北陸電力の有峰ダム（重力式）をセットでPRできないか。
庄川の発電所、ダム

<その他>

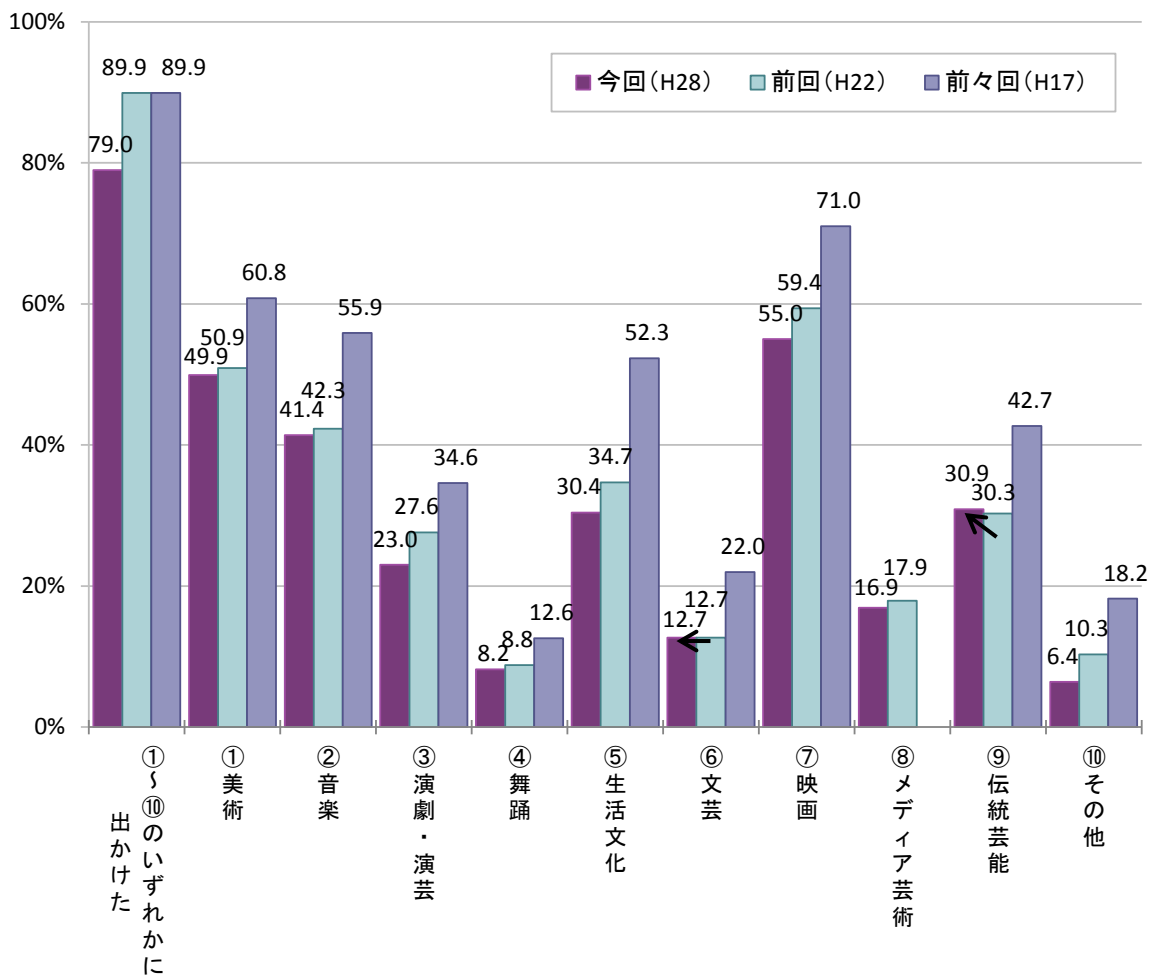
立山黒部アルペンルート
チューリップ公園（砺波市）
ガラス（皿など）。今は食器にすごい関心が高まっている
教育水準の高さ
人材・才能・努力面
立山信仰、富山では普通とされるしきたりや習慣
立山と環水公園の環境文化

文化活動の状況

問1 この1年間に、公演や展覧会などで鑑賞した文化は、どの分野ですか。また何回出かけましたか。分野ごとに1つ選んで○をつけてください。

文化に関する催しに出かけた状況は、この1年間に少なくともいずれかひとつに「出かけたことがある」と回答した方の割合は前回調査の9割を下回ったものの、ほぼ8割を占める。

分野ごとに前回調査と比較すると、「出かけたことがある」と回答した方の割合は、「伝統芸能」では上昇し、「文芸」では同じとなったが、他の分野では低下している。



《各分野の鑑賞した状況》

平成21年に実施された全国調査では「いずれかを鑑賞したことがある」と回答した方の割合は62.8%であり、今回調査も前回調査と同じく、全国調査より高い値となった。中でも、「映画」が55.0%、「美術」が49.9%、「音楽」が41.4%と選択率が高く、これら3分野はいずれも4割を超えた。「年4～6回程度」出かけたことがあると回答した方の割合をみると、「映画」は10.3%と唯一1割を超えている。

回答方式が異なることを前提として、今回調査の「出かけたことがある」と全国調査の「鑑賞した」の割合を比較すると、「メディア芸術」、「伝統芸能」、「美術」、「舞踊」で、特に全国調査より高い値となった。

		(%)							(%)				
		回答者 (人)	出かけていない	出かけたことがある	年1～3回	年4～6回程度	月1～3回	月4～6回程度	それ以上	全国(H21)			
											鑑賞した		
(1)～(10)のいずれかに出かけた状況	今回	575	21.0	79.0								いずれかを鑑賞したことがある	62.8
	前回	—	10.2	89.9									
(1)美術		547	50.1	49.9	40.0	7.3	1.8	0.4	0.4	美術	24.2		
(2)音楽		541	58.6	41.4	33.6	6.1	0.9	0.2	0.6	音楽	24.2		
(3)演劇・演芸		522	77.0	23.0	20.1	2.3	0.4	0.2	-	演劇 芸能	10.5 4.5		
(4)舞踊		514	91.8	8.2	7.2	0.8	0.2	-	-	舞踊	4.3		
(5)生活文化		519	69.6	30.4	22.2	4.2	2.1	0.6	1.3				
(6)文芸		503	87.3	12.7	8.3	2.6	0.8	0.2	0.8				
(7)映画(アニメーション除く)		545	45.0	55.0	40.4	10.3	3.1	0.7	0.6	映画 (アニメーションを除く)	37.2		
(8)メディア芸術 (アニメーション含む)		508	83.1	16.9	12.0	2.0	1.4	-	1.6	メディア芸術 (映画を除く)	2.2		
(9)伝統芸能		517	69.1	30.9	25.3	4.6	0.6	0.2	0.2	伝統芸能	5.3		
(10)その他		204	93.6	6.4	4.9	1.5	-	-	-	その他	0.2		

※全国調査(H21)は直接鑑賞した文化芸術を複数回答したものの。

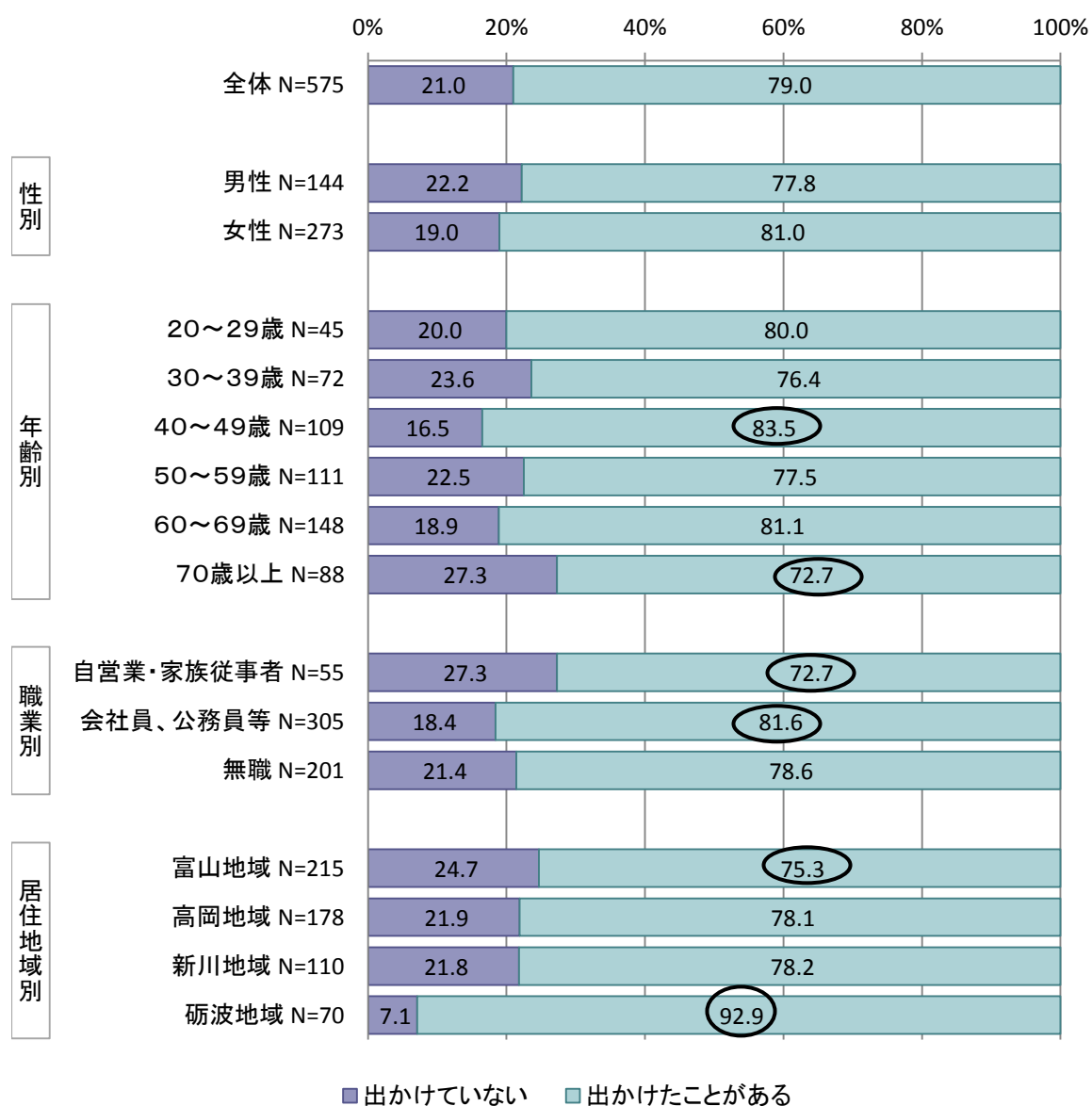
今回調査とは回答方法、選択肢が異なるため、あくまでも参考値である。

性別では、「出かけたことがある」と回答したのは、男女で大きな差はない。

年齢別では、「出かけたことがある」と回答したのは、40歳代で83.5%と最も高く、70歳以上で72.7%と最も低い。

職業別では、「出かけたことがある」と回答したのは、会社員、公務員等が81.6%と最も高く、自営業・家族従事者が72.7%と最も低い。

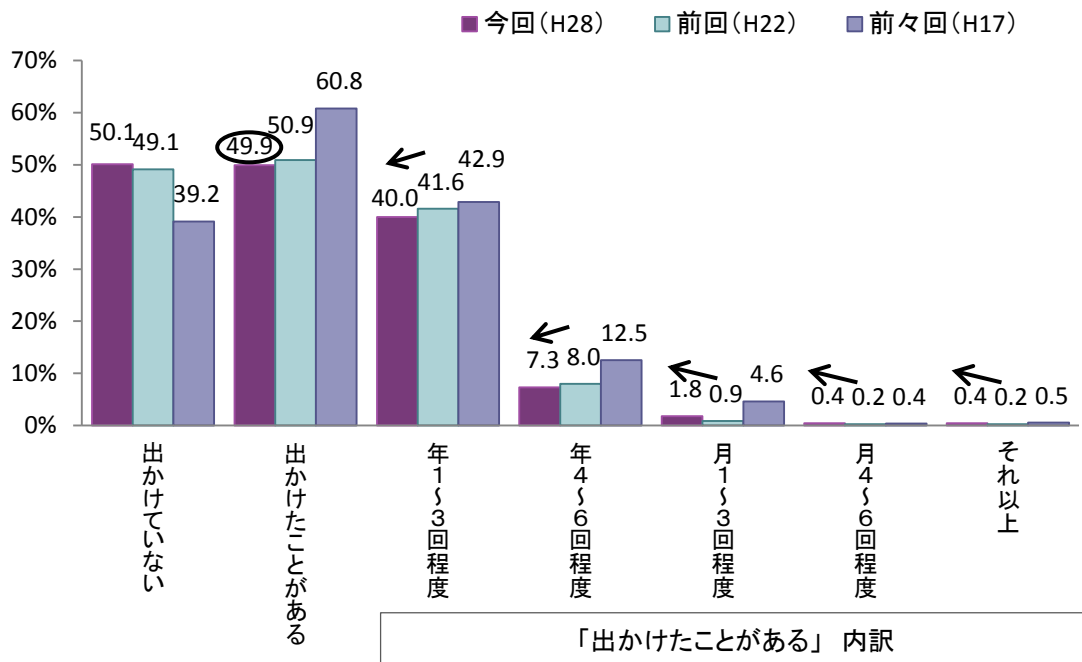
居住地域別では、「出かけたことがある」と回答したのは、砺波地域で92.9%と最も高く、富山地域が75.3%と最も低い。



《美術》

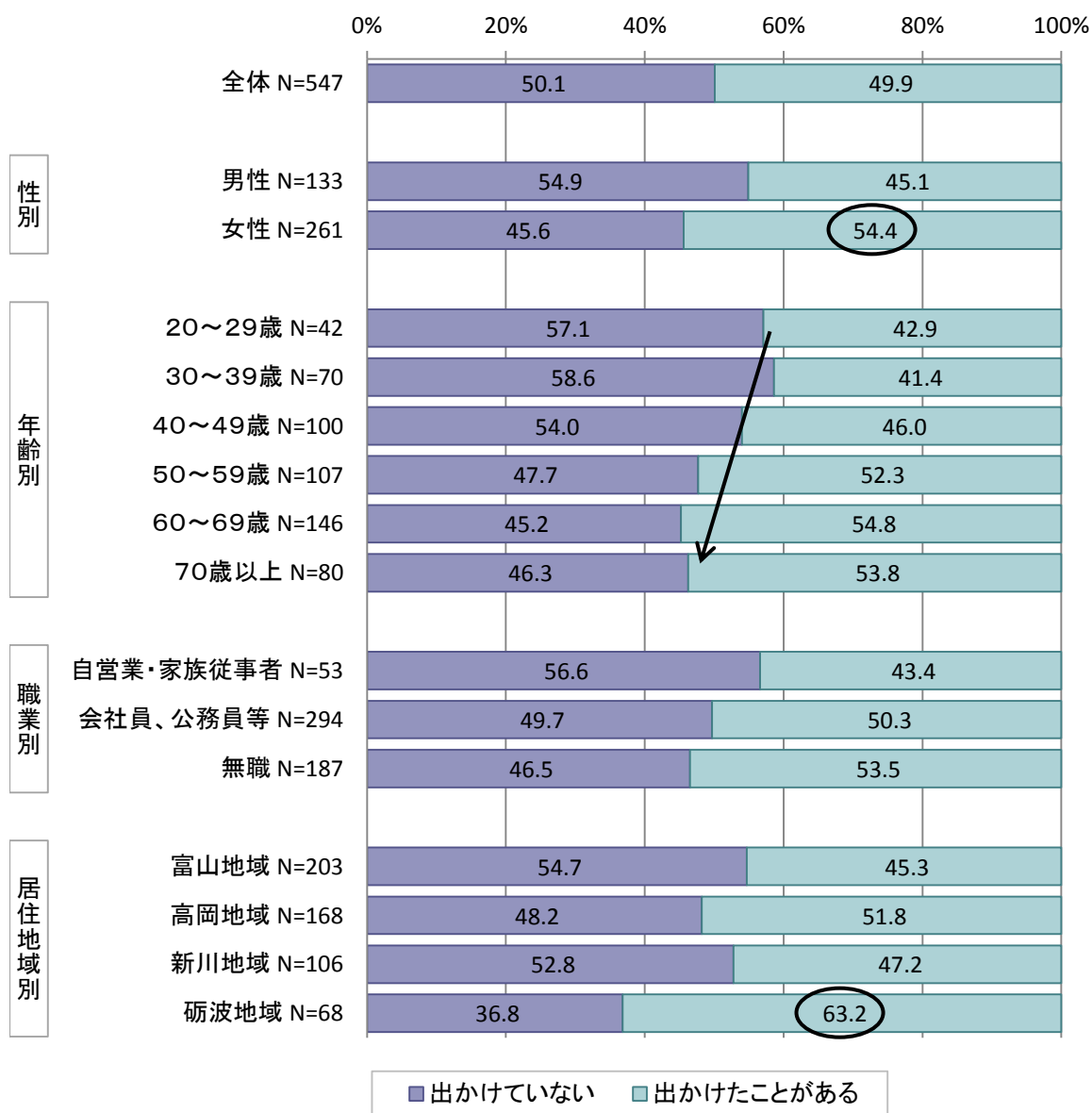
この1年間、「美術」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、49.9%で前回調査とほぼ同じであった。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「月1～3回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」は前回調査を下回った。



《美 術》

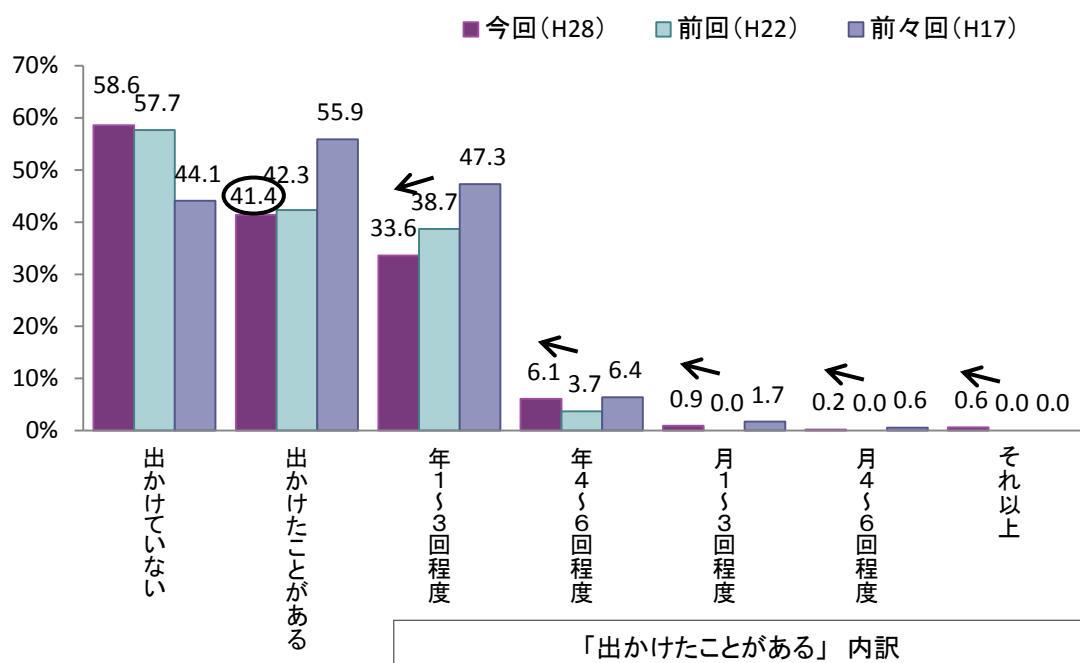
性別では、「出かけたことがある」の選択率が、女性の方が男性より9.3ポイント多い。
 年齢別では、50歳未満では「出かけていない」の選択率が高いが、50歳を境に、50歳代以上では「出かけたことがある」の選択率が高くなっている。居住地別では、砺波地域で「出かけたことがある」の選択率が高い。



《音 楽》

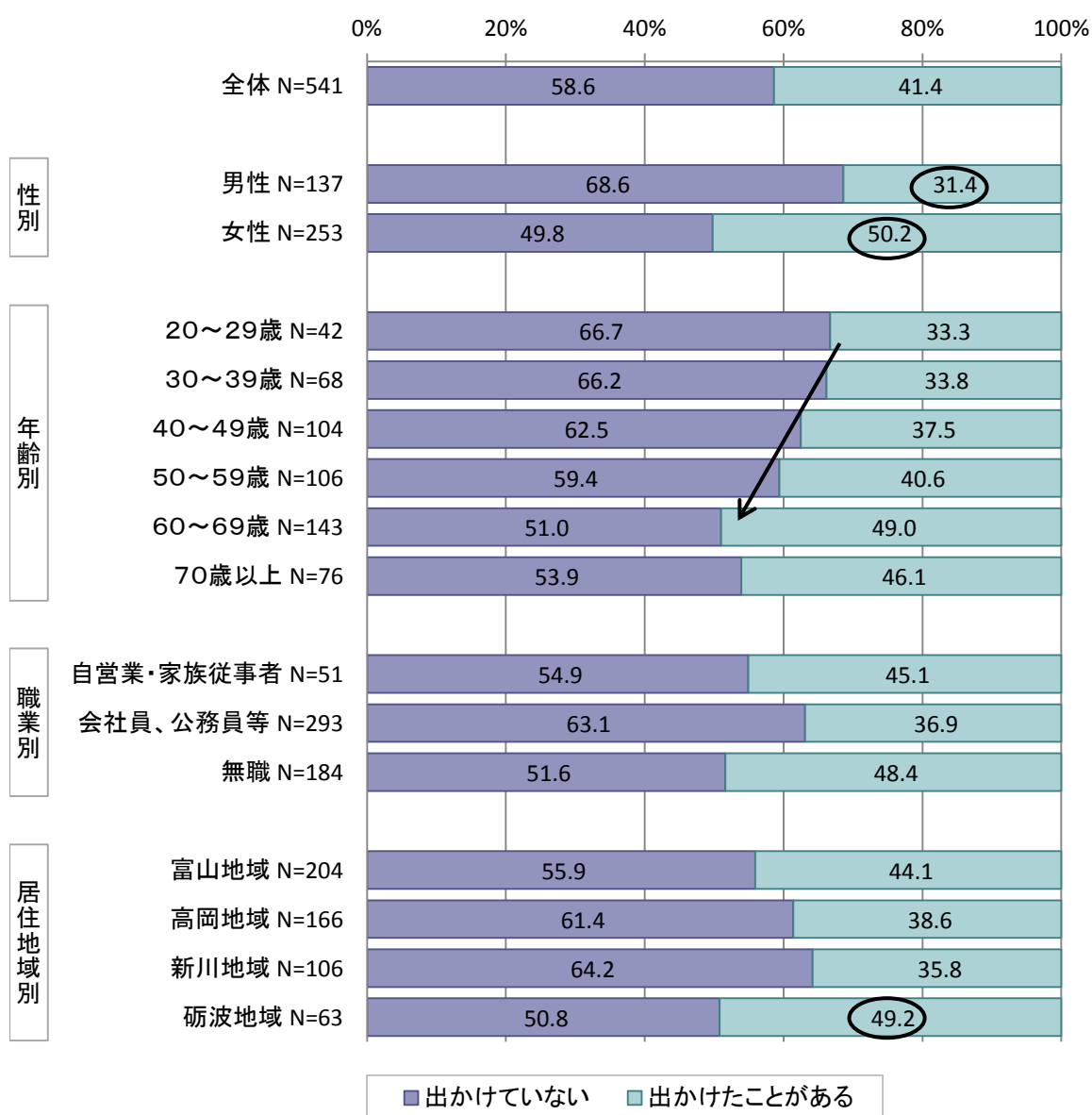
この1年間、「音楽」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、41.4%で前回調査とほぼ同じであった。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「年4～6回程度」、「月1～3回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」は前回調査を下回った。



《音 楽》

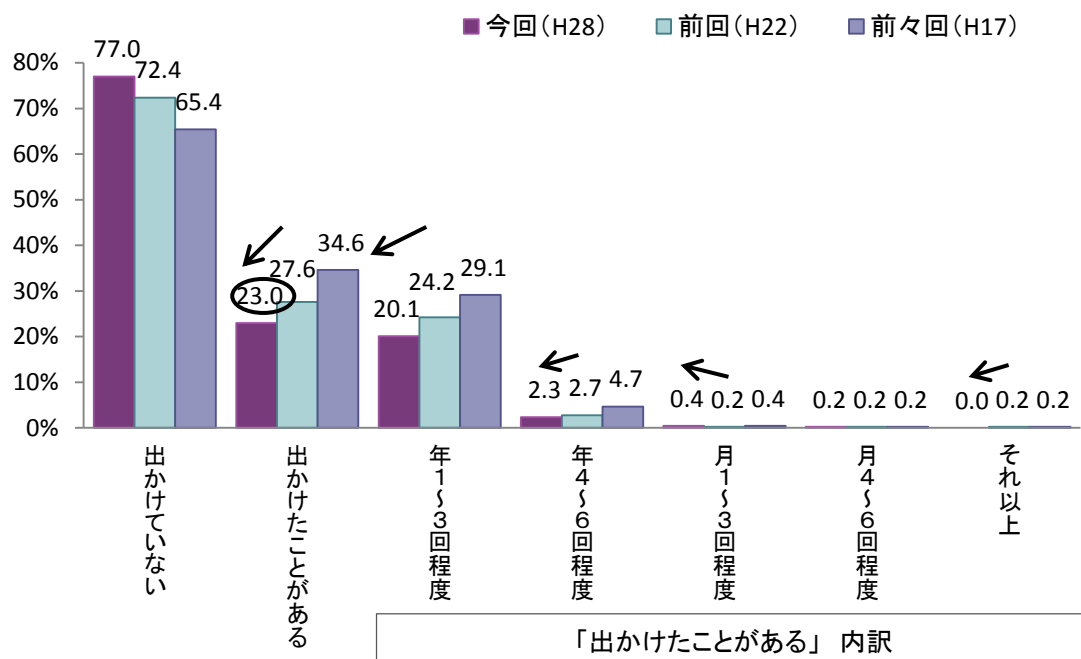
男性で約3割、女性で約5割と男女の選択率の差が最も大きい分野となった。年齢別では「出かけたことがある」の選択率は20歳代から60歳代にかけ上昇し、60歳代で約5割と最も高い年代となった。居住地別では砺波地域で約5割の方が「出かけたことがある」となった。



《演劇・演芸》

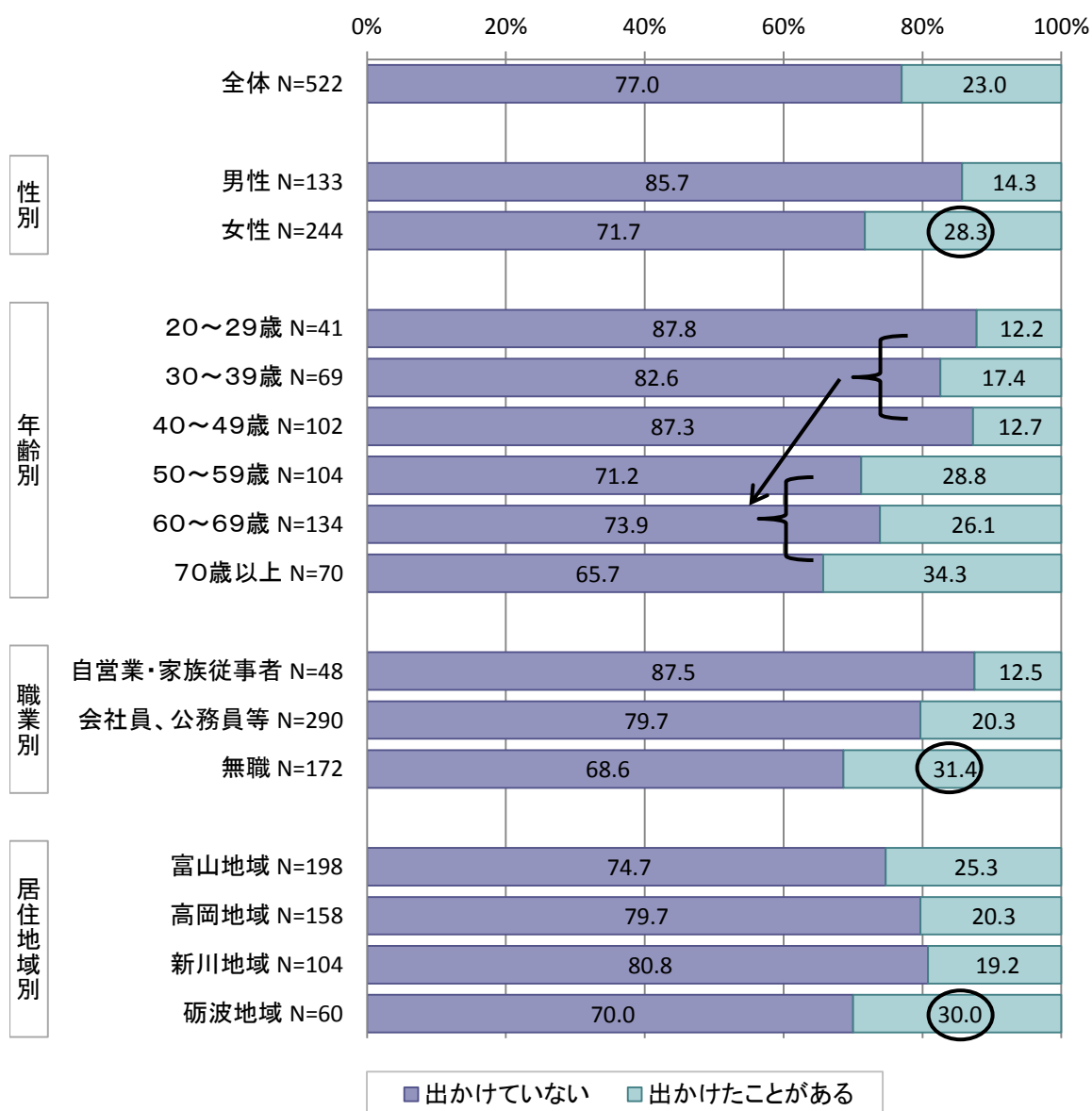
この1年間、「演劇・演芸」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、23.0%で前回調査と比較するとやや低下した。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「月1～3回」は前回調査を上回り、「月4～6回程度」は前回調査と同率となり、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を下回った。



《演劇・演芸》

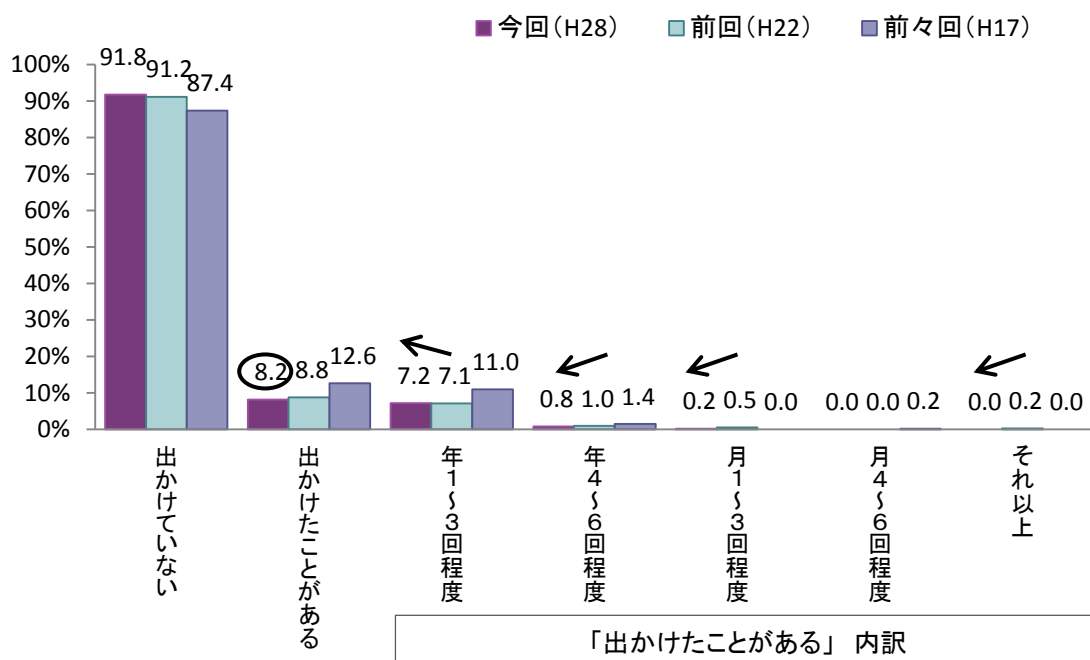
性別では、女性（28.3%）が、男性（14.3%）の2倍程度「出かけたことがある」となった。年齢別にみると、50歳を境に状況が変わっている。「出かけたことがある」と回答した方の割合は、50歳未満では約12～18%前後であるが、50歳以上では約26～34%前後となった。職業別では無職が31.4%、居住地別では砺波地域が30.0%と、それぞれの区分で最も高くなった。



《舞 踊》

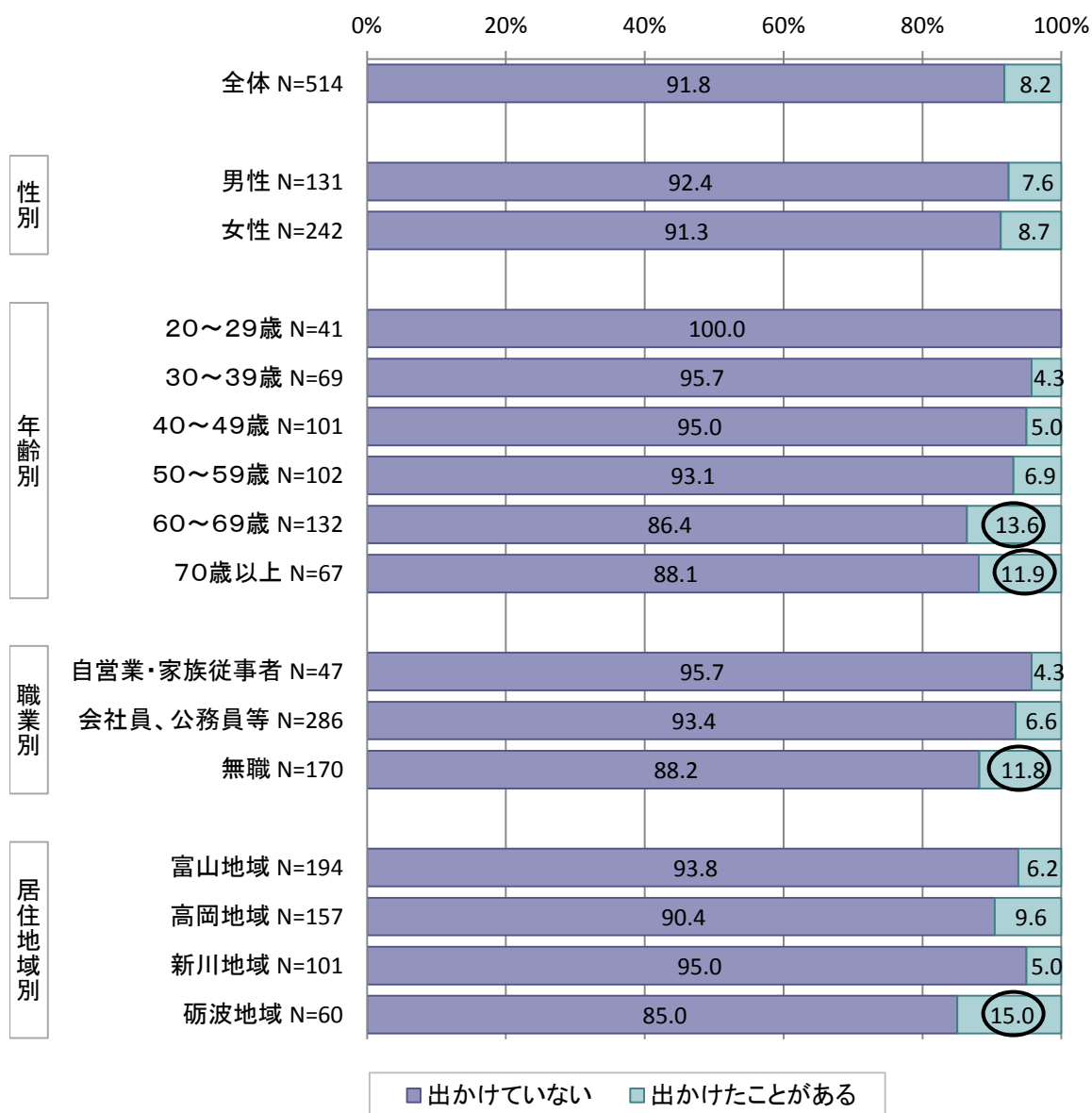
この1年間、「舞踊」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、8.2%で前回調査とほぼ同じであった。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「年1～3回程度」は前回調査を上回り、「年4～6回程度」、「月1～3回程度」、「それ以上」は前回調査を下回った。



《舞 踊》

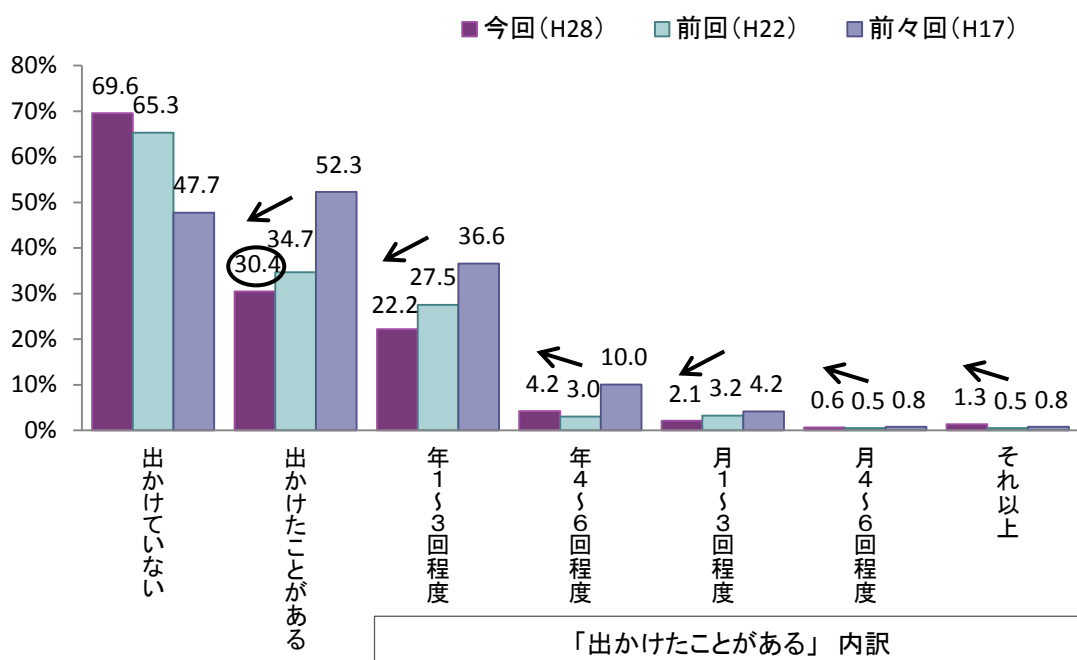
属性で見ると「出かけたことがある」の選択率が1割を超えたのは、年齢別では60歳代、70歳以上、職業別では無職、居住地域別では砺波地域となった。



《生活文化》

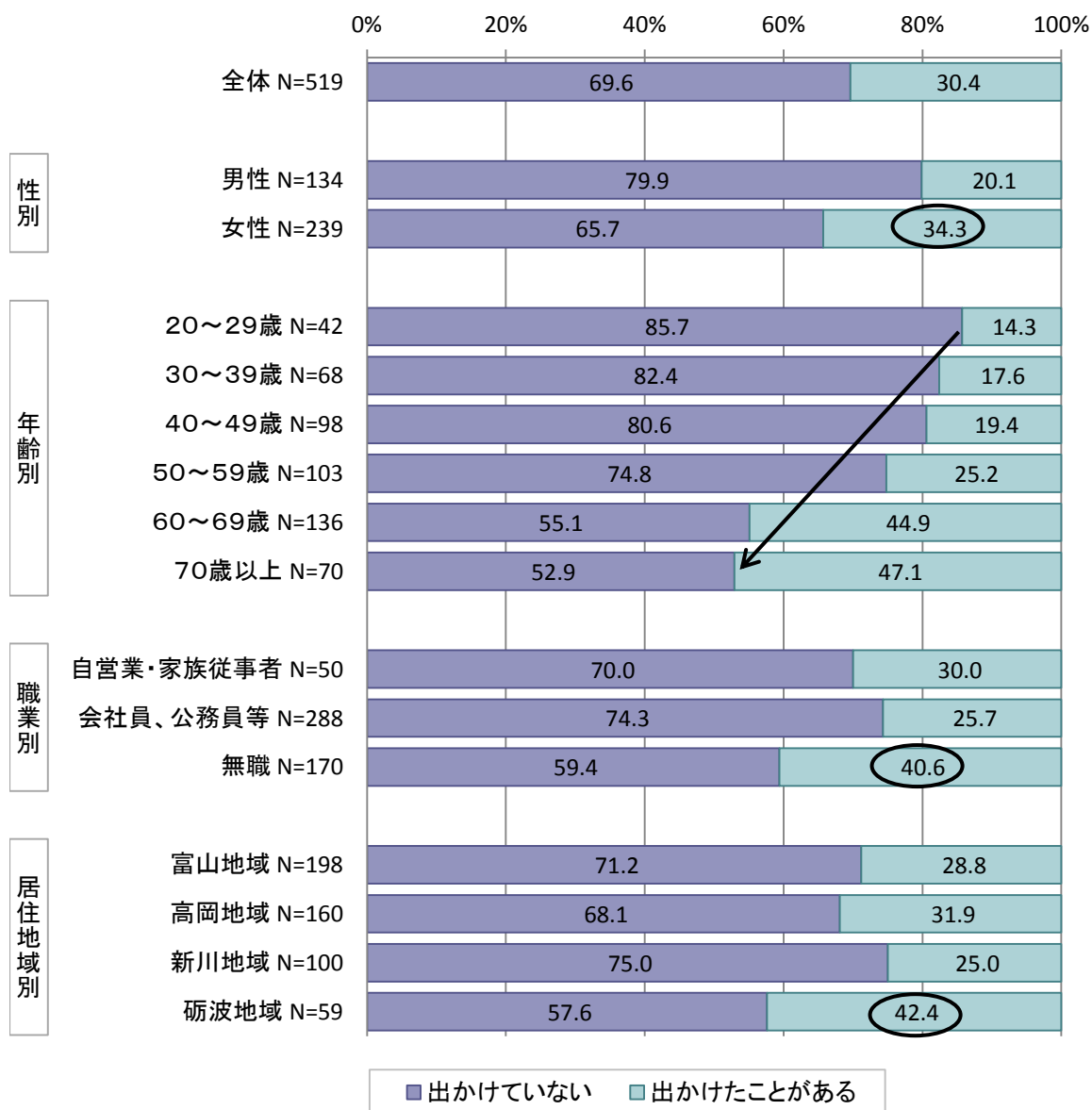
この1年間、「生活文化」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、30.4%で前回調査と比較するとやや低下した。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「年4～6回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「月1～3回程度」は前回調査を下回った。



《生活文化》

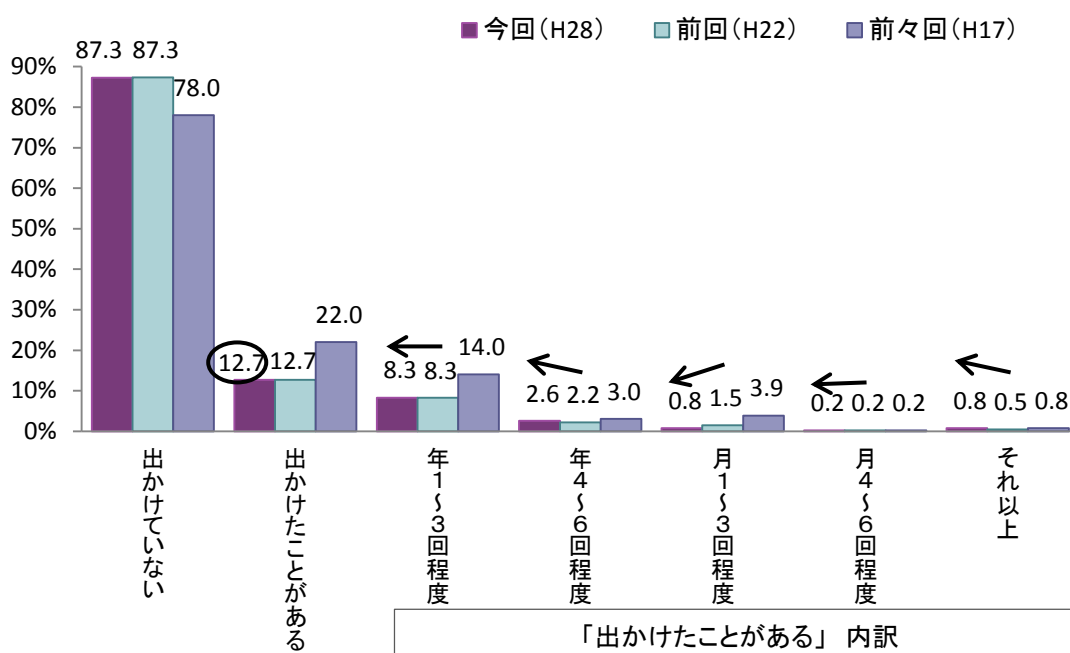
「出かけたことがある」の選択率は、性別では、女性が34.3%に対し男性は20.1%と大きな差がある。年齢別では、年齢層が上がるにつれて選択率が高くなり、70歳以上で47.1%と最も高くなった。また、職業別では無職が40.6%、居住地別では砺波地域が42.4%とそれぞれの区分で最も高くなった。



《文 芸》

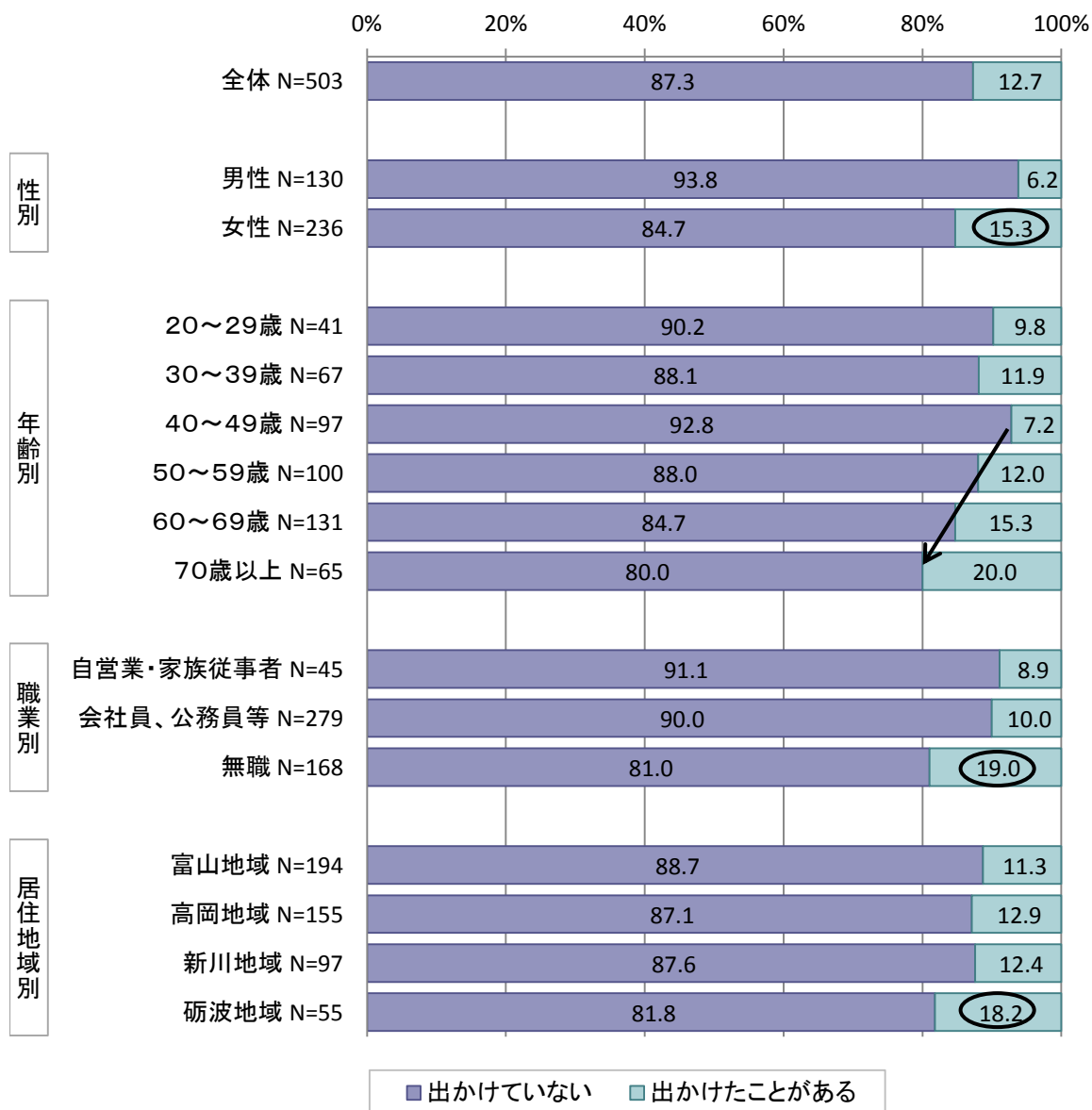
この1年間、「文芸」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、12.7%で前回調査と同率となった。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「年4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「月4～6回程度」は前回調査と同率となり、「月1～3回程度」は前回調査を下回った。



《文 芸》

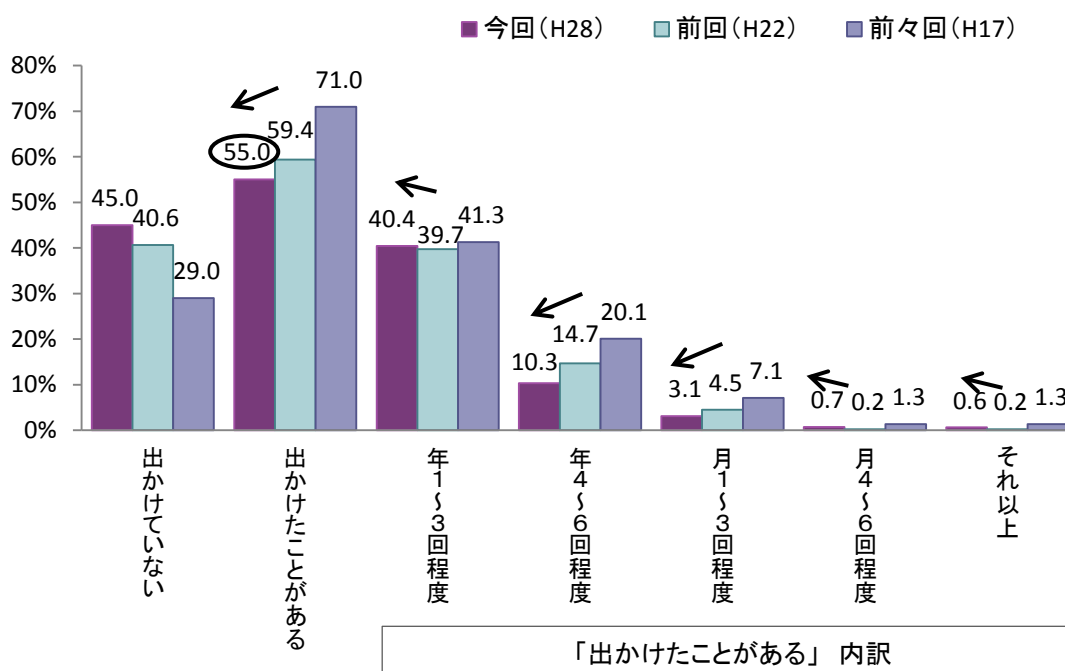
「出かけたことがある」の選択率を詳しくみると、性別では、女性が15.3%と男性の6.2%と比べて大きな差がある。年齢別では、40歳代が7.2%と最も低いが、それ以降上昇している。職業別では無職が19.0%、居住地別では砺波地域が18.2%とそれぞれの区分で最も高くなった。



《映画》

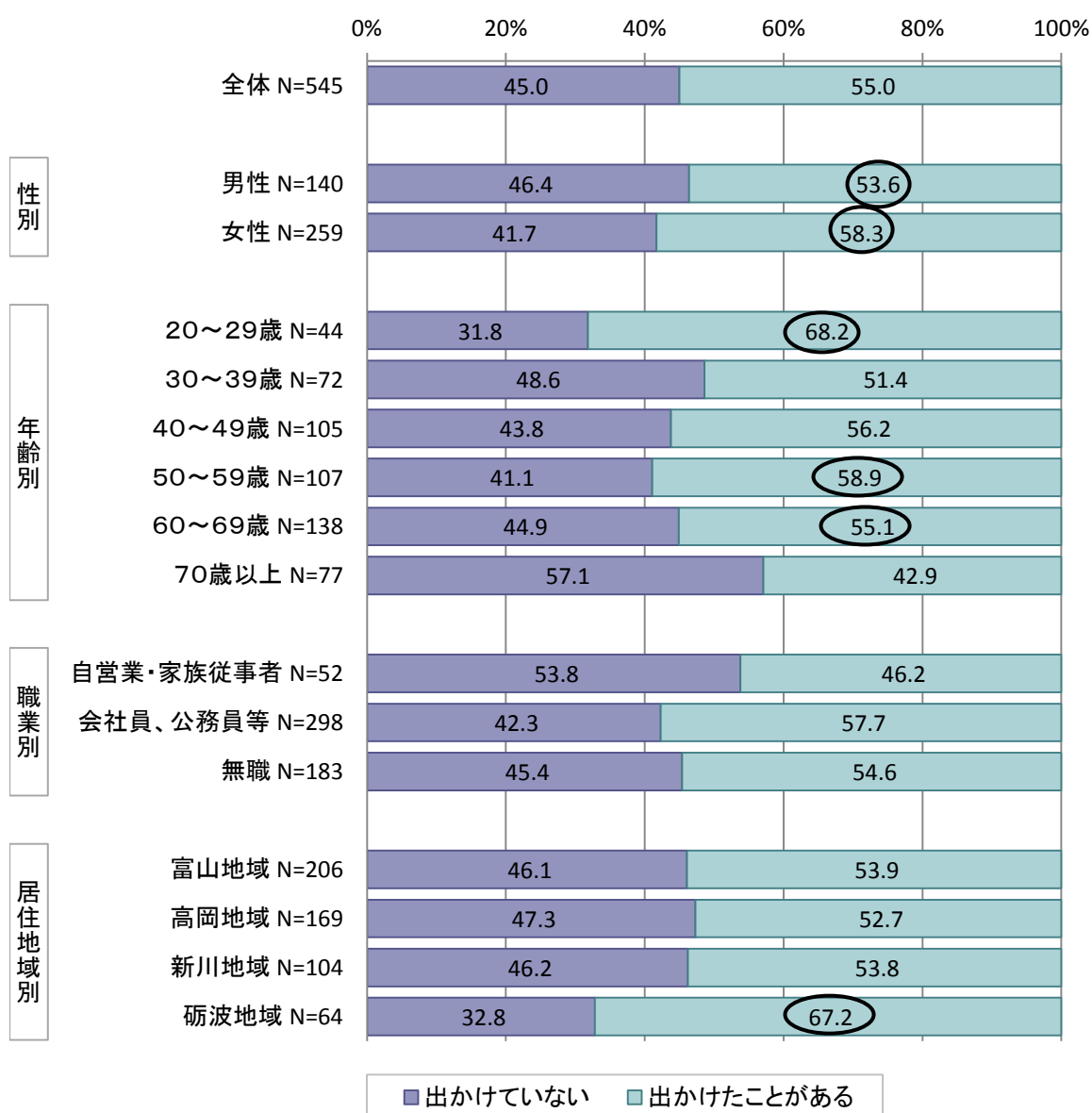
この1年間、「映画」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、55.0%で前回調査と比較するとやや低下した。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「年1～3回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年4～6回程度」、「月1～3回程度」は前回調査を下回った。



《映 画》

今回調査の中で唯一、「出かけたことがある」の選択率が男女とも50%を超えた分野である。性別でみたときに「出かけたことがある」の選択率の差が比較的少ない(4.7ポイント)分野でもある。年齢別でみると「出かけたことがある」の選択率は20歳代が68.2%で最も高く、次いで50歳代、60歳代が58.9%、55.1%となっている。居住地域別では砺波地域が67.2%と最も高くなった。

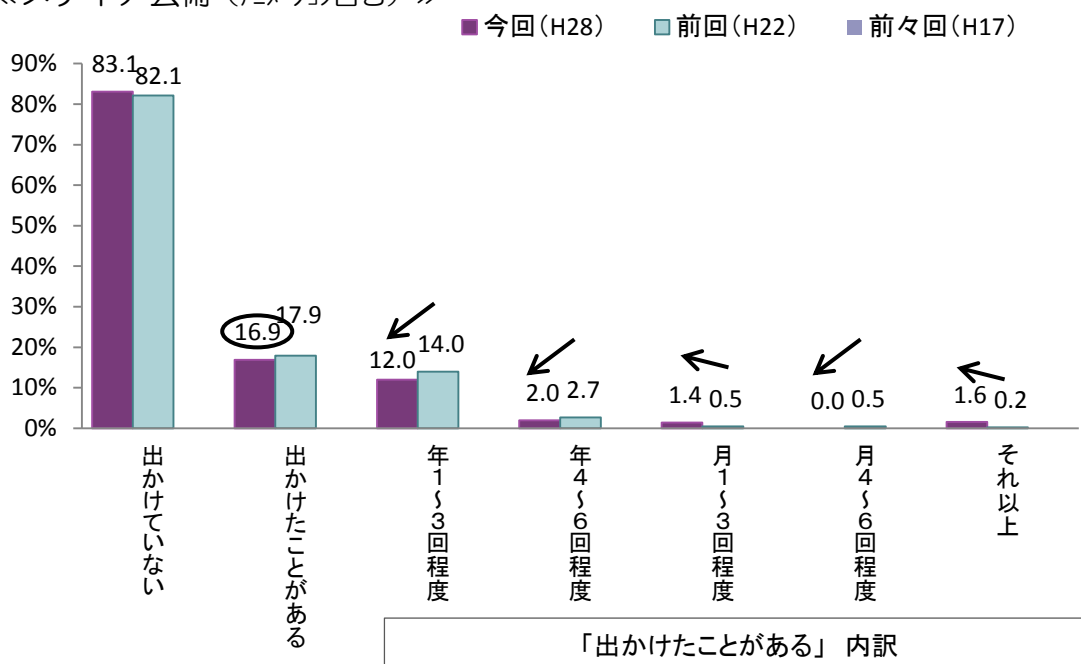


《メディア芸術》

この1年間、「メディア芸術」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、16.9%で前回調査とほぼ同じであった。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「月1～3回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」、「月4～6回程度」は前回調査を下回った。

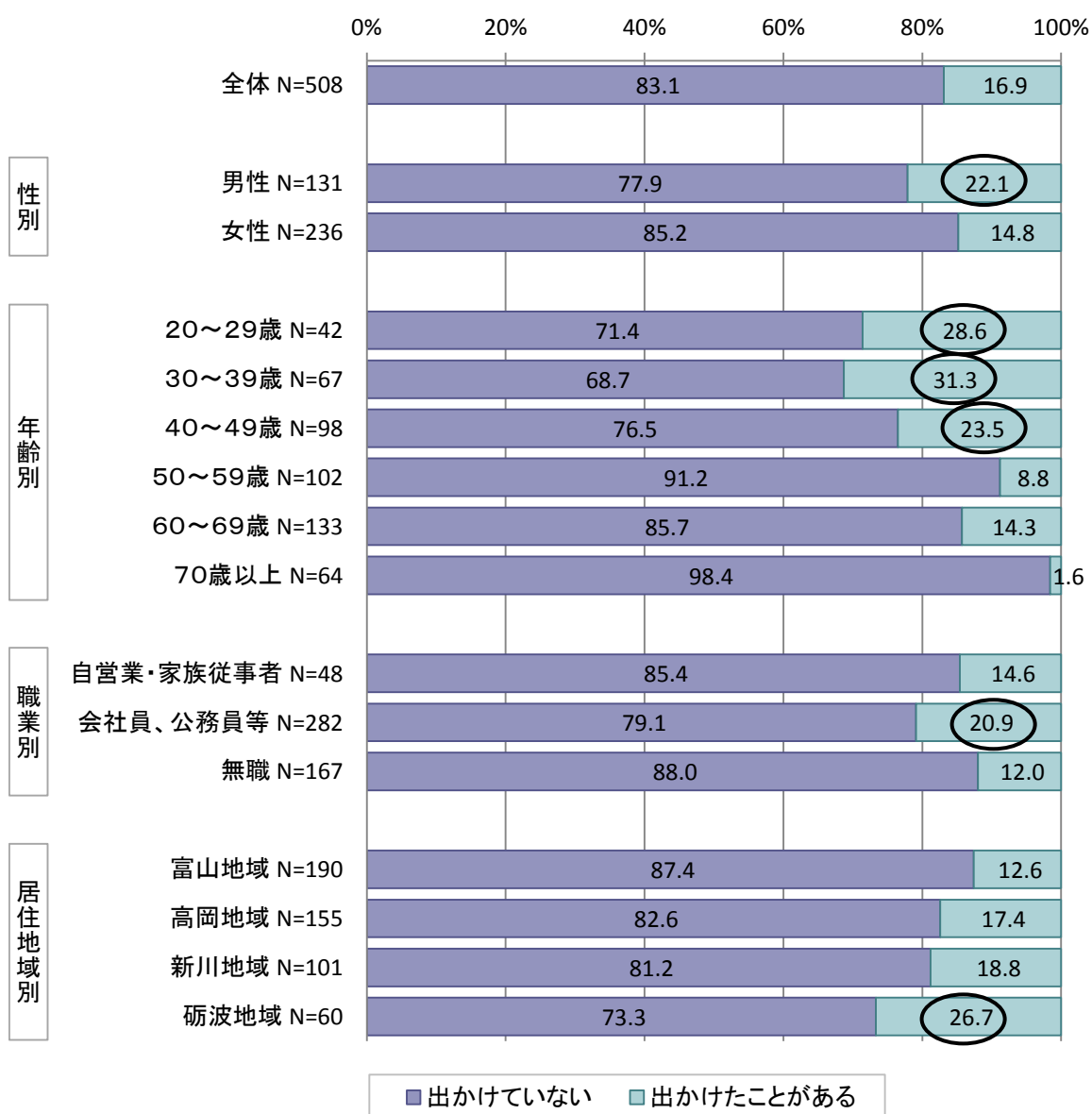
《メディア芸術（アニメーション含む）》



《メディア芸術》

性別では、「出かけたことがある」の選択率は、女性 14.8%に対し、男性は 22.1%と高い。今回調査した 9つの文化の分野（「その他」を除く）のうち、「出かけたことがある」と回答した方の割合が女性より男性の方が高いのは 2 分野となっており、この分野はそのうちの 1 つである（もう一つは「伝統芸能」）。

また、年齢別では 20 歳代が 28.6%、30 歳代が 31.3%、40 歳代が 23.5%と 50 歳代以上の年代と比較すると高い。職業別では会社員、公務員等が 20.9%と高く、居住地別では、砺波地域が 26.7%と最も高くなった。

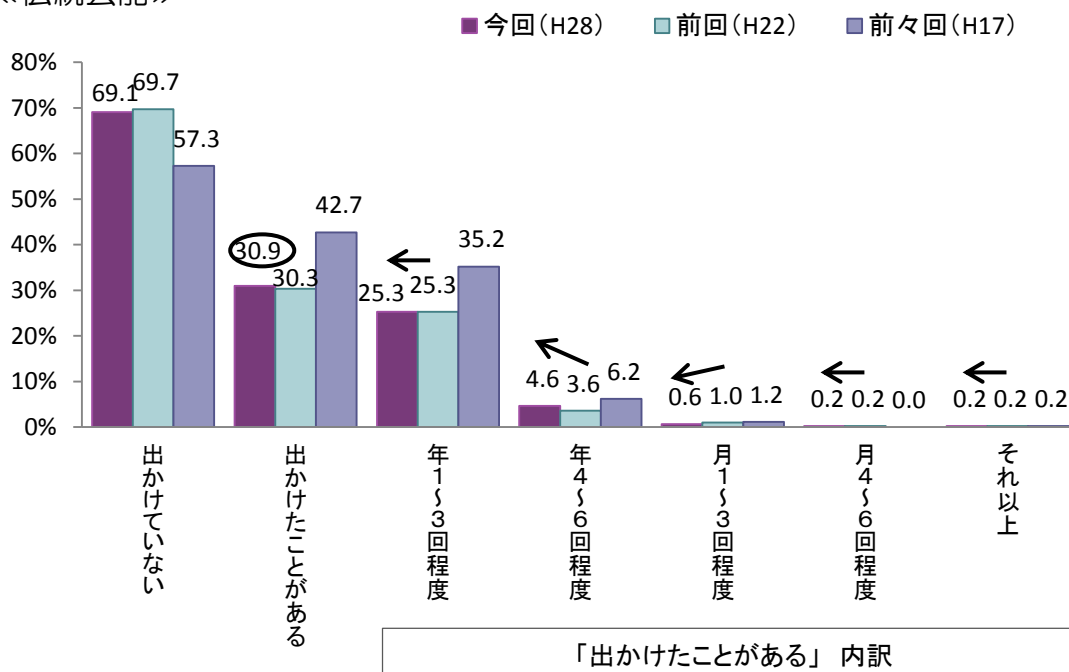


《伝統芸能》

この1年間、「伝統芸能」を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、約30.9%で前回調査とほぼ同じであった。

「出かけたことがある」の内訳をみると、「年4～6回程度」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査と同率となり、「月1～3回程度」は前回調査を下回った。

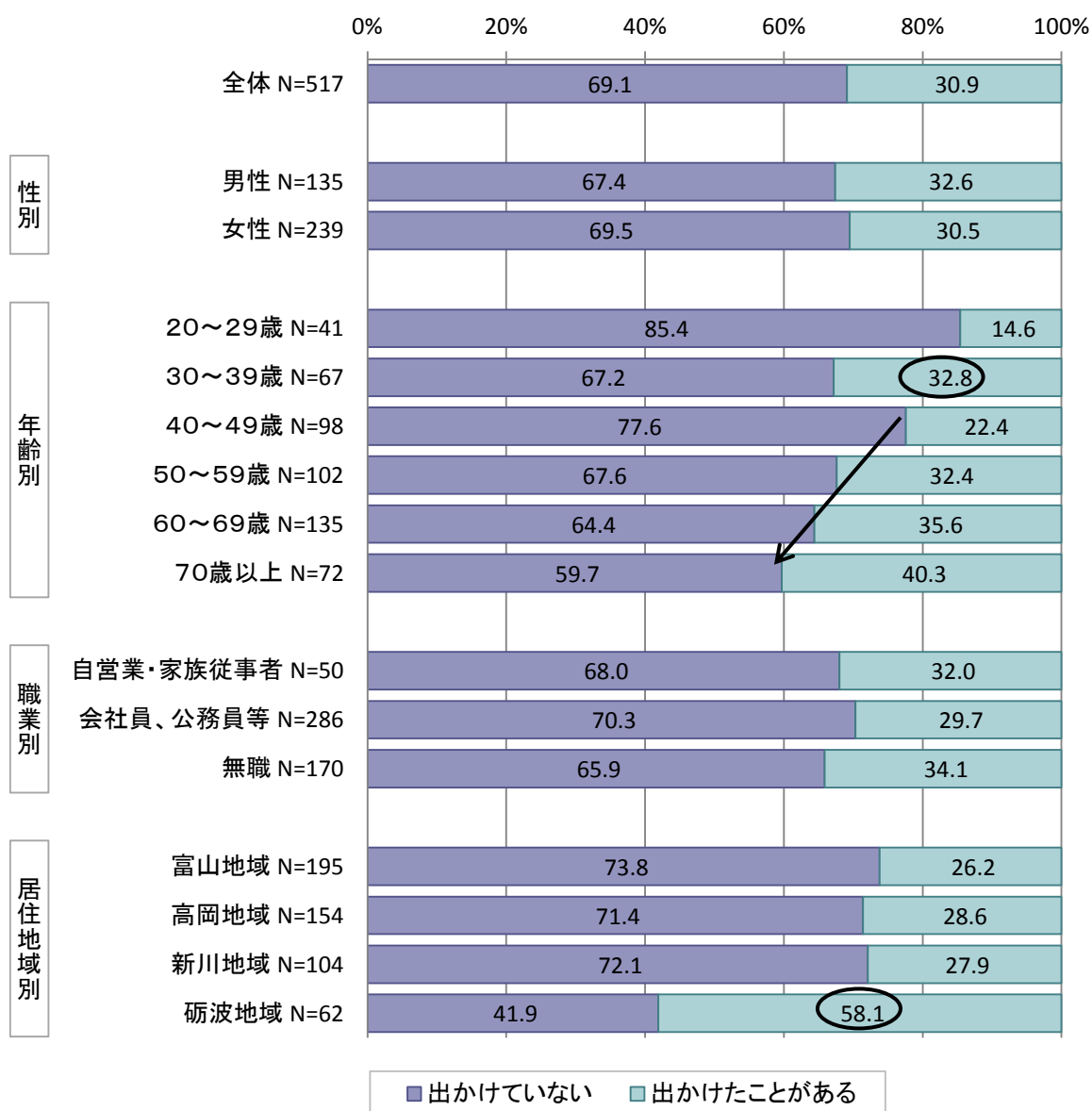
《伝統芸能》



《伝統芸能》

性別では、「出かけたことがある」の選択率は、男性（32.6%）が女性（30.5%）を上回った。今回調査した9つの文化の分野（「その他」を除く）のうち、「出かけたことがある」と回答した方の割合が女性より男性の方が高いのは2分野となっており、この分野はそのうちの1つである（もう一つは「メディア芸術」）。

年齢別では、30歳代が32.8%、50歳代が32.4%、60歳代が35.6%、70歳以上が40.3%と高くなっている。また、居住地域別では砺波地域が58.1%と最も高くなった。

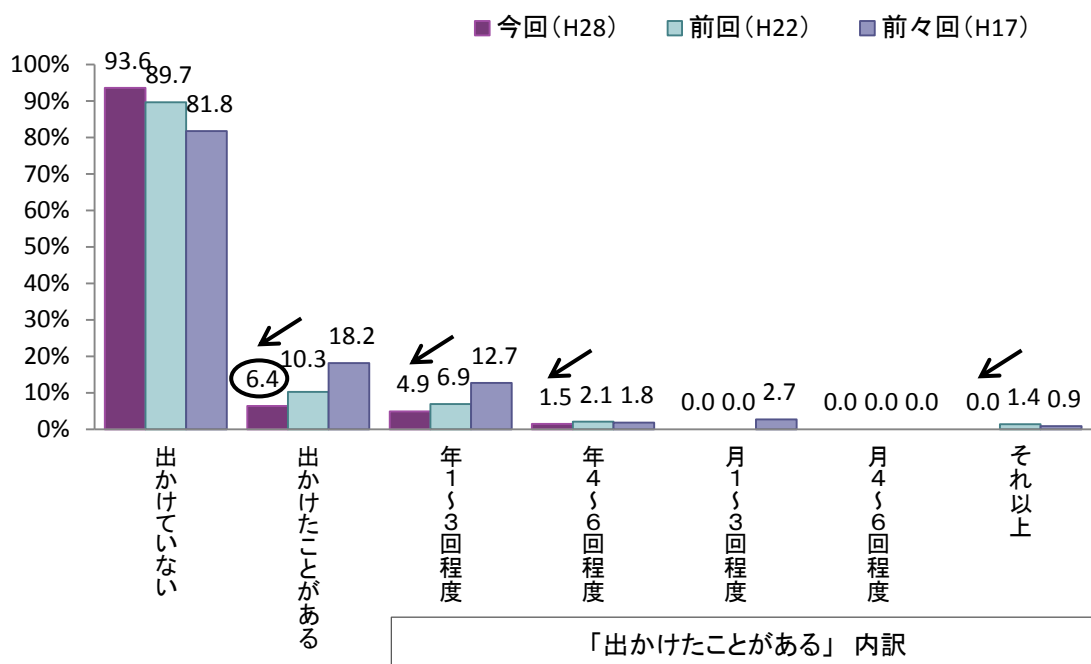


《その他》

この1年間、「その他」の分野の文化を鑑賞しに「出かけたことがある」と回答した方の割合は、6.4%で前回調査と比較するとやや低下した。

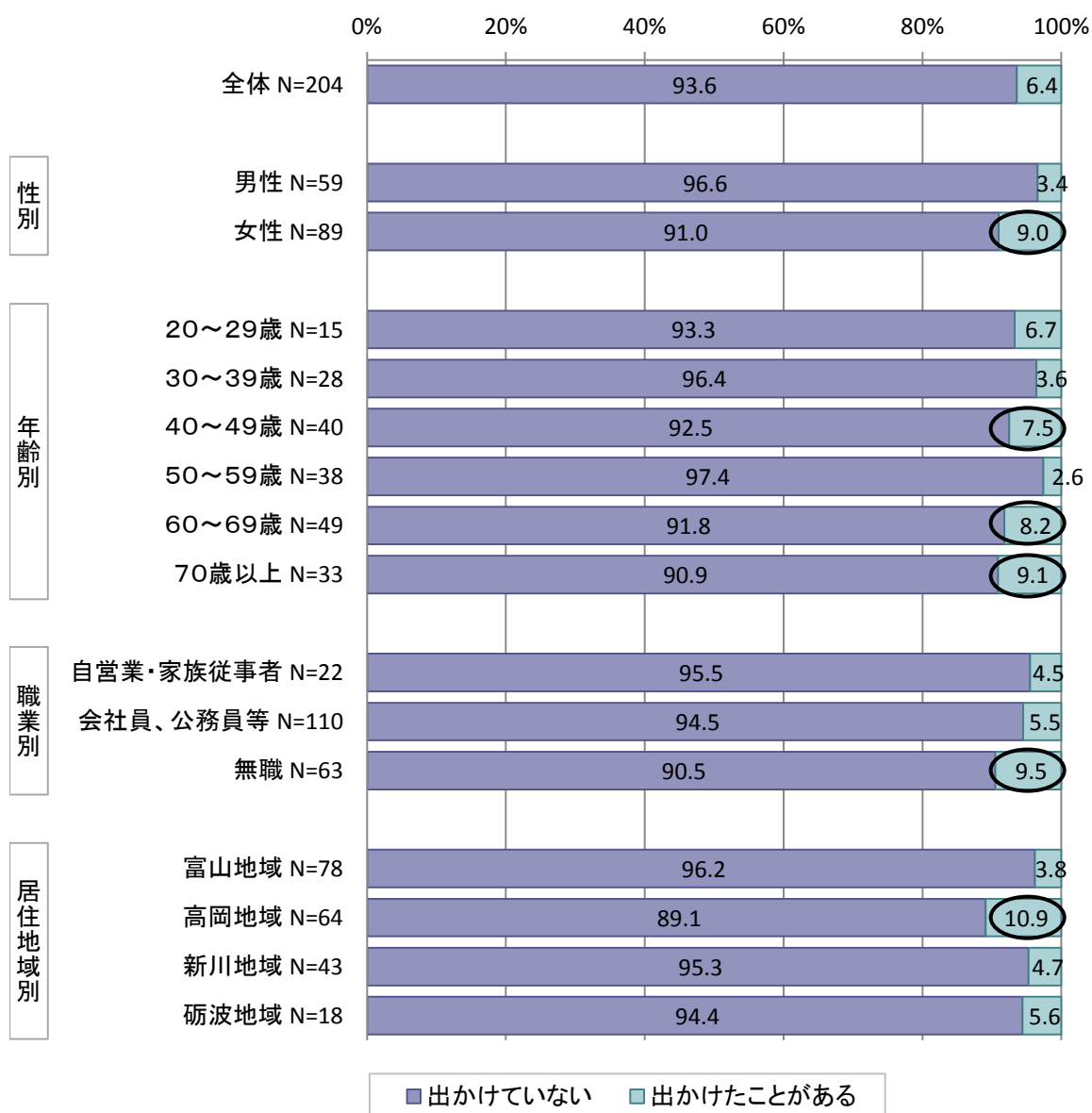
「出かけたことがある」の内訳をみると、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を下回った。

具体的な「その他」の分野として、「文化講座」や「学術講演会」との回答があった。



《その他》

性別では、「出かけたことがある」の選択率は、女性（9.0%）が男性（3.4%）を上回った。年齢別では、40歳代が7.5%、60歳代が8.2%、71歳以上が9.1%と高くなっている。職業別では、無職が9.5%と高く、居住地別では高岡地域が10.9%と最も高くなった。



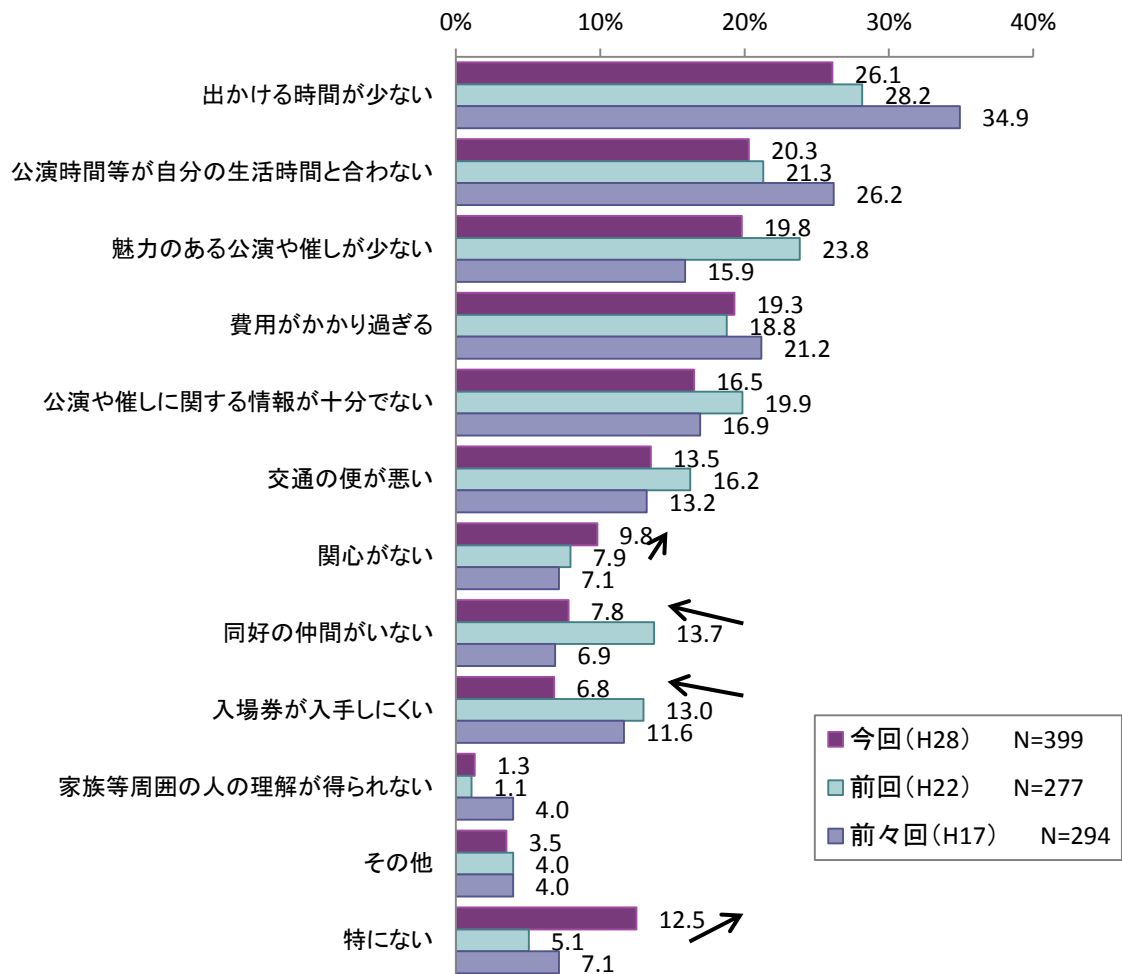
問2 公演や展覧会など文化の鑑賞に出かけるうえで、支障となっていることは何ですか。また、出かけていない分野がある方はその理由は何ですか。それぞれ2つまで選んで○をつけてください。

《出かけるうえで支障となっていること》

公演や展覧会など文化の鑑賞に1度でも出かけた方に対して、出かけるうえで支障となっていることを聞いたところ、全体では「出かける時間が少ない」(26.1%)、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」(20.3%)、「魅力ある公演や催しが少ない」(19.8%)、「費用が掛かり過ぎる」(19.3%)、「公演や催しに関する情報が十分でない」(16.5%)が上位となった。

前回調査と比較すると、「同好の仲間がいない」、「入場券が入手しにくい」などが前回調査を下回り、「特にない」などが前回調査を上回った。

「その他」として、「子供と一緒に鑑賞できる企画が少ない」、「子供を連れて行きづらい」、「体調がすぐれない」等の回答があった。



《出かけるうえで支障となっていること》

性別では、「交通の便が悪い」で女性が男性を大きく上回るのに対し、「魅力ある公演や催しが少ない」、「関心がない」で男性が女性を大きく上回っている。

年齢別では、20歳代で「魅力ある公演や催しが少ない」が高く、30歳代では「出かける時間が少ない」、「費用がかかり過ぎる」が高い。また、40歳代では「出かける時間が少ない」、「魅力ある公演や催しが少ない」、「費用がかかり過ぎる」、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」が高い。50歳代では、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」が高い。60歳代では、「交通の便が悪い」、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」が高く、70歳以上では、「交通の便が悪い」、「同好の仲間がいない」、「入場券が入手しにくい」が高い。

職業別では、自営業・家族従業者で「出かける時間が少ない」が高く、居住地域別では、砺波地域で「公演時間等が自分の生活時間と合わない」が高い。

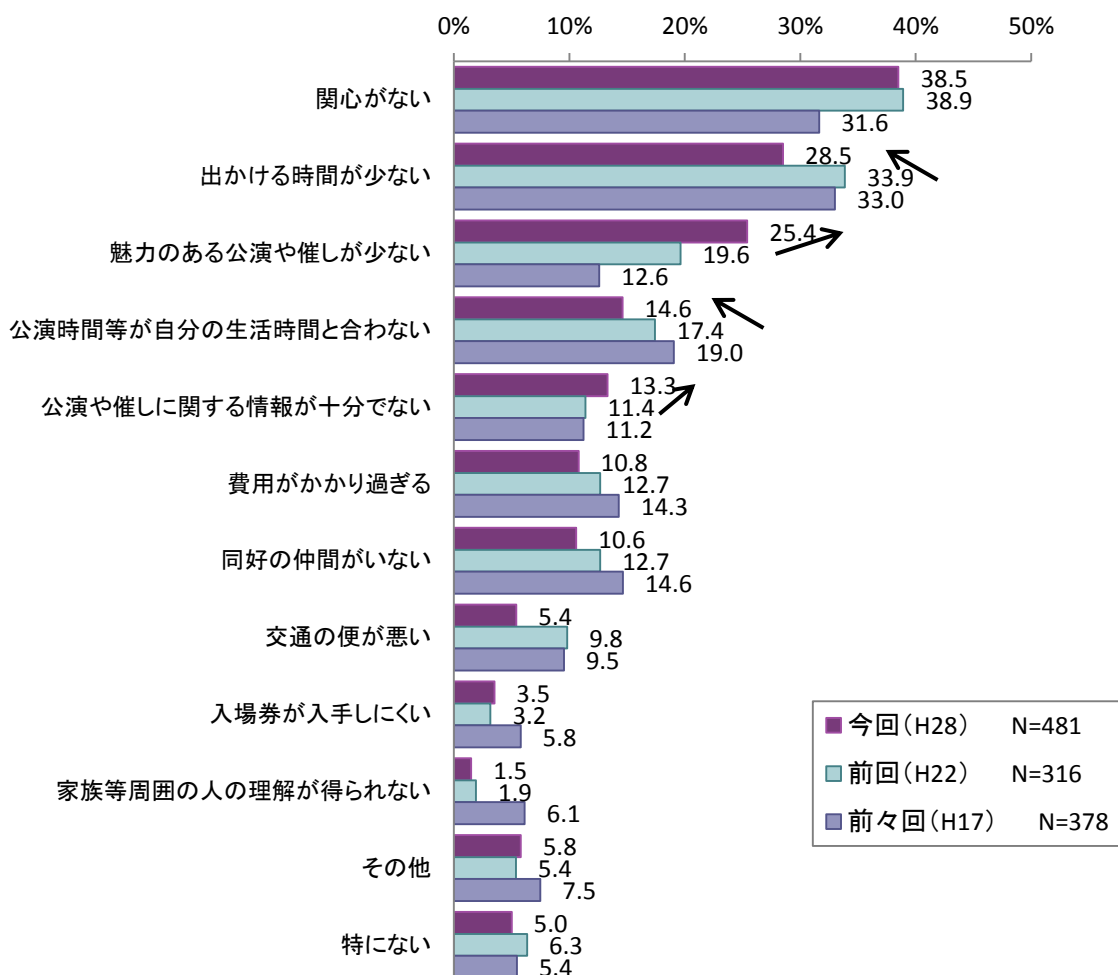
		回答者（人）	出かける時間が少ない	交通の便が悪い	同好の仲間がいない	家族等周囲の人の理解が得られない	魅力のある公演や催しが少ない	公演や催しに関する情報が十分でない	費用がかかり過ぎる	入場券が入手しにくい	公演時間等が自分の生活時間と合わない	関心がない	その他	特になし
全体		399	26.1	13.5	7.8	1.3	19.8	16.5	19.3	6.8	20.3	9.8	3.5	12.5
性別	男性	101	21.8	8.9	7.9	2.0	28.7	18.8	16.8	3.0	16.8	15.8	3.0	14.9
	女性	193	26.9	17.1	5.2	1.0	17.1	14.5	22.8	7.3	21.8	5.7	4.1	12.4
年齢	20～29歳	33	27.3	15.2	-	-	30.3	12.1	18.2	-	9.1	12.1	3.0	12.1
	30～39歳	50	34.0	10.0	10.0	-	16.0	16.0	26.0	4.0	16.0	6.0	6.0	10.0
	40～49歳	80	33.8	8.8	3.8	3.8	26.3	16.3	23.8	3.8	22.5	7.5	5.0	7.5
	50～59歳	77	27.3	5.2	6.5	2.6	18.2	18.2	20.8	9.1	27.3	11.7	2.6	13.0
	60～69歳	102	21.6	20.6	8.8	-	17.6	18.6	14.7	6.9	24.5	10.8	3.9	13.7
	70歳以上	55	14.5	21.8	16.4	-	12.7	14.5	12.7	14.5	10.9	9.1	-	20.0
職業	自営業・家族従業者	34	41.2	8.8	11.8	-	8.8	11.8	14.7	2.9	26.5	8.8	2.9	14.7
	会社員、公務員等	224	30.8	10.7	6.3	2.2	22.8	15.6	21.9	4.9	20.1	11.6	4.0	10.7
	無職	136	14.7	19.1	9.6	-	18.4	19.9	16.2	10.3	18.4	6.6	2.9	15.4
居住地域	富山地域	140	20.7	12.9	6.4	2.1	20.7	20.7	20.0	10.7	17.9	8.6	5.0	12.1
	高岡地域	121	30.6	12.4	9.1	0.8	23.1	12.4	19.8	5.8	18.2	9.1	1.7	10.7
	新川地域	77	29.9	13.0	5.2	-	18.2	16.9	20.8	5.2	16.9	11.7	5.2	15.6
	砺波地域	60	25.0	18.3	11.7	1.7	13.3	15.0	15.0	1.7	35.0	10.0	1.7	13.3

《出かけていない理由》

公演や展覧会など文化の鑑賞に1度も出かけなかった分野があった方に対してその理由を聞いたところ、全体的には「関心がない」(38.5%)、「出かける時間が少ない」(28.5%)、「魅力ある公演や催しが少ない」(25.4%)、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」(14.6%)が上位となった。

前回調査と比較すると、「出かける時間が少ない」、「公演時間等が自分の時間と合わない」などが前回調査を下回り、「魅力ある公演や催しが少ない」、「公演や催しに関する情報が十分でない」などが前回調査を上回った。

「その他」として、「小さい子供がいるため」、「子供を預ける人がいない」、「駐車場が少ない」、「駐車料金がかかる」、「足が不自由」、「体の調子がすぐれないため」等の回答があった。



《出かけていない理由》

性別では、「同好の仲間がいない」、「魅力のある公演や催しが少ない」で男性が女性を大きく上回る。

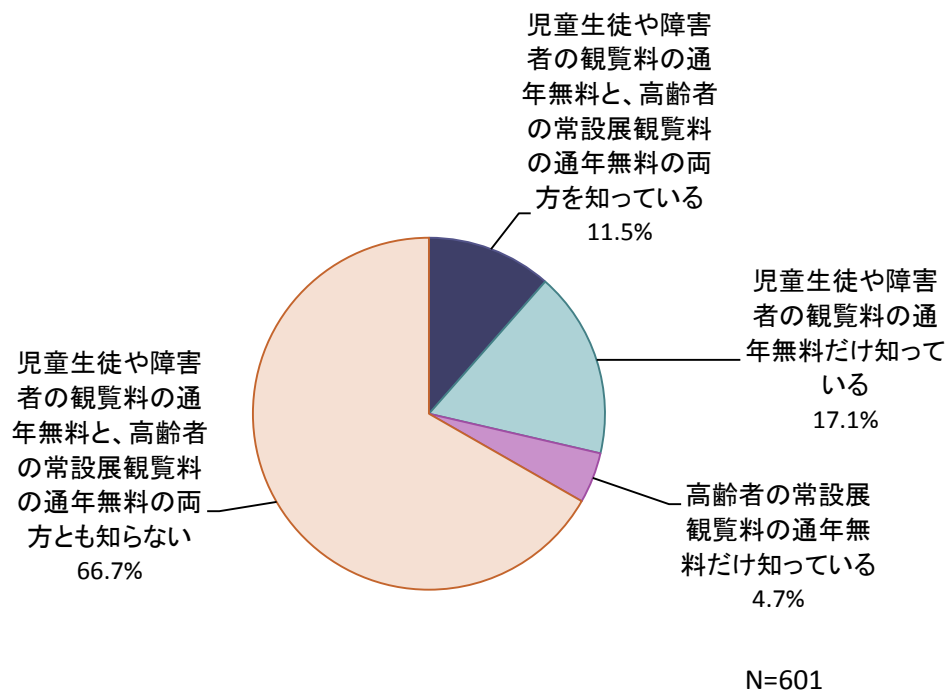
年齢別では、「出かける時間が少ない」が、30歳代～50歳代で高く、「公演時間等が自分の生活時間と合わない」が40歳代から60歳代で高い。また、年齢層が上がるにつれて「関心がない」は低下する傾向にある。

職業別では、自営業・家族従事者で「出かける時間が少ない」が高く、居住地別では、砺波地域で「交通の便が悪い」、「同好の仲間がいない」が高い。

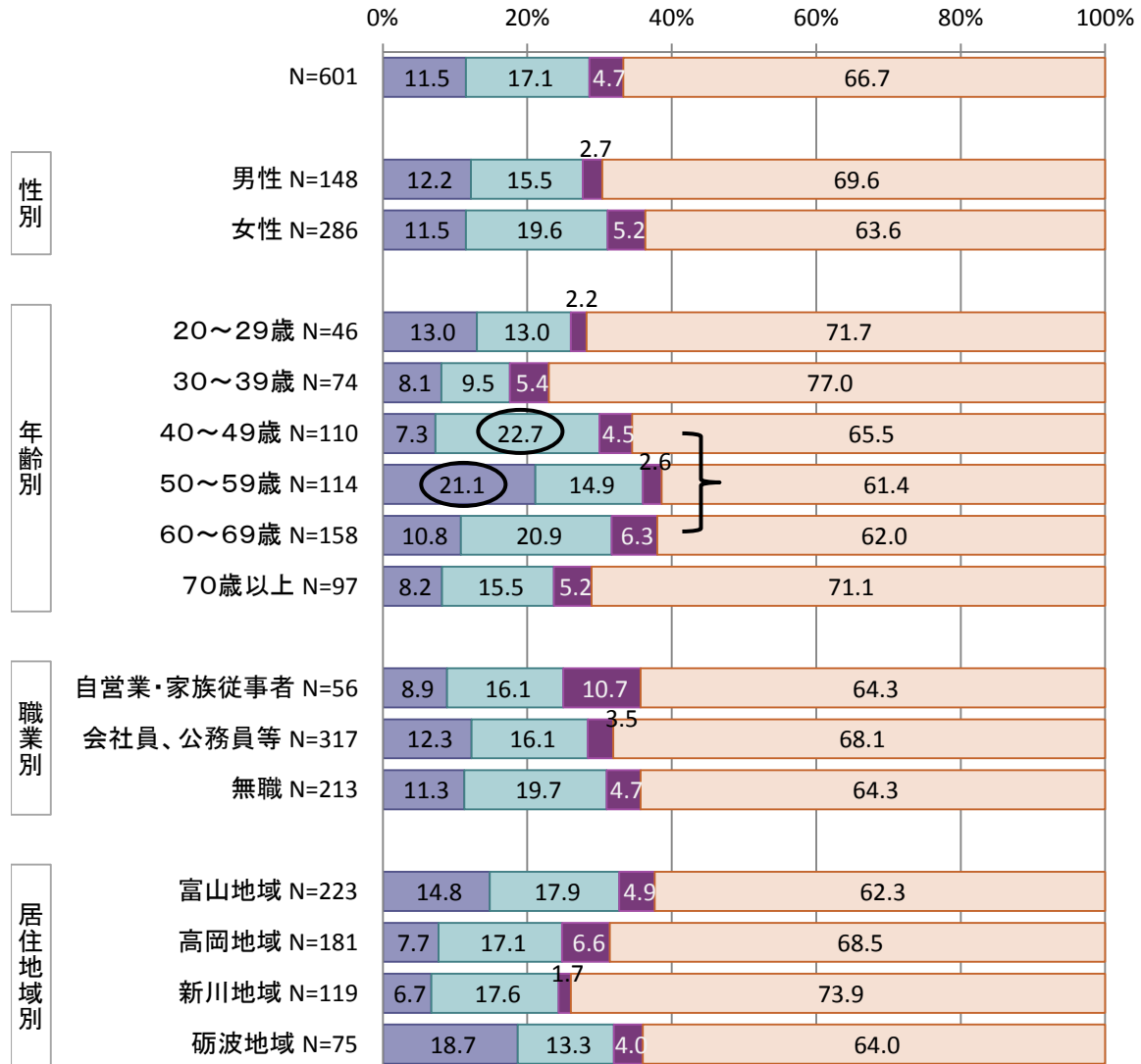
		(%)												
		回答者(人)	出かける時間が少ない	交通の便が悪い	同好の仲間がいない	家族等周囲の人の理解が得られない	魅力のある公演や催しが少ない	公演や催しに関する情報が十分でない	費用がかかり過ぎる	入場券が入手しにくい	公演時間等が自分の生活時間と合わない	関心がない	その他	特になし
全体		481	28.5	5.4	10.6	1.5	25.4	13.3	10.8	3.5	14.6	38.5	5.8	5.0
性別	男性	125	24.0	2.4	12.0	2.4	31.2	13.6	10.4	2.4	10.4	48.0	3.2	6.4
	女性	222	28.8	7.2	8.6	-	24.3	12.2	12.2	4.5	16.2	33.3	8.6	5.0
年齢	20～29歳	38	21.1	5.3	2.6	2.6	28.9	15.8	15.8	-	5.3	52.6	7.9	-
	30～39歳	65	35.4	3.1	6.2	-	35.4	13.8	6.2	1.5	7.7	43.1	12.3	3.1
	40～49歳	94	30.9	5.3	8.5	4.3	35.1	13.8	10.6	1.1	20.2	33.0	4.3	3.2
	50～59歳	95	36.8	2.1	11.6	2.1	17.9	11.6	14.7	3.2	17.9	37.9	3.2	5.3
	60～69歳	127	22.0	5.5	11.8	-	23.6	15.7	9.4	7.1	15.0	39.4	3.9	6.3
	70歳以上	60	21.7	13.3	18.3	-	13.3	8.3	10.0	5.0	11.7	31.7	8.3	10.0
職業	自営業・家族従事者	47	38.3	-	14.9	-	25.5	4.3	6.4	4.3	21.3	40.4	2.1	2.1
	会社員、公務員等	266	33.1	3.8	7.9	1.5	27.1	16.9	9.4	1.5	15.8	40.6	4.9	4.9
	無職	158	17.7	9.5	14.6	1.3	23.4	10.8	15.2	7.0	10.1	33.5	8.2	6.3
居住地	富山地域	185	20.5	6.5	8.6	1.6	23.8	13.0	13.0	4.3	14.1	38.4	8.1	7.0
	高岡地域	144	34.7	2.8	11.8	1.4	25.7	12.5	8.3	3.5	13.9	38.2	6.3	3.5
	新川地域	95	34.7	5.3	9.5	2.1	24.2	14.7	7.4	2.1	15.8	36.8	4.2	5.3
	砺波地域	56	26.8	8.9	16.1	-	32.1	14.3	16.1	3.6	16.1	41.1	-	1.8

問3(1) 県立の美術館・博物館等では、平成17年4月から、小・中・高等学校の児童生徒や障害者の方の観覧料(常設展・企画展とも)が通年無料に、平成28年4月から、70歳以上の高齢者の方の常設展観覧料が通年無料になっていますが、この取り組みを、あなたは知っていますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体では、「児童生徒や障害者の観覧料の通年無料と高齢者常設展観覧料の通年無料の両方を知らない」が66.7%を占めた。通年無料の取り組みを知っている中では、「児童生徒や障害者の観覧料の通年無料だけ知っている」が全体の17.1%、「児童生徒や障害者の観覧料の通年無料と、高齢者の常設展観覧料の通年無料の両方を知っている」が11.5%、「高齢者の常設展観覧料の通年無料だけ知っている」が4.7%となった。



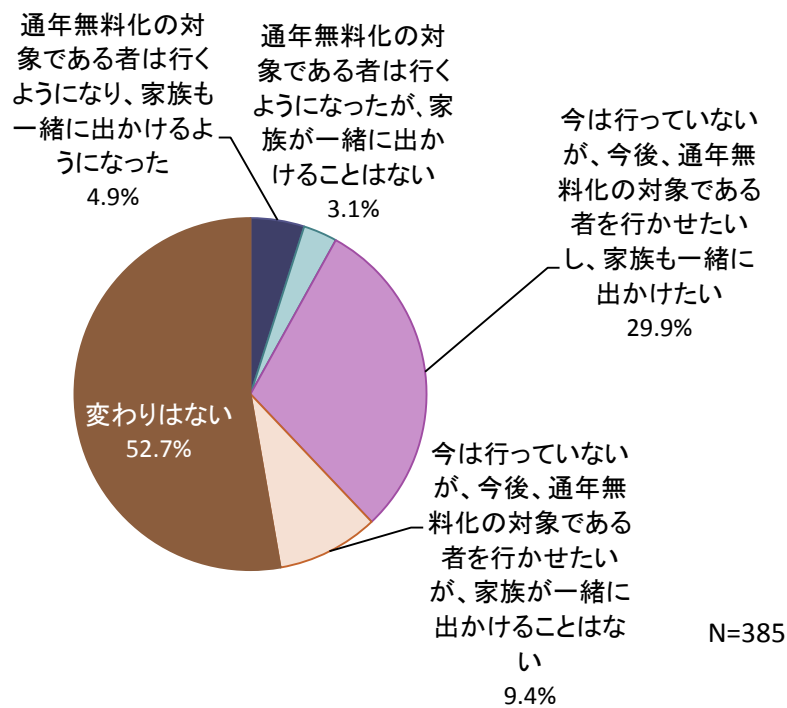
年齢別で見ると、少なくともいずれか一つの施策を知っているのは、40歳代、50歳代、60歳代でそれぞれ35～40%前後と他の年代と比較すると高い。中でも50歳代で「児童生徒や障害者の観覧料通年無料と高齢者の常設展観覧料の通年無料の両方を知っている」が21.1%と最も高く、40歳代で「児童生徒や障害者の観覧料の通年無料だけ知っている」が22.7%と最も高い。



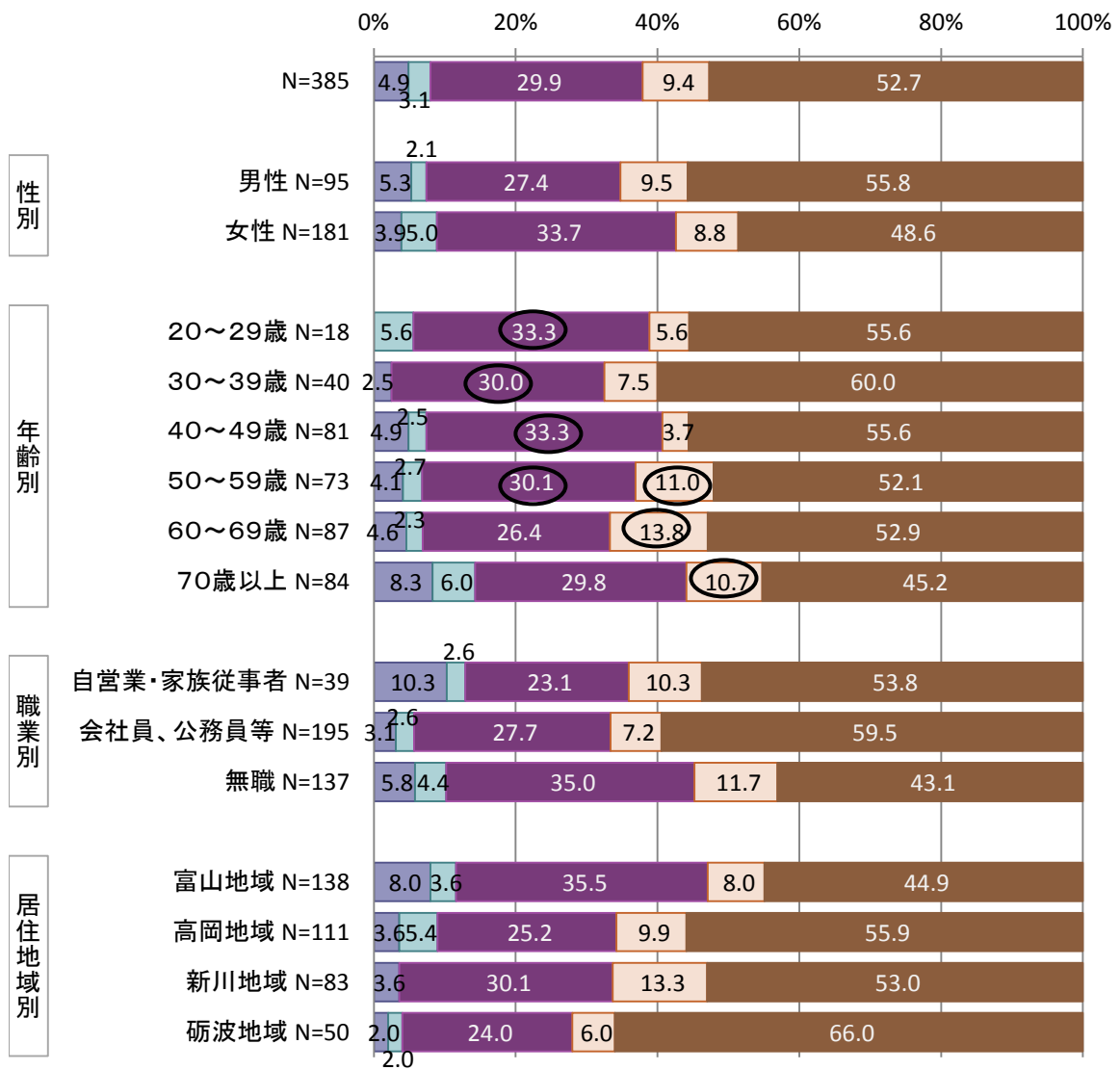
- 児童生徒や障害者の観覧料の通年無料と、高齢者の常設展観覧料の通年無料の両方を知っている
- 児童生徒や障害者の観覧料の通年無料だけ知っている
- 高齢者の常設展観覧料の通年無料だけ知っている
- 児童生徒や障害者の観覧料の通年無料と、高齢者の常設展観覧料の通年無料の両方とも知らない

問3 (2) 児童生徒や障害者や70歳以上の高齢者の方がいらっしゃるご家庭の方におたずねします。県立美術館等の通年無料化によって、美術館等へこれまでより行くようになりましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

全体的には、「変わりはない」が52.7%と過半数となったが、約3割が「今は行っていないが、今後、通年無料化の対象である者を行かせたいし、家族も一緒に出かけたい」と回答した。



年齢別で見ると、「今は行っていないが、今後、通年無料化の対象であるものを行かせたいし、家族も一緒に出かけたい」とするのが、59歳以下の各年代で約3割となっている。一方、「今は行っていないが、今度、通年無料化の対象である者を行かせたいが、家族が一緒に出かけることはない」と回答したのは50歳代以上で1割を超えている。

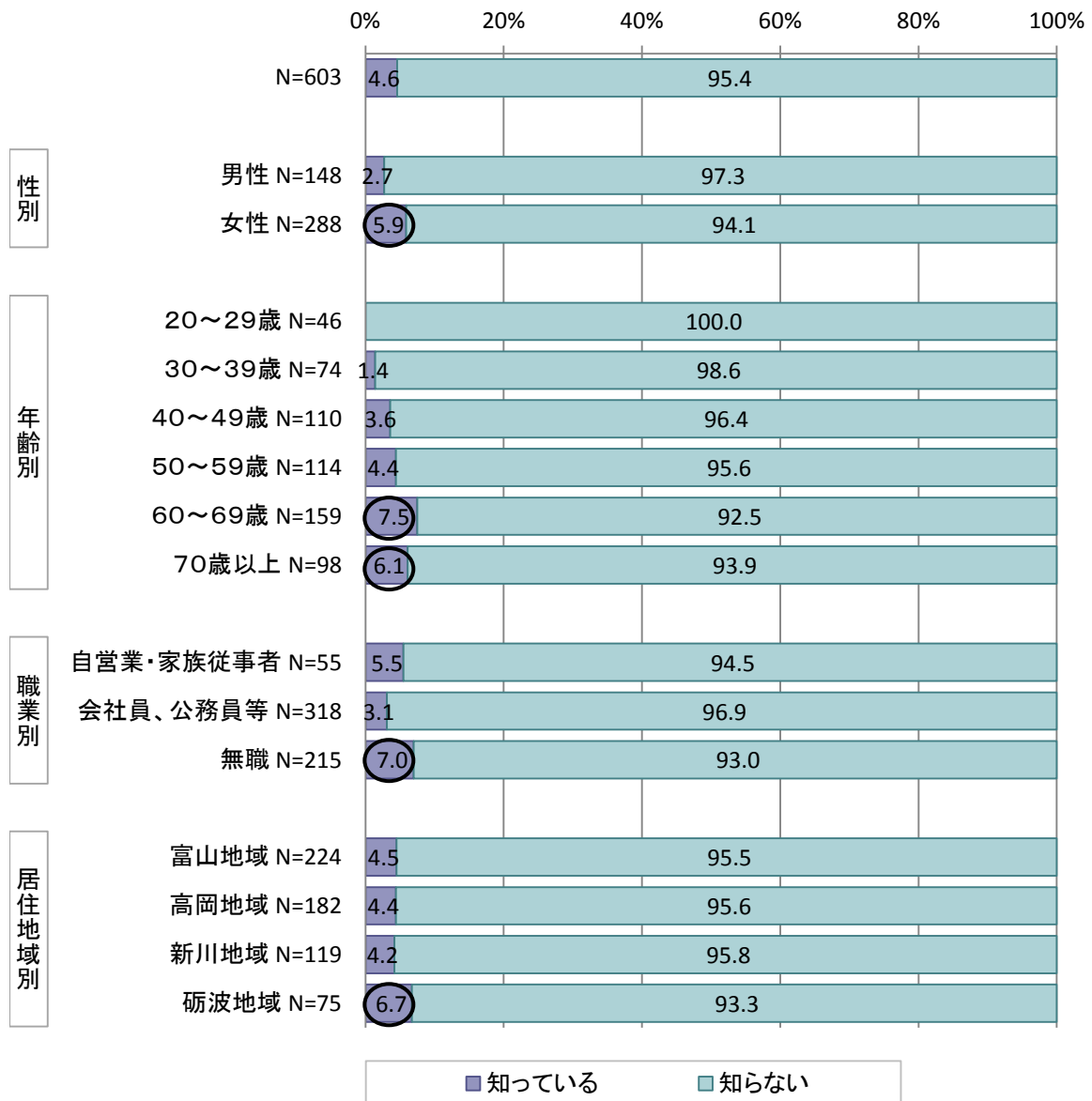


- 通年無料化の対象である者は行くようになり、家族も一緒に出かけるようになった
- 通年無料化の対象である者は行くようになったが、家族が一緒に出かけることはない
- 今は行っていないが、今後、通年無料化の対象である者を行かせたいし、家族も一緒に出かけたい
- 今は行っていないが、今後、通年無料化の対象である者を行かせたいが、家族が一緒に出かけることはない
- 変わりはない

問3（3）県立の美術館等では、平成28年4月から、開館時間を1時間延長しましたが、この取り組みを、あなたは知っていますか。

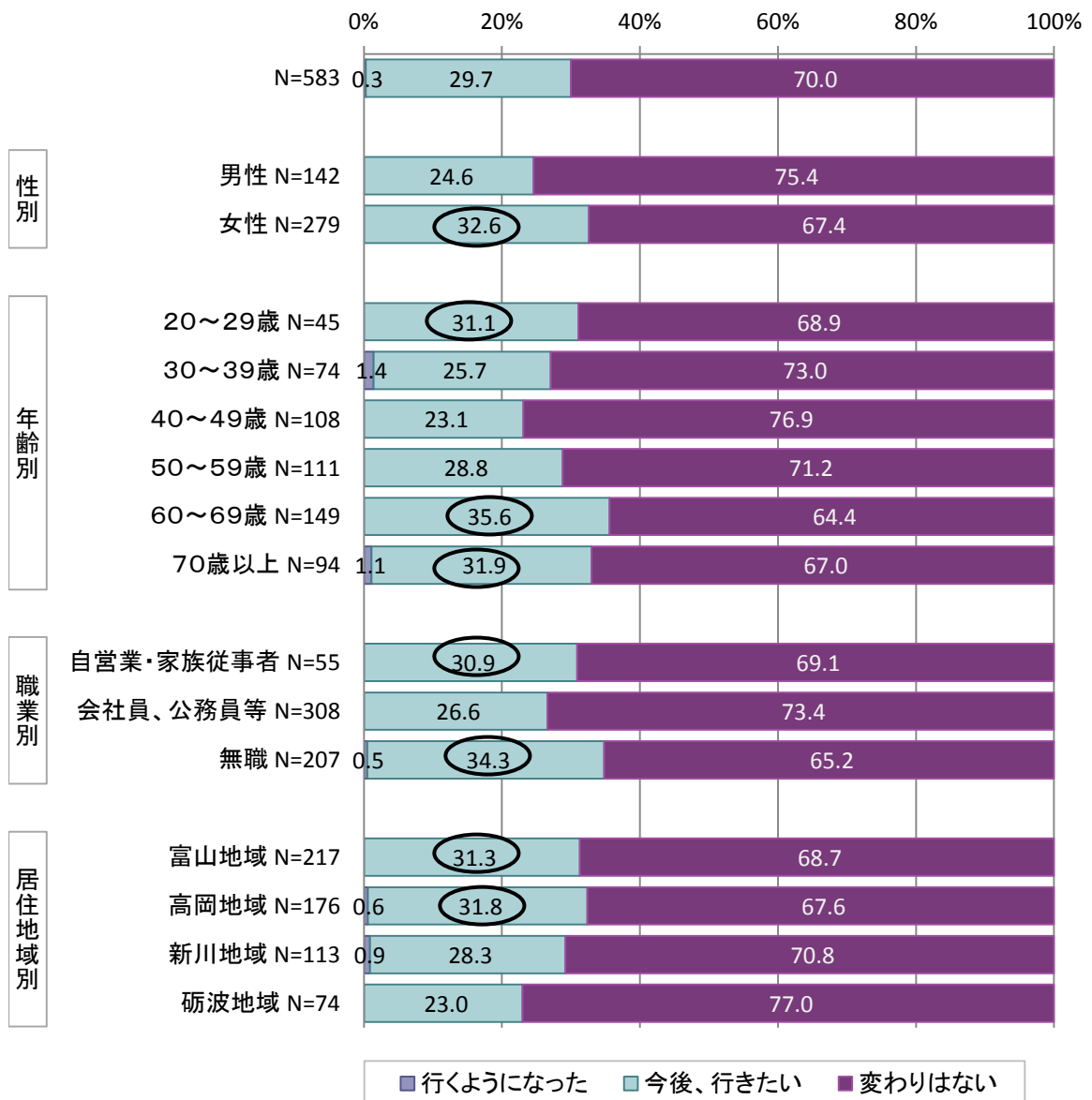
全体では、4.6%が「知っている」を選択した。

性別では、「知っている」と回答したのは、女性が5.9%で男性より高く、年齢別では、60歳代、70歳以上で高い。職業別では無職が7.0%、居住地域別では砺波地域が6.7%と、それぞれの区分で最も高い。



問3 (4) 県立の美術館等の開館時間の延長によって、美術館等へこれまでより行くようになりましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

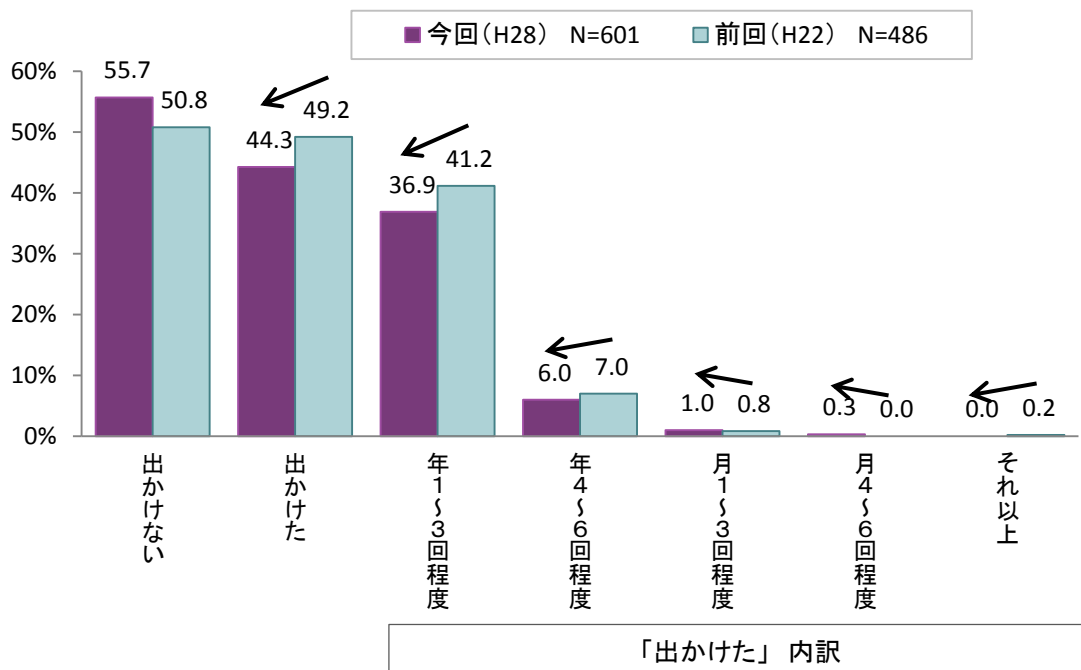
「変わりはない」が7割を占めているのに対し、「今後、行きたい」は約3割である。カテゴリー別で「今後、行きたい」が30%を超えたのは、女性、20歳代、60歳代、70歳以上、自営業・家族従事者、無職、富山地域、高岡地域である。



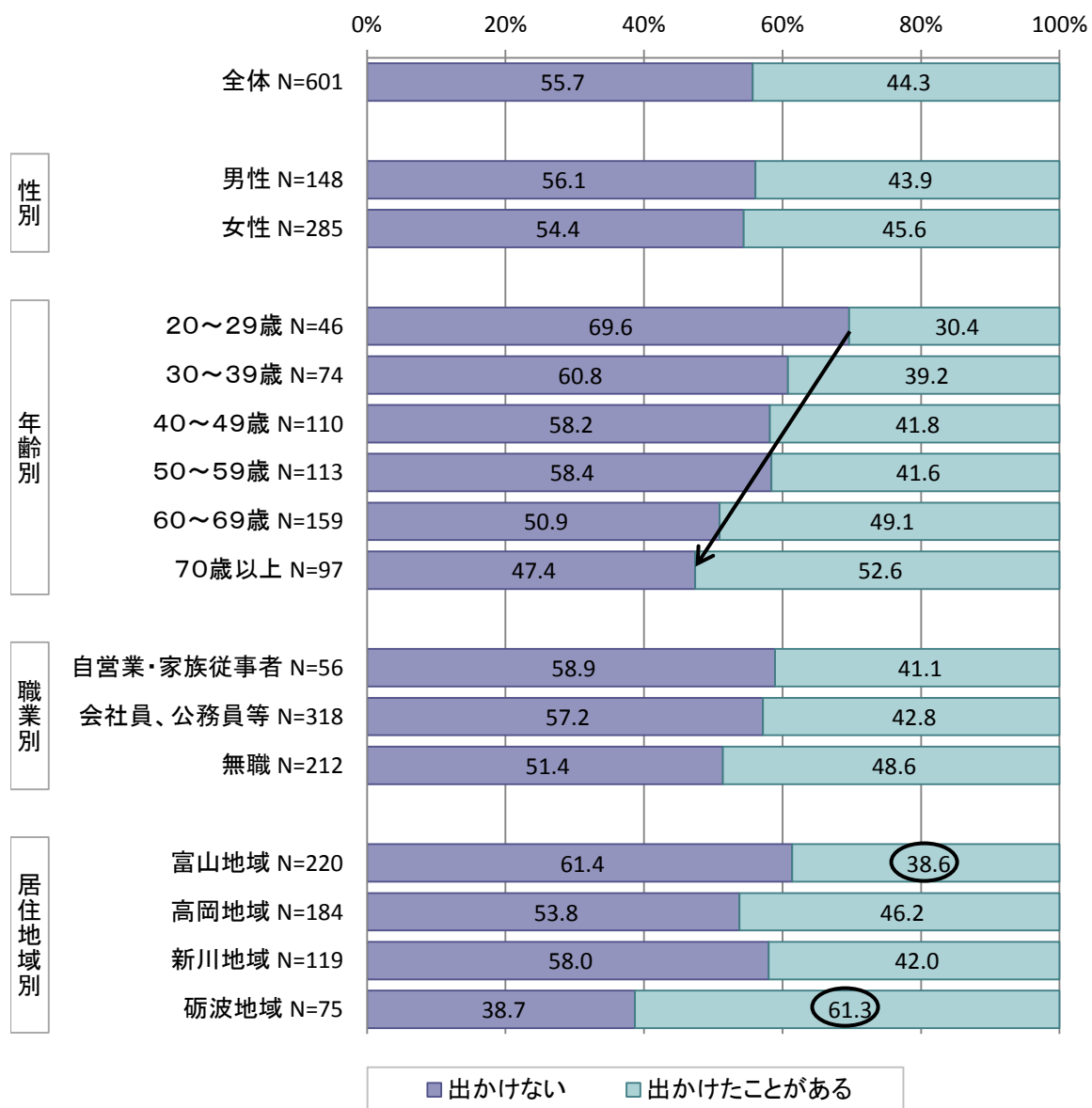
問3（5）あなたは、この1年間に県内の美術館、博物館等へ何回くらい出かけましたか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

この1年間に県内の美術館、博物館等へ「出かけた」と回答したのは、44.3%で前回調査の49.2%を下回った。

「出かけた」の内訳をみると、「月1～3回程度」、「月4～6回程度」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を下回った。

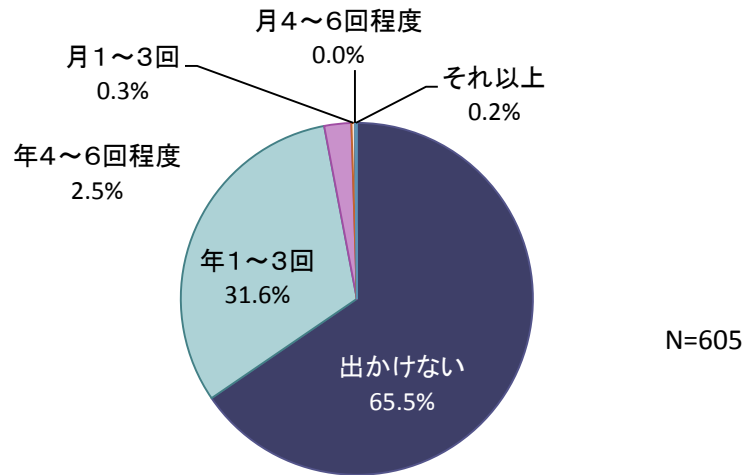


年齢別で見ると、年齢層が上がるにつれ「出かける」割合が高くなっている。居住地域別では、「出かけたことがある」と回答した方の割合が富山地域は 38.6%に対し、砺波地域は 61.3%と地域によって大きな差が見られる。

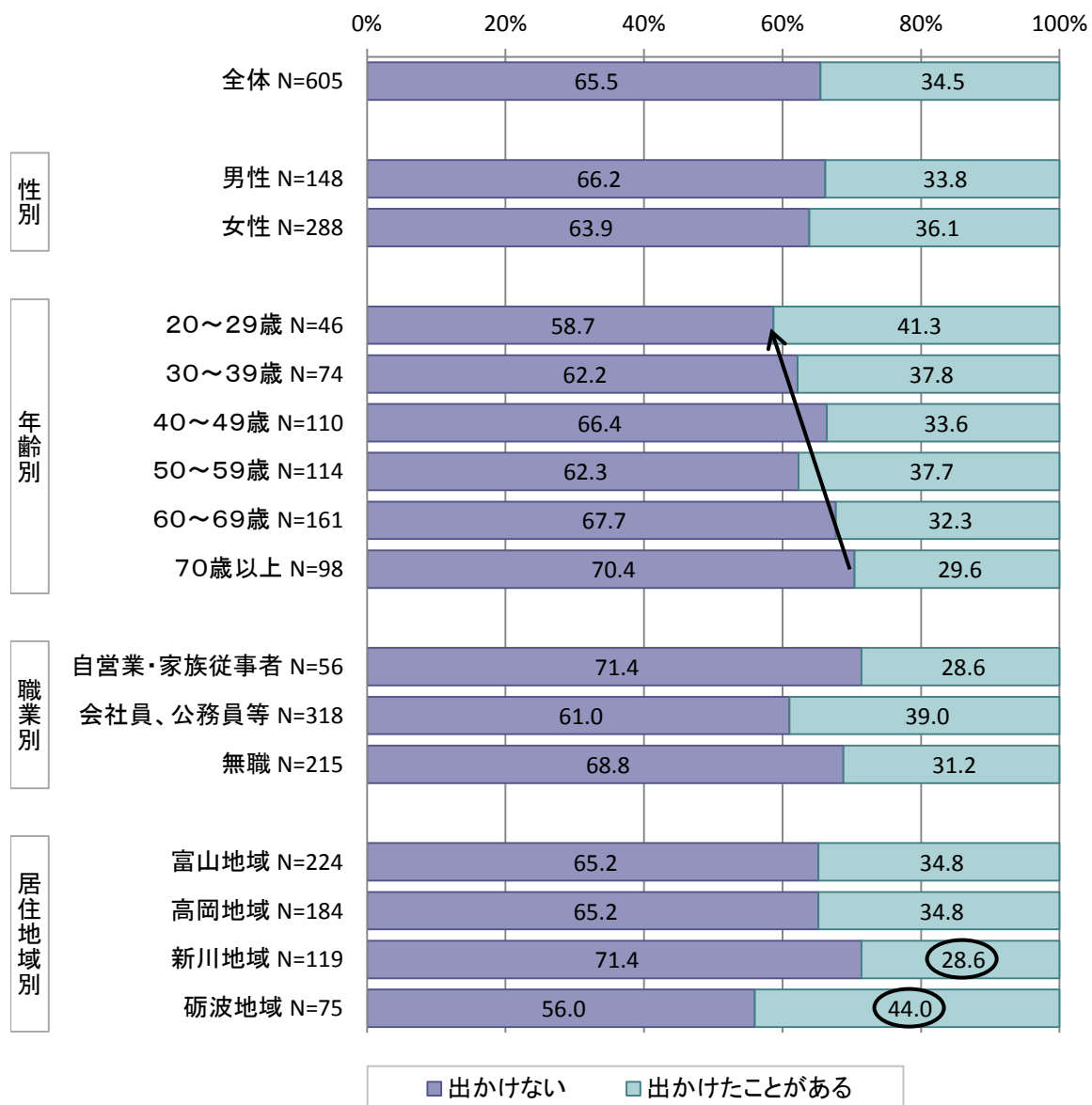


問3(6) あなたは、この1年間に県外の美術館、博物館等へ何回くらい出かけましたか。
次の中から1つ選んで○をつけてください。

この1年間に県外の美術館、博物館等へ「出かけた」と回答したのは34.5%であった。
「出かけた」と回答した方の中では、「年1~3回」が最も多く、31.6%であった。



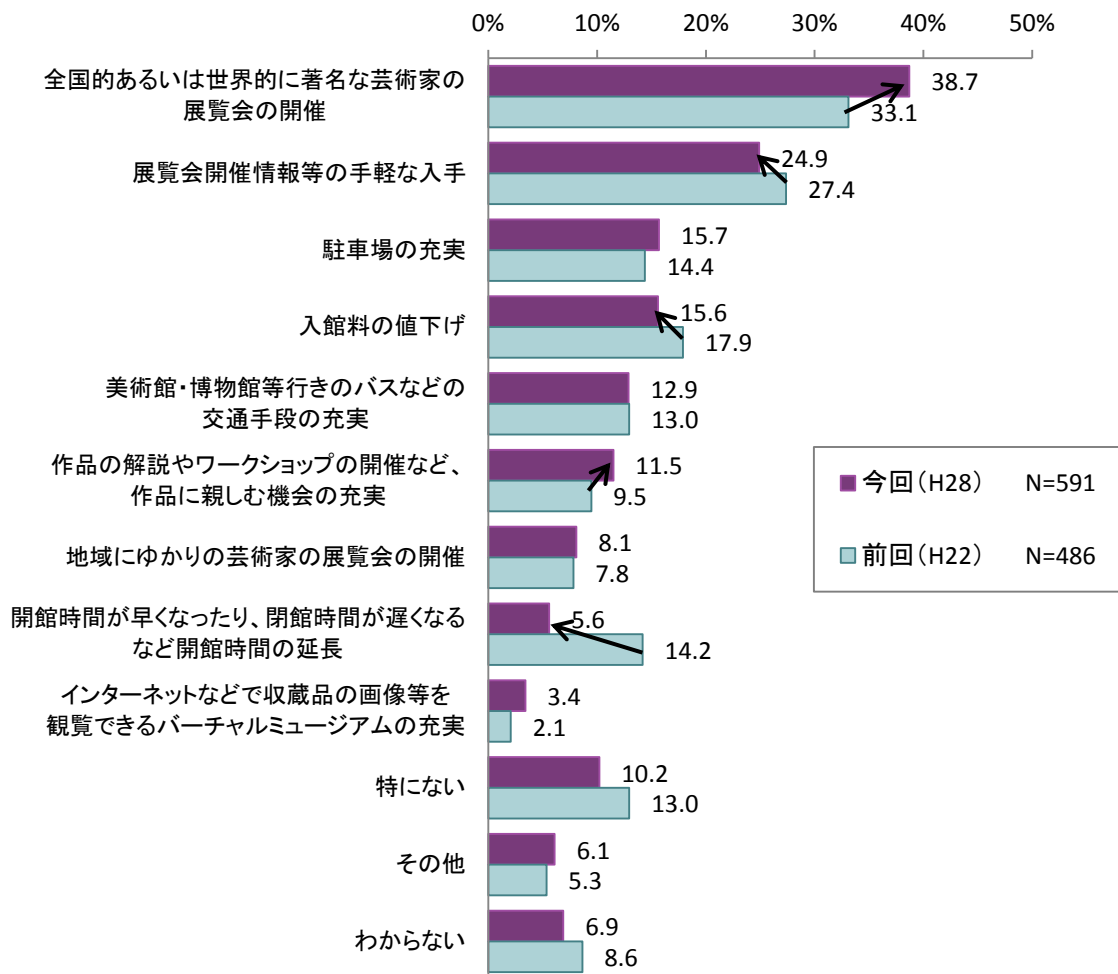
年齢別で見ると、「県内」とは異なり、年齢層が低くなるほど「出かける」傾向が強くなっている。居住地域別では、「出かけたことがある」と回答した方の割合が新川地域は28.6%に対し、砺波地域は44.0%と地域によって大きな差が見られる。



問3（7）あなたは、どうなれば美術館・博物館等にもっと出かけやすくなると思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

どうなれば美術館・博物館等にもっと出かけやすくなるかを聞いたところ、「全国のあるいは世界的に著名な芸術家の展覧会の開催」が38.7%（前回調査と比べて+5.6ポイント）、「展覧会開催情報等の手軽な入手」が24.9%（前回調査と比べて▲2.5ポイント）、「駐車場の充実」が15.7%（前回調査と比べて+1.3ポイント）、「入館料の値下げ」が15.6%（前回調査と比べて▲2.3ポイント）、「美術館・博物館等行きのバスなどの交通手段の充実」が12.9%（前回調査と比べて▲0.1ポイント）、「作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会の充実」が11.5%（前回調査と比べて+2.0ポイント）となった。「開館時間が早くなったり、閉館時間が遅くなるなど開館時間の延長」は5.6%で前回調査と比べて▲8.6ポイントの低下となった。

「その他」として、「小さい子供連れでも行きやすい環境」、「展覧会と同時に関連したイベントの開催」や「美術館・博物館以外の楽しみがあれば」などの回答があった。



「美術館・博物館等行のバスなど交通手段の充実」は、年齢別で20歳代、60歳代、70歳以上で10%を超えている。居住地域別では砺波地域が16.4%となった。「地域にゆかりの芸術家の展覧会の開催」は年齢層が上がるにつれ多くなっており、逆に「作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会の充実」は年齢層が低いほど、選択率が高くなる傾向がある。

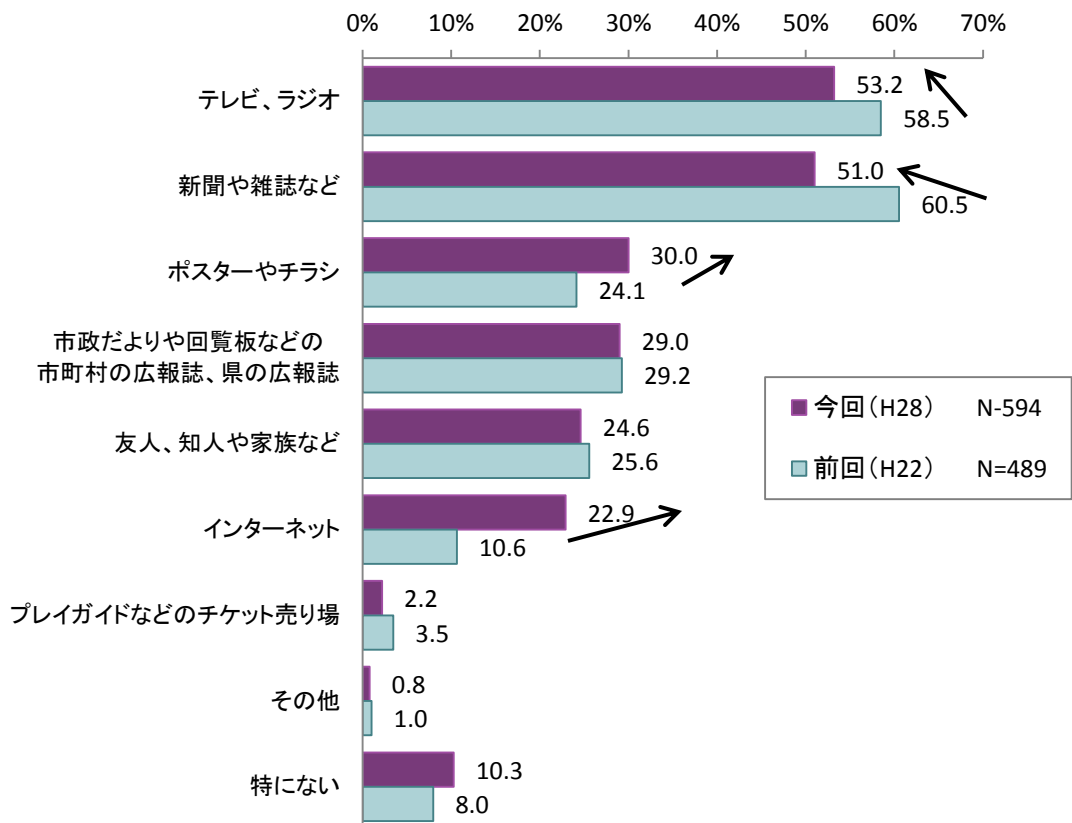
(%)

	回答者(人)	美術館・博物館等行き の交通手段の充実	開館時間が早くなったり、 閉館時間の延長	全国的展覧会 の開催	全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会の開催	地域にゆかりの芸術家の展覧会の開催	展覧会開催情報等の手軽な入手	作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会の充実	インターネットなどで収蔵品の画像等を観覧できるバーチャルミュージアムの充実	入館料の値下げ	駐車場の充実	特になし	その他	わからない
全体	591	12.9	5.6	38.7	8.1	24.9	11.5	3.4	15.6	15.7	10.2	6.1	6.9	
性別	男性	149	9.4	3.4	44.3	10.1	26.2	8.7	2.7	12.1	20.8	12.8	4.7	5.4
	女性	281	16.4	6.8	38.1	6.8	26.0	14.6	1.1	16.4	15.7	8.5	5.3	5.3
年齢	20～29歳	46	13.0	2.2	43.5	-	28.3	26.1	4.3	15.2	6.5	8.7	8.7	6.5
	30～39歳	72	6.9	5.6	45.8	2.8	20.8	15.3	2.8	15.3	11.1	9.7	12.5	8.3
	40～49歳	110	9.1	3.6	49.1	4.5	23.6	20.0	2.7	20.0	15.5	6.4	7.3	4.5
	50～59歳	111	8.1	9.0	43.2	7.2	23.4	11.7	5.4	18.9	18.0	7.2	6.3	6.3
	60～69歳	156	16.7	7.1	34.6	11.5	28.2	4.5	3.2	16.0	19.2	11.5	3.2	5.1
	70歳以上	94	21.3	3.2	20.2	16.0	24.5	1.1	2.1	6.4	16.0	17.0	3.2	12.8
職業	自営業・ 家族従事者	55	9.1	5.5	21.8	18.2	25.5	12.7	5.5	7.3	12.7	16.4	7.3	3.6
	会社員、 公務員等	311	9.3	6.4	44.7	5.5	23.2	13.8	3.9	17.0	13.8	9.0	7.7	7.7
	無職	210	18.6	4.8	36.2	9.0	27.6	8.1	2.4	16.2	20.5	7.6	3.8	7.1
居住地域	富山地域	222	13.1	7.2	41.0	5.4	24.3	14.0	1.8	15.8	18.5	10.8	6.3	5.4
	高岡地域	177	13.0	3.4	35.6	9.0	26.6	9.6	4.5	17.5	16.4	8.5	4.0	9.0
	新川地域	116	10.3	6.0	39.7	11.2	20.7	8.6	4.3	16.4	14.7	11.2	8.6	6.9
	砺波地域	73	16.4	5.5	38.4	9.6	30.1	12.3	4.1	8.2	8.2	11.0	6.8	5.5

問4 公演や展覧会など、文化の鑑賞に出かけるにあたり、その情報をどこから入手していますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

文化の鑑賞に出かけるにあたり、その情報の入手先を聞いたところ、「テレビ、ラジオ」、「新聞や雑誌など」がそれぞれ5割、「ポスターやチラシ」、「市政だよりや回覧版等の市町村の広報誌、県の広報誌」がそれぞれ3割、「友人、知人や家族など」、「インターネット」が2割強となった。これらの中では、「テレビ、ラジオ」、「新聞や雑誌など」は前回調査より選択率が低下している。一方、「ポスターやチラシ」、「インターネット」は選択率が上昇している。特に「インターネット」は前回調査と比べて12.3ポイント上昇している。

「その他」として、「プレイガイドからの情報」、「観光マップ」との回答があった。



性別でみると、「友人、知人や家族など」は女性が男性を大きく上回っている。一方、「インターネット」は男性の方が女性より高い。

年齢別でみると、「テレビ、ラジオ」、「新聞や雑誌など」は20歳代から60歳代までは年齢層が上がるにつれ、徐々に高くなっている。一方、「インターネット」は年齢層が下がるにつれて高くなり、20歳代が最も高くなっている。

(%)

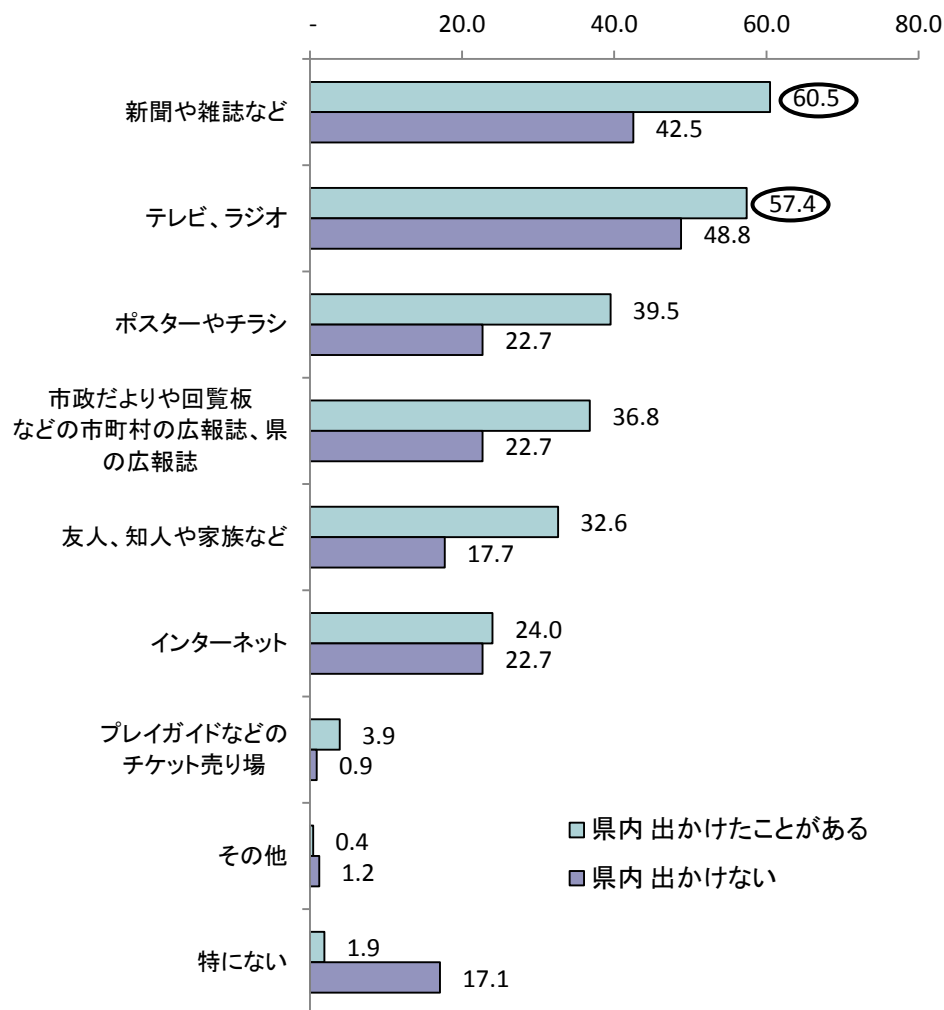
		回答者（人）	友人、知人や家族など	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌など	ポスターやチラシ	プレイガイドなどのチケット売り場	市町村の広報誌、県の広報誌	市政だよりや回覧板	インターネット	その他	特にない
全体		594	24.6	53.2	51.0	30.0	2.2	29.0		22.9	0.8	10.3
性別	男性	146	15.1	47.3	50.0	30.8	0.7	24.0		29.5	2.1	13.7
	女性	286	29.7	57.3	53.8	32.9	2.8	32.9		21.7	0.7	7.0
年齢	20～29歳	46	37.0	45.7	41.3	41.3	-	21.7		45.7	-	10.9
	30～39歳	73	24.7	49.3	43.8	38.4	2.7	34.2		41.1	1.4	6.8
	40～49歳	109	23.9	52.3	47.7	26.6	3.7	22.9		38.5	0.9	10.1
	50～59歳	112	25.9	53.6	48.2	36.6	2.7	25.0		23.2	-	10.7
	60～69歳	156	22.4	60.9	62.8	26.9	2.6	33.3		9.0	1.3	4.5
	70歳以上	96	21.9	47.9	49.0	18.8	-	32.3		3.1	1.0	21.9
職業	自営業・ 家族従事者	54	24.1	44.4	55.6	25.9	3.7	29.6		22.2	3.7	13.0
	会社員、 公務員等	312	25.3	54.5	47.8	32.4	2.6	24.0		31.1	0.6	9.6
	無職	214	23.8	54.7	55.1	28.0	1.4	35.5		11.2	0.5	10.7
居住地	富山地域	221	24.9	55.2	54.3	29.9	2.3	28.5		21.7	0.9	12.7
	高岡地域	177	28.8	48.6	48.0	23.7	3.4	21.5		21.5	1.1	10.7
	新川地域	118	20.3	57.6	52.5	33.1	0.8	32.2		28.0	0.8	7.6
	砺波地域	76	19.7	51.3	47.4	40.8	1.3	40.8		22.4	-	6.6

「この1年間、県内（県外）の美術館・博物館等に出かけたか」との設問の回答とクロス集計したところ、出かけた美術館・博物館等が県外であっても県内であっても大きな差異は見られず、この1年間で美術館・博物館等に出かけた経験のある人のほぼ6割が、「テレビ、ラジオ」、「新聞や雑誌など」を情報の入手先と回答している。

《県内》

(%)

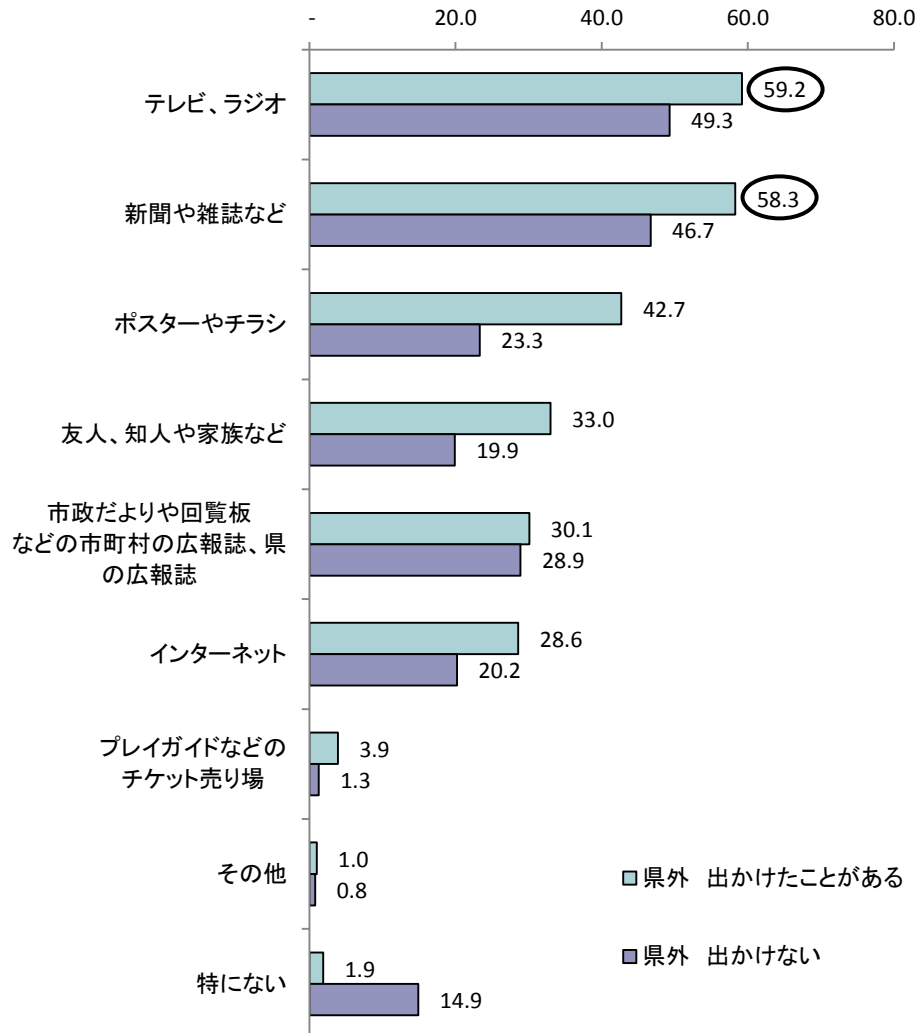
	回答者（人）	友人、知人や家族など	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌など	ポスターやチラシ	プレイガイドなどのチケット売り場	県などの広報誌、市町村の広報誌、市政だよりや回覧板	インターネット	その他	特にない
出かけたことがある	258	32.6	57.4	60.5	39.5	3.9	36.8	24.0	0.4	1.9
出かけない	322	17.7	48.8	42.5	22.7	0.9	22.7	22.7	1.2	17.1



《県外》

(%)

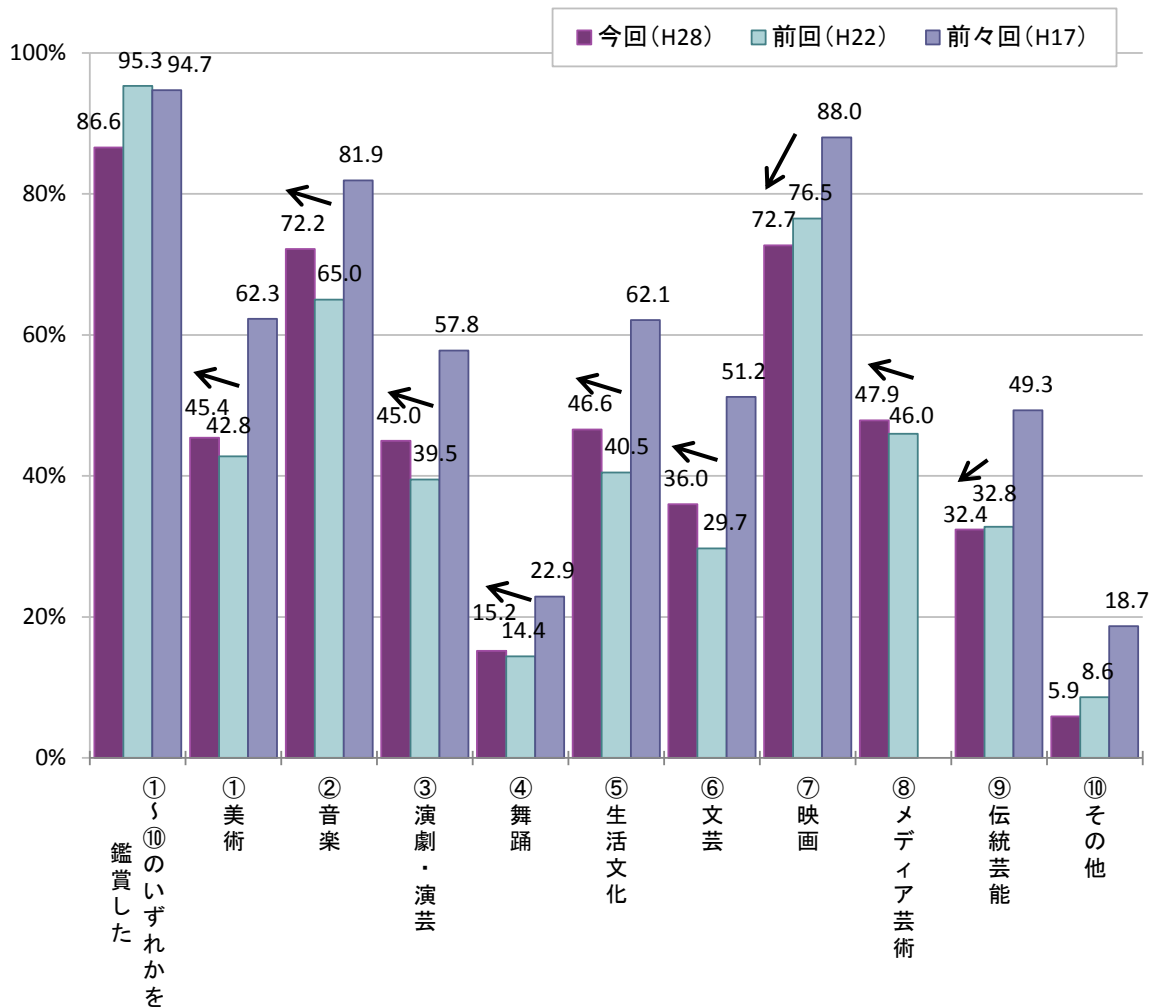
	回答者（人）	友人、知人や家族など	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌など	ポスターやチラシ	プレイガイドなどのチケット売り場	市の広報誌、市の広報誌、市の広報誌	インターネット	その他	特にない
出かけたことがある	206	33.0	59.2	58.3	42.7	3.9	30.1	28.6	1.0	1.9
出かけない	377	19.9	49.3	46.7	23.3	1.3	28.9	20.2	0.8	14.9



問5 この1年間に、ご家庭において、テレビ、ラジオ、CD、DVD（ブルーレイ含む）、インターネット（携帯電話含む）、書籍などで、何回文化の鑑賞をしましたか。分野ごとにそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

少なくとも1年に1回は文化の鑑賞を、テレビ、ラジオ、CD、DVD（ブルーレイ含む）、インターネット（携帯電話含む）、書籍などの媒体で行った選択率は86.6%で、前回の95.3%を下回った。

分野ごとに前回調査と比較すると、「美術」、「音楽」、「演劇・演芸」、「舞踊」、「生活文化」、「文芸」、「メディア芸術」は選択率が上昇し、「映画」、「伝統芸能」は選択率が低下している。



《各分野の鑑賞した状況》

これらの媒体で鑑賞した文化の分野で見ると、少なくとも1年に1回以上鑑賞したことが高い選択率となったのは、「映画」、「音楽」で7割、「メディア芸術」、「生活文化」、「美術」、「演劇・演芸」がそれぞれ4割強となった。

回答方式が異なることを前提にして全国調査で比べると、いずれかの分野をテレビ・ラジオ、DVDなどで鑑賞したことがあるのは、今回調査が86.6%、全国調査が86.5%とほぼ差異はない。ただし、個別にみると、「メディア芸術」で今回調査が47.9%、全国調査が10.3%、「美術」で今回調査が45.4%、全国調査が20.8%、「伝統芸能」で今回調査が32.4%、全国調査が12.4%と大きな差となっている。

	回答者 (人)	鑑賞して いない	鑑賞した ことがある	年					それ 以上	全国(H21)	
				1 ～ 3 回	4 ～ 6 回 程度	月 1 ～ 3 回	月 4 ～ 6 回 程度	それ 以上		鑑賞した	鑑賞した
(1)～(10)のいずれかを鑑賞した状況	今回	581	13.4	86.6						いずれかを鑑賞したことがある	86.5
	前回	457	4.7	95.3							
(1)美術	551	54.6	45.4	24.9	7.1	6.9	3.1	3.4	美術	20.8	
(2)音楽	553	27.8	72.2	23.0	8.5	13.9	8.1	18.6	音楽	55.6	
(3)演劇・演芸	533	55.0	45.0	23.1	6.9	7.3	3.6	4.1	演劇 芸能	13.5 23.2	
(4)舞踊	525	84.8	15.2	12.2	1.5	0.6	-	1.0	舞踊	7.3	
(5)生活文化	534	53.4	46.6	18.5	7.9	7.9	4.5	7.9			
(6)文芸	525	64.0	36.0	16.0	4.0	7.0	2.5	6.5			
(7)映画(アニメーション除く)	554	27.3	72.7	25.8	18.1	16.2	4.2	8.5	映画 (アニメーションを除く)	57.3	
(8)メディア芸術 (アニメーション含む)	520	52.1	47.9	19.8	7.5	10.2	3.7	6.7	メディア芸術 (映画を除く)	10.3	
(9)伝統芸能	531	67.6	32.4	22.8	4.3	2.8	0.4	2.1	伝統芸能	12.4	
(10)その他	205	94.1	5.9	2.0	2.0	1.0	0.5	0.5	その他	0.2	

※全国調査(H21)はテレビ・ラジオ、DVD、インターネットなどで鑑賞した文化芸術を複数回答したもの。

今回調査とは回答方法、選択肢が異なるため、あくまでも参考値である。

家庭において「鑑賞したことがある」を年齢別にみると、50歳代までは徐々に選択率が低下するが、60歳代では50歳代より多くなっている。70歳以上では再び選択率が低下している。

問1の「公演や展覧会に何回出かけましたか」との設問と比較すると、砺波地区だけが、実際に出かけている選択率が92.9%、家庭において鑑賞している選択率が90.4%と、実際に出かけている選択率が若干高くなっている。また問1の回答とクロス集計すると、実際に出かけて見たり体験したりした人の95.4%が家庭においても「鑑賞したことがある」と回答している。

(再掲) 問1 何回出かけましたか

(%)

		回答者 (人)	鑑賞して いない	鑑賞した ことがある
全体		581	13.4	86.6
性別	男性	147	13.6	86.4
	女性	277	12.6	87.4
年齢	20～29歳	45	6.7	93.3
	30～39歳	73	6.8	93.2
	40～49歳	109	11.0	89.0
	50～59歳	112	15.2	84.8
	60～69歳	150	12.7	87.3
	70歳以上	90	24.4	75.6
職業	自営業・ 家族従事者	54	16.7	83.3
	会社員、 公務員等	307	10.7	89.3
	無職	205	15.6	84.4
居住 地域	富山地域	214	15.4	84.6
	高岡地域	175	13.7	86.3
	新川地域	117	12.0	88.0
	砺波地域	73	9.6	90.4

(%)

		回答者 (人)	出 か け て い な い	出 か け た こ と が あ る
全体		575	21.0	79.0
性別	男性	144	22.2	77.8
	女性	273	19.0	81.0
年齢	20～29歳	45	20.0	80.0
	30～39歳	72	23.6	76.4
	40～49歳	109	16.5	83.5
	50～59歳	111	22.5	77.5
	60～69歳	148	18.9	81.1
	70歳以上	88	27.3	72.7
職業	自営業・ 家族従事者	55	27.3	72.7
	会社員、 公務員等	305	18.4	81.6
	無職	201	21.4	78.6
居住 地域	富山地域	215	24.7	75.3
	高岡地域	178	21.9	78.1
	新川地域	110	21.8	78.2
	砺波地域	70	7.1	92.9

●(1)～(10)のいずれかに出かけた状況(問1)

出かけていない	116	41.4	58.6
出かけたことがある	438	4.6	95.4

問1の「公演や展覧会に出かけた状況」と問5の「家庭で鑑賞した分野」の関係をみると、「音楽」や「映画」は実際に出かけていなくても自宅で鑑賞をした経験のある人が50%を超えている。一方、「美術」や「伝統芸能」は実際に出かけた経験があっても30%を超える人が自宅では鑑賞していない。

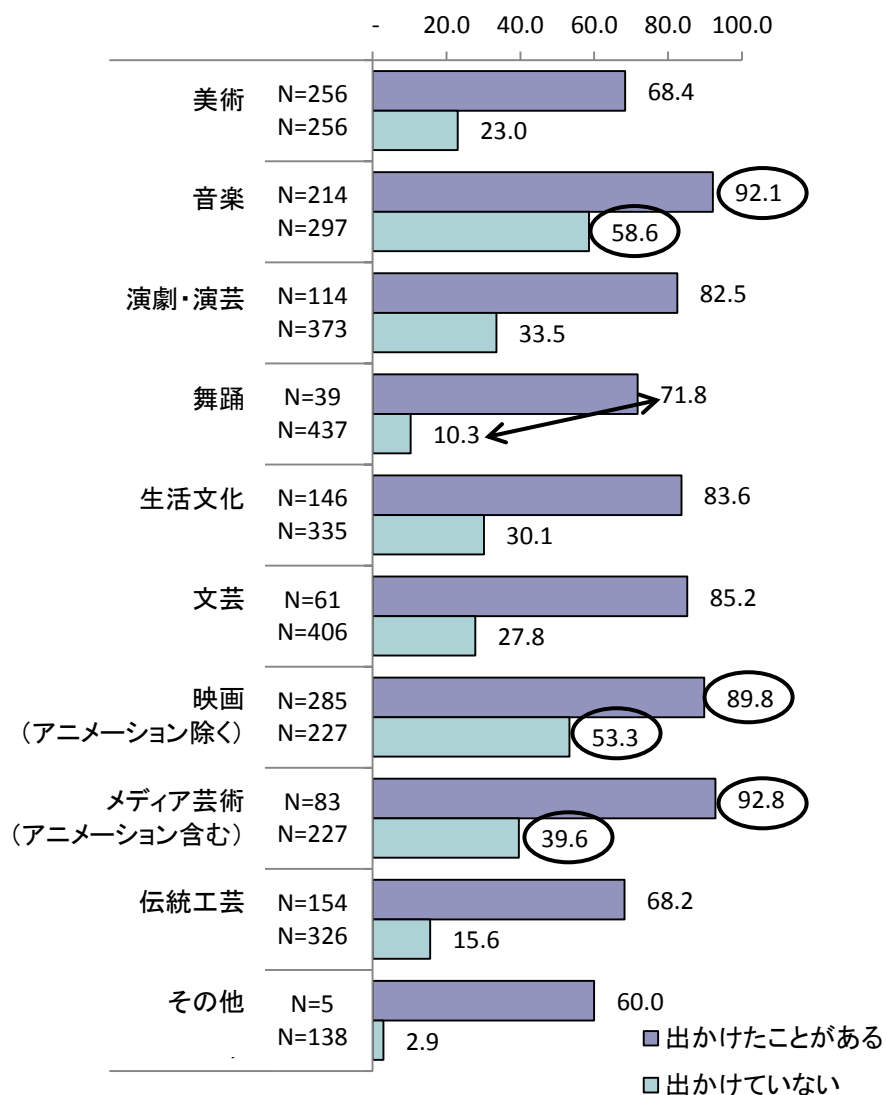
(%)

	回答者(人)	鑑賞していない	鑑賞したことがある	年1～3回	年4～6回程度	月1～3回	月4～6回程度	それ以上	
出かけていない(問1)	美術	256	77.0	23.0	14.8	2.0	3.9	1.2	1.2
	音楽	297	41.4	58.6	15.8	6.7	13.8	6.4	15.8
	演劇・演芸	373	66.5	33.5	15.0	4.8	7.8	2.4	3.5
	舞踊	437	89.7	10.3	8.2	1.4	0.2	-	0.5
	生活文化	335	69.9	30.1	10.7	5.4	7.2	2.1	4.8
	文芸	406	72.2	27.8	13.3	3.7	4.4	2.2	4.2
	映画 (アニメーション除く)	227	46.7	53.3	21.1	12.3	10.6	3.5	5.7
	メディア芸術 (アニメーション含む)	384	60.4	39.6	16.9	6.0	9.1	2.9	4.7
	伝統芸能	326	84.4	15.6	11.7	1.5	0.3	0.3	1.8
	その他	138	97.1	2.9	0.7	0.7	-	0.7	0.7
出かけたことがある(問1)	美術	256	31.6	68.4	32.8	12.9	10.9	5.5	6.3
	音楽	214	7.9	92.1	34.6	12.1	14.0	8.9	22.4
	演劇・演芸	114	17.5	82.5	49.1	14.9	6.1	7.0	5.3
	舞踊	39	28.2	71.8	56.4	5.1	5.1	-	5.1
	生活文化	146	16.4	83.6	33.6	15.1	11.6	10.3	13.0
	文芸	61	14.8	85.2	31.1	8.2	21.3	4.9	19.7
	映画 (アニメーション除く)	285	10.2	89.8	29.1	24.9	20.4	5.3	10.2
	メディア芸術 (アニメーション含む)	83	7.2	92.8	30.1	18.1	20.5	7.2	16.9
	伝統芸能	154	31.8	68.2	46.1	11.0	7.8	0.6	2.6
	その他	5	40.0	60.0	20.0	20.0	20.0	-	-

「家庭で鑑賞した分野」について、「公演や展覧会に出かけたことがある」、「公演や展覧会に出かけていない」との関係を見ると、「出かけたことがある」の中では、「メディア芸術」、「音楽」、「映画」の順で選択率が高く、一方、「出かけていない」の中では、「音楽」、「映画」、「メディア芸術」の順で選択率が高い。

また、「出かけたことがある」と「出かけていない」で、家庭で鑑賞した選択率の差が最も大きかったのは「舞踊」であった。

《鑑賞したことがある分野》

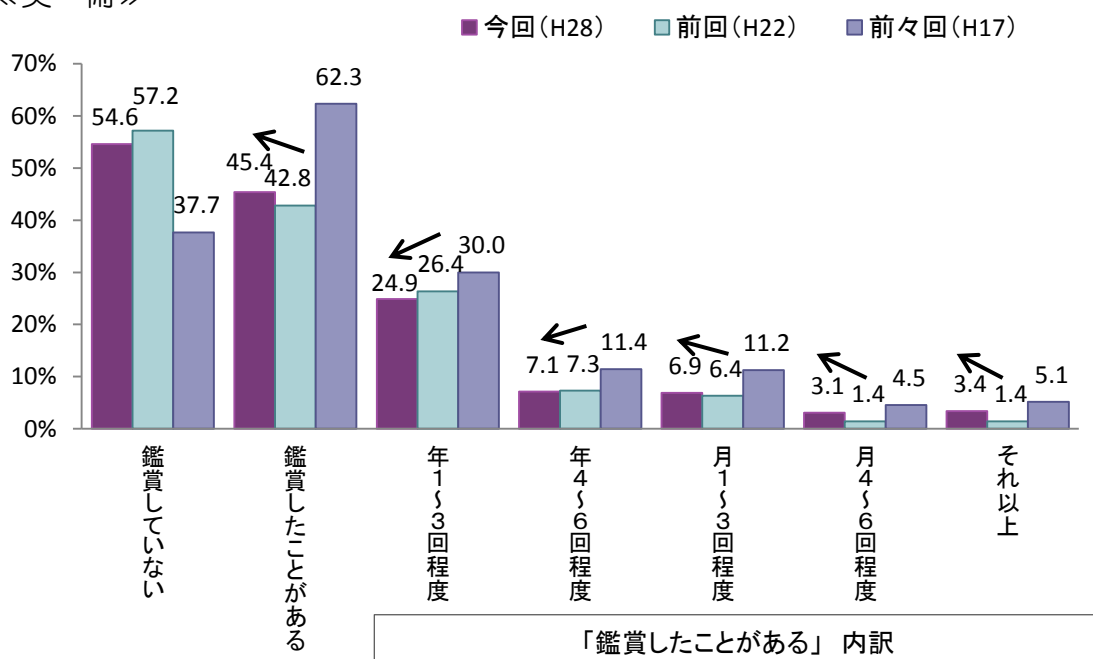


《美 術》

この1年間、家庭で「美術」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は45.4%で前回調査を上回った。

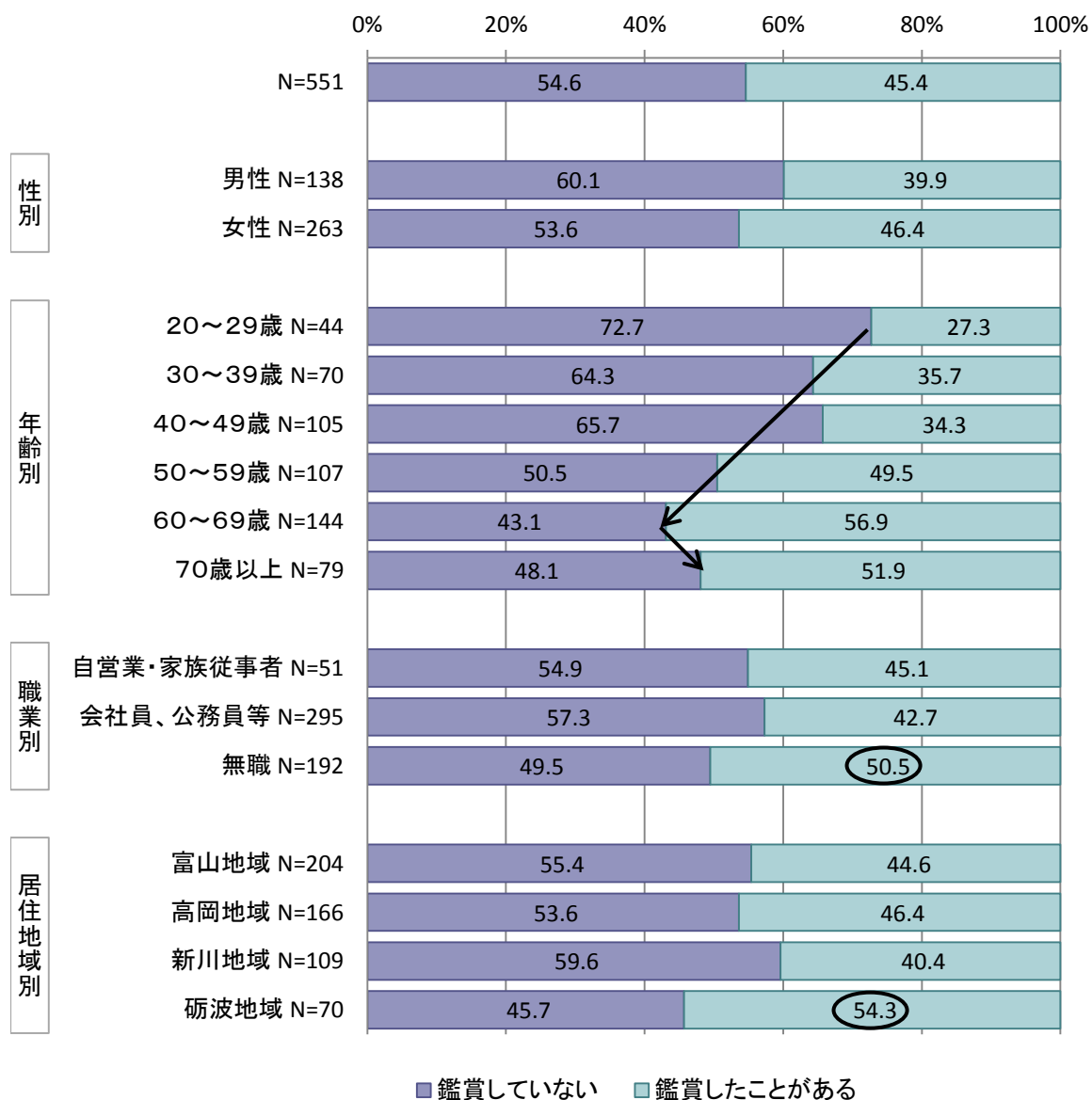
「鑑賞したことがある」の内訳をみると、「月1～3回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」は前回調査を下回った。

《美 術》



《美 術》

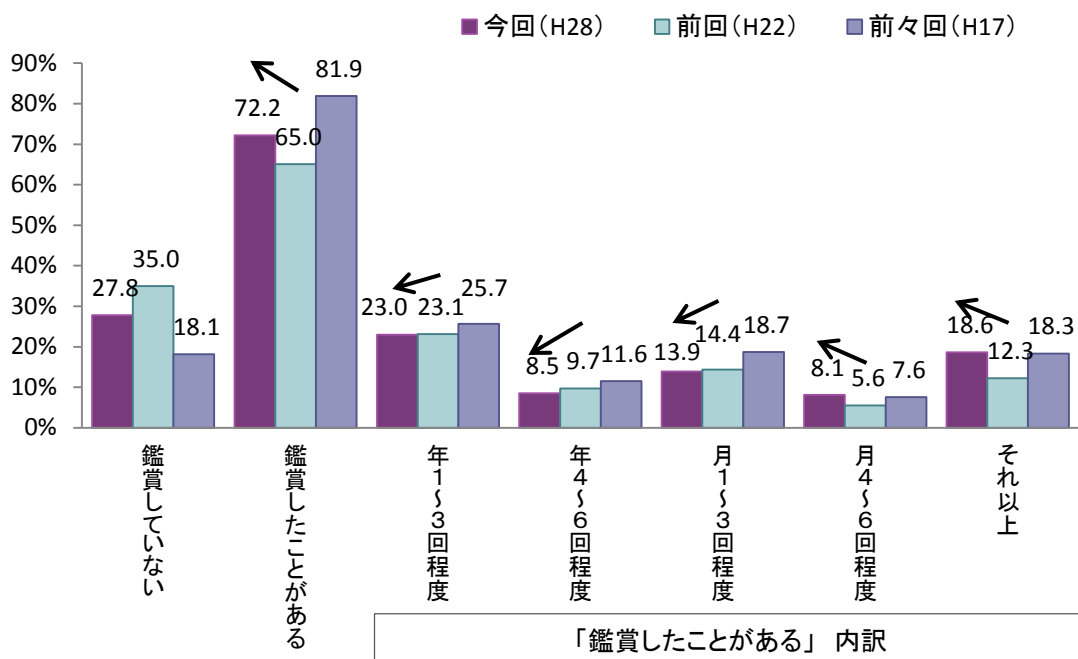
年齢別では、「鑑賞したことがある」は60歳代までは年齢層が上がるにつれ選択率は上がる傾向にあるが、70歳以上になると若干選択率が下がっている。職業別では、無職が50.5%と過半数となり、居住地域別では、砺波地域が54.3%と過半数となった。



《音 楽》

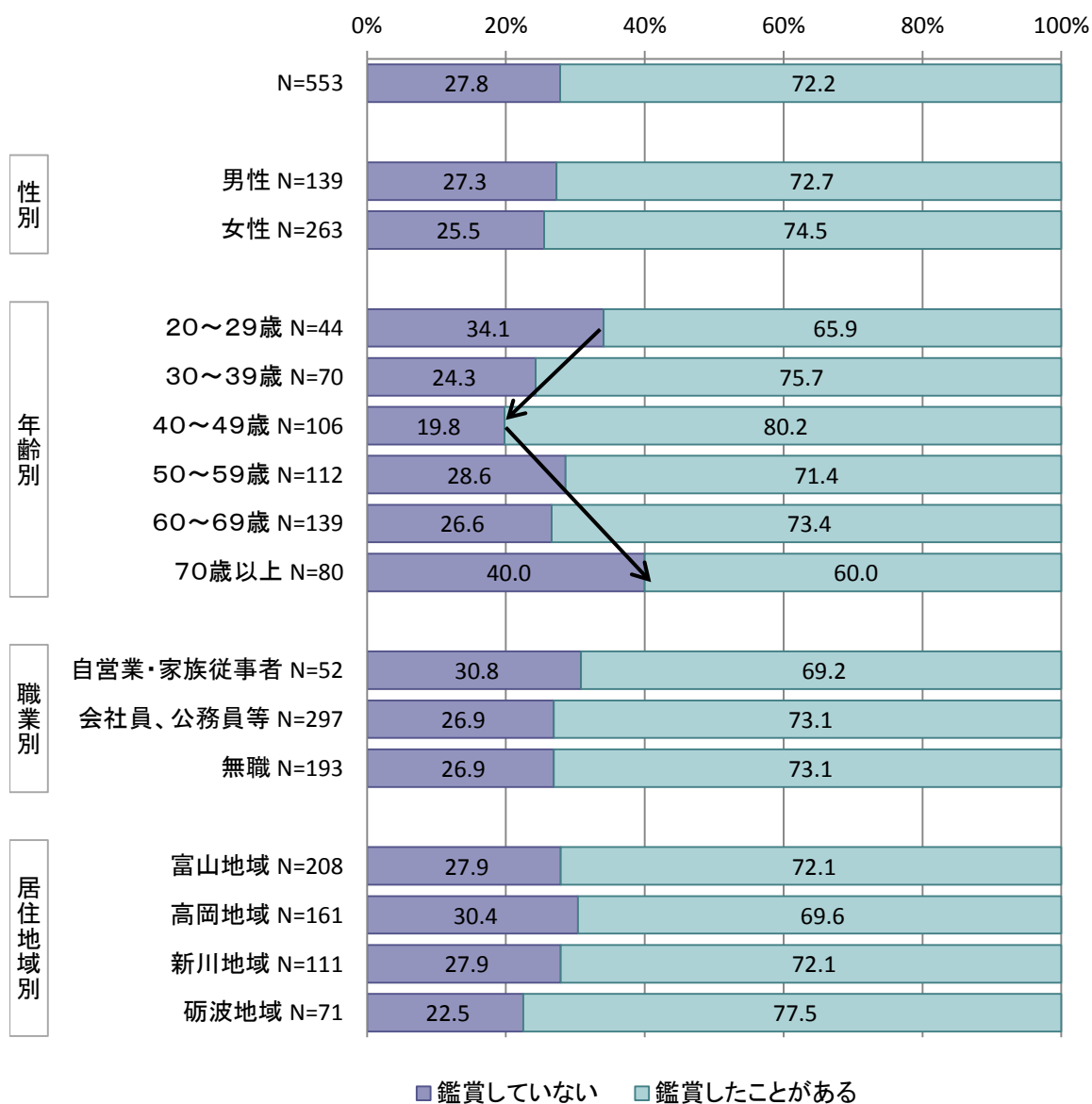
この1年間、家庭で「音楽」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は72.2%で前回調査を上回った。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」、「月1～3回程度」は前回調査を下回った。



《音 楽》

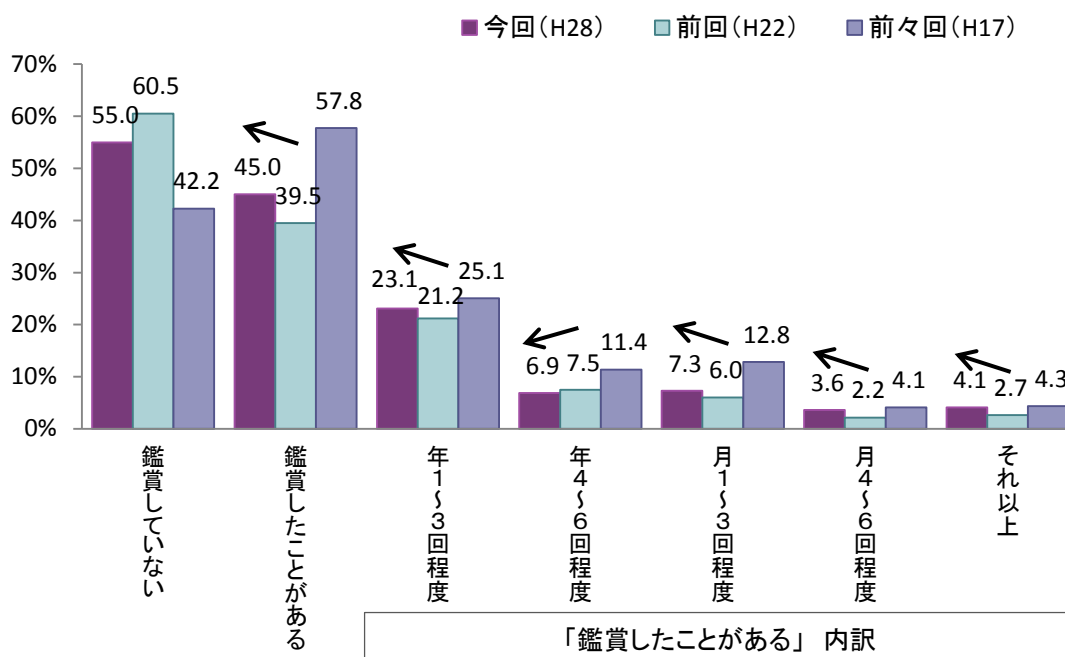
年齢別では、「鑑賞したことがある」は40歳代の選択率が最も高く、80%を超えた。一方、70歳以上では最も低く60.0%となった。



《演劇・演芸》

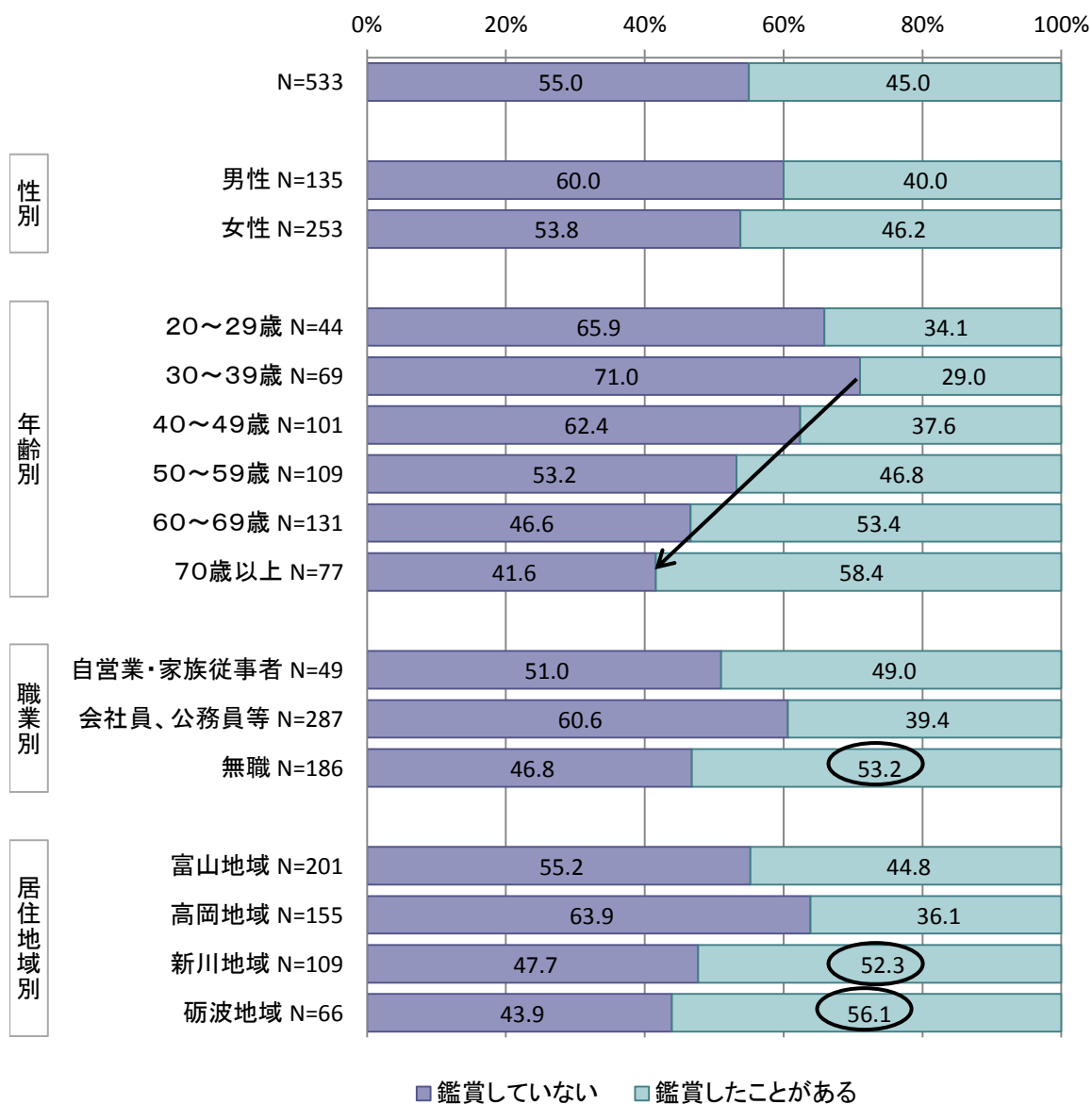
この1年間、家庭で「演劇・演芸」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は45.0%で前回調査を上回った。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、前回調査を下回ったのは「年4～6回程度」だけであり、他の選択肢は前回調査を上回った。



《演劇・演芸》

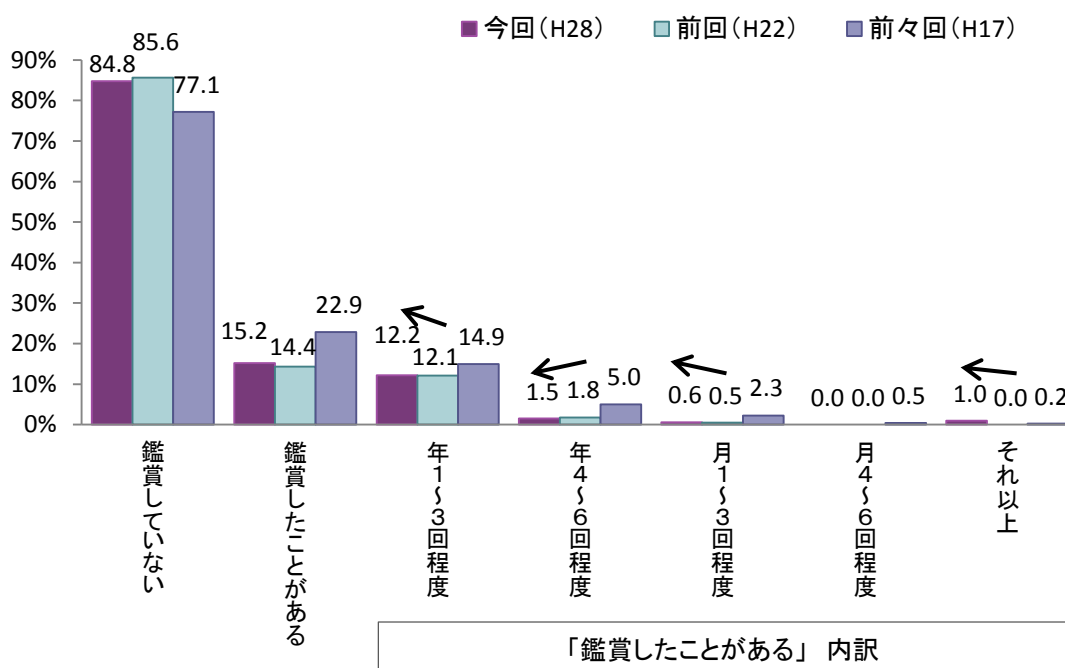
年齢別では、「鑑賞したことがある」は30歳代での選択率が最も低くなったが、年齢層が上がるにつれ選択率は上昇している。職業別では、無職が53.2%と過半数となり、居住地別では、砺波地域が56.1%、新川地域が52.3%と過半数となった。



《舞 踊》

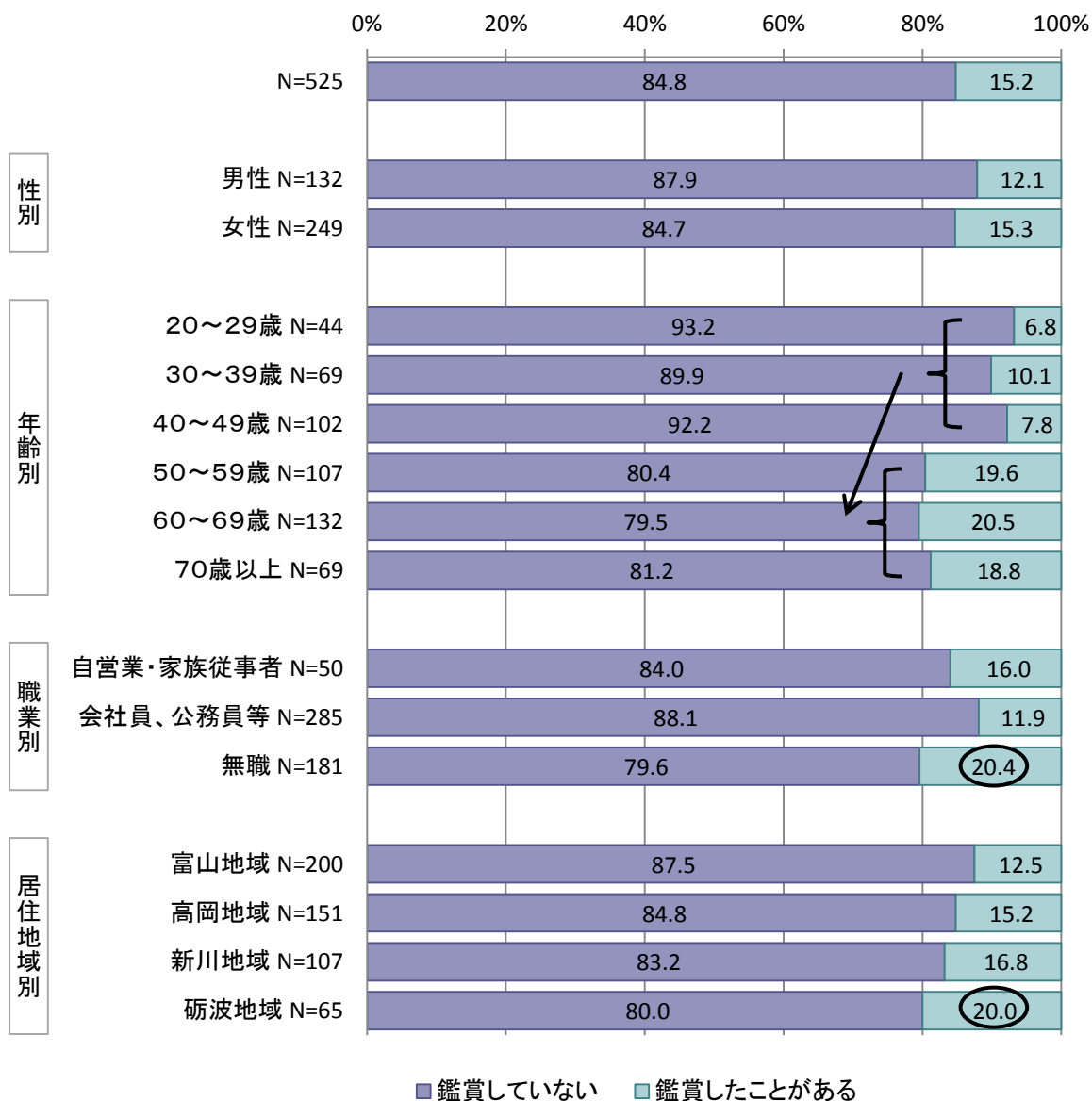
この1年間、家庭で「舞踊」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は15.2%で前回調査とほぼ同じであった。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、「年1～3回程度」、「月1～3回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年4～6回程度」は前回調査を下回った。



《舞 踊》

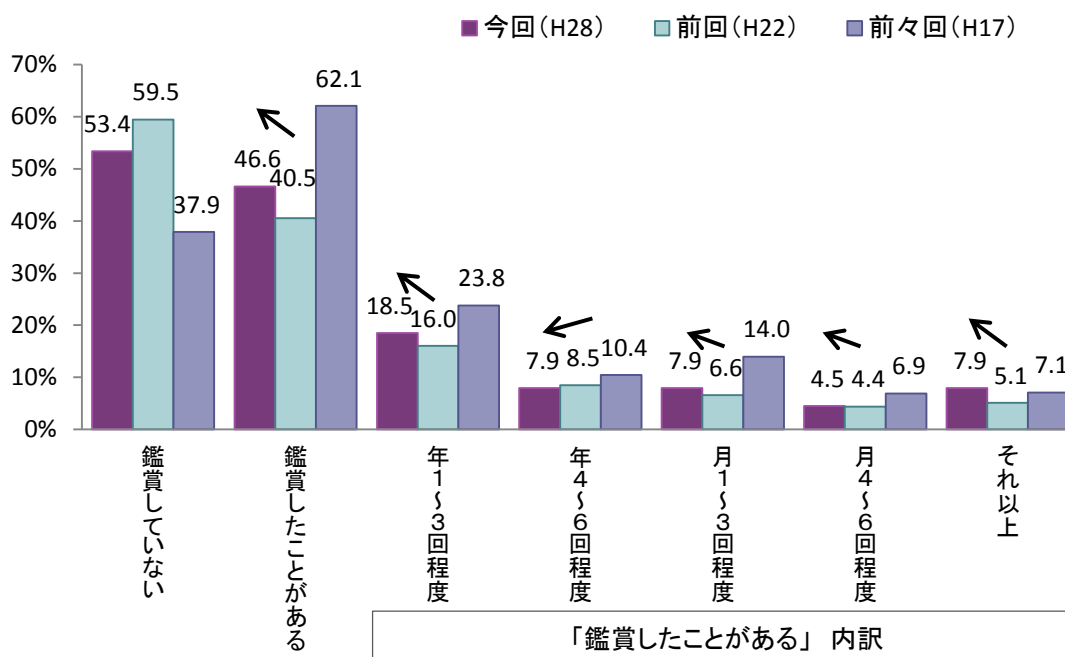
年齢別では、50歳を境に状況が変わってくる。「鑑賞したことがある」の選択率は、50歳未満では約10%であるが、50歳以上では約20%と2倍程度になっている。職業別で無職が20.4%、居住地別で砺波地域が20.0%となり選択率が20%以上となった。



《生活文化》

この1年間、家庭で「生活文化」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は46.6%で前回調査を上回った。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、前回調査を下回ったのは「年4～6回程度」だけであり、他の選択肢は前回調査を上回った。

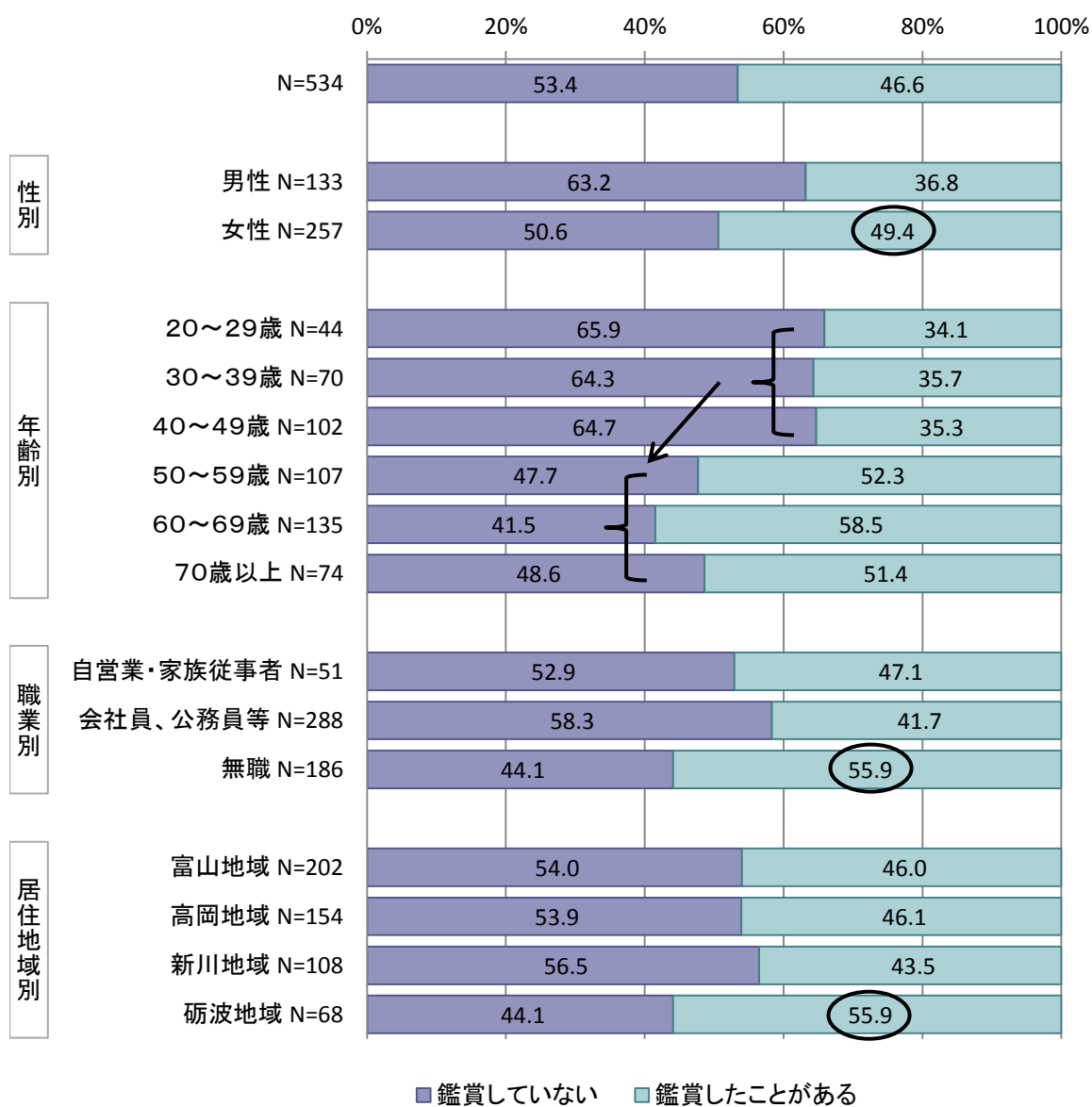


《生活文化》

性別では、「鑑賞したことがある」の選択率は、女性が49.4%と男性の36.8%を大きく上回っている。

年齢別では、「鑑賞したことがある」の選択率は50歳を境に状況が変わってくる。50歳未満の年代では約35%、50歳以上の年代では約50%強となっている。

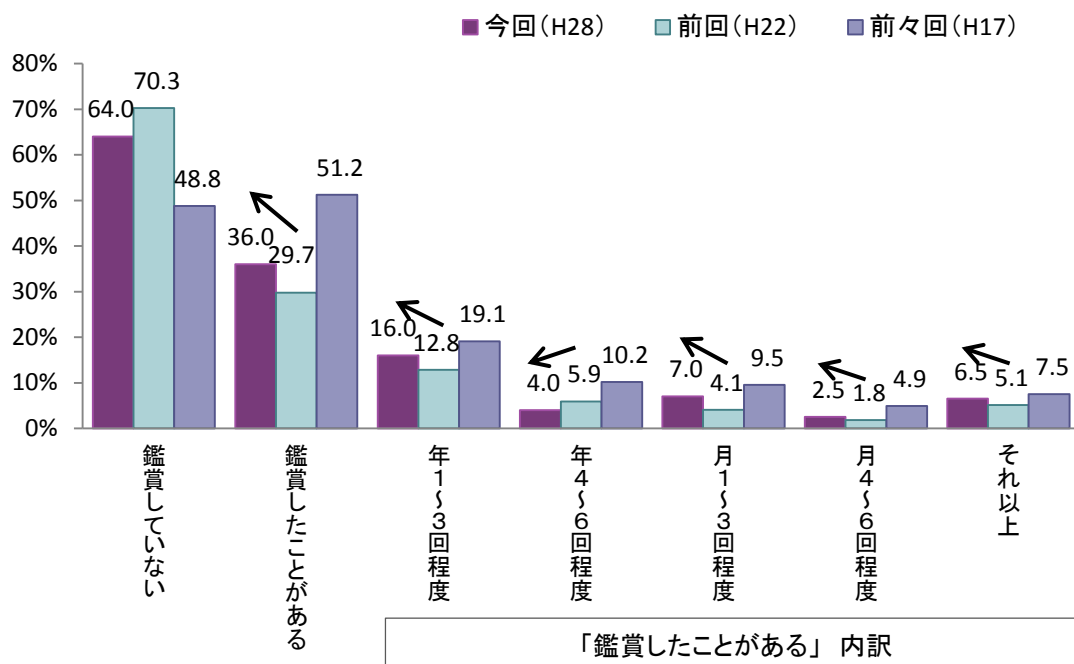
職業別では、無職が55.9%と過半数となり、居住地別では、砺波地域が55.9%と過半数となった。



《文 芸》

この1年間、家庭で「文芸」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は36.0%で前回調査を上回った。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、前回調査を下回ったのは「年4～6回程度」だけであり、他の選択肢は前回調査を上回った。

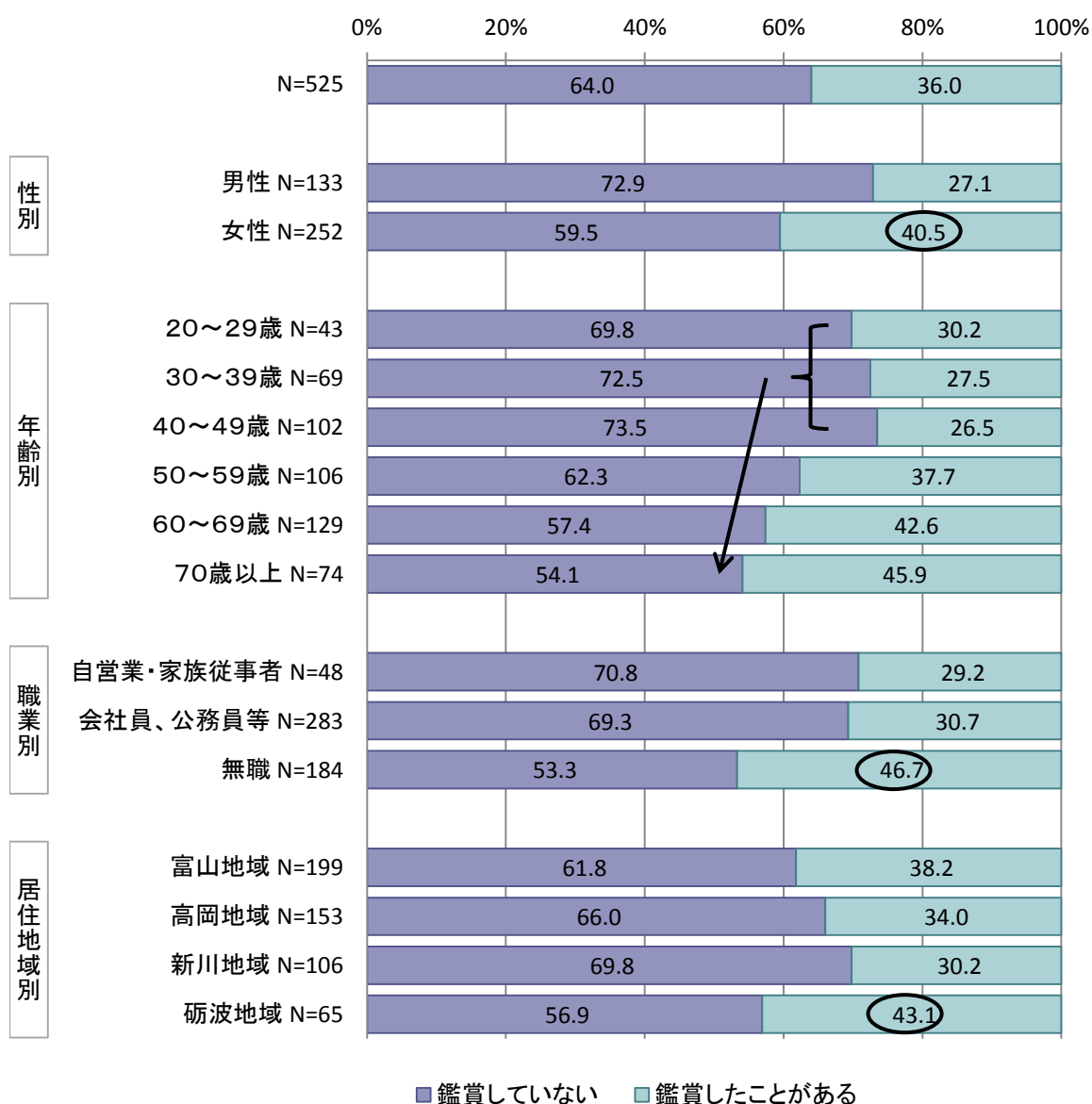


《文 芸》

性別では、女性が40.5%と男性の27.1%を大きく上回った。

年齢別では、「鑑賞したことがある」は、40歳代以下では、選択率が30%程度であるが、50歳代以降年齢層が上がるにつれ選択率が上昇していく傾向がある。

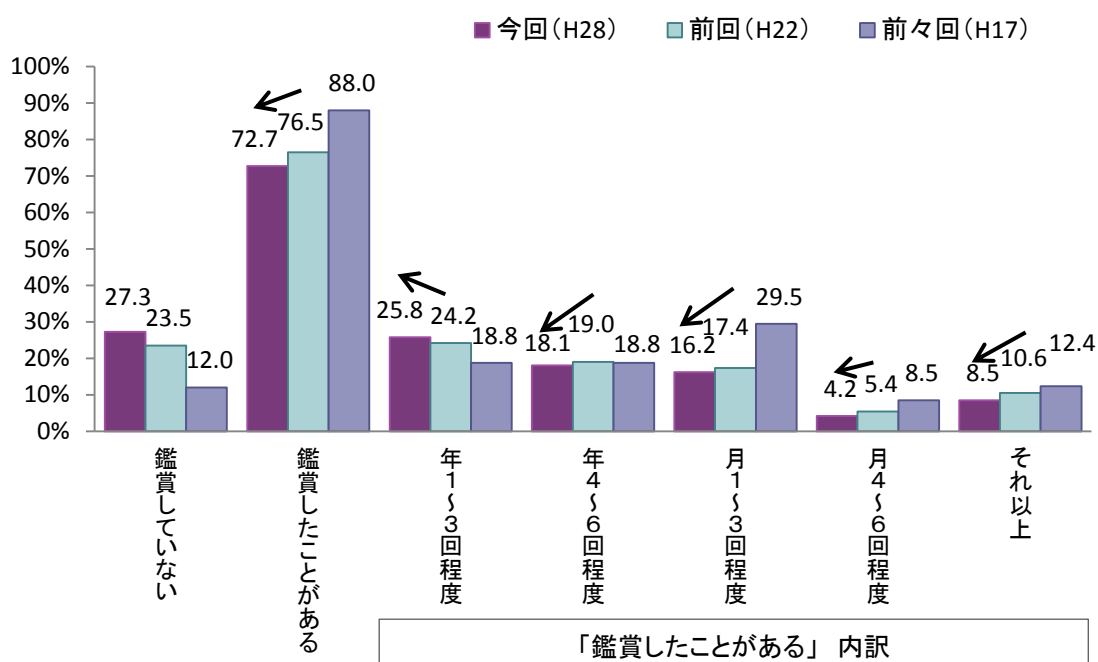
職業別では、無職が46.7%、居住地域別では、砺波地域が43.1%と、それぞれの区分で最も高くなった。



《映画》

この1年間、家庭で「映画」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は72.7%で前回調査と比較するとやや低下した。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、前回調査を上回ったのは「年1～3回程度」だけであり、他の選択肢は前回調査を下回った。

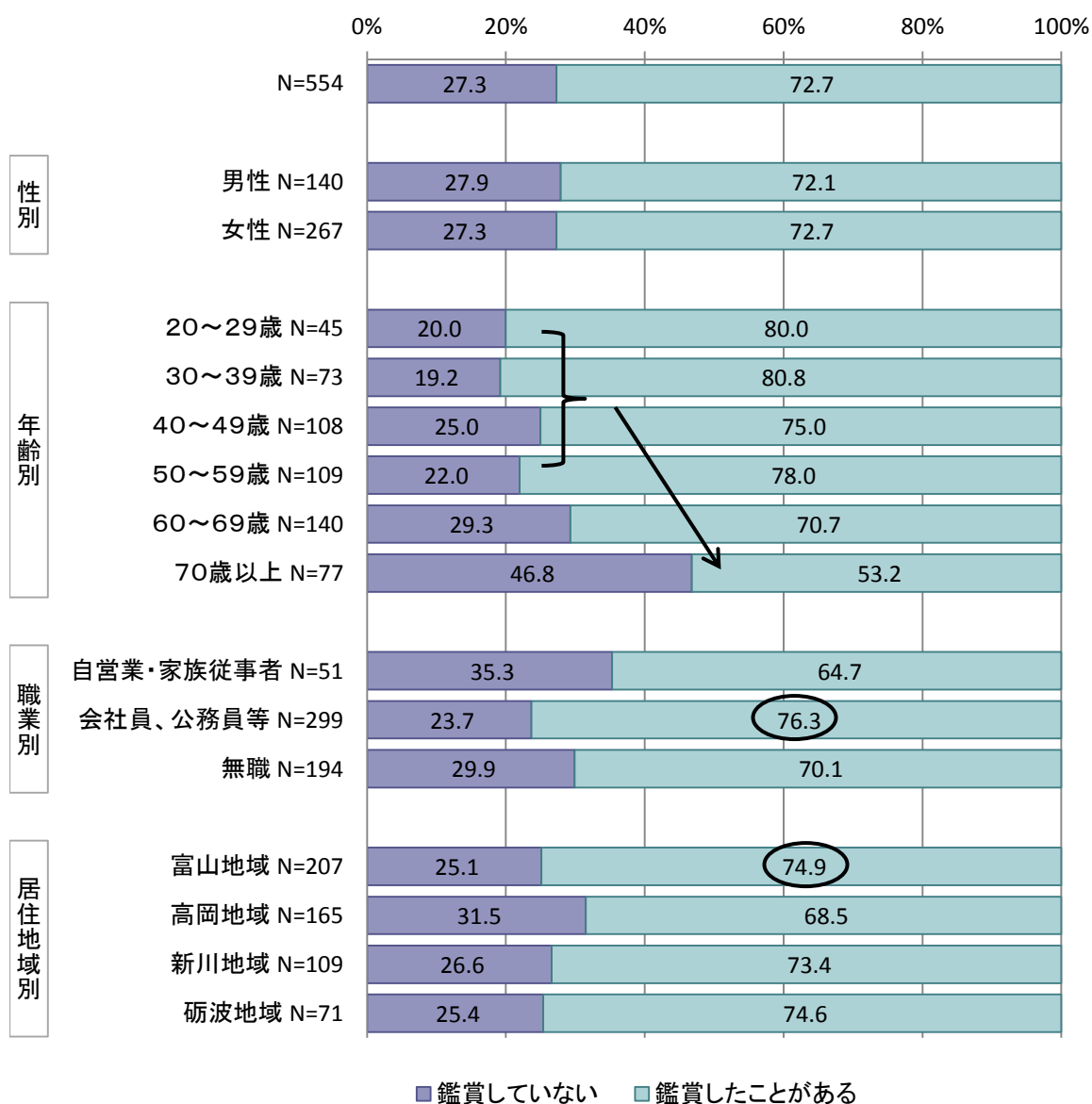


※前々回(H17)は「映画」にアニメーションを含む

《映 画》

年齢別では、「鑑賞したことがある」の選択率は50歳代までは75～80%で推移するが、60歳代で70.7%、70歳以上で53.2%と低下する。

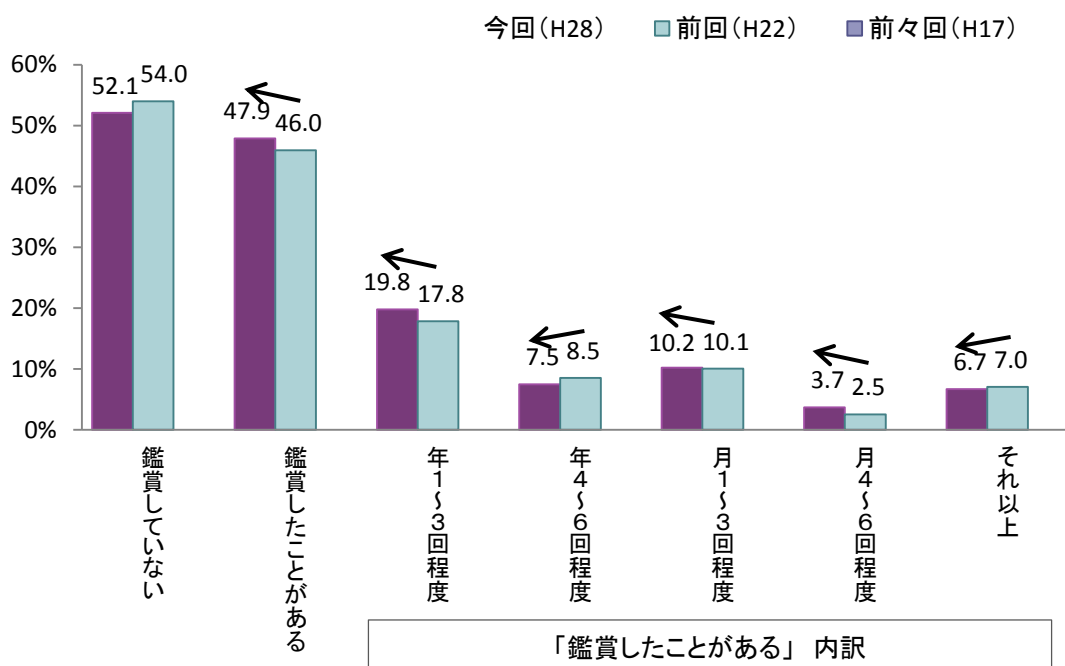
職業別では、会社員、公務員等が76.3%、居住地別では、富山地域が74.9%と、それぞれの区分で最も高くなった。



《メディア芸術》

この1年間、家庭で「メディア芸術」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は47.9%で前回調査を上回った。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、「年1～3回程度」、「月1～3回程度」、「月4～6回程度」は前回調査を上回り、「年4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を下回った。

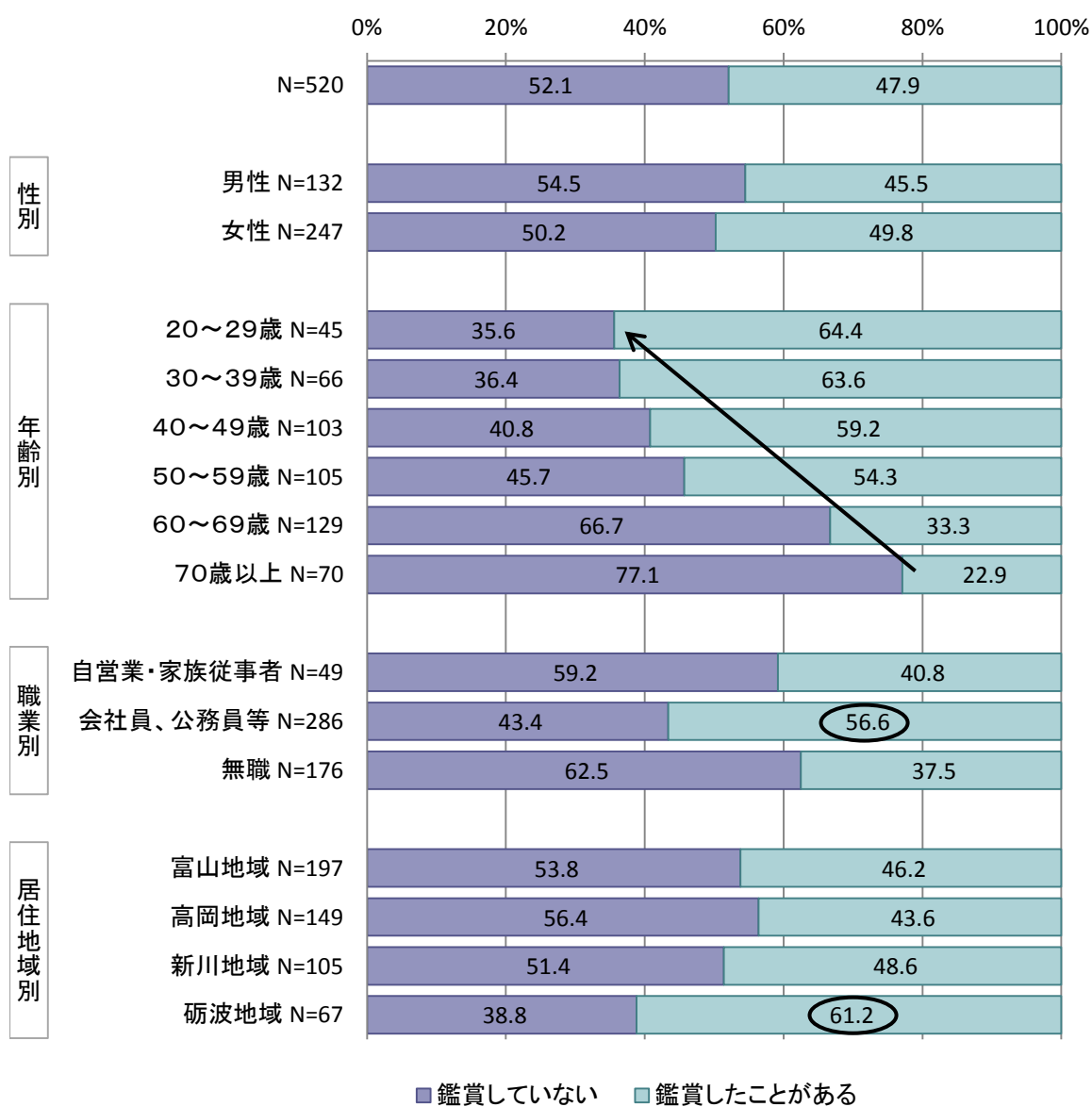


※前々回(H17)は「メディア芸術」は選択肢にない

《メディア芸術》

年齢別では、年齢層が下がるにつれ「鑑賞したことがある」の選択率が高くなっている。

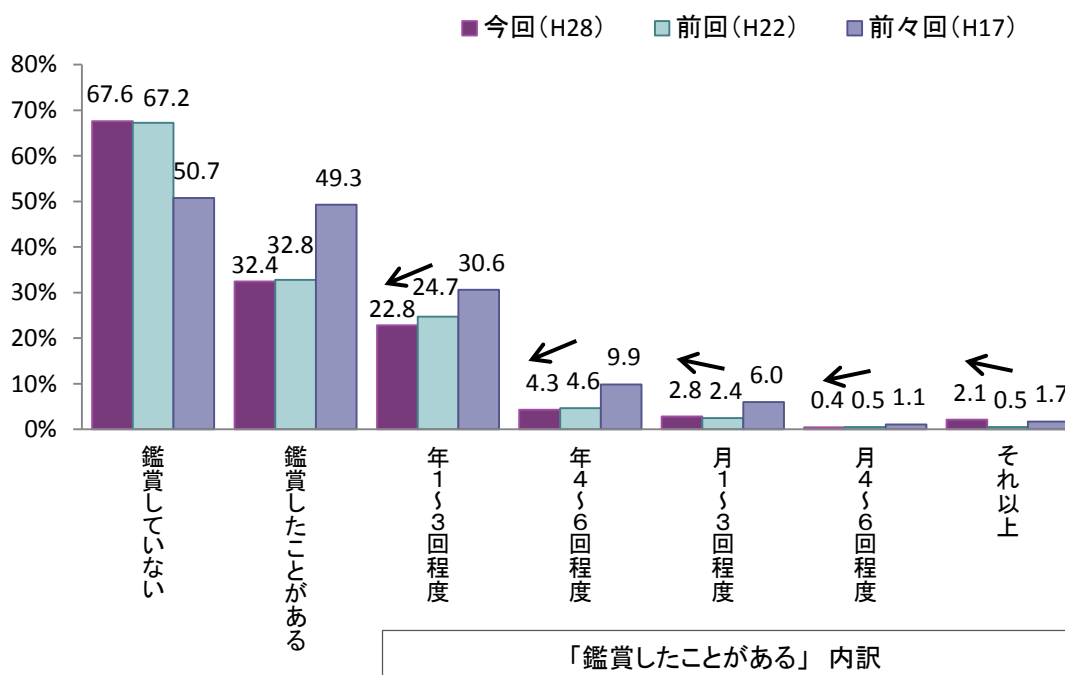
職業別では、会社員、公務員等が56.6%と過半数となり、居住地域別では、砺波地域が61.2%と過半数となった。



《伝統芸能》

この1年間、家庭で「伝統芸能」を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は32.4%で前回調査とほぼ同じであった。

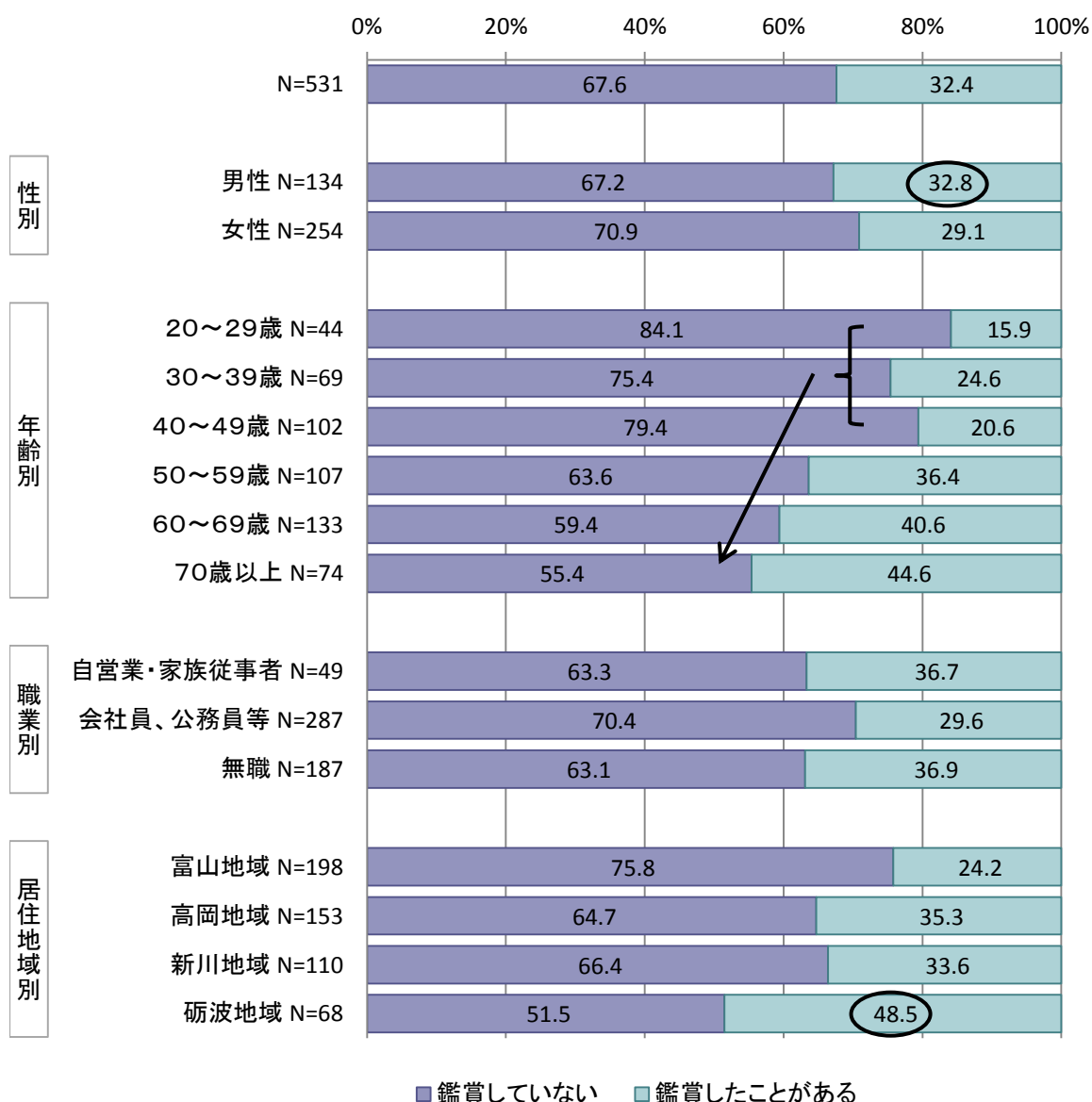
「鑑賞したことがある」の内訳をみると、「月1～3回程度」、「それ以上」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「年4～6回程度」、「月4～6回程度」は前回調査を下回った。



《伝統芸能》

性別では、女性が 29.1%に対し、男性が 32.8%と高くなった。今回調査をした 9つの分野（「その他」除く）のうち、「鑑賞したことがある」と回答した方の割合が女性より男性の方が高いのは、この分野だけであった。

年齢別では、40歳代以下では「鑑賞したことがある」の選択率は20%前後なのに対し、50歳代以上は、年齢層が上がるにつれ「鑑賞したことがある」の選択率が高くなっていく。

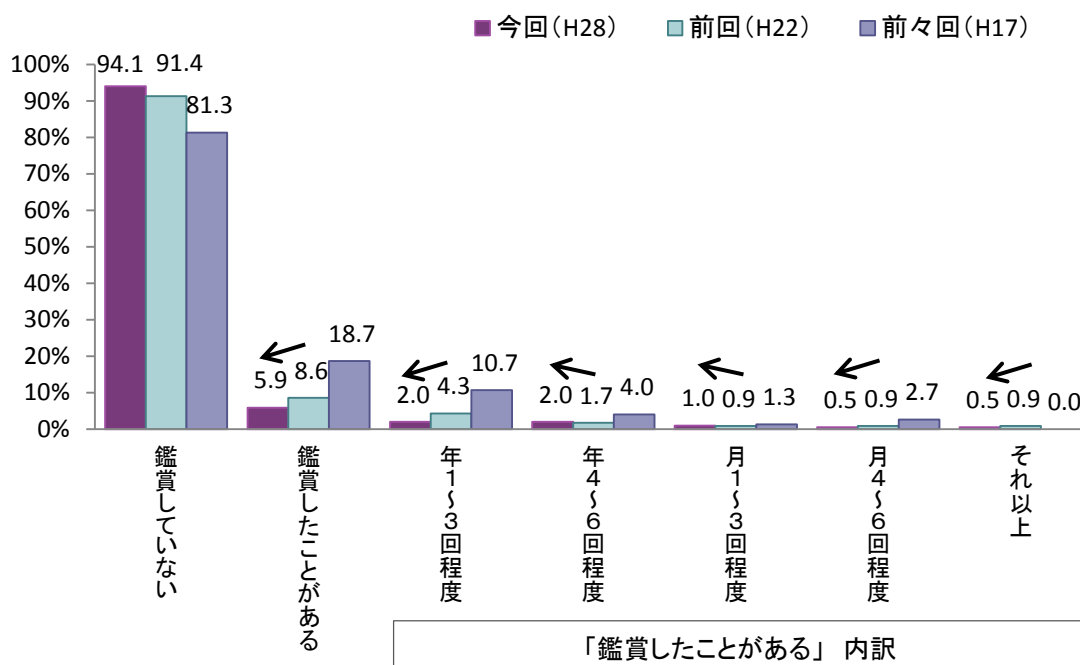


《その他》

この1年間、家庭で「その他」の分野の文化を「鑑賞したことがある」と回答した方の割合は5.9%で前回調査と比較するとやや低下した。

「鑑賞したことがある」の内訳をみると、「年4～6回程度」、「月1～3回程度」は前回調査を上回り、「年1～3回程度」、「月4～6回程度」、「それ以上」は前回調査を下回った。

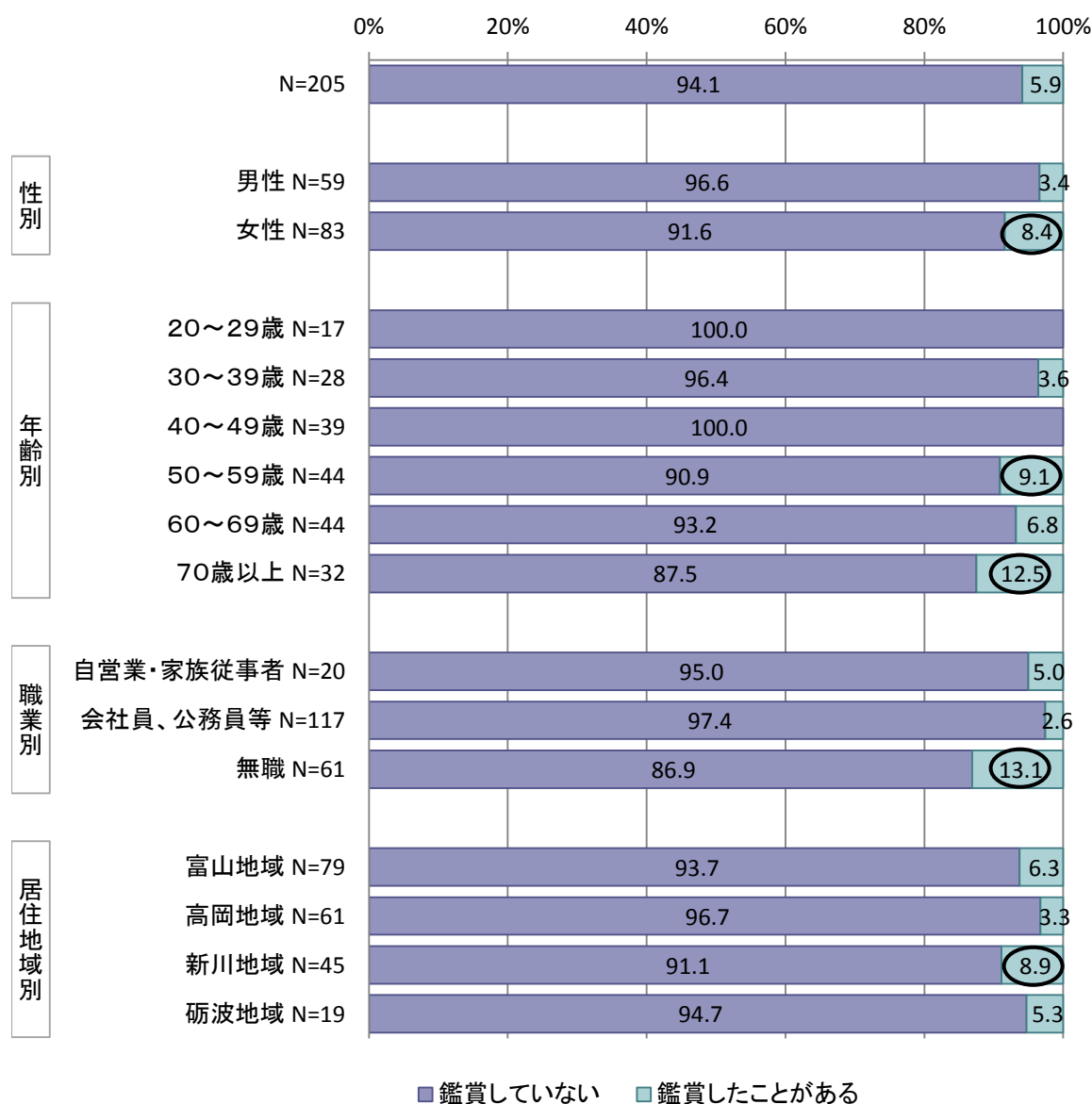
「その他」の具体的な回答は無かった。



《その他》

性別では、男性が3.4%に対し、女性が8.4%と高くなった。

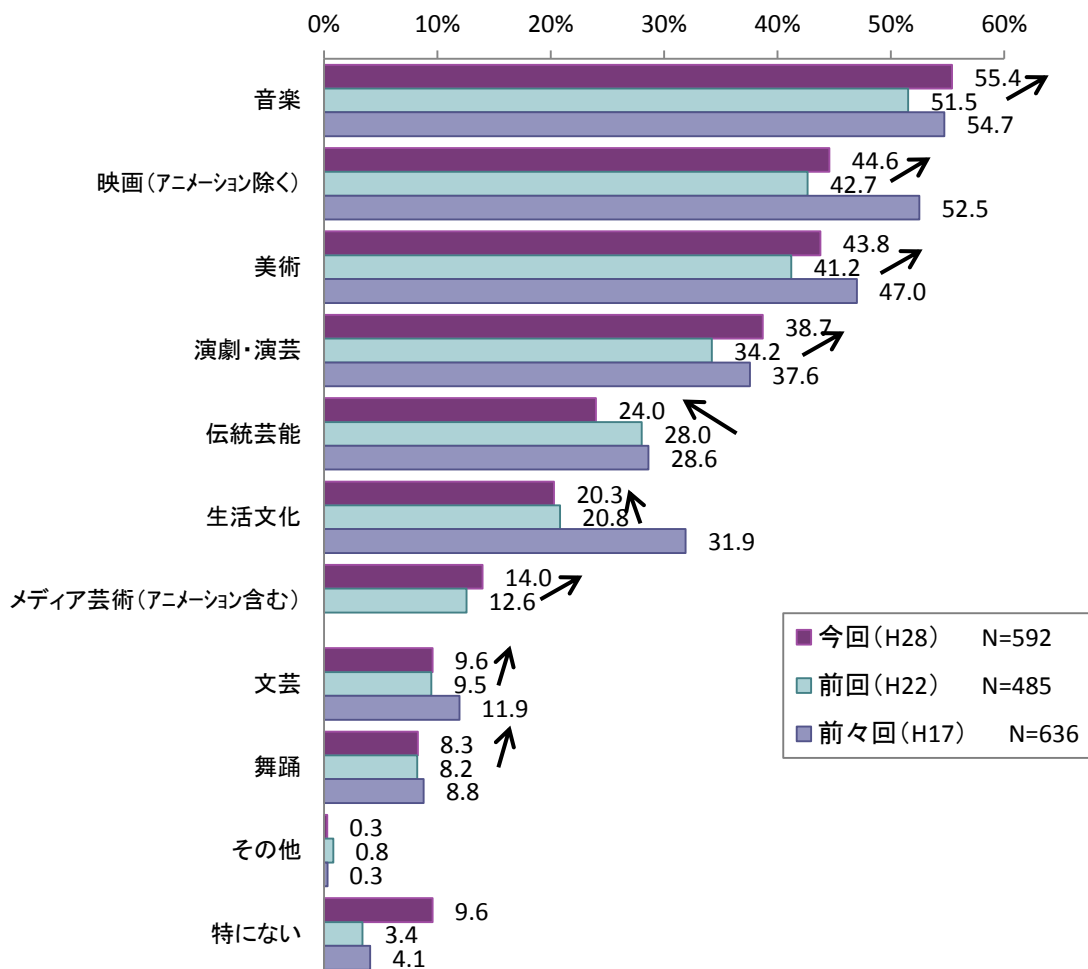
年齢別では、50歳代（9.1%）と70歳以上（12.5%）で他の年代と比較すると高くなった。職業別では、無職が13.1%、居住地別では新川地域が8.9%と、それぞれの区分で最も高くなった。



問6 文化の鑑賞で、今後もっと鑑賞したい分野はどれですか。また、子どもたちに鑑賞させたい分野はどれですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

《今後鑑賞したい分野》

今後もっと鑑賞したい分野は、「音楽」(55.4%)、「映画」(44.6%)、「美術」(43.8%)、「演劇・演芸」(38.7%)、「伝統芸能」(24.0%)、「生活文化」(20.3%)となった。これらの上位6分野を前回調査と比較すると、「音楽」、「映画」、「美術」、「演劇・演芸」は前回調査を上回り、「伝統芸能」、「生活文化」は前回調査を下回った。



※前々回(H17)は「映画」にアニメーションを含み、「メディア芸術」は選択肢になし

性別では、「演劇・演芸」で女性が46.1%、男性が27.2%、「舞踊」で女性が12.3%、男性が1.4%と、女性が男性を大きく上回った。一方、男性が女性を大きく上回ったのは「映画」で、男性51.7%に対し女性は46.1%となった。

年齢別では、「音楽」が50歳代より若い世代では50%を超えている。「生活文化」では、40歳代が最も小さく10.8%となっている。「メディア芸術」は年齢層が若いほど今後もっと鑑賞したいと思っているのに対し、「伝統芸能」は年齢層が上がるにつれ今後もっと鑑賞したいと思っている。

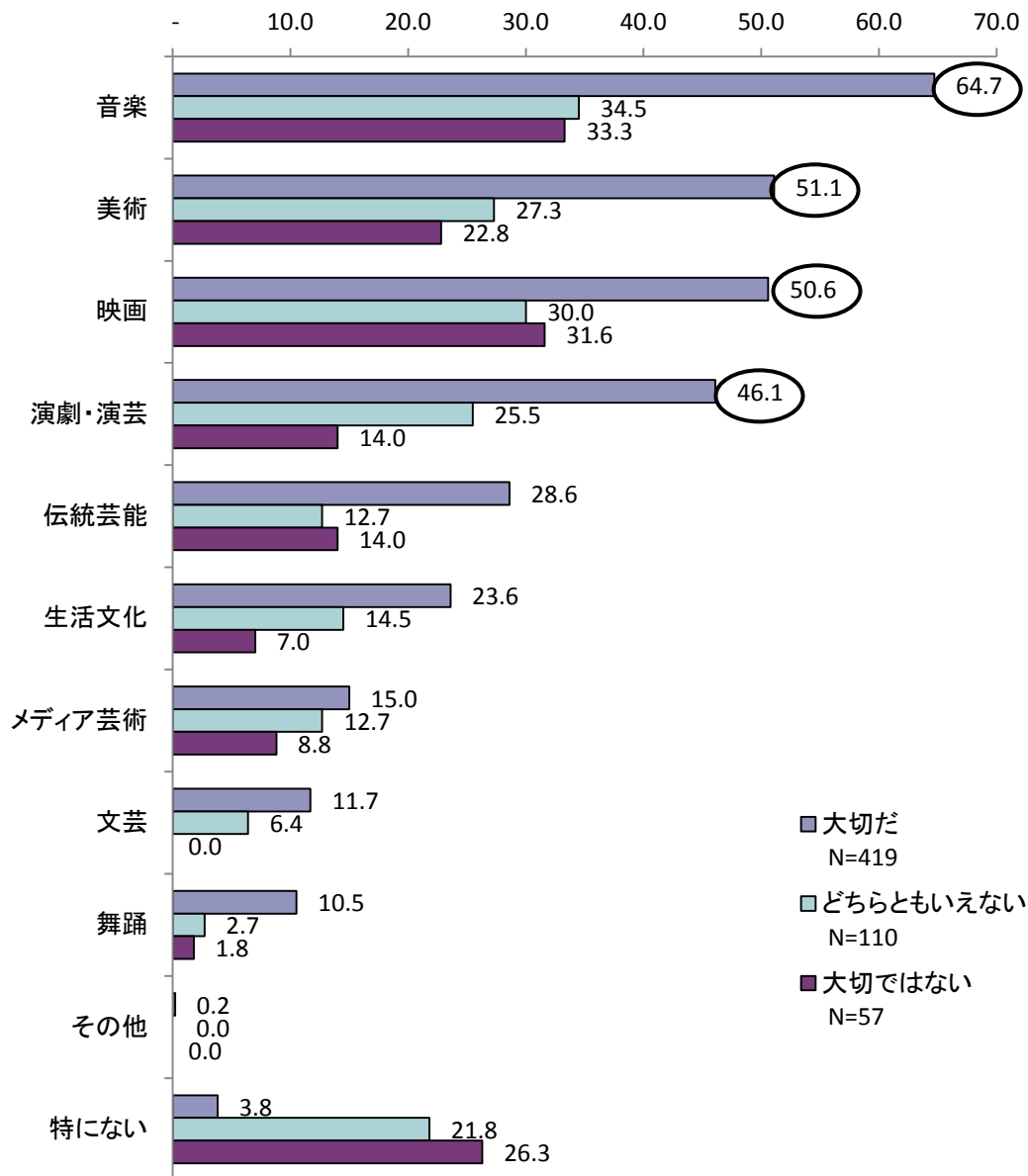
居住地域別では、「音楽」で富山地域が60.1%、新川地域が60.7%と他地域を大きく上回った。また「メディア芸術」では新川地域が22.2%と最も高くなった。

		回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活 文化	文 芸	映 画 (ア ニ メ ー シ ョ ン 除 く)	メ デ ィ ア 芸 術 (ア ニ メ ー シ ョ ン 含 む)	伝 統 芸 能	そ の 他	特 に な い
全体		592	43.8	55.4	38.7	8.3	20.3	9.6	44.6	14.0	24.0	0.3	9.6
性別	男性	147	35.4	51.7	27.2	1.4	18.4	11.6	51.7	17.7	15.6	-	13.6
	女性	284	47.9	59.5	46.1	12.3	23.9	10.2	46.1	13.7	27.8	0.7	6.3
年齢	20～29歳	46	43.5	52.2	28.3	8.7	21.7	8.7	45.7	34.8	15.2	2.2	8.7
	30～39歳	73	41.1	63.0	34.2	9.6	20.5	12.3	52.1	27.4	19.2	-	4.1
	40～49歳	111	35.1	62.2	41.4	3.6	10.8	6.3	55.9	20.7	17.1	-	9.0
	50～59歳	111	46.8	67.6	45.0	9.9	16.2	9.9	49.5	9.9	28.8	-	4.5
	60～69歳	157	51.0	45.9	36.3	7.6	22.9	10.2	40.1	6.4	27.4	0.6	13.4
	70歳以上	92	41.3	44.6	41.3	12.0	31.5	10.9	26.1	3.3	29.3	-	15.2
職業	自営業・ 家族従事者	53	43.4	56.6	34.0	9.4	26.4	7.5	37.7	9.4	24.5	-	13.2
	会社員、 公務員等	313	41.2	55.9	39.3	7.3	16.0	9.3	48.2	17.9	22.0	-	8.0
	無職	210	48.1	56.2	39.0	9.0	25.2	10.5	41.9	10.0	27.1	0.5	10.5
居住 地域	富山地域	218	45.0	60.1	40.8	8.3	18.8	11.0	45.0	11.9	26.1	0.5	9.2
	高岡地域	180	46.1	48.3	36.1	8.3	20.6	7.2	42.2	13.9	25.0	-	11.1
	新川地域	117	41.0	60.7	41.0	9.4	21.4	7.7	45.3	22.2	19.7	0.9	8.5
	砺波地域	75	40.0	49.3	36.0	6.7	22.7	14.7	48.0	8.0	22.7	-	9.3

●自分にとって文化を鑑賞することが大切か(問9(1))

大切だ	419	51.1	64.7	46.1	10.5	23.6	11.7	50.6	15.0	28.6	0.2	3.8
どちらともいえない	110	27.3	34.5	25.5	2.7	14.5	6.4	30.0	12.7	12.7	-	21.8
大切ではない	57	22.8	33.3	14.0	1.8	7.0	-	31.6	8.8	14.0	-	26.3

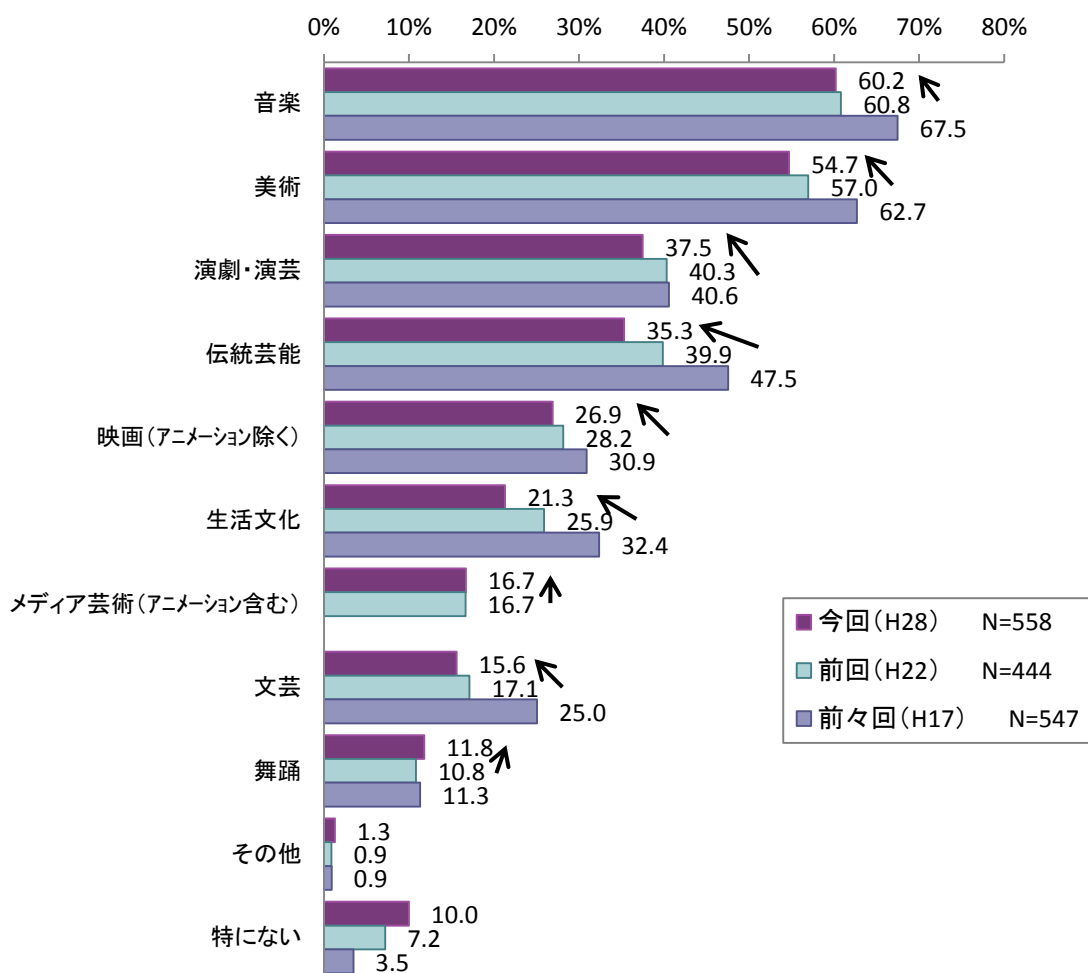
問9の(1)「日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したりすることが自分にとって大切だと思うか」との設問の回答とクロス集計すると、自分にとって文化を鑑賞することが「大切だ」と思っている方は、「音楽」、「美術」、「映画」、「演劇・演芸」などを鑑賞したいと思っている人が多い。



《子どもたちに鑑賞させたい分野》

今後子どもたちに鑑賞させたい分野は、「音楽」(60.2%)、「美術」(54.7%)、「演劇・演芸」(37.5%)、「伝統芸能」(35.3%)、「映画」(26.9%)、「生活文化」(21.3%)となった。前回調査と比較すると、「舞踊」は前回調査を上回り、「メディア芸術」は前回調査と同率となり、「音楽」、「美術」、「演劇・演芸」、「伝統芸能」、「映画」、「生活文化」、「文芸」は前回調査を下回った。

「その他」として、「道徳を学べる施設」、「伝統を重んじ鑑賞させたい全て」との回答があった。



性別では、「美術」、「音楽」、「演劇・演芸」、「舞踊」で女性が男性を大きく上回り、「文芸」では男性が女性を上回った。年齢別では、「メディア芸術」で、年齢層が若いほど子どもたちに鑑賞させたいという結果になった。

職業別では、「伝統芸能」で自営業・家族従事者、「音楽」、「生活文化」で無職が高くなった。居住地別では、「演劇・演芸」、「映画」で富山地域、「生活文化」で新川地域が高くなった。

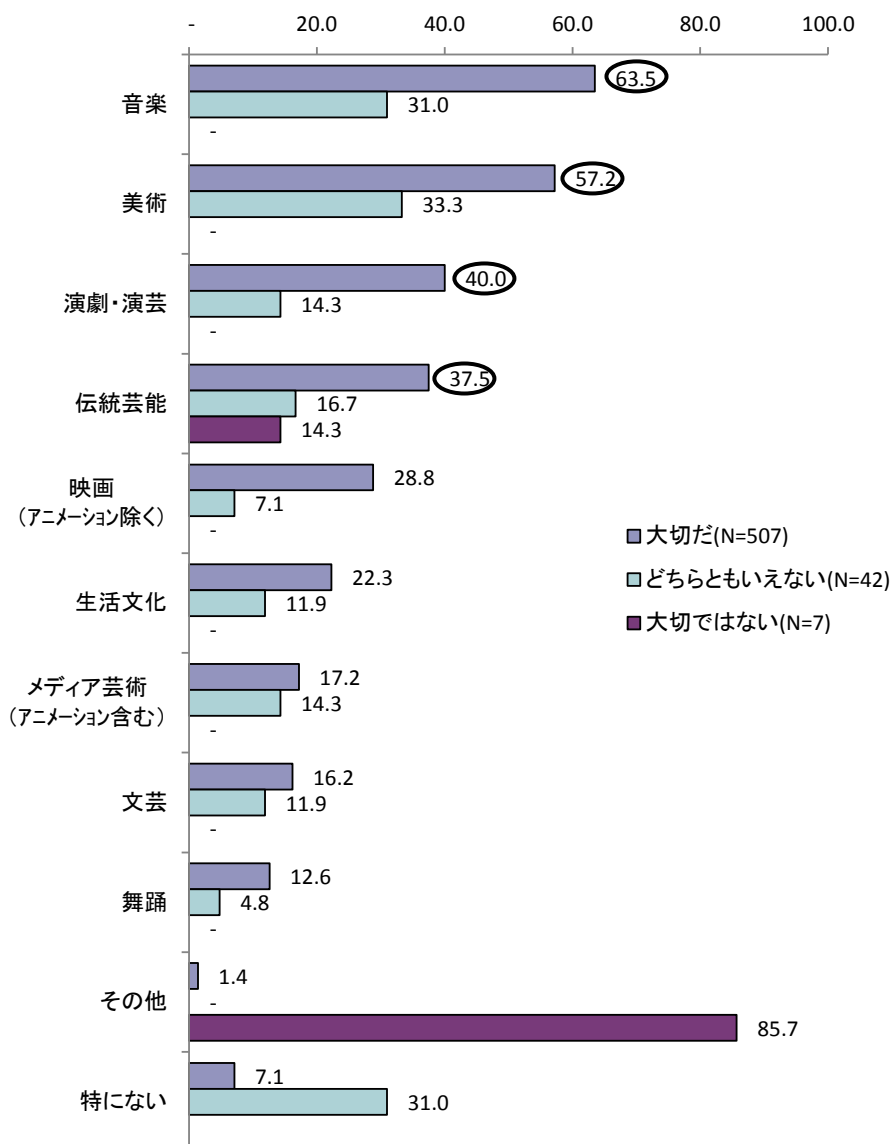
(%)

		回答者 (人)	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画 (アニメーション除く)	メディア芸術 (アニメーション含む)	伝統芸能	その他	特 に ない
全体		558	54.7	60.2	37.5	11.8	21.3	15.6	26.9	16.7	35.3	1.3	10.0
性別	男性	140	48.6	54.3	32.1	7.9	20.0	20.7	29.3	20.0	31.4	1.4	12.9
	女性	273	58.6	67.0	44.3	14.3	22.7	14.7	26.7	16.8	38.5	1.1	8.1
年齢	20～29歳	42	47.6	50.0	40.5	14.3	28.6	19.0	40.5	26.2	33.3	-	9.5
	30～39歳	71	50.7	62.0	40.8	15.5	19.7	19.7	31.0	23.9	38.0	-	7.0
	40～49歳	106	56.6	63.2	39.6	5.7	14.2	11.3	28.3	17.9	21.7	0.9	11.3
	50～59歳	107	57.0	64.5	44.9	15.9	18.7	18.7	30.8	15.9	39.3	-	5.6
	60～69歳	149	57.0	57.7	35.6	10.1	22.1	14.1	22.8	12.8	38.9	2.7	11.4
	70歳以上	81	51.9	58.0	23.5	12.3	30.9	14.8	16.0	11.1	40.7	2.5	14.8
職業	自営業・ 家族従事者	49	46.9	53.1	32.7	10.2	20.4	10.2	26.5	20.4	40.8	-	12.2
	会社員、 公務員等	302	54.3	59.6	39.4	11.6	18.2	16.6	28.5	17.9	32.8	0.7	7.6
	無職	194	58.8	62.9	37.1	12.9	27.3	15.5	25.3	13.9	38.7	2.1	12.9
居住地	富山地域	204	54.9	61.8	40.2	10.8	21.6	16.7	32.4	13.7	34.8	2.5	11.8
	高岡地域	169	55.0	60.4	34.3	12.4	20.7	15.4	25.4	18.3	36.1	0.6	10.1
	新川地域	110	56.4	59.1	39.1	14.5	24.5	15.5	23.6	19.1	33.6	0.9	7.3
	砺波地域	73	52.1	56.2	35.6	8.2	17.8	13.7	19.2	15.1	38.4	-	9.6

問9の(2)「日常生活の中でいろいろな文化を鑑賞したりすることが子どもたちにとって大切だと思うか」との設問の回答とクロス集計すると、子どもたちにとって文化を鑑賞することが「大切だ」と思っている方は、「美術」、「音楽」を鑑賞させたいと思っている方が約6割、「演劇・演芸」、「伝統芸能」を鑑賞させたいと思っている方が約4割となった。

(%)

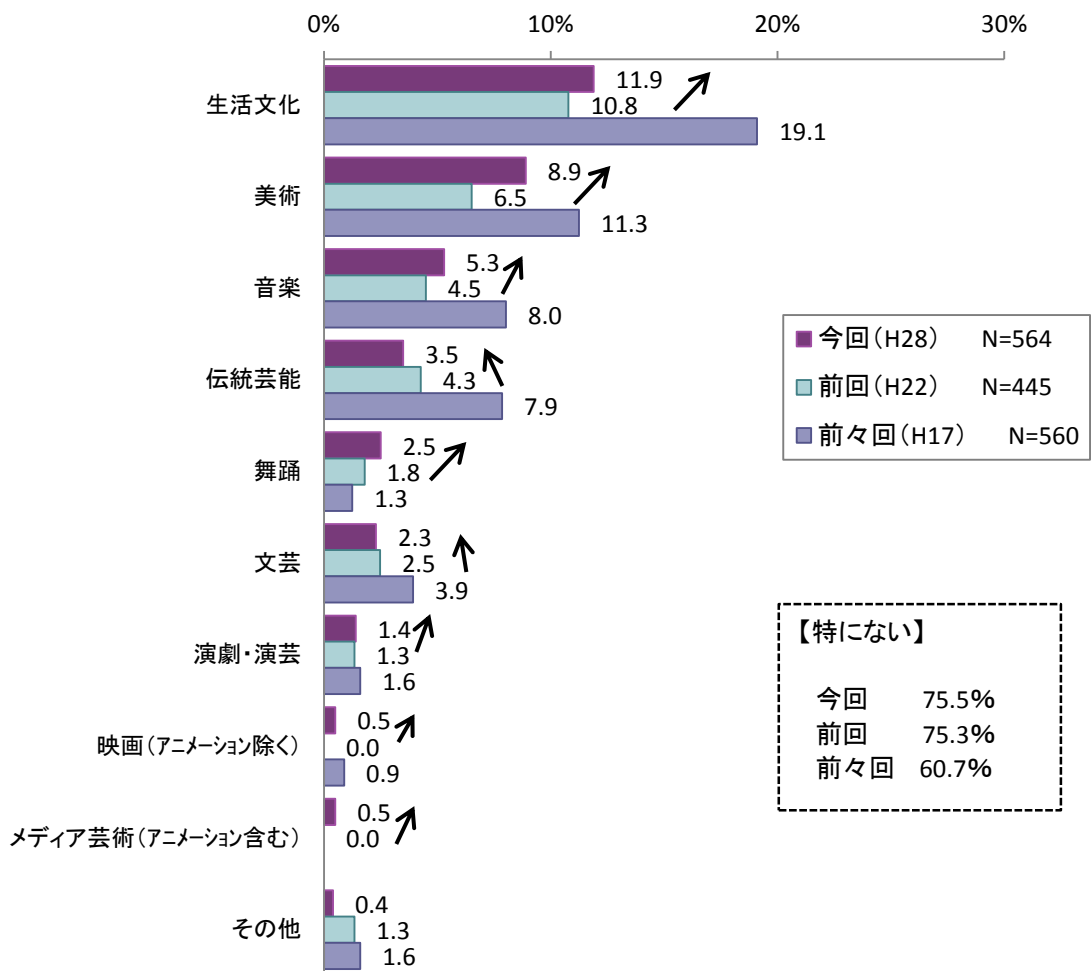
●子どもたちにとって文化を鑑賞することが大切か(問9(2))													
	回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画 (アニメーション 除く)	映画 (アニメーション 含む)	メディア芸術 (アニメーション 含む)	伝統芸能	その他	特 に ない
大切だ	507	57.2	63.5	40.0	12.6	22.3	16.2	28.8	17.2	37.5	1.4	7.1	
どちらとも いえない	42	33.3	31.0	14.3	4.8	11.9	11.9	7.1	14.3	16.7	-	31.0	
大切ではない	7	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	85.7	



問7(1) この1年間に、ご自身で演じたり、作ったりした文化活動はありますか。また、今後ご自身で演じたり、作ったりしてみたいと思う文化活動はありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

《演じたり、作ったりした文化活動》

「特にない」と回答した方が7割を超える中、「生活文化」が11.9%と最も多くなり、前回調査を上回った。また、「美術」、「音楽」、「舞踊」、「演劇・演芸」、「映画」、「メディア芸術」も前回調査を上回り、「伝統芸能」、「文芸」は前回調査を下回った。



性別でみると、「生活文化」は男女差が最も大きく、女性が男性を9.8ポイント上回った。

年齢別では、「美術」で20歳代、30歳代、70歳以上、「音楽」で30歳代、50歳代、「舞踊」で30歳代、70歳以上、「生活文化」で20歳代、70歳以上、「文芸」で70歳以上、「伝統芸能」で20歳代、50歳代、70歳以上が高くなった。

職業別では、「生活文化」で自営業・家族従事者が高く、居住地別では、「美術」で砺波地域、「舞踊」で新川地域、「生活文化」で高岡地域、「伝統芸能」で新川地域が高くなった。

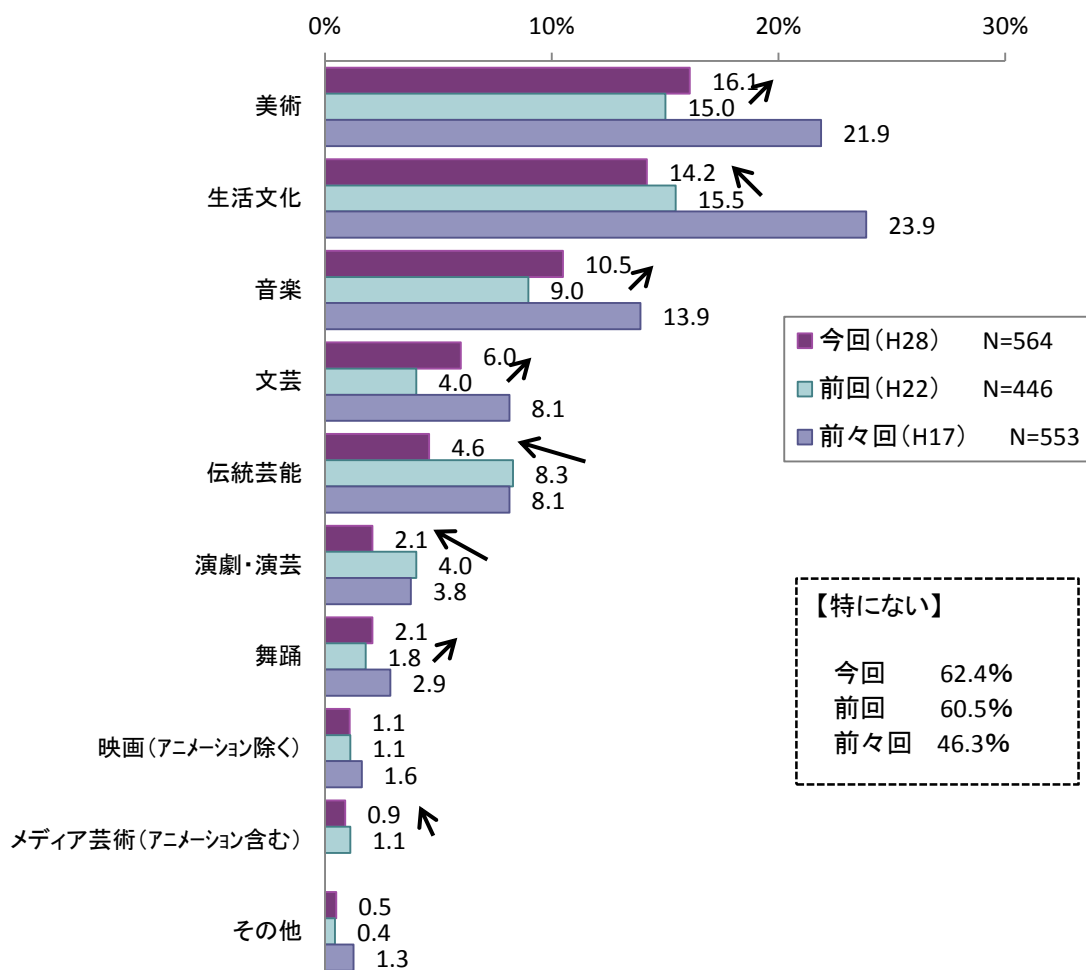
(%)

	回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活 文化	文 芸	映 画 (ア ニ メ ー シ ョ ン 除 く)	メ デ ィ ア 芸 術 (ア ニ メ ー シ ョ ン 含 む)	伝 統 芸 能	そ の 他	特 に な い	
全体	564	8.9	5.3	1.4	2.5	11.9	2.3	0.5	0.5	3.5	0.4	75.5	
性別	男性	139	9.4	6.5	1.4	0.7	5.8	0.7	0.7	1.4	5.8	-	77.0
	女性	269	10.0	5.6	0.7	3.0	15.6	2.6	0.4	0.4	2.2	0.7	72.5
年齢	20～29歳	45	11.1	2.2	-	2.2	17.8	-	-	2.2	4.4	2.2	73.3
	30～39歳	71	11.3	7.0	2.8	4.2	7.0	2.8	1.4	1.4	2.8	-	78.9
	40～49歳	107	4.7	2.8	-	-	6.5	0.9	-	0.9	1.9	-	86.9
	50～59歳	106	8.5	7.5	1.9	1.9	11.3	0.9	0.9	-	4.7	0.9	74.5
	60～69歳	149	8.7	5.4	2.0	2.7	13.4	2.7	0.7	-	3.4	-	72.5
	70歳以上	85	11.8	5.9	1.2	4.7	17.6	5.9	-	-	4.7	-	65.9
職業	自営業・ 家族従事者	52	11.5	3.8	3.8	1.9	17.3	1.9	-	-	-	-	69.2
	会社員、 公務員等	299	7.4	5.4	1.3	2.0	9.7	0.3	0.7	0.7	5.0	-	78.9
	無職	199	11.1	6.0	1.0	3.0	13.6	5.5	0.5	0.5	2.0	0.5	71.4
居住地	富山地域	212	7.5	5.7	0.5	2.4	12.3	2.4	0.5	-	2.4	0.5	78.3
	高岡地域	170	8.2	3.5	1.2	1.8	13.5	2.4	1.2	-	4.7	0.6	75.9
	新川地域	111	8.1	6.3	2.7	4.5	8.1	1.8	-	1.8	5.4	-	73.0
	砺波地域	69	15.9	7.2	2.9	1.4	13.0	2.9	-	1.4	1.4	-	69.6

《今後演じたり、作ったりしてみたいと思う文化活動》

「特にない」と回答した方が約6割を占める中、「美術」が16.1%、「生活文化」が14.2%、「音楽」が10.5%となった。前回調査と比較すると「美術」、「音楽」、「文芸」、「舞踊」で前回調査を上回り、「生活文化」、「伝統芸能」、「演劇・演芸」、「メディア芸術」で前回調査を下回った。

また、「美術」（前回15.0%⇒今回16.1%）と「生活文化」（同15.5%⇒14.2%）で、「文芸」（同4.0%⇒6.0%）と「伝統芸能」（同8.3%⇒4.6%）で、前回調査と比べて順位が入れ替わった。



性別でみると、「美術」は男女差が最も大きく、女性が男性を6.1ポイント上回った。

年齢別では、20歳代で「生活文化」、「伝統芸能」が、30歳代で「美術」、「音楽」、「演劇・演芸」、「メディア芸術」が、40歳代で「映画」が、70歳以上で「舞踊」、「文芸」が他の年代と比較して高くなった。

職業別では、「美術」、「生活文化」で自営業者・家族従事者が高く、居住地別では、「生活文化」で砺波地域が、「文芸」で富山地域が、「伝統芸能」で高岡地域が高くなった。

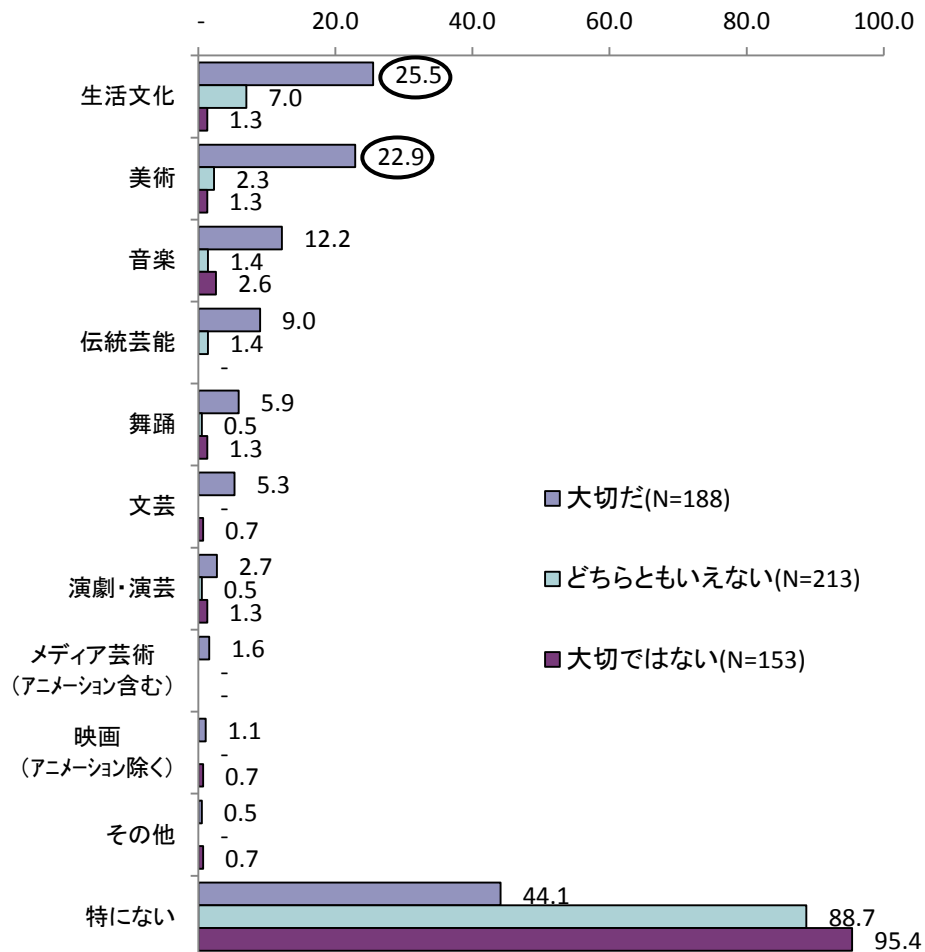
(%)

		回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活 文化	文 芸	映 画 (ア ニ メ ー シ ョ ン 除 く)	メ デ ィ ア 芸 術 (ア ニ メ ー シ ョ ン 含 む)	伝 統 芸 能	そ の 他	特 に な い
全体		564	16.1	10.5	2.1	2.1	14.2	6.0	1.1	0.9	4.6	0.5	62.4
性別	男性	141	14.9	12.1	0.7	2.1	11.3	2.8	1.4	0.7	3.5	0.7	64.5
	女性	272	21.0	11.4	2.9	2.2	17.6	7.7	0.4	1.1	4.8	0.7	57.7
年齢	20～29歳	44	18.2	11.4	-	2.3	22.7	6.8	-	-	9.1	-	54.5
	30～39歳	70	18.6	15.7	7.1	2.9	7.1	2.9	-	4.3	-	-	65.7
	40～49歳	107	17.8	11.2	1.9	1.9	13.1	5.6	2.8	1.9	1.9	0.9	60.7
	50～59歳	108	16.7	13.0	2.8	0.9	12.0	6.5	0.9	-	4.6	1.9	63.0
	60～69歳	147	13.6	6.1	1.4	2.0	15.6	5.4	1.4	-	6.1	-	64.6
	70歳以上	86	15.1	8.1	-	3.5	17.4	9.3	-	-	7.0	-	61.6
職業	自営業・ 家族従事者	53	22.6	13.2	1.9	1.9	20.8	5.7	1.9	-	7.5	-	50.9
	会社員、 公務員等	299	16.1	11.4	2.7	2.3	12.4	4.3	1.0	1.3	4.3	0.3	63.5
	無職	198	14.6	9.1	1.5	1.0	14.6	9.1	1.0	-	4.0	1.0	63.6
居住地	富山地域	208	14.9	10.1	0.5	1.4	10.6	7.2	0.5	0.5	3.4	1.0	68.3
	高岡地域	171	17.0	10.5	3.5	1.8	15.2	4.7	1.8	1.2	7.6	0.6	58.5
	新川地域	114	14.9	8.8	2.6	3.5	14.9	6.1	1.8	0.9	3.5	-	59.6
	砺波地域	69	20.3	14.5	2.9	2.9	21.7	5.8	-	1.4	2.9	-	58.0

問9の(1)「日常生活の中でいろいろな文化を自分が演じたり、作ったりすることが自分にとって大切だと思うか」との設問の回答とクロス集計すると、自分にとって文化を演じたり、作ったりすることが「大切だ」と思っている方は、「生活文化」、「美術」を体験したいと思っている方が約2割となった。

(%)

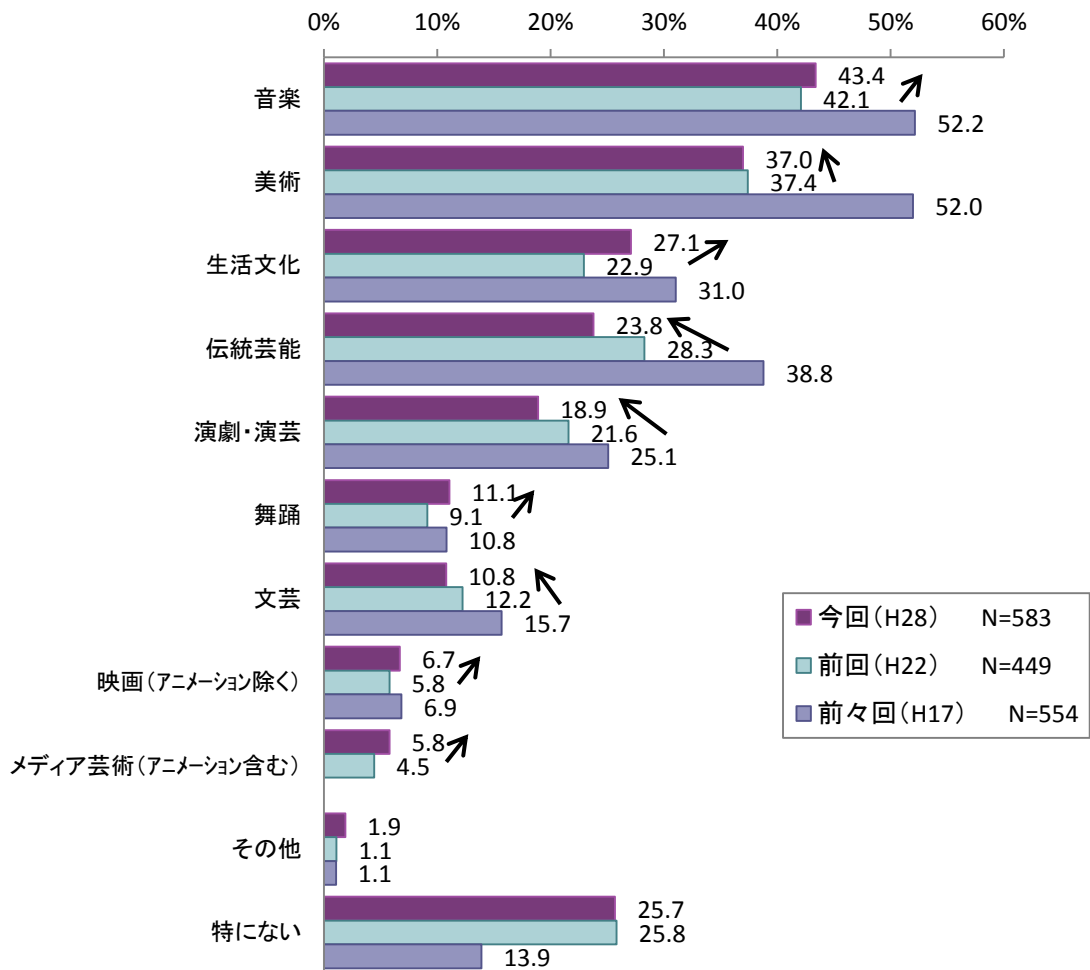
●自分にとって自ら演じたり、作ったりすることが大切か(問9(1))												
	回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活 文化	文芸	映画 (アニメーション 除く)	メディア 芸術 (アニメーション 含む)	伝統 芸能	その他	特 に ない
大切だ	188	22.9	12.2	2.7	5.9	25.5	5.3	1.1	1.6	9.0	0.5	44.1
どちらとも いえない	213	2.3	1.4	0.5	0.5	7.0	-	-	-	1.4	-	88.7
大切ではない	153	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	-	-	0.7	95.4



問7(2) 子どもたちに、今後、演じたり、作ったりさせてみたいと思う文化活動(現在させている文化活動を含む)はありますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

「音楽」が43.4%、「美術」が37.0%、「生活文化」が27.1%、「伝統芸能」が23.8%、「演劇・演芸」が18.9%となった。前回調査と比較すると上記5分野の中では、「音楽」、「生活文化」は前回調査を上回り、「美術」、「伝統芸能」、「演劇・演芸」は前回調査を下回った。

「その他」として、「物づくり」、「子ども自身が興味のあること」、「昔の遊びを学校で実施」などの回答があった。



性別でみると、「音楽」、「美術」は男女差が大きく、「音楽」は女性が男性を 8.8 ポイント、「美術」は女性が男性を 6.2 ポイント上回った。

年齢別では、20 歳代で「文芸」、「映画」が、30 歳代で「音楽」、「演劇・演芸」、「舞踊」、「伝統芸能」が、40 歳代で「美術」、「メディア芸術」が、60 歳代で「生活文化」が他の年代と比較して高くなった。

職業別では、「生活文化」で自営業・家族従事者が 40.4%と高く、居住地別では、「音楽」で高岡地域が 46.0%、「美術」で砺波地域が 45.9%と高くなった。

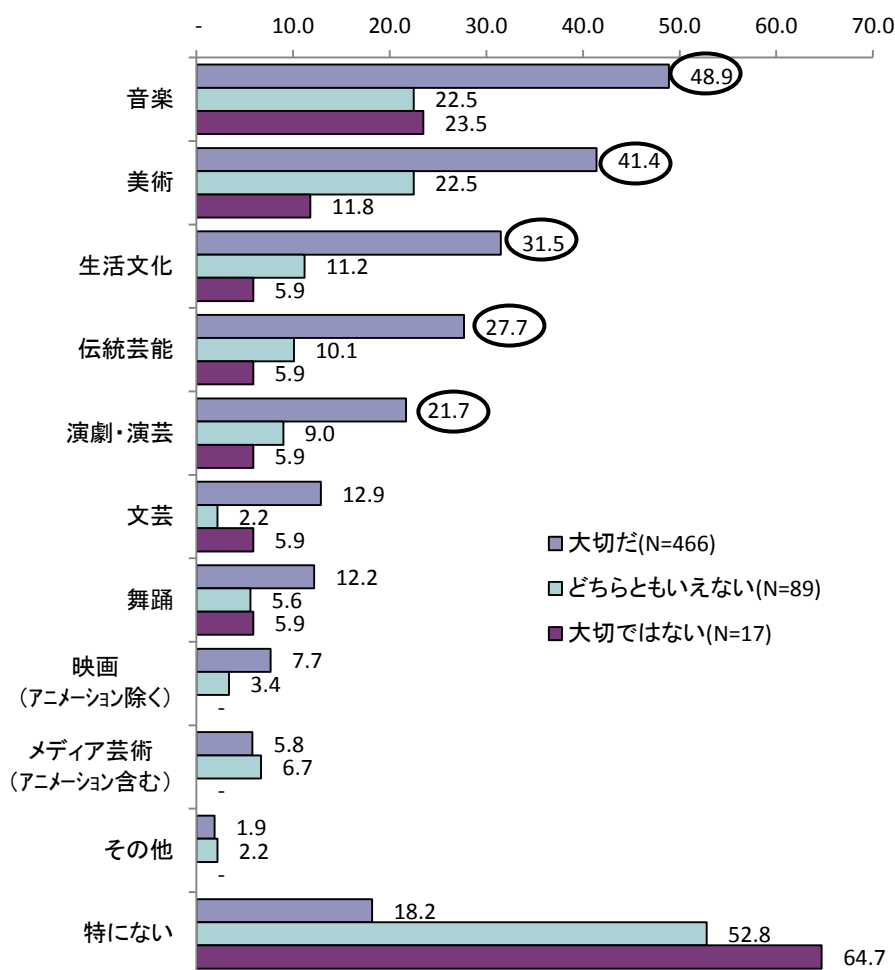
(%)

	回答者 (人)	美術	音楽	演劇・ 演芸	舞踊	生活 文化	文 芸	映 画 (ア ニ メ ー シ ョ ン 除 く)	メ デ ィ ア 芸 術 (ア ニ メ ー シ ョ ン 含 む)	伝 統 芸 能	そ の 他	特 に な い	
全体	583	37.0	43.4	18.9	11.1	27.1	10.8	6.7	5.8	23.8	1.9	25.7	
性別	男性	146	34.2	39.0	16.4	9.6	24.7	11.0	6.2	6.2	24.0	4.8	21.9
	女性	276	42.0	47.8	20.3	11.6	30.1	11.6	6.5	5.8	22.8	0.7	24.6
年齢	20～29歳	44	38.6	40.9	25.0	9.1	22.7	20.5	9.1	6.8	-	20.5	
	30～39歳	72	38.9	52.8	26.4	15.3	30.6	11.1	8.3	2.8	29.2	11.1	
	40～49歳	110	40.9	42.7	14.5	10.0	21.8	5.5	5.5	7.3	13.6	1.8	30.9
	50～59歳	111	38.7	45.9	26.1	16.2	21.6	13.5	8.1	6.3	24.3	3.6	26.1
	60～69歳	152	33.6	43.4	16.4	9.2	32.2	11.2	8.6	5.9	28.9	1.3	28.9
	70歳以上	92	33.7	34.8	9.8	6.5	31.5	8.7	1.1	5.4	25.0	3.3	28.3
職業	自営業・ 家族従事者	52	34.6	40.4	15.4	9.6	40.4	7.7	7.7	5.8	15.4	1.9	28.8
	会社員、 公務員等	309	37.5	43.4	22.3	11.0	24.3	9.7	6.1	5.5	24.9	1.3	22.3
	無職	205	38.0	46.8	16.1	10.7	28.3	14.1	7.8	6.8	25.4	2.9	28.3
居住地	富山地域	217	35.9	44.7	19.4	10.6	26.7	9.7	6.9	6.0	22.6	2.3	29.5
	高岡地域	174	37.9	46.0	18.4	9.2	30.5	10.3	6.3	6.3	25.9	1.1	22.4
	新川地域	116	31.9	37.9	22.4	15.5	25.0	12.1	7.8	4.3	23.3	0.9	28.4
	砺波地域	74	45.9	41.9	13.5	9.5	24.3	13.5	5.4	6.8	24.3	4.1	18.9

問9の(2)「日常生活の中でいろいろな文化を子どもたちが演じたり、作ったりすることが子どもたちにとって大切と思うか」との設問の回答とクロス集計すると、子どもたちが演じたり、作ったりすることが「大切だ」と考える方が、子どもたちに経験させたいと思っている分野は、「音楽」、「美術」が約4割、「生活文化」、「伝統文化」が約3割、「演劇・演芸」が約2割となった。

(%)

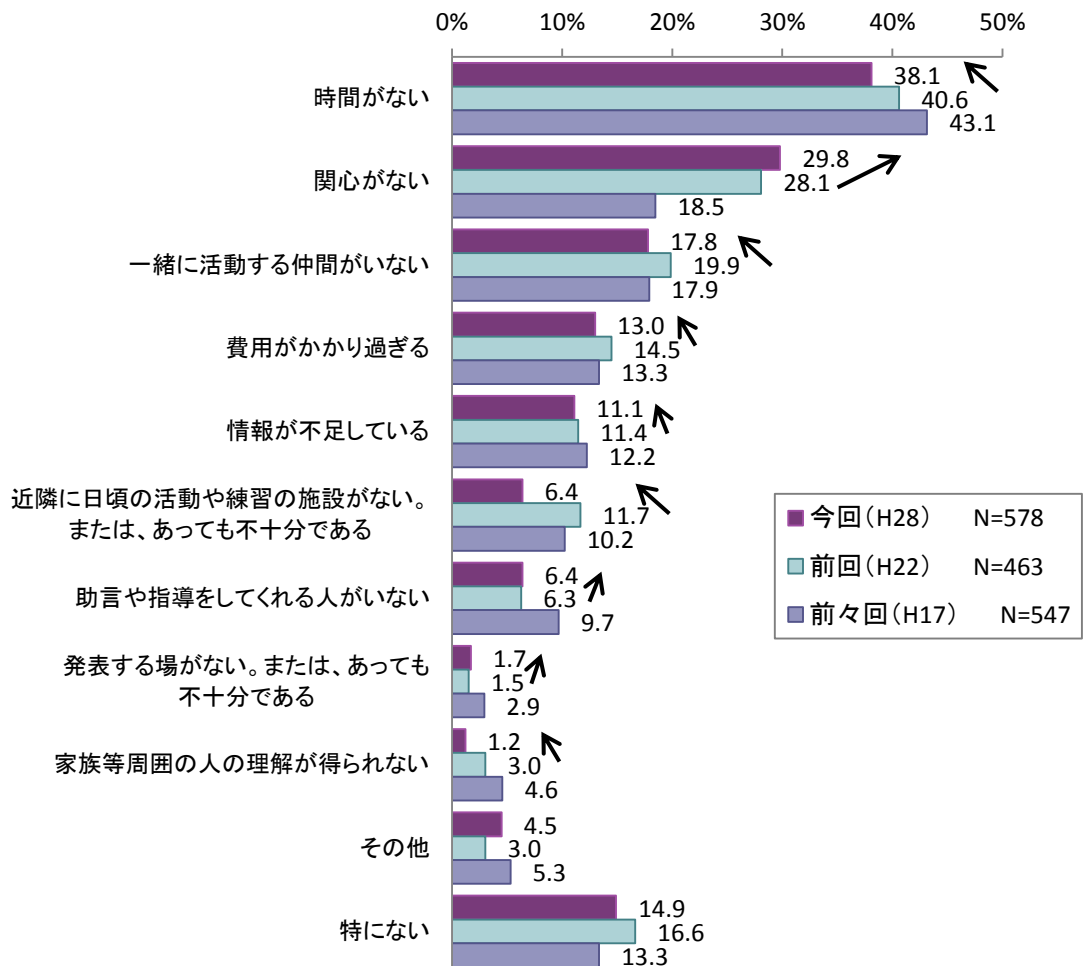
●子どもたちが自ら演じたり、作ったりすることは大切か(問9(2))											
	美術	音楽	演劇・演芸	舞踊	生活文化	文芸	映画 (アニメーション除く)	メディア芸術 (アニメーション含む)	伝統芸能	その他	特にない
大切だ(N=466)	41.4	48.9	21.7	12.2	31.5	12.9	7.7	5.8	27.7	1.9	18.2
どちらともいえない(N=89)	22.5	22.5	9.0	5.6	11.2	2.2	3.4	6.7	10.1	2.2	52.8
大切ではない(N=17)	11.8	23.5	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-	5.9	-	64.7



問8 あなたがご自身で演じたり、作ったりする文化活動を行ううえで支障となっていることは何ですか。また、文化活動をしなかった方は、その理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「時間がない」が38.1%、「関心がない」が29.8%となった。前回調査と比較すると「関心がない」、「助言や指導をしてくれる人がいない」、「発表する場がない。またはあっても不十分である」は前回調査を上回り、「時間がない」、「一緒に活動する仲間がいない」、「費用がかかり過ぎる」、「情報が不足している」、「近隣に日頃の活動や練習の施設がない。または、あっても不十分である」、「家族等周囲の人の理解が得られない」は前回調査を下回った。

「その他」として、体力や健康上の理由や、「子供たちがまだ小さいので」、「家族の介護」など家族の状況が理由としてあがっている。



性別では、「費用がかかり過ぎる」で男女差が大きい。年齢別では、「時間がない」で30歳代が54.4%と最も高いが60歳以上になると大きく低下する。年齢別では、「一緒に活動する仲間がいない」で60歳代、70歳以上が高い。居住地域別では、「時間がない」が砺波地域で、「費用がかかり過ぎる」が高岡地域で、「情報が不足している」が新川地域で、他の地域と比較して高い。

問7の(1)-(1)「この1年間に、ご自身で演じたり、作ったりした文化活動はありますか」の問で「特にない」と回答した方の原因を探ると「時間がない」、「関心がない」がそれぞれ37.1%と最も多くなった。

(%)

		回答者(人)	時間がない	一緒に活動する仲間がいない	家族等周囲の人の理解が得られない	施設が不十分である	近隣に日頃の活動や練習の場がない	発表する場がない	費用がかかり過ぎる	助言や指導をしてくれない	情報が不足している	関心がない	その他	特にない
全体		578	38.1	17.8	1.2	6.4	1.7	13.0	6.4	11.1	29.8	4.5	14.9	
性別	男性	144	42.4	19.4	0.7	2.1	2.8	9.7	8.3	10.4	33.3	2.8	12.5	
	女性	273	37.0	13.9	1.1	8.1	1.5	17.9	4.0	9.5	28.6	6.2	15.4	
年齢	20~29歳	45	40.0	15.6	-	6.7	2.2	13.3	4.4	6.7	37.8	4.4	8.9	
	30~39歳	68	54.4	14.7	1.5	2.9	2.9	19.1	2.9	11.8	22.1	5.9	11.8	
	40~49歳	108	48.1	17.6	-	6.5	-	14.8	3.7	10.2	33.3	4.6	14.8	
	50~59歳	110	50.0	12.7	2.7	6.4	0.9	11.8	6.4	10.9	30.0	3.6	10.0	
	60~69歳	154	29.2	22.1	0.6	9.7	2.6	11.7	9.7	13.0	31.8	3.2	13.0	
	70歳以上	91	13.2	19.8	2.2	3.3	2.2	9.9	7.7	9.9	23.1	6.6	29.7	
職業	自営業・家族従事者	52	44.2	23.1	1.9	3.8	3.8	11.5	9.6	9.6	23.1	-	15.4	
	会社員、公務員等	303	48.8	16.8	1.3	5.6	0.7	12.5	5.3	12.2	30.0	4.3	11.9	
	無職	209	21.5	18.7	1.0	8.6	2.9	14.8	7.7	9.6	31.1	5.3	17.7	
居住地域	富山地域	222	31.5	15.3	0.9	7.7	2.3	12.6	7.7	10.8	30.6	6.3	17.1	
	高岡地域	170	40.6	22.4	1.2	5.3	1.2	15.3	7.6	12.4	24.7	4.1	12.9	
	新川地域	114	41.2	10.5	0.9	7.0	1.8	9.6	2.6	13.2	36.0	2.6	16.7	
	砺波地域	70	47.1	27.1	2.9	4.3	1.4	14.3	5.7	5.7	27.1	2.9	10.0	
演じたり、作ったりしなかった		407	37.1	16.2	1.2	5.2	-	9.3	4.4	11.5	37.1	3.2	16.0	

※数表中の「演じたり、作ったりしなかった」人とは、問7(1)-(1)で「特にない」と回答した方

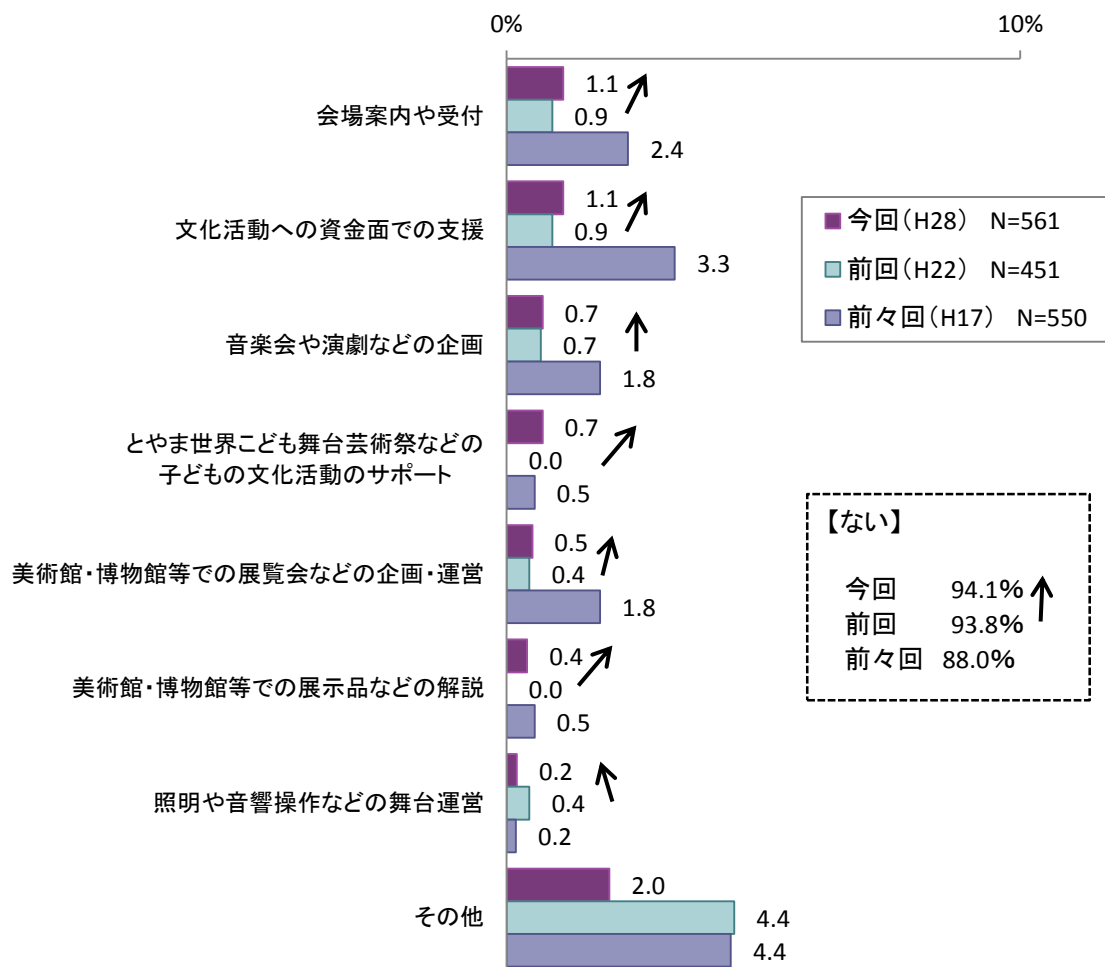
文化に関する地域活動の状況

問 12 (1) 現在、何か文化ボランティア活動をしていますか。または、今後したいと思えますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

《現在、行っている文化ボランティア活動》

「ない」が 94.1%であり、前回調査の 93.8%を上回った。前回調査と比較すると、「会場案内や受付」、「文化活動への資金面での支援」、「とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート」、「美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営」、「美術館・博物館等での展示品などの解説」は前回調査を上回った。

「その他」として、「地域役員、社寺役員」があった。



《現在、行っている文化ボランティア活動》

性別では、「美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営」、「とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート」などで男性が女性を上回り、「会場案内や受付」などで女性が男性を上回った。

年齢別では、「音楽会や演劇などの企画」で30歳代が他の年代より高く、職業別では、「美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営」、「とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート」で自営業・家族従事者が、「文化活動への資金面での支援」で無職が高くなった。

(%)

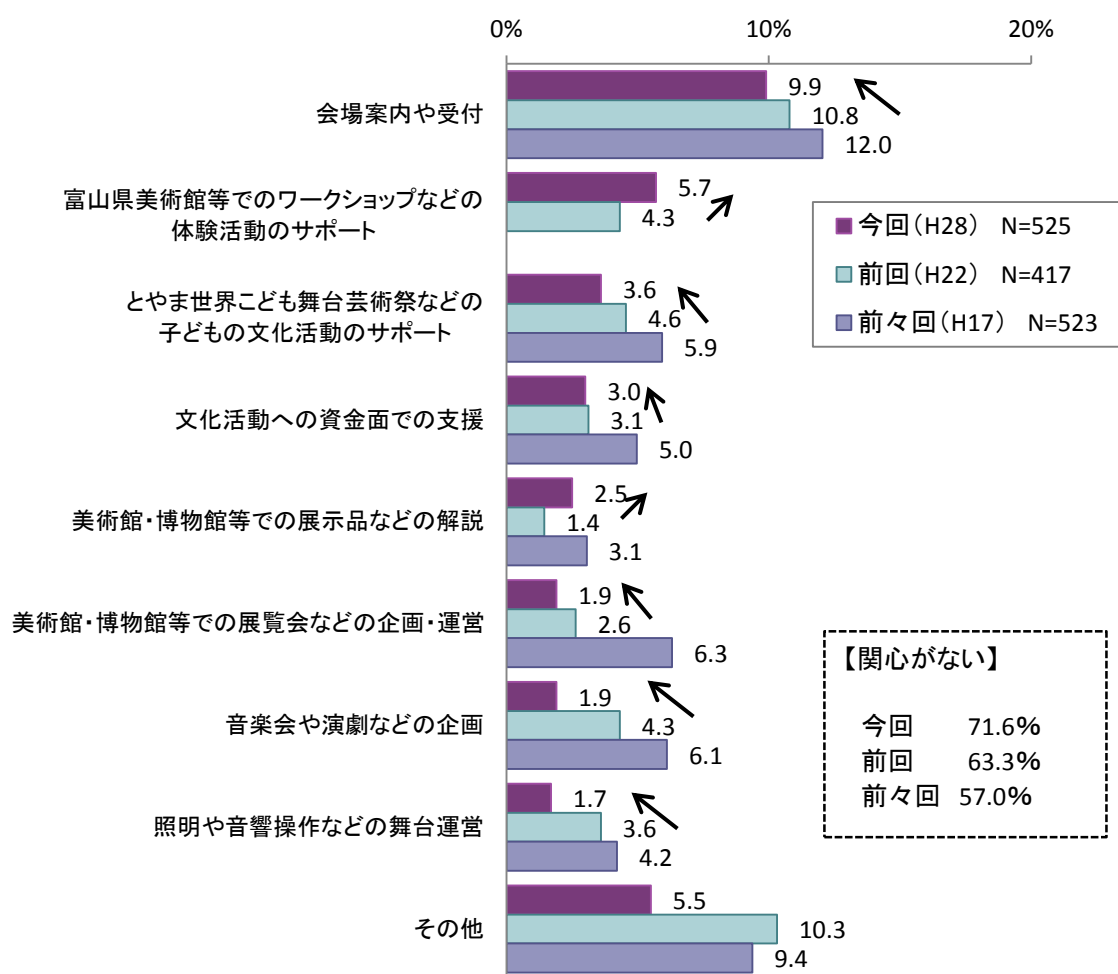
	回答者 (人)	美術館・博物館等での展覧会などの企画・運営	美術館・博物館等での展示品などの解説	音楽会や演劇などの企画	照明や音響操作などの舞台運営	会場案内や受付	とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート	文化活動への資金面での支援	その他	ない	
全体	561	0.5	0.4	0.7	0.2	1.1	0.7	1.1	2.0	94.1	
性別	男性	144	1.4	-	0.7	0.7	-	1.4	0.7	2.1	93.8
	女性	265	0.4	0.4	0.4	-	1.9	0.4	1.1	1.5	94.7
年齢	20～29歳	45	-	-	-	-	2.2	2.2	-	2.2	93.3
	30～39歳	70	-	-	2.9	-	-	-	-	-	97.1
	40～49歳	109	1.8	-	0.9	0.9	-	-	0.9	0.9	96.3
	50～59歳	112	-	0.9	-	-	0.9	1.8	0.9	2.7	93.8
	60～69歳	139	0.7	0.7	0.7	-	1.4	0.7	2.2	2.2	92.8
	70歳以上	84	-	-	-	-	2.4	-	2.4	3.6	91.7
職業	自営業・家族従事者	49	2.0	-	-	-	-	2.0	-	4.1	91.8
	会社員、公務員等	304	0.7	0.7	0.7	0.3	1.3	0.7	0.7	0.7	95.1
	無職	193	-	-	1.0	-	1.0	0.5	2.1	3.1	93.3
居住地域	富山地域	207	-	-	0.5	-	0.5	0.5	1.0	2.4	96.1
	高岡地域	165	0.6	-	1.2	0.6	1.8	1.2	1.2	1.2	93.3
	新川地域	115	-	0.9	0.9	-	0.9	0.9	0.9	1.7	93.9
	砺波地域	72	2.8	1.4	-	-	1.4	-	1.4	2.8	90.3

《今後、行いたいと思う文化ボランティア活動》

※「富山県美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート」は前回調査より追加

「会場案内や受付」が9.9%、「富山県美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート」が5.7%となった。前回調査と比較すると、「富山県美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート」、「美術館・博物館等での展示品などの解説」は前回調査を上回り、「会場案内や受付」、「とやま世界こども舞台芸術祭などの子どもの文化活動のサポート」、「文化活動への資金面での支援」などは前回調査を下回った。

「その他」として、「情報が入ってこない」があった。



《今後、行いたいと思う文化ボランティア活動》

性別では、「会場案内や受付」で女性が 14.2%に対し男性が 3.7%、「富山県美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート」で女性が 8.9%に対し男性が 1.5%と男女差が大きい。

年齢別では、20歳代で「会場案内や受付」、「とやま世界こども舞台芸術祭などの文化活動のサポート」、「富山県美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート」が、30歳代で「とやま世界こども舞台芸術祭などの文化活動のサポート」が、40歳代で「富山県美術館等でのワークショップなどの体験活動のサポート」が高い。居住地域別では、「会場案内や受付」、「とやま世界こども舞台芸術祭などの文化活動のサポート」で富山地域、高岡地域が高い。

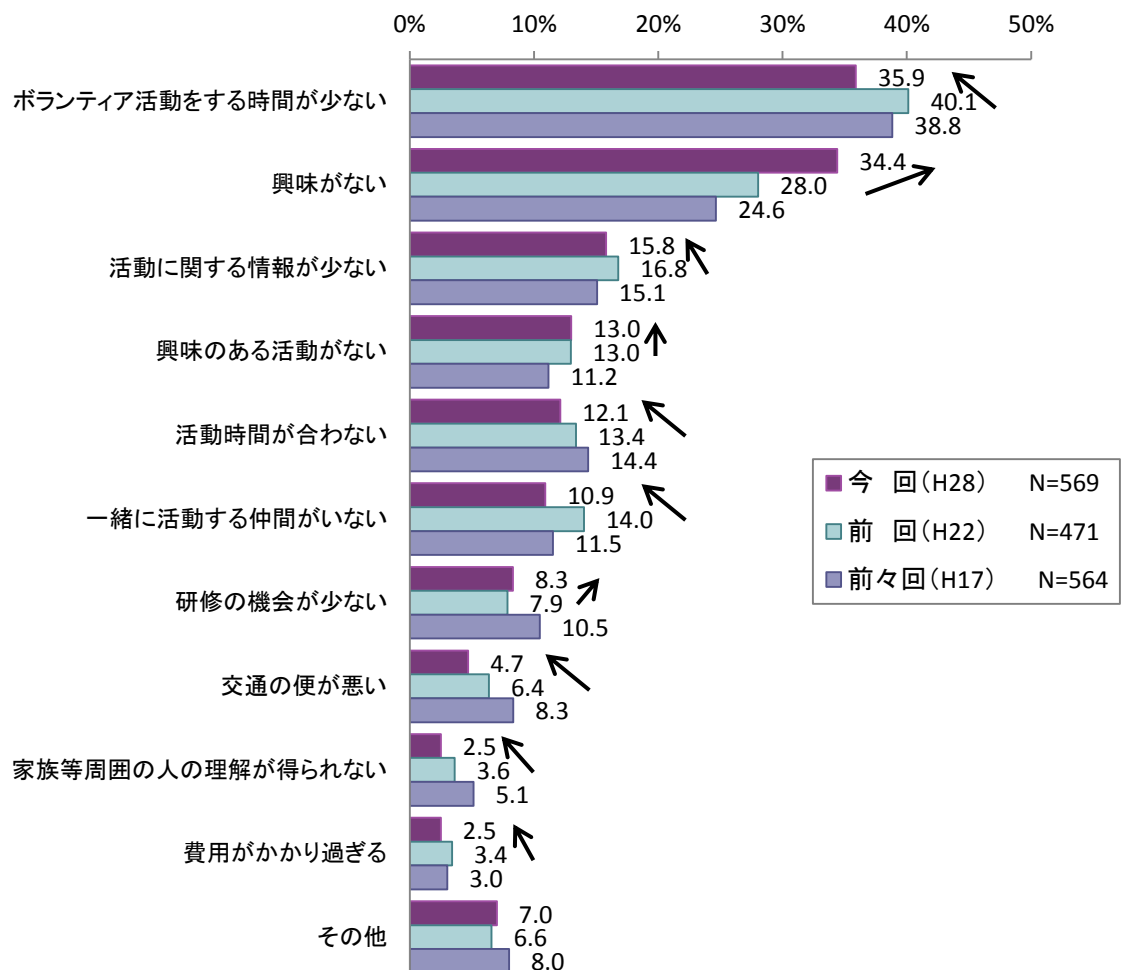
		回答者(人)	美術館・博物館等での企画・運営	美術館・博物館等での展示品の解説	音楽会や演劇などの企画	照明や音響操作などの舞台運営	会場案内や受付	活動のサポート	とやま世界こども舞台芸術祭などのサポート	体験活動のサポート	富山県美術館等でのワークショップなどの	文化活動への資金面での支援	その他	関心がない
全体		525	1.9	2.5	1.9	1.7	9.9	3.6	5.7	3.0	5.5	71.6		
性別	男性	136	1.5	2.9	1.5	2.9	3.7	2.9	1.5	2.9	3.7	79.4		
	女性	247	1.6	2.4	1.2	1.2	14.2	5.3	8.9	2.4	5.7	68.0		
年齢	20～29歳	45	2.2	2.2	2.2	2.2	15.6	8.9	8.9	4.4	2.2	64.4		
	30～39歳	69	1.4	1.4	1.4	4.3	7.2	11.6	5.8	-	1.4	78.3		
	40～49歳	108	1.9	5.6	3.7	1.9	9.3	0.9	8.3	2.8	4.6	69.4		
	50～59歳	104	1.9	2.9	3.8	1.0	16.3	3.8	4.8	4.8	5.8	65.4		
	60～69歳	132	3.0	0.8	-	0.8	6.1	1.5	4.5	2.3	6.8	75.8		
	70歳以上	65	-	1.5	-	1.5	6.2	-	3.1	4.6	10.8	75.4		
職業	自営業・家族従事者	46	4.3	-	2.2	2.2	2.2	6.5	4.3	2.2	6.5	76.1		
	会社員、公務員等	293	1.0	2.0	2.4	2.0	11.9	2.4	5.1	3.8	2.4	72.7		
	無職	174	2.3	3.4	1.1	1.1	9.2	5.2	6.9	2.3	10.3	67.8		
居住地域	富山地域	198	1.5	2.0	2.5	1.0	10.1	4.5	6.6	1.5	6.6	72.2		
	高岡地域	149	2.7	2.0	2.0	3.4	13.4	4.7	6.0	4.7	4.7	67.1		
	新川地域	110	0.9	1.8	1.8	1.8	7.3	1.8	5.5	2.7	5.5	73.6		
	砺波地域	66	3.0	6.1	-	-	6.1	1.5	3.0	4.5	4.5	75.8		

問 12 (2) あなたが文化ボランティア活動をする際に支障となっていることは何ですか。あるいは、しようと考えた際に支障となるだろうと思われることは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「ボランティア活動をする時間がない」が35.9%、「興味がない」が34.4%で拮抗した。ほかに10%以上となった項目は、「活動に関する情報が少ない」、「興味のある活動がない」、「活動時間が合わない」、「一緒に活動する仲間がいない」であった。

前回調査と比較すると、「興味がない」、「研修の機会が少ない」は前回調査を上回り、「ボランティア活動をする時間が少ない」、「活動に関する情報が少ない」、「活動時間が合わない」、「一緒に活動する仲間がいない」などは前回調査を下回った。

「その他」として、「子供が小さいため連れていけない場がない」、「依頼があればやるかも。自発的にはやらない」があった。



性別では、「活動に関する情報が少ない」、「活動時間が合わない」で女性が男性を上回っている。

年齢別では、「ボランティア活動をする時間が少ない」は60歳代までは30%以上の選択率であるが、70歳以上になると8.4%と大きく低下する。また「一緒に活動する仲間がいない」は高年齢層ほど選択率が高くなっている。

居住地域別では、「活動に関する情報が少ない」で富山地域が高く、「一緒に活動する仲間がいない」で高岡地区が高い。

(%)

		回答者 (人)	ボランティア活動をする 時間が少ない	交通の便が悪い	一緒に活動する仲間が いない	家族等周囲の人の理解が 得られない	活動に関する情報が少な い	活動時間が合わない	興味のある活動がない	費用がかかり過ぎる	研修の機会が少ない	興味がない	その他
全体		569	35.9	4.7	10.9	2.5	15.8	12.1	13.0	2.5	8.3	34.4	7.0
性別	男性	141	34.8	2.8	10.6	1.4	9.9	8.5	14.9	2.8	4.3	45.4	5.0
	女性	271	36.5	5.9	10.3	3.3	17.7	15.5	11.4	2.2	8.5	29.9	8.9
年齢	20～29歳	43	37.2	4.7	4.7	-	16.3	11.6	14.0	-	2.3	48.8	-
	30～39歳	72	41.7	4.2	6.9	4.2	19.4	9.7	16.7	2.8	2.8	34.7	6.9
	40～49歳	109	46.8	1.8	9.2	1.8	10.1	17.4	12.8	1.8	5.5	37.6	3.7
	50～59歳	112	46.4	3.6	8.9	2.7	14.3	17.0	10.7	3.6	6.3	33.0	2.7
	60～69歳	148	31.8	4.7	12.8	3.4	22.3	10.8	14.9	2.7	16.2	23.0	9.5
	70歳以上	83	8.4	10.8	19.3	1.2	9.6	3.6	9.6	1.2	8.4	45.8	16.9
職業	自営業・ 家族従事者	50	40.0	6.0	14.0	2.0	14.0	20.0	12.0	2.0	10.0	26.0	6.0
	会社員、 公務員等	306	45.8	2.9	6.2	2.0	15.0	12.7	13.1	2.3	7.5	37.6	4.2
	無職	200	20.5	7.0	17.5	3.5	18.0	10.0	13.0	3.0	9.5	30.5	11.5
居住 地域	富山地域	210	30.5	4.8	9.5	2.4	17.1	11.0	12.4	1.4	9.0	40.0	8.1
	高岡地域	169	34.9	4.7	14.8	3.6	15.4	13.0	14.8	4.1	7.1	29.6	5.9
	新川地域	116	38.8	5.2	8.6	0.9	16.4	12.9	10.3	2.6	8.6	36.2	8.6
	砺波地域	72	47.2	4.2	9.7	2.8	12.5	12.5	15.3	1.4	8.3	27.8	4.2

問12(3) 子どもたちが、今後文化ボランティア活動に参加するためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。ご自由に記入ください。

子どもたちが文化ボランティア活動に参加するには、やはり学校単位、授業に積極的に取り入れる等、子どもたちの日常生活の中で取り組める環境を望む声が多くあった。

<学校>

学校単位で積極的に参加させるべき。マラソンや福祉活動ばかりでなく、公平に
学校単位、地域単位での参加
義務教育の中に取り入れる
積極的アプローチ、授業の一環で
学校を通してボランティア活動の参加を呼びかけてもらおうと友達と一緒にやってみようかとなるのではないか
学校で積極的に取り組んでいく
学校との連携。きっかけ
小中学校の授業の社会(地域)文化・伝統の勉強及び資料を作成して親子で家庭でも学べるように、転居した場合にすぐになじめないため
クラブ活動とボランティア活動とのつながり

<教育>

自由に文化に触れる機会を幼少期(未就学期)から持つ
保育所や幼稚園のころから文化に触れることで親近感がわく。また興味も出る
道徳、人の大切、思いやりなどを教えて伝えて人生の糧になる活動が必要
文化に触れる

<広報>

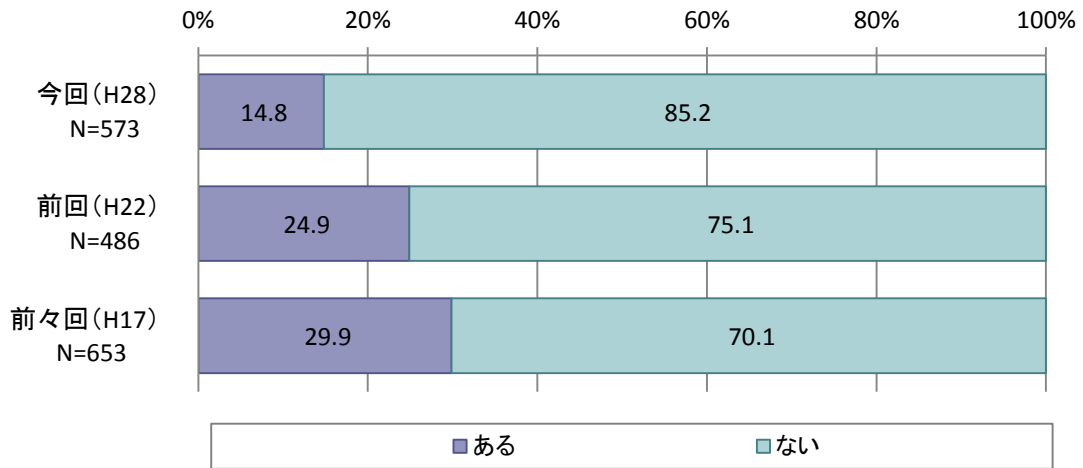
それぞれの地域の特色を活かした活動。地元愛を育む取り組み
近くで興味のあるものを増やしてもらえればと思います
自分の地域に誇るべき宝があると認識すること
取組内容について積極的に情報を展開させる
どのようなボランティア活動があるかについての広報活動などの情報提供

<その他>

送迎
進学に必要とする勉強時間とのバランス
多くの情報提供と仲間。最初は取り敢えずやらせてみて、参加へのハードルを下げること
ボランティア活動の参加者を増やす

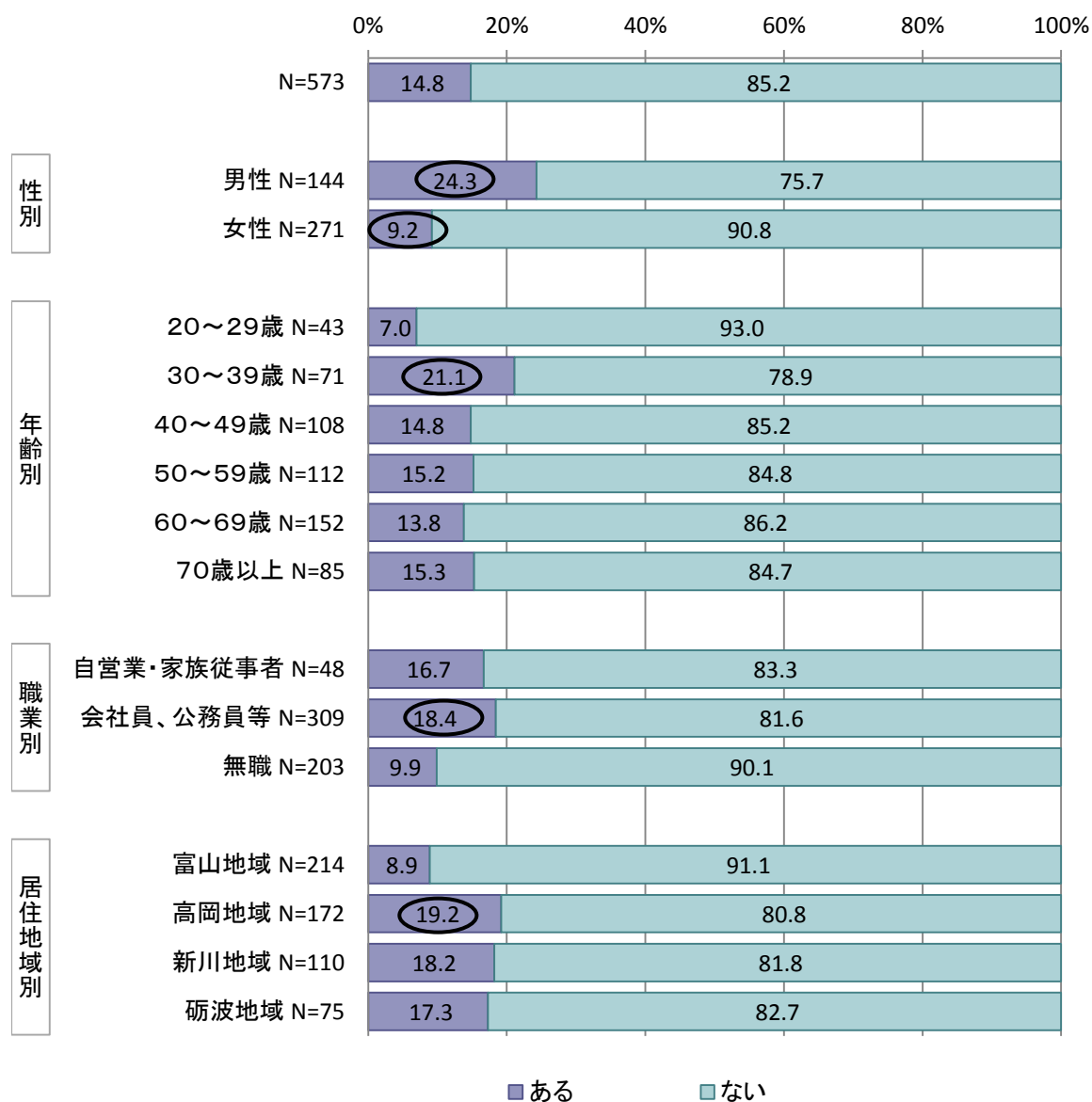
問 13 (1) 民謡や曳山など、あなたの住んでいる地域の民俗芸能、祭礼行事を最近ご自分で演じたり、参加したりしたことがありますか。

「ある」と回答した方は 14.8%と、前回調査の 24.9%を下回った。



性別で見ると、「ある」と回答した方は、男性が24.3%、女性が9.2%と大きな差がある。
 年齢別では、30歳代が最も高く2割を超えた。

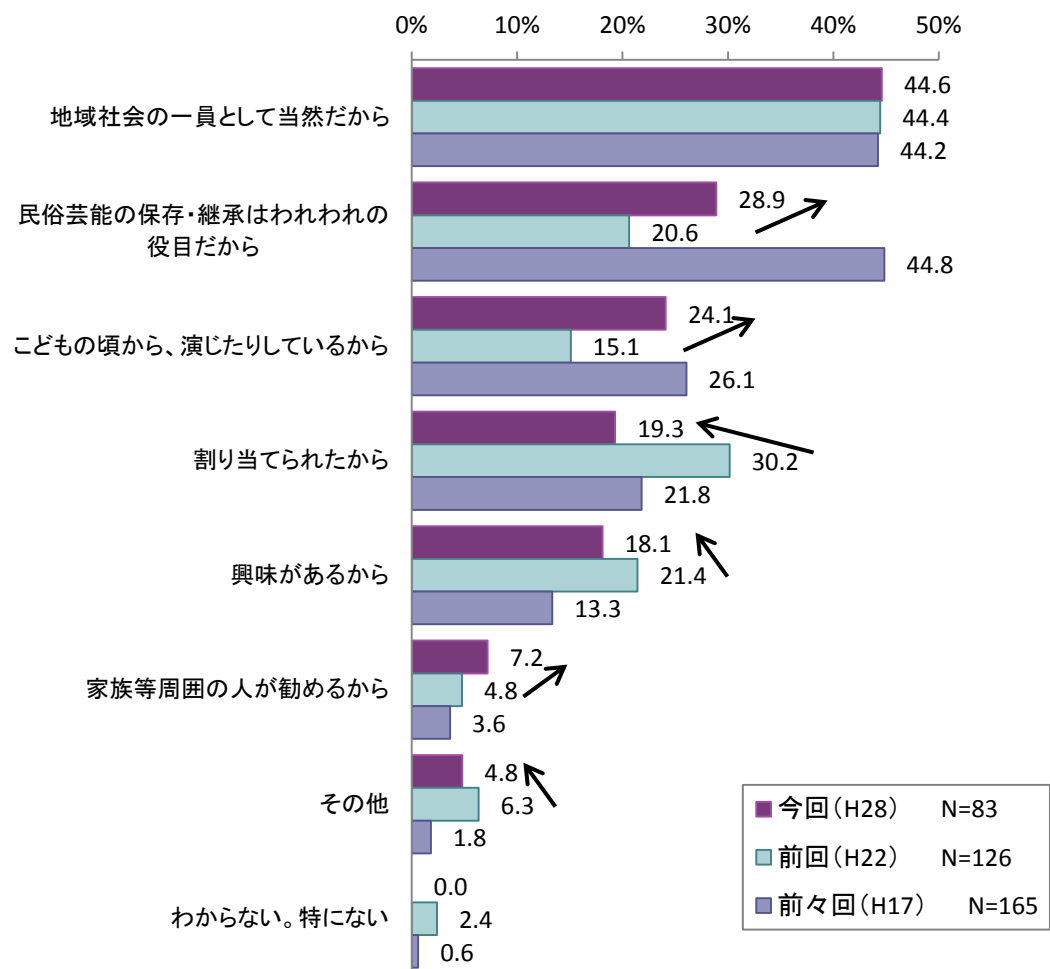
職業別では、会社員、公務員等が18.4%、居住地別では、高岡地域が19.2%と、それぞれの区分で最も高くなった。



問 13 (2) 前問 (1) で「ある」とお答えになった方におたずねします。

あなたが、ご自分で演じたり、参加したきっかけは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「地域社会の一員として当然だから」が 44.6%、「民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから」が 28.9%、「こどもの頃から、演じたりしているから」が 24.1%となった。前回調査と比較すると、「民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから」が 8.3 ポイント、「こどもの頃から、演じたりしているから」が 9.0 ポイント、「家族等周囲の人が勧めるから」が 2.4 ポイントと比較的大きく前回調査を上回っている一方、「割り当てられたから」が▲10.9 ポイント、「興味があるから」が▲3.3 ポイント前回調査を下回った。



性別でみたとき、男女で大きな違いが出た。男性は「民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから」が32.4%と女性より7.4ポイント高く、「こどもの頃から、演じたりしているから」が26.5%と女性より14.0ポイント高くなった。

年齢別では、20歳代で「こどもの頃から、演じたりしているから」が66.7%、70歳以上で「社会の一員として当然だから」が75.0%となり最も高くなった。

居住地域別では、新川地域で「民俗芸能の保存・継承はわれわれの役目だから」が57.9%、砺波地域で「地域社会の一員として当然だから」が76.9%で最も高くなった。

(%)

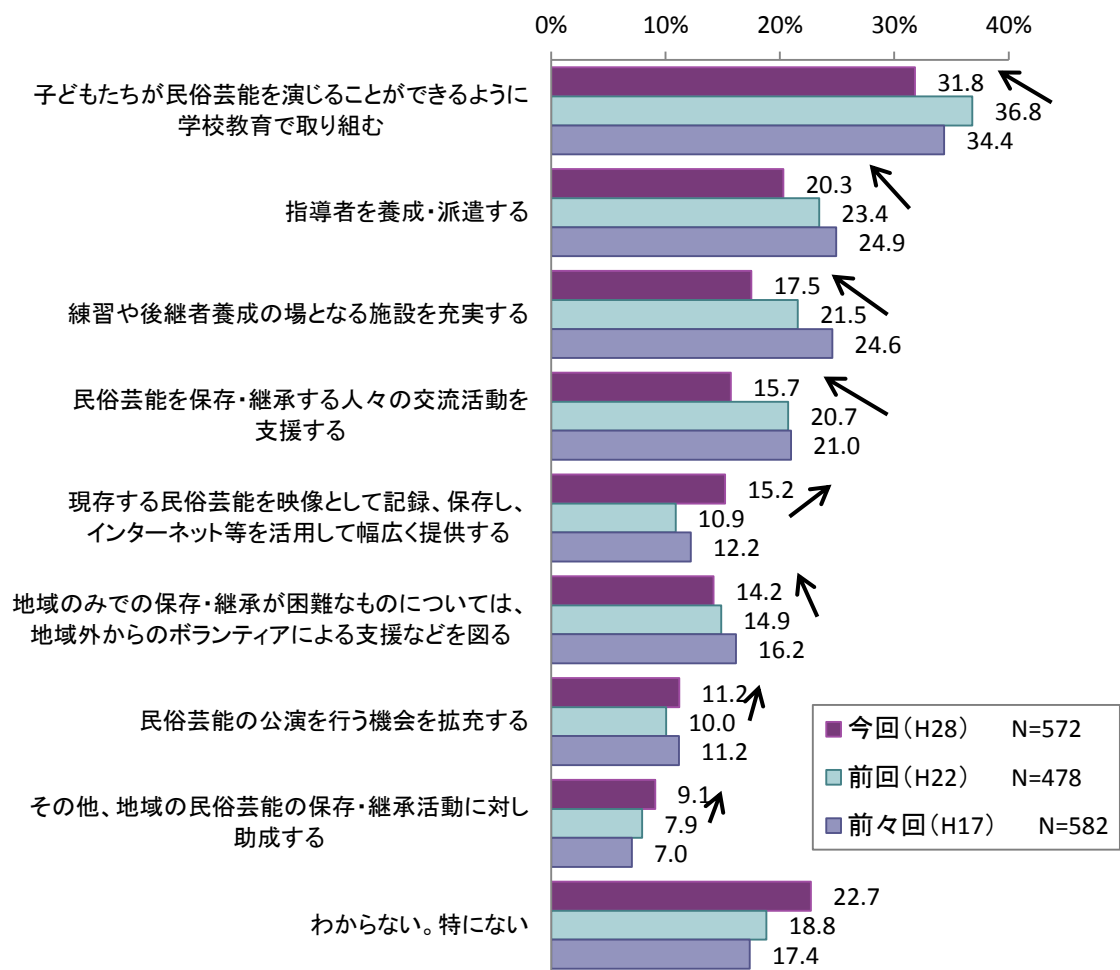
		回答者 (人)	民俗芸能の 保存・継承は われわれの役目 だから	興味があるから	こどもの頃から、 演じた	家族等周囲の 人が勧めるから	割り当てられたから	当然だから社会の 一員として	その他	わからない。 特にない
全体		83	28.9	18.1	24.1	7.2	19.3	44.6	4.8	-
性別	男性	34	32.4	17.6	26.5	8.8	20.6	38.2	2.9	-
	女性	24	25.0	25.0	12.5	4.2	16.7	41.7	8.3	-
年齢	20～29歳	3	-	-	66.7	-	-	33.3	-	-
	30～39歳	14	14.3	28.6	42.9	-	7.1	28.6	14.3	-
	40～49歳	16	18.8	25.0	18.8	12.5	25.0	43.8	-	-
	50～59歳	17	41.2	11.8	23.5	5.9	17.6	35.3	5.9	-
	60～69歳	21	38.1	14.3	19.0	9.5	28.6	47.6	4.8	-
	70歳以上	12	33.3	16.7	8.3	8.3	16.7	75.0	-	-
職業	自営業・ 家族従事者	7	57.1	28.6	14.3	-	14.3	57.1	-	-
	会社員、 公務員等	57	22.8	15.8	31.6	8.8	17.5	42.1	5.3	-
	無職	19	36.8	21.1	5.3	5.3	26.3	47.4	5.3	-
居住地域	富山地域	19	26.3	26.3	10.5	10.5	31.6	36.8	5.3	-
	高岡地域	32	15.6	28.1	31.3	3.1	6.3	40.6	6.3	-
	新川地域	19	57.9	-	21.1	10.5	31.6	36.8	5.3	-
	砺波地域	13	23.1	7.7	30.8	7.7	15.4	76.9	-	-

問 14 民謡や曳山など、地域の民俗芸能、祭礼行事の保存・継承に関して、今後、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「わからない。特にない」が2割を超える一方、「子どもたちが民俗芸能を演じることができるように学校教育で取り組む」が3割、「指導者を養成・派遣する」が2割となった。

前回調査と比較すると「子どもたちが民俗芸能を演じることができるように学校教育で取り組む」、「指導者を養成・派遣する」、「練習や後継者養成の場となる施設を充実する」、「民俗芸能を保存・継承する人々の交流活動を支援する」などは前回調査を下回った。一方、「現存する民俗芸能を映像として記録、保存し、インターネット等を活用して幅広く提供する」、「民俗芸能の公演を行う機会を充実する」などは前回調査を上回った。

「その他」として、「地域外・国外からも参加者を募集する（例：愛知の忍者隊）」、「地域の文化が誇りに思えるPR活動の充実」、「企業の理解」との回答があった。



年齢別でみると、「子どもたちが民俗芸能を演じることができるように学校教育で取り組む」が20歳代から40歳代で35.0%以上と高く、「現存する民俗芸能を映像として記録、保存し、インターネット等を活用して幅広く提供する」が20歳代、30歳代で高くなった。

居住地域別では、「練習や後継者養成の場となる施設を充実する」が高岡地域で21.8%、「現存する民俗芸能を映像として記録し、保存し、インターネット等を活用して幅広く提供する」が砺波地域で25.4%と他の地域より高くなった。

(%)

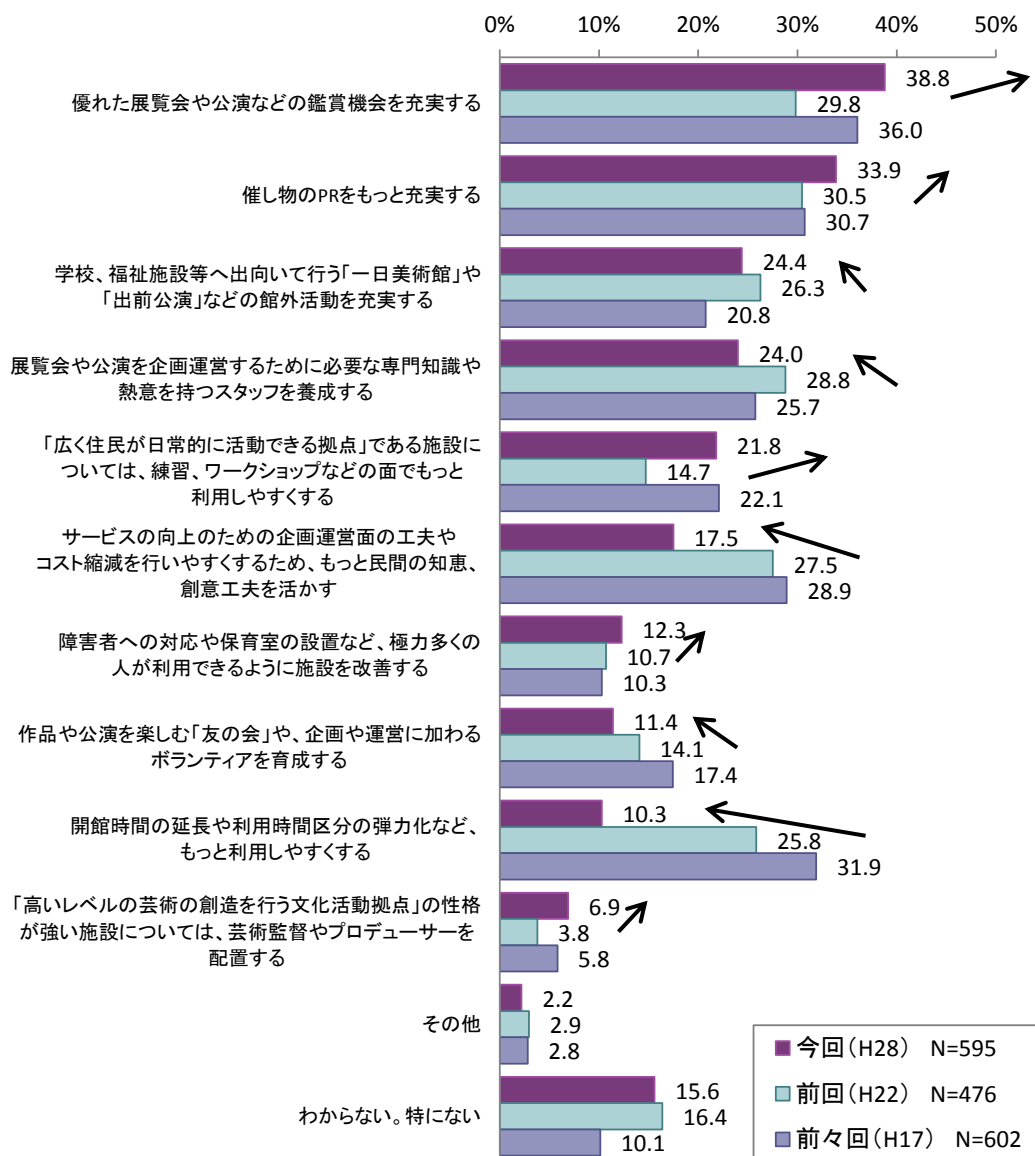
		回答者（人）	指導者を養成・派遣する	練習や後継者養成の場となる施設を充実する	子どもたちが演じることができるように学校教育で取り組む	子どもたちが演じることができるように学校教育で取り組む	地域のついでに保存・継承が困難なものについては、地域外から支援などを図る	民俗芸能の公演を行う機会を拡充する	民俗芸能を保存・継承する人々の交流活動を支援する	活用して幅広く提供する	記録・保存し、インターネット等として現存する民俗芸能を映像として記録・保存し、インターネット等を利用して幅広く提供する	継承活動に地域住民の助成する	その他の地域の民俗芸能の保存・継承活動に地域住民の助成する	わからない。特にない
全体		572	20.3	17.5	31.8	14.2	11.2	15.7	15.2	9.1	22.7			
性別	男性	139	24.5	15.8	32.4	12.9	8.6	11.5	15.1	11.5	23.7			
	女性	275	20.7	18.5	34.2	15.3	11.6	18.2	15.3	7.6	19.3			
年齢	20～29歳	43	14.0	20.9	39.5	14.0	16.3	18.6	23.3	11.6	9.3			
	30～39歳	69	24.6	15.9	44.9	11.6	7.2	17.4	23.2	8.7	11.6			
	40～49歳	103	18.4	19.4	35.0	11.7	8.7	13.6	10.7	11.7	25.2			
	50～59歳	106	26.4	16.0	28.3	18.9	6.6	14.2	18.9	9.4	20.8			
	60～69歳	152	20.4	17.8	28.3	15.8	17.1	18.4	12.5	7.2	22.4			
	70歳以上	97	15.5	16.5	24.7	11.3	10.3	13.4	10.3	8.2	37.1			
職業	自営業・家族従事者	47	21.3	19.1	23.4	14.9	14.9	17.0	12.8	8.5	27.7			
	会社員、公務員等	297	21.5	14.8	34.3	14.8	10.1	16.5	20.2	10.1	18.9			
	無職	213	19.2	21.1	29.6	13.6	12.2	15.0	9.4	8.0	25.8			
居住地域	富山地域	218	16.5	14.7	32.6	12.4	12.4	16.1	13.8	8.7	25.7			
	高岡地域	165	20.0	21.8	29.1	17.0	10.3	15.2	12.7	7.3	23.6			
	新川地域	116	24.1	16.4	34.5	12.9	12.9	17.2	15.5	10.3	20.7			
	砺波地域	71	25.4	18.3	31.0	15.5	7.0	14.1	25.4	11.3	15.5			

文化に関する地域活動の状況

問 15 美術館や文化ホールなどの文化施設が、今後地域の文化活動の拠点となるためには、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

「優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する」が38.8%、「催し物のPRをもっと充実する」が33.9%となった。

前回調査と比較すると「優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する」、「広く住民が日常的に活動できる拠点」である施設については、練習、ワークショップなどの面でもっと利用しやすくする」などは前回調査を上回り、「サービスの向上のための企画運営面の工夫やコスト削減を行いやすくするため、もっと民間の知恵、創意工夫を活かす」、「開館時間の延長や利用時間区分の弾力化など、もっと利用しやすくする」などは前回調査を下回った。



性別で見ると、「学校、福祉施設等へ出向いて行う「一日美術館」や「出前公演」などの館外活動を充実する」では女性が男性より10.6ポイント高くなった。

年齢別では、20歳代、30歳代は「学校、福祉施設等へ出向いて行う「一日美術館」や「出前公演」などの館外活動を充実する」、「催し物のPRをもっと充実する」が他の年代より高く、50歳代、60歳代は「優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する」が他の年代より高くなった。

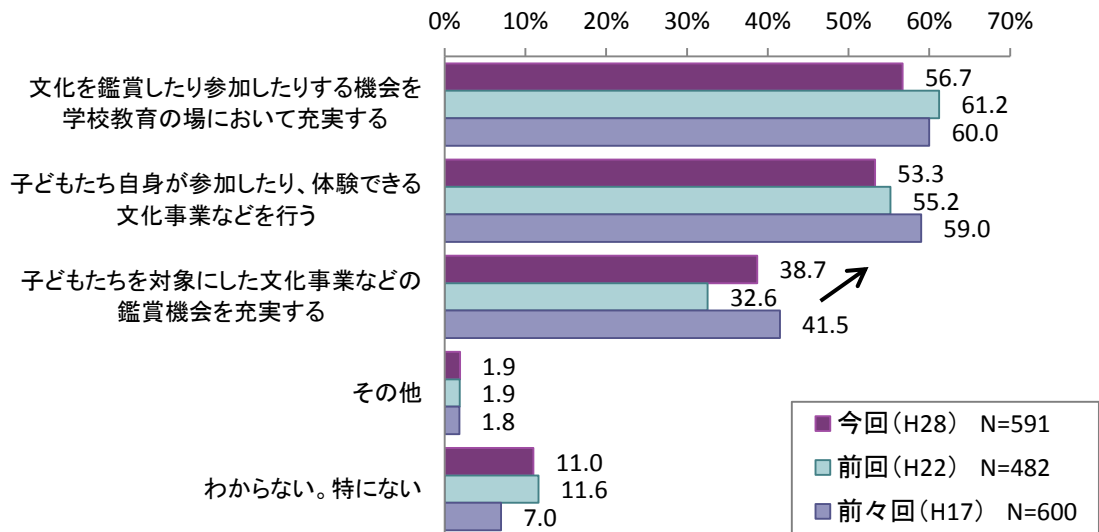
(%)

	回答者（人）	知識や熱意を持つスタツフを養成する	展覧会や公演を企画運営するため必要な専門	作品や公演を楽しむ「友の会」や、企画や運営に加わるボランティアを育成する	制作、縮減、創意工夫を活かす	サービスの向上のため企画運営面の工夫やコスト削減を行う	開館時間の延長や利用時間の弾力化など、もつと利用しやすいとする	障害者への対応や保育室の設置など、極力多くの人が利用できるような施設を改善する	学校、福祉施設等へ出向いて行う「一日美術館」や「出前公演」などの館外活動を充実する	施設についても利用しやすいとする	「広く住民が日常的に活動できる拠点」であるプロデュースを配置する	「高いレベルの芸術の創造を行う文化活動拠点」の性格が強い施設については、芸術監督や	優れた展覧会や公演などの鑑賞機会を充実する	催し物のPRをもっと充実する	その他	わからない。特にない
全体	595	24.0	11.4	17.5	10.3	12.3	24.4	21.8	6.9	38.8	33.9	2.2	15.6			
性別	男性	150	26.0	12.7	18.0	10.7	11.3	18.0	20.0	9.3	40.7	37.3	1.3	14.7		
	女性	280	23.6	12.5	13.6	9.3	16.8	28.6	22.5	7.1	39.6	32.9	1.4	13.9		
年齢	20～29歳	46	19.6	8.7	6.5	10.9	19.6	32.6	19.6	13.0	39.1	39.1	6.5	10.9		
	30～39歳	71	22.5	7.0	19.7	9.9	19.7	31.0	21.1	5.6	36.6	42.3	1.4	11.3		
	40～49歳	111	27.0	12.6	16.2	7.2	14.4	18.0	19.8	8.1	35.1	34.2	4.5	14.4		
	50～59歳	112	25.0	13.4	25.0	12.5	8.9	22.3	25.0	7.1	47.3	33.9	1.8	7.1		
	60～69歳	157	22.9	11.5	16.6	11.5	8.3	27.4	26.8	4.5	42.0	37.6	1.3	15.3		
	70歳以上	96	25.0	12.5	14.6	9.4	11.5	18.8	14.6	7.3	29.2	19.8	-	33.3		
職業	自営業・家族従事者	55	29.1	9.1	21.8	10.9	10.9	25.5	25.5	1.8	38.2	25.5	1.8	21.8		
	会社員、公務員等	313	21.1	10.2	19.8	11.5	9.6	22.7	22.4	8.3	41.9	35.1	3.2	12.8		
	無職	213	28.2	14.6	13.1	8.0	16.0	26.8	20.7	6.6	36.6	34.3	0.9	16.9		
居住地域	富山地域	226	21.2	11.5	17.3	10.2	12.4	24.8	19.9	10.2	42.9	32.3	4.9	14.6		
	高岡地域	173	25.4	11.6	15.6	9.8	12.7	22.5	23.7	5.8	34.1	38.7	-	17.9		
	新川地域	120	25.0	10.0	21.7	9.2	10.0	24.2	23.3	4.2	40.8	34.2	0.8	15.0		
	砺波地域	74	27.0	12.2	16.2	13.5	14.9	27.0	21.6	4.1	35.1	27.0	1.4	14.9		

問 16 あなたは、子どもたちが文化に親しむ機会を充実するため、県や市町村はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「わからない。特にない」が1割程度あるものの、「文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する」が56.7%、「子どもたち自身が参加したり、体験できる文化事業などを行う」が53.3%となった。

前回調査と比較すると、「子どもたちを対象にした文化事業などの鑑賞機会を充実する」は前回調査を上回った。



年齢別では、「子どもたちが自身に参加したり、体験できる文化事業などを行う」は20歳代で60.0%、30歳代で71.8%と高くなった。また、「文化を鑑賞したり参加したりする機会を学校教育の場において充実する」は30歳代、40歳代、50歳代でいずれも60%以上となった。

問9の(2)の2「子どもたちが自ら演じたり、作ったりすることは大切か」との設問の回答とクロス集計すると、「子どもたちが自ら演じたり、作ったりすることが大切だ」と考える方は「子どもたちを対象にした文化事業などの鑑賞機会を充実する」が40.3%に対し、「大切ではない」と考える方は18.8%と、大きな差があった。

(%)

		回答者 (人)	子どもたちが 文化事業など を充実する	子どもたちが 体験できる 文化事業など を行う	子どもたちが 自ら演じたり 作ったりする 機会を充実 する	その他	わからない。 特にない
全体		591	38.7	53.3	56.7	1.9	11.0
性別	男性	147	38.1	49.7	55.1	2.0	12.2
	女性	280	40.4	54.6	58.2	1.4	8.9
年齢	20～29歳	45	48.9	60.0	48.9	2.2	4.4
	30～39歳	71	33.8	71.8	62.0	5.6	4.2
	40～49歳	111	32.4	47.7	60.4	1.8	12.6
	50～59歳	111	39.6	51.4	61.3	2.7	5.4
	60～69歳	157	45.9	52.2	56.1	-	9.6
	70歳以上	94	31.9	45.7	48.9	1.1	26.6
職業	自営業・ 家族従事者	52	48.1	44.2	48.1	3.8	13.5
	会社員、 公務員等	314	37.3	56.7	60.8	1.9	7.6
	無職	211	39.8	52.1	53.1	0.5	15.2
居住 地域	富山地域	220	42.3	45.9	54.5	2.3	12.7
	高岡地域	176	33.0	56.3	54.0	2.8	13.6
	新川地域	119	38.7	61.3	63.9	0.8	6.7
	砺波地域	74	43.2	55.4	58.1	-	6.8

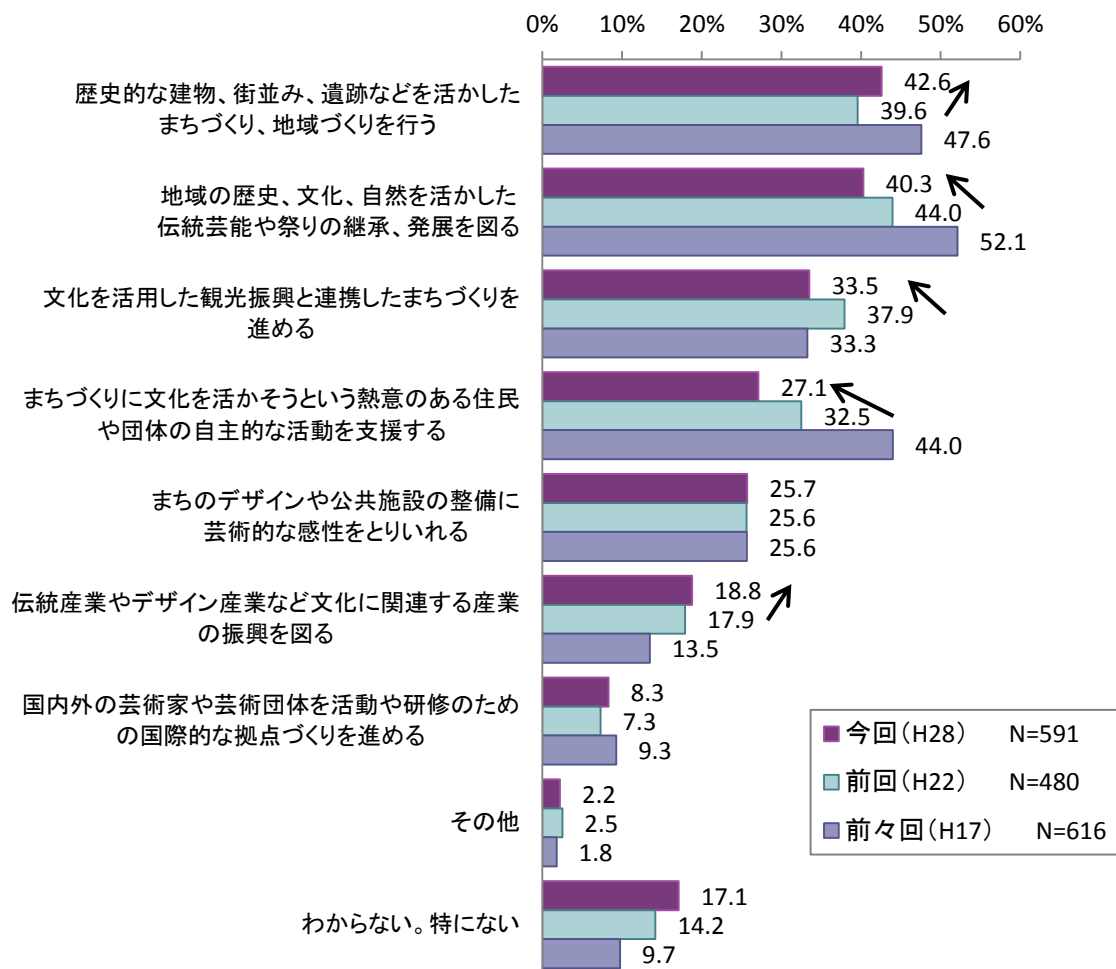
●子どもたちが自ら演じたり、作ったりすることは大切か(問9-(2)-(2))

大切だ	474	40.3	58.4	59.9	1.9	6.1
どちらともいえない	89	38.2	30.3	46.1	1.1	29.2
大切ではない	16	18.8	56.3	50.0	6.3	18.8

問17 文化の持つ創造性を活かした産業振興や地域活性化の取組みが国内外で注目されつつあることから、文化と他分野との連携をさらに強化していく必要がありますが、こうした観点から個性的な地域文化を活かしていくには、県や市町村は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」、「地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る」が4割、「文化を活用した観光振興と連携したまちづくりを進める」、「まちづくりに文化を活かそうという熱意ある住民や団体の自主的な活動を支援する」が約3割となった。このうち、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」は前回調査を上回り、他の項目は前回調査を下回った。また、「伝統産業やデザイン産業など文化に関連する産業の振興を図る」なども前回調査を上回った。

「その他」として、「何でも手を出すのではなく、重点的に取り組む」、「人材育成が必要」、「まずアクセスをよくするべき」との回答があった。



年齢別では、20歳代では、「まちのデザインや公共施設の整備に芸術的な感性をとり入れる」が43.5%と最も高く、他の年代と比較しても高い。また、「国内外の芸術家や芸術団体を活動や研修のための国際的な拠点づくりを進める」が15.2%と他の年代と比べて高くなった。

30歳代では、「歴史的な建物、街並み、遺跡などを活かしたまちづくり、地域づくりを行う」が56.9%と他の年代と比べて高くなった。

50歳代、60歳代では、「地域の歴史、文化、自然を活かした伝統芸能や祭りの継承、発展を図る」が46.0%、49.7%と他の年代と比べて高く、また、60歳代では、「まちづくりに文化を活かそうという熱意のある住民や団体の自主的な活動を支援する」も34.6%と高くなった。

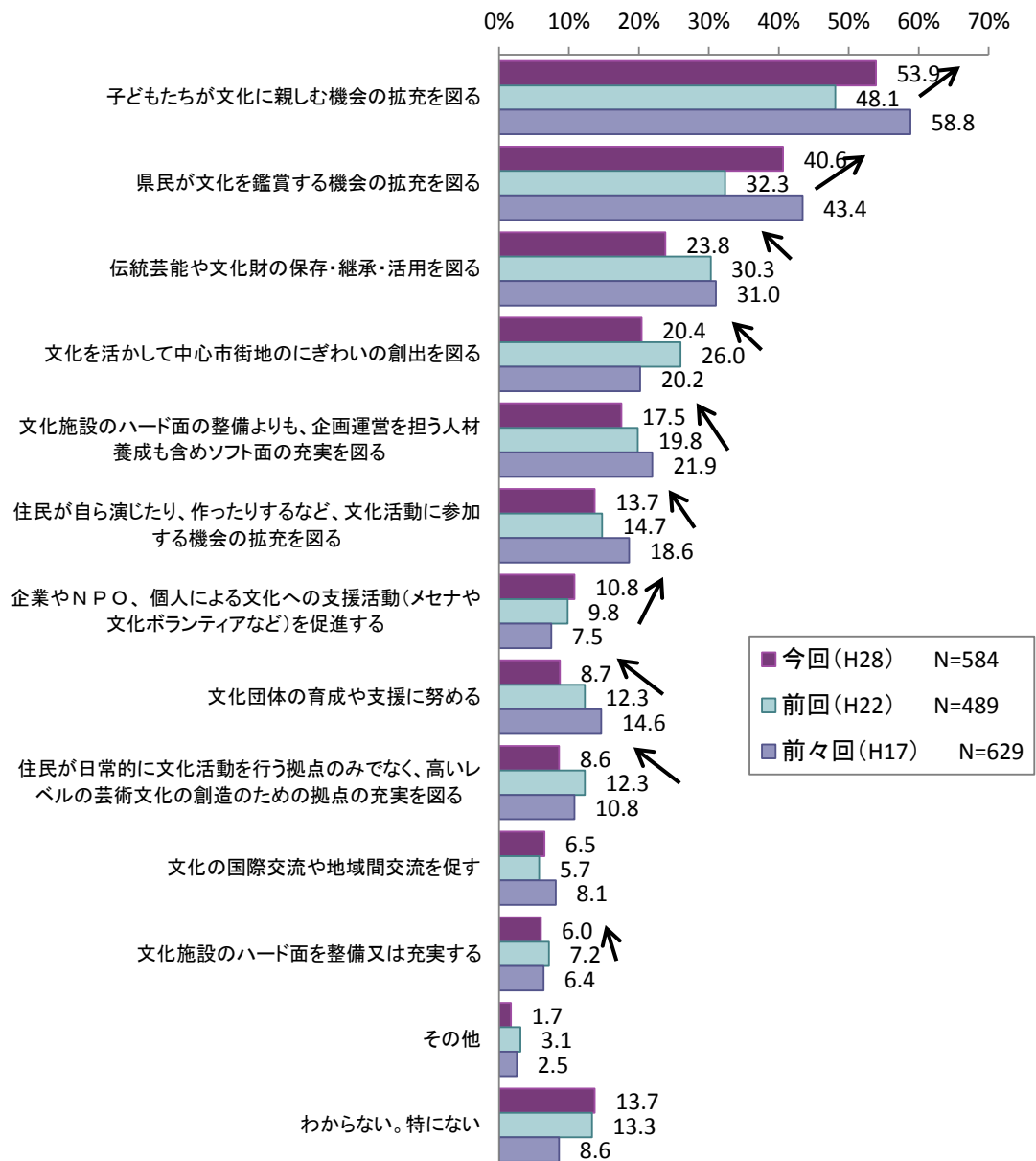
(%)

	回答者（人）	地域づくりを行う	歴史的な建物、街並み、遺跡	を整備に芸術的な感性をと	まちのデザインや公共施設の	承、発展を図る	地域の歴史、文化、祭りの継	の自主的な活動を支援する	とまちづくりに文化を活か	拠点づくりを進める	国内外の芸術家や芸術団	図文化に関する	伝統産業やデザイン産業	携したまちづくりを観光振興	文化を活用した観光振興と	その他	わからない。特にない
全体	591	42.6	25.7	40.3	27.1	8.3	18.8	33.5	2.2	17.1							
性別	男性	149	47.7	21.5	40.3	25.5	8.1	18.1	31.5	2.7	18.1						
	女性	278	43.5	29.1	38.1	25.9	9.0	18.0	36.0	1.8	15.5						
年齢	20～29歳	46	37.0	43.5	26.1	23.9	15.2	19.6	23.9	6.5	10.9						
	30～39歳	72	56.9	27.8	40.3	23.6	2.8	20.8	37.5	1.4	11.1						
	40～49歳	112	41.1	29.5	31.3	17.0	10.7	15.2	35.7	5.4	22.3						
	50～59歳	113	46.9	31.9	46.0	31.0	7.1	21.2	34.5	0.9	8.8						
	60～69歳	153	39.9	20.9	49.7	34.6	7.8	20.9	33.3	1.3	14.4						
	70歳以上	93	36.6	10.8	36.6	26.9	6.5	15.1	32.3	-	33.3						
職業	自営業・ 家族従事者	53	50.9	22.6	34.0	24.5	3.8	20.8	41.5	1.9	20.8						
	会社員、 公務員等	315	41.6	27.0	41.3	28.3	8.9	19.0	33.7	2.2	14.6						
	無職	209	42.1	26.3	40.2	27.3	8.1	18.7	31.1	1.9	19.1						
居住地域	富山地域	222	45.0	27.0	34.7	20.3	10.4	19.8	32.0	2.3	19.8						
	高岡地域	174	43.7	23.6	43.1	28.7	7.5	18.4	35.6	2.3	16.1						
	新川地域	120	39.2	27.5	43.3	37.5	7.5	14.2	35.0	1.7	15.0						
	砺波地域	73	38.4	24.7	45.2	27.4	4.1	23.3	31.5	2.7	15.1						

問 18 文化の振興を通じて「元気とやま」を創造するために、県や市町村が重点を置くべき施策は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

最も多かったのが「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」で5割超となり、次いで「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」の4割、「伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る」、「文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る」がそれぞれ2割となった。

前回調査と比較すると、「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」、「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」などは前回調査を上回り、「伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る」、「文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る」、「文化施設のハード面の整備よりも、企画運営を担う人材養成も含めソフト面の充実を図る」、「住民自ら演じたり、作ったりするなど、文化活動に参加する機会の拡充を図る」などは前回調査を下回った。



性別では、男女で差があったのは、「住民自ら演じたり、作ったりするなど、文化活動に参加する機会の拡充を図る」で男性が高く、「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」、「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」で女性が高くなった。

年齢別では、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代で「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」が高く、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代で「県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る」が高くなった。

居住地域別では、新川地域で「子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る」が高くなった。

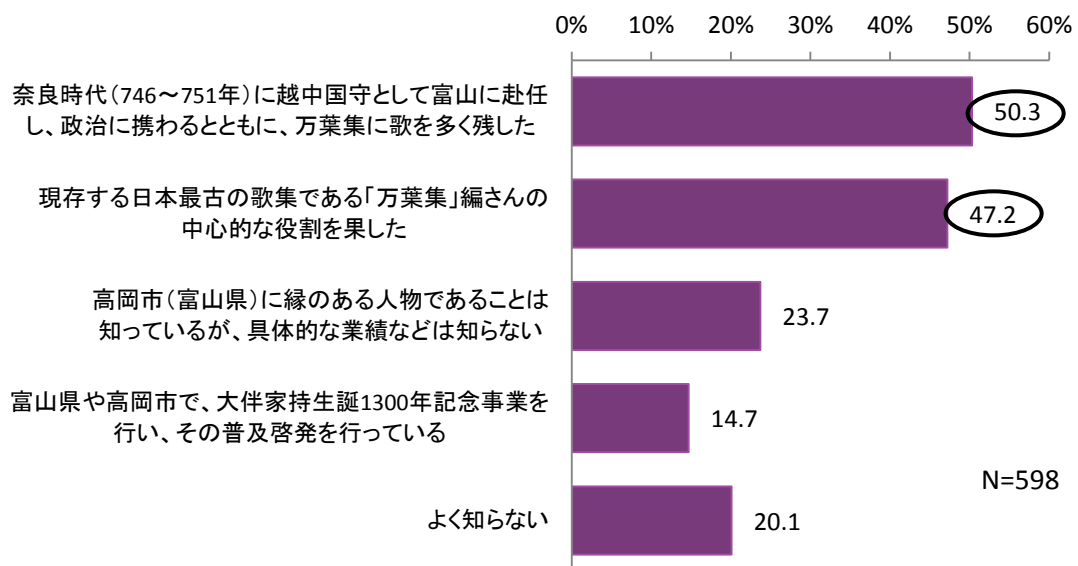
(%)

	回答者（人）	県民が文化を鑑賞する機会の拡充を図る	住民が自ら演じたり、作ったりするなどの機会を拡充を図る	住民が日常的に文化活動を行う拠点のたみでなく、高いレベルの芸術文化の創造のため	子どもたちが文化に親しむ機会の拡充を図る	文化施設のハード面を整備又は充実する	文化施設のハード面の整備よりも、企画運営を担う人材養成も含めソフト面の充実を図る	文化団体の育成や支援に努める	伝統芸能や文化財の保存・継承・活用を図る	文化を活かして中心市街地のにぎわいの創出を図る	企業やNPO、個人による文化への支援活動（メセナや文化ボランティアなど）を促進する	文化の国際交流や地域間交流を促す	その他	わからない。特にない	
全体	584	40.6	13.7	8.6	53.9	6.0	17.5	8.7	23.8	20.4	10.8	6.5	1.7	13.7	
性別	男性	147	34.0	19.0	10.9	48.3	6.8	17.7	9.5	23.8	20.4	13.6	4.1	1.4	15.0
	女性	277	42.2	11.6	6.9	60.6	6.9	17.0	8.3	23.8	19.9	9.4	8.3	1.1	11.9
年齢	20～29歳	46	41.3	15.2	8.7	58.7	10.9	13.0	15.2	15.2	13.0	6.5	10.9	2.2	8.7
	30～39歳	72	43.1	22.2	1.4	61.1	8.3	15.3	12.5	19.4	19.4	8.3	9.7	-	12.5
	40～49歳	111	34.2	8.1	5.4	51.4	9.9	19.8	3.6	20.7	19.8	11.7	5.4	3.6	18.0
	50～59歳	110	47.3	11.8	10.9	60.0	4.5	20.9	10.9	27.3	23.6	12.7	4.5	1.8	4.5
	60～69歳	153	44.4	15.7	11.8	54.9	3.3	15.7	8.5	30.7	23.5	13.1	4.6	0.7	10.5
	70歳以上	90	32.2	12.2	10.0	38.9	3.3	17.8	6.7	20.0	15.6	7.8	8.9	2.2	28.9
職業	自営業・家族従事者	53	43.4	20.8	9.4	52.8	1.9	15.1	9.4	17.0	22.6	11.3	5.7	1.9	17.0
	会社員、公務員等	313	39.3	13.4	8.0	55.0	8.0	18.8	8.0	25.6	20.1	11.5	6.1	1.3	11.5
	無職	204	41.7	12.3	8.8	52.9	4.4	16.7	9.3	24.0	21.6	9.8	6.9	2.0	15.7
居住地域	富山地域	218	43.1	10.6	6.0	49.5	9.2	14.2	8.7	21.1	20.2	12.8	6.4	3.2	15.6
	高岡地域	172	39.5	9.9	11.0	54.7	5.2	15.7	9.3	25.0	22.7	9.3	7.6	1.2	15.1
	新川地域	118	44.9	21.2	7.6	61.9	2.5	18.6	7.6	26.3	21.2	11.9	6.8	0.8	9.3
	砺波地域	74	29.7	20.3	12.2	51.4	4.1	28.4	9.5	24.3	14.9	6.8	4.1	-	12.2

県の文化施策に関すること

問 19 (1) あなたが、大伴家持について知っていることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

「よく知らない」方が 2 割いるものの、「奈良時代（746～751 年）に越中国守として富山に赴任し、政治に携わるとともに、万葉集に歌を多く残した」と「現存する日本最古の歌集である「万葉集」編さんの中心的な役割を果たした」が、約 5 割となった。



年齢別では、「奈良時代（746～751年）に越中国守として富山に赴任し、政治に携わるとともに、万葉集に歌を多く残した」は、60歳代まで年齢層が上がるにつれ、選択率が高くなる。「現存する日本最古の歌集である「万葉集」編さんの中心的な役割を果たした」は、40歳代、50歳代の選択率が高い。「富山県や高岡市で、大伴家持生誕1300年記念事業を行い、その普及啓発を行っている」、「高岡市（富山県）に縁のある人物であることは知っているが、具体的な業績などは知らない」は、年齢層が上がるにつれ、選択率が高くなる。

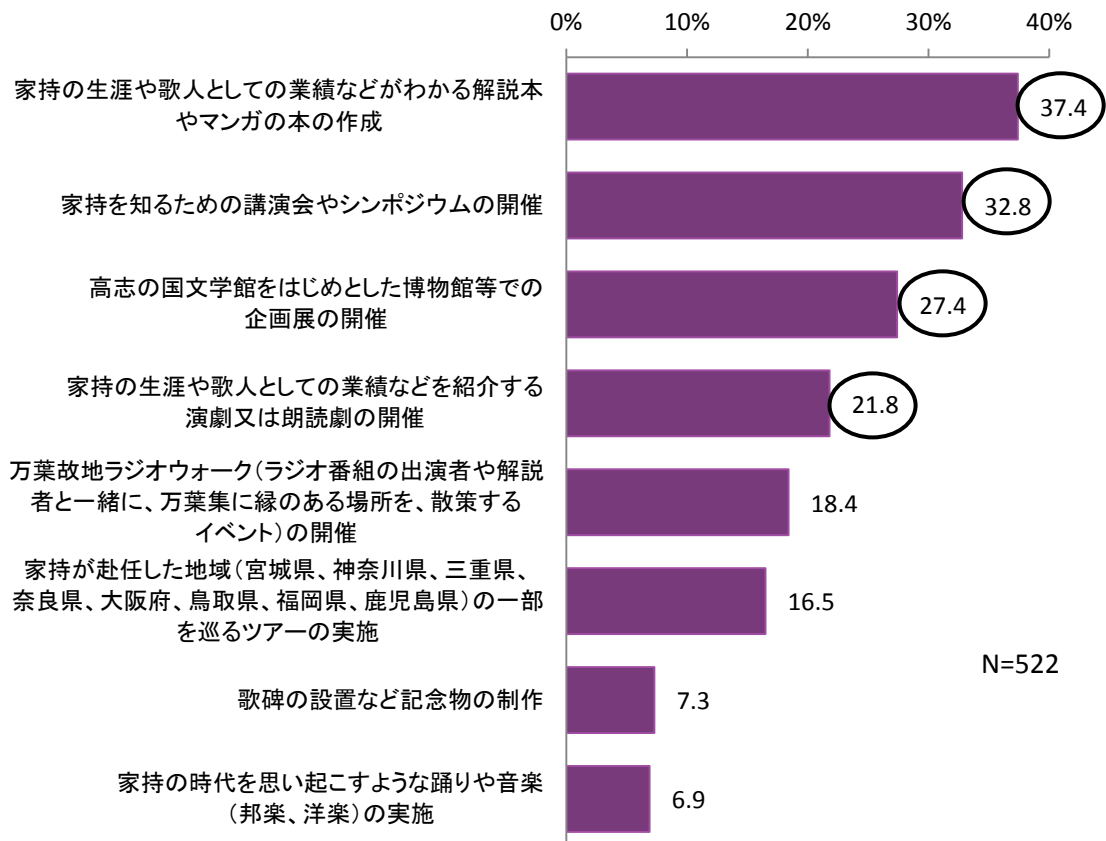
居住地域別では、「富山県や高岡市で、大伴家持生誕1300年記念事業を行い、その普及啓発を行っている」は、高岡地域の選択率が最も高く、「高岡市（富山県）に縁のある人物であることは知っているが、具体的な業績などは知らない」は、高岡地域、砺波地域の選択率が高い。

(%)

		回答者（人）	に赴年奈 、任しに時良 万葉集政治中 に歌を携わし 多くと富山 残したもに	なる現 役一存 割を葉る 果集日本 した編さん の歌中集 的あ	い行生富 るい誕山 、1県 その3や 普及0高 啓岡市 を念、大 行業伴 つ事を家 て持	なが人高 具、物岡 体的あ なる富 業山 績と県 な知に どっ縁 はての 知るある	よく 知らない
全体		598	50.3	47.2	14.7	23.7	20.1
性別	男性	148	52.0	49.3	11.5	22.3	18.9
	女性	283	50.2	48.1	14.8	24.0	19.4
年齢	20～29歳	46	23.9	32.6	4.3	17.4	45.7
	30～39歳	72	30.6	43.1	8.3	18.1	36.1
	40～49歳	112	45.5	56.3	8.9	15.2	19.6
	50～59歳	114	57.0	54.4	12.3	24.6	9.6
	60～69歳	159	62.3	45.3	19.5	28.9	12.6
	70歳以上	93	55.9	40.9	25.8	32.3	20.4
職業	自営業・ 家族従事者	53	54.7	47.2	15.1	22.6	13.2
	会社員、 公務員等	319	48.9	48.9	10.0	18.8	23.5
	無職	211	52.1	46.9	21.8	29.9	15.6
居住地域	富山地域	225	49.8	49.3	12.4	19.1	22.2
	高岡地域	177	53.7	45.2	21.5	31.6	12.4
	新川地域	120	43.3	47.5	10.8	18.3	30.0
	砺波地域	74	56.8	44.6	12.2	28.4	14.9

問 19 (2) 大伴家持生誕 1300 年記念事業を行うに当たり、どのような催しを期待しますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成」が 37.4%、「家持を知るための講演会やシンポジウムの開催」が 32.8%、「高志の国文学館をはじめとした博物館等での企画展の開催」が 27.4%、「家持の生涯や歌人としての業績などを紹介する演劇または朗読劇の開催」が 21.8%となった。



性別では、「家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成」は、男性の選択率が女性の選択率を大きく上回っている。

年齢別では、「家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成」は30歳代と40歳代の、「家持が赴任した地域（宮城県、神奈川県、三重県、奈良県、大阪府、鳥取県、福岡県、鹿児島県）の一部を巡るツアーの実施」は20歳代の、「万葉故地ラジオウォーク（ラジオ番組の出演者や解説者と一緒に、万葉集に縁のある場所を、散策するイベント）の開催」は50歳代以上の選択率が高い。

居住地域別では、「高志の国文学館をはじめとした博物館等での企画展の開催」は、富山地域の選択率が最も高い。

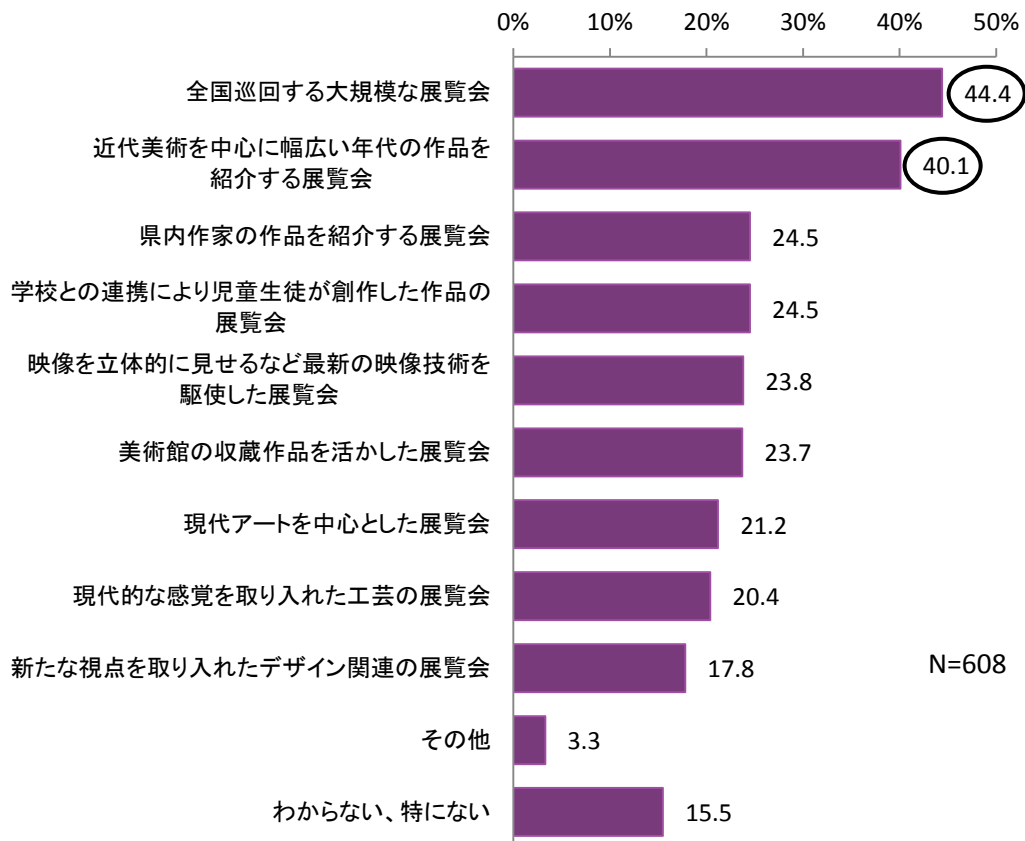
(%)

	回答者（人）	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成	家持の生涯や歌人としての業績などがわかる解説本やマンガの本の作成
全体	522	32.8	21.8	37.4	16.5	6.9	18.4	7.3	27.4	
性別	男性	125	36.0	20.0	47.2	14.4	6.4	14.4	5.6	24.0
	女性	260	30.8	23.1	31.2	16.2	6.5	19.2	7.3	33.1
年齢	20～29歳	38	28.9	28.9	34.2	23.7	10.5	7.9	13.2	23.7
	30～39歳	63	27.0	23.8	44.4	19.0	4.8	6.3	6.3	30.2
	40～49歳	98	27.6	18.4	41.8	17.3	5.1	13.3	7.1	29.6
	50～59歳	109	32.1	24.8	33.9	11.0	6.4	22.9	6.4	32.1
	60～69歳	138	42.0	18.8	36.2	15.2	6.5	25.4	4.3	22.5
	70歳以上	74	31.1	23.0	33.8	17.6	10.8	21.6	12.2	27.0
職業	自営業・家族従事者	41	22.0	17.1	53.7	7.3	4.9	22.0	14.6	26.8
	会社員、公務員等	287	31.7	21.3	35.2	18.1	6.6	19.5	5.9	28.2
	無職	184	36.4	23.4	38.6	15.2	7.6	15.8	7.6	27.2
居住地域	富山地域	192	32.3	16.7	34.4	16.7	5.7	17.7	9.9	36.5
	高岡地域	157	35.0	23.6	36.3	16.6	8.3	23.6	5.1	18.5
	新川地域	104	30.8	29.8	36.5	17.3	10.6	12.5	7.7	27.9
	砺波地域	67	31.3	20.9	49.3	13.4	1.5	17.9	4.5	22.4

問 20 (1) 富山県美術館では、どのような展覧会を開催して欲しいですか。次の中から4つまで選んで○をつけてください。

「全国巡回する大規模な展覧会」が 44.4%、「近代美術を中心に幅広い年代の作品を紹介する展覧会」が 40.1%となり、「県内作家の作品を紹介する展覧会」、「学校との連携により児童生徒が創作した作品の展覧会」、「映像を立体的に見せるなど最新の映像技術を駆使した展覧会」、「美術館の収蔵作品を活かした展覧会」、「現代アートを中心とした展覧会」、「現代的な感覚を取り入れた工芸の展覧会」と続いた。

「その他」として、「とても良いことだけど富山市ばかりに開いて、私達年寄はいけない。小さな町にも」、「万博のように行ってみたいと思うような映像技術を取り入れる」、「体験が充実したもの。例：油絵の表面を触ってみよう。油絵を描いてみよう。申込み不要で」、「国際的な展示物。国外からも見に来るレベルの物が必要」との回答があった。



性別では、「新たな視点を取り入れたデザイン関連の展覧会」は男性の選択率が女性の選択率を大きく上回っている。また、男性は「美術館の収蔵作品を活かした展覧会」、「現代アートを中心とした展覧会」の選択率が高く、女性は「県内作家の作品を紹介する展覧会」、「学校との連携により児童生徒が創作した作品の展覧会」の選択率が高い。

年齢別では、「美術館の収蔵作品を活かした展覧会」は、40歳代以降で選択率が高まるが、20歳代も高い。「現代的な感覚を取り入れた工芸の展覧会」、「現代アートを中心とした展覧会」、「映像を立体的に見せるなど最新の映像技術を駆使した展覧会」は年齢層が低いほど選択率が高まる傾向があり、「県内作家の作品を紹介する展覧会」は年齢層が上がるほど選択率が高まる傾向がある。居住地域別では、「近代美術を中心に幅広い年代の作品を紹介する展覧会」は、新川地域の選択率が、他の3地域を大きく上回っている。

問3の(5)「この1年間に県内の美術館・博物館に出かけたか」の回答とクロス集計すると、出かけた経験がある方は、「全国巡回する大規模な展覧会」、「近代美術を中心に幅広い年代の作品を紹介する展覧会」をより多くの割合で選択している。

(%)

	回答者(人)	近代美術を中心とした幅広い年代の展覧会	全国巡回する大規模な展覧会	美術館の収蔵作品を活かした展覧会	現代的な感覚を取り入れた工芸の展覧会	新たな視点を取り入れたデザイン関連の展覧会	現代アートを中心とした展覧会	映像を立体的に見せるなど最新の映像技術を駆使した展覧会	県内作家の作品を紹介する展覧会	学校との連携により児童生徒が創作した作品の展覧会	その他	わからない、特になし	
全体	608	40.1	44.4	23.7	20.4	17.8	21.2	23.8	24.5	24.5	3.3	15.5	
性別	男性	150	39.3	41.3	24.7	20.7	23.3	24.7	23.3	22.7	23.3	4.7	15.3
	女性	292	41.4	47.6	22.9	24.0	17.1	19.9	25.3	28.1	26.0	2.4	12.3
年齢	20～29歳	46	28.3	41.3	23.9	28.3	26.1	32.6	43.5	13.0	21.7	6.5	13.0
	30～39歳	74	33.8	47.3	16.2	23.0	16.2	25.7	36.5	18.9	29.7	5.4	13.5
	40～49歳	113	32.7	46.0	13.3	23.9	18.6	32.7	27.4	14.2	21.2	5.3	10.6
	50～59歳	116	48.3	45.7	27.6	19.8	19.0	22.4	23.3	24.1	24.1	3.4	11.2
	60～69歳	161	44.7	47.2	26.7	18.0	17.4	14.9	14.3	36.6	27.3	0.6	16.1
	70歳以上	96	42.7	36.5	32.3	15.6	11.5	7.3	17.7	27.1	20.8	2.1	28.1
職業	自営業・家族従事者	56	41.1	26.8	23.2	10.7	19.6	23.2	16.1	23.2	25.0	1.8	19.6
	会社員、公務員等	320	37.8	46.3	22.5	21.9	20.6	24.1	28.1	22.2	22.5	3.1	12.8
	無職	218	43.1	47.2	26.6	20.2	13.3	16.1	19.3	28.9	27.5	3.7	17.4
居住地域	富山地域	228	36.4	46.9	23.2	22.8	16.7	18.4	26.8	20.2	20.6	5.7	16.7
	高岡地域	182	39.6	39.0	25.3	19.8	17.0	17.0	23.1	28.6	25.3	2.2	18.1
	新川地域	119	53.8	47.9	26.9	18.5	17.6	29.4	20.2	26.1	28.6	0.8	12.6
	砺波地域	77	32.5	44.2	16.9	16.9	22.1	26.0	23.4	26.0	28.6	2.6	10.4

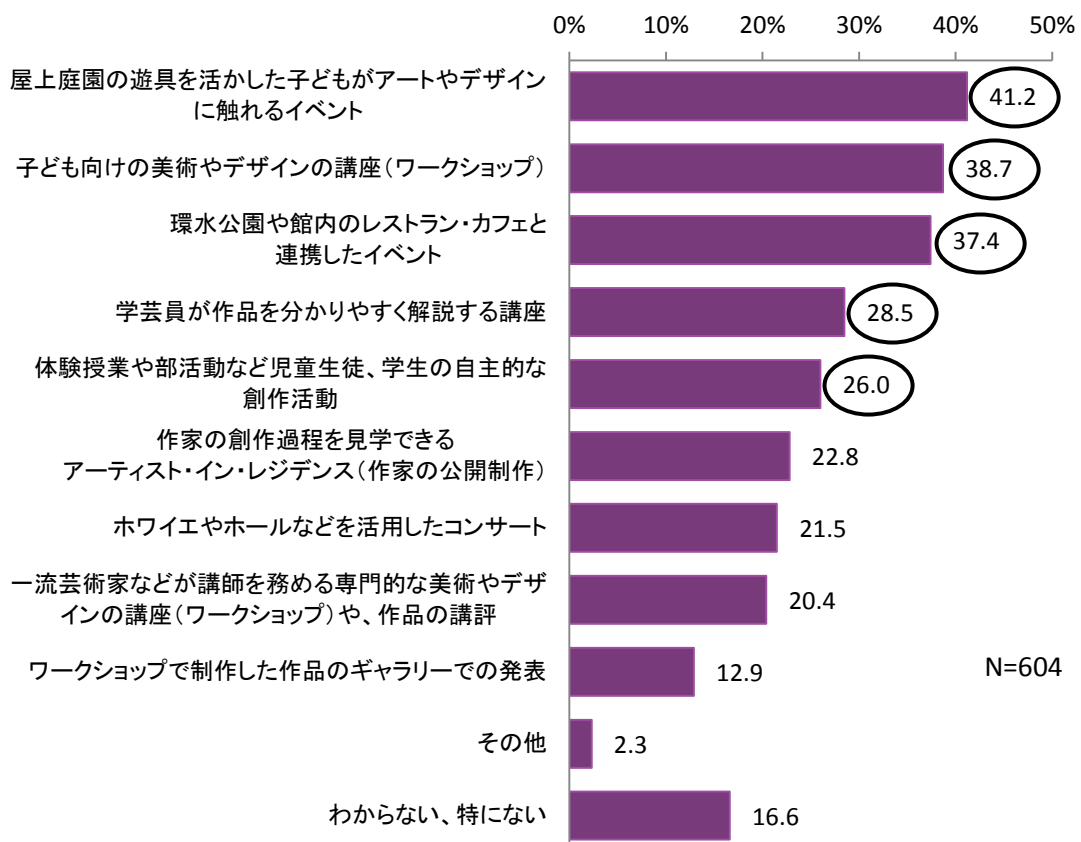
●この1年間に県内の美術館・博物館に出かけたか(問3(5))

出かけない	329	31.6	36.5	22.2	21.0	12.5	19.8	23.4	19.8	24.0	4.0	21.9
出かけたことがある	265	50.6	54.7	25.7	19.6	24.2	23.8	24.2	29.1	24.9	2.6	7.2

問 20 (2) 富山県美術館では、これまでの活動に加えて、屋上庭園に設置する遊具を活かして子どもたちや親子が楽しみながらアートやデザインにふれられる空間とするとともに、親子向けのワークショップを開催できるアトリエや、そこで創作したものを展示できるギャラリーを設けるなど、新たな取組みを行うことにしています。これらの活動で、参加してみたい(子どもに参加させてみたい)ものは何ですか。次の中から4つまで選んで○をつけてください。

「屋上庭園の遊具を活かした子どもがアートやデザインに触れるイベント」、「子ども向けの美術やデザインの講座(ワークショップ)」、「環水公園や館内のレストラン・カフェと連携したイベント」がそれぞれほぼ4割、「学芸員が作品を分かりやすく解説する講座」、「体験授業や部活動など児童生徒、学生の自主的な創作活動」が3割弱となった。

「その他」として、「陶芸。実際に作ったり購入できるイベントを切望しています」、「予約がいない体験・講座。子供の体調不良など当日行くことを決めたい」、「国内外からも人が呼べるレベルのイベントが必要」との回答があった。



性別では、「ホワイエやホールなどを活用したコンサート」は女性の方が男性より高い選択率となった。

年齢別では、「子ども向けの美術やデザインの講座（ワークショップ）」は30歳代の選択率が最も高くなった。「学芸員が作品を分かりやすく解説する講座」は40歳代以下と50歳代以上では異なり、50歳代以上の方の選択率が高くなった。「屋上庭園の遊具を活かした子どもがアートやデザインに触れるイベント」は20歳代、30歳代の選択率が高くなった。

(%)

	回答者（人）	子ども向けの美術やデザインの講座（ワークショップ）	一流芸術家などが講師を務める専門的な美術やデザインの講座（ワークショップ）や、作品の講評	学芸員が作品を分かりやすく解説する講座	作家の創作過程を見学できるアーティスト・イン・レジデンス（作家の公開制作）	ワークショップでの発表	屋上庭園の遊具を活かした子どもが	と連携したイベント	公園や館内のレストラン・カフェ	ホワイエやホールなどを活用したコンサート	体験授業や創作活動など児童生徒、学生の自主的な創作活動	その他	わからない、特になし
全体	604	38.7	20.4	28.5	22.8	12.9	41.2	37.4	21.5	26.0	2.3	16.6	
性別	男性	149	39.6	24.8	28.9	24.8	12.8	36.9	18.1	24.2	2.0	14.8	
	女性	289	40.1	16.6	29.8	24.6	13.5	38.8	26.6	27.0	2.8	13.5	
年齢	20～29歳	46	39.1	23.9	21.7	23.9	17.4	52.2	45.7	13.0	21.7	2.2	10.9
	30～39歳	73	54.8	16.4	16.4	21.9	9.6	58.9	43.8	21.9	30.1	6.8	5.5
	40～49歳	113	31.0	20.4	20.4	24.8	13.3	38.1	35.4	23.0	23.9	3.5	19.5
	50～59歳	116	46.6	23.3	32.8	26.7	16.4	42.2	38.8	31.0	23.3	-	7.8
	60～69歳	162	35.8	22.2	35.8	19.1	14.2	39.5	35.8	18.5	32.1	-	19.8
	70歳以上	92	29.3	15.2	33.7	22.8	5.4	28.3	30.4	17.4	19.6	4.3	30.4
職業	自営業・家族従事者	54	35.2	18.5	31.5	25.9	14.8	35.2	37.0	18.5	37.0	3.7	18.5
	会社員、公務員等	322	39.8	23.9	25.2	22.7	10.9	44.7	40.7	19.9	24.5	2.2	13.4
	無職	214	37.4	15.9	33.6	22.4	15.4	39.3	33.2	26.2	26.6	0.9	20.1
居住地域	富山地域	226	39.4	18.6	28.8	20.8	12.4	41.2	38.9	25.7	22.6	3.1	16.8
	高岡地域	181	34.8	17.7	28.2	24.3	10.5	40.3	34.3	19.3	31.5	1.7	18.8
	新川地域	120	40.8	25.0	28.3	20.0	18.3	42.5	38.3	18.3	28.3	1.7	16.7
	砺波地域	75	42.7	25.3	29.3	30.7	10.7	41.3	37.3	20.0	20.0	2.7	10.7

問3の(5)「この1年間に県内の美術館・博物館に出かけたか」の設問の回答とクロス集計すると、出かけたことがある方は、出かけない方に比べて「学芸員が作品を分かりやすく解説する講座」をより多くの割合で選択している。

(%)

	回答者(人)	子ども向けの美術やデザインの講座(ワークショップ)	一流芸術家などが講師を務める専門的な美術やデザインの講座(ワークショップ)や、作品の講評	学芸員が作品を分かりやすく解説する講座	作家の創作過程を見学できるアーティスト・イン・レジデンス(作家の公開制作)	ワークショップで制作した作品のギャラリーでの発表	屋上庭園の遊具を活かした子どもがアートやデザインに触れるイベント	と連携したイベント	環水公園や館内のレストラン・カフェ	ホワイエやホールなどを活用したコンサート	体験授業や部活動など児童生徒、学生の自主的な創作活動	その他	わからない、特にな
出かけたことがある	261	42.9	24.9	37.2	28.4	15.3	43.3	40.6	26.4	28.4	1.9	8.4	
出かけない	329	34.7	16.7	21.0	19.1	11.2	38.9	35.3	17.6	24.6	2.7	23.1	

